

事業評価シート

第1章 定住の促進

第1節	「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり	P 1～
第2節	社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実	P 35～
第3節	一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援	P 71～
第4節	健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進	P 95～
第5節	外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備	P 119～
第6節	環境に配慮した快適なライフスタイルの確立	P 141～

第2章 にぎわいの促進

第1節	活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出	P 153～
第2節	新旧の魅力が融合する観光の振興	P 187～

第3章 安全・安心の促進

第1節	住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり	P 207～
第2節	災害に備える仕組みづくり	P 221～

第4章 支えあい・協働の促進

第1節	みんなで取り組む連携・協働のまちづくり	P 253～
第2節	多様性を認め合う人権尊重のまちづくり	P 271～

第5章 都市経営の促進

第1節	都市経営の促進	P 283～
-----	---------	--------

第1章 定住の促進

第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり

- 01 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり
- 02 子どもたちの健やかな発育の支援
- 03 きめ細やかな子育てサポート体制の充実
- 04 地域で安心して子育てができる仕組みづくり
- 05 子育てと仕事の両立支援体制の充実

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	01 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり											
成果指標 (KPI)	0101	子育て世代移住・定住バスツアーの年間参加組数									指標の単位	組
	基準値 (R1)	-				目標値 (R7)	10			総合戦略 該当	○	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
							6	5				達成状況
達成率							60.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	広報・協働推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価) 【P】 事業の 目的	市外在住の子育て世代10組を対象に、子育て世代に和泉市の定住についての魅力を伝え、将来的に移住定住してもらうようなきっかけを作るため、バスツアーを開催する。				(事後評価) 【D】 事業実績	5組(13人)参加 うち、市外在住者は3組(8人)					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	本市への移住、本市での定住を検討している世帯を対象に、南松尾はつが野学園の給食ツアーを行うなどにより、本市の魅力を伝え、移住・定住者の増加を図る。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のた めの具 体的な取 組	①企画内容の充実 参加者の関心を高められる内容等を、包括連携協定を締結している事業者と協働で企画する。 ②周知の充実 ホームページ・SNSを通して関心の高いと思われる層に届く情報発信に努める。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のた めの具 体的な取 組 の実績	①企画内容の充実 子育て世帯に関心があると思われる、教育(南松尾はつが野学園での給食試食会)やショッピング(いずみ山愛の里)を取り入れたコースを選定し、かつ、共働き世帯でも参加しやすい日曜日の開催とした。 ②周知の充実 広報紙、ホームページ(市・CPサイト)、情報発信モニター・各種SNS配信のほか、包括連携協定事業者にも協力を依頼し、周知を行った。また、当日の司会進行役であった市観光大使の紅しょうがにも協力を依頼し、周知を行った。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
	バスツアーの実施回数				回	2	R3	R4	R5	R6	R7
							1	1			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	自動車借上料	120,000				自動車借上料	41,162				
	計		120,000			計		41,162			
	備考						備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	昨年度と同様のプログラムで実施し、引き続き目標組数の参加に至っていない状況。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	参加者は予定数を確保したが、実際に移住した参加者はいなかった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	②一部見直し	ツアーの開催にあたっては、包括連携協定事業者および市PR大使と協働で取り組むことができているものの、参加組数が伸び悩んでいることから、今後はプログラムなど企画内容を見直して、より魅力的な取り組みを実施する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進												
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり												
重点施策	01 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり												
成果指標 (KPI)	0102	定住施策として実施する補助事業対象者の市内定住率(令和3年度～令和7年度)									指標の単位		%
	基準値 (R2)					目標値 (R7)	100.0				総合戦略 該当		○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
							-	100.0				達成状況	
	達成率							100.0%					
備考													
担当課	いずみアピール課												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 結婚新生活支援事業				地方創生関連交付金事業該当	○					
					和泉創発プラン該当	-					
(事前評価) 【P】 事業の 目的	経済的理由から結婚に不安を抱えている方を対象に、結婚に伴う新生活を経済的に支援することを目的として、住居費等の一部に対して補助を行うことにより、結婚に伴う経済的不安を解消し、結婚の希望をかなえるとともに、少子化対策の強化を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	公共施設や市広報、市ホームページだけでなく、宅建協会泉州支部等へも制度周知を図り、利用者の増加をめざしたが、目標件数50件に対して交付件数38件となった。 ▼定住率 令和2年度:93.8%(30/32世帯) 令和3年度:100%(30/30世帯) 令和4年度:94.7%(36/38世帯)					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	新規に婚姻した世帯(世帯所得が400万円未満の世帯に限る)で、かつ婚姻日時点において夫婦の年齢が共に39歳以下であり、いずれかの親世帯が和泉市に住民登録を行っている方を対象に、1世帯あたり30万円を上限として新規の住宅取得や賃借にかかる経費等に対して補助を行う。 なお、本事業は、府の補助制度を活用しており、事業費の2分の1が府費で措置される。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のた めの具 体的な取組	制度周知を図るため、結婚や住替えに関わる事業者を中心として広報活動(公共施設や市広報、市ホームページへの掲載、結婚式場案内所や不動産事業者等各種企業の窓口へのパンフレット配架等)を実施する。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のた めの具 体的な取組 の実績	○制度周知を図るため、様々な手法により広報活動を実施した。 (内容) 市民室や出張所、市広報、市HP、公共施設や不動産事業者等各種企業の窓口へのパンフレット配架、いずみメール等SNSでの配信を活用した周知					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
	交付件数				件	50	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	負担金補助金 及び交付金	15,000,000				負担金補助金 及び交付金	10,646,000				
	計			15,000,000		計			10,646,000		
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	<p>交付件数の目標を達成することはできなかったが、定住率は向上していることから、効果的な事業実施ができた。加えて、支給世帯のうち、他市からの転入者数が令和3年度と比較して増加した。</p> <p>○定住率 令和2年度:93.8%(30/32世帯) 令和3年度:100%(30/30世帯) 令和4年度:94.7%(36/38世帯)</p> <p>○転入者数 令和2年度:31人 令和3年度:23人 令和4年度:27人</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	<p>定住率が高水準を維持しており、効果的な事業実施ができた。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>本事業については、移住定住促進に繋がる事業として継続していくが、新婚世帯に関わらず、さらなる転入促進に繋がる施策を展開するため、他部署との連携強化・情報共有を行いながら、適切なニーズの把握に努め、事業を実施していく。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	O1 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり											
成果指標 (KPI)	0103	妊婦健康診査の利用率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	83.9				目標値 (R7)	92.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	87.3	88.5	90.1	84.8	90.8	83.9	88.6	87.5				達成状況
達成率							58.0%	44.9%				
備考												
担当課	健康づくり推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 妊婦健康診査費用公費負担事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価)	【P】事業の目的 妊婦健康診査の公費負担を行うことで、妊婦の健康管理の充実をはかるとともに経済的負担を軽減し、健やかな妊娠・出産を迎えることができる環境づくりを進める。				(事後評価)	【D】事業実績 妊娠届出を提出した妊婦に妊婦健康診査受診券を交付した。 単胎妊娠(上限120,000円) 1135件 多胎妊娠(上限147,500円) 16件					
(事前評価)	【P】事業の内容 妊娠届出を提出した妊婦に妊婦健康診査受診券を交付し、1妊娠期間につき、妊婦健康診査費120,000円、多胎妊娠について27,500円増額し、147,500円を公費負担する。 大阪府外で妊婦健康診査を受診した場合は、補助金として、要した妊婦健康診査費を還付する。				(事後評価)	【D】事業実績 大阪府外で妊婦健康・乳児健康診査を受診した場合は、補助金として要した妊婦健康診査費を還付した。 妊婦健康診査 54人 326件 2,160,330円 乳児健康診査 41人 41件 158,363円					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①妊娠届出を早期にするように啓発する ②妊娠届出時に妊婦健康診査の必要性について説明する ③未受診妊婦について市内産科医療機関と情報共有し、受診を勧奨する				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①妊娠届出を早期にするように、保健センターのお知らせ、市ホームページによる啓発や医療機関から本人への案内ビラの配布を実施。 ②個別面接において妊婦健康診査の必要性について説明を行った。 ③電子申請と母子医療センターでの妊娠届出を開始した。 ④未受診妊婦について市内産科医療機関と情報共有し受診勧奨した。 ⑤子育て・健康アプリにより、妊娠期の過ごし方等の情報提供を実施した。登録数4,836件					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
	11週以内の妊娠届出の割合				%	94	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	134,355,000				委託料	111,607,455				
	補助金	5,240,000				補助金	2,160,330				
	計		139,595,000			計		113,767,785			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	転入妊婦の増減や転入時の妊娠週数、健康保険の適応となる切迫流早産や早産児の割合など、様々な要因が影響するため、単年度ごとの比較では評価が難しい。 早産率が前年度より増加(4.38%⇒5.10%)しており、受診券の利用回数が減少していることや早期妊娠届出割合が減少したことも利用率が低下した要因であると考ええる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	転入妊婦の増減や転入出時の妊娠週数、健康保険の適応となる切迫流早産や早産児の割合など、様々な要因が影響するため、効果の評価が難しいが、妊娠11週以内の届出の割合は前年度よりやや減少しているが目標達成はしている。また、R4年度からは、母子健康手帳の電子申請や母子医療センターでの妊娠届出を開始しており、早期届出がしやすい体制づくりを構築できたと考える。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	妊婦健康診査の必要性の啓発を継続実施 妊娠期からの切れ目ない支援、産科医療機関との連携を継続 妊娠届出面接後にギフトを交付する出産子育て応援事業も開始しており、今後も切れ目ない支援の充実を図っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	02 子どもたちの健やかな発育の支援											
成果指標 (KPI)	0201	乳幼児健康診査受診率(4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児健康診査)									指標の単位	%
	基準値 (R2)	95.4				目標値 (R7)	95.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	93.7	93.6	94.0	94.6	94.5	95.4	96.0	96.5				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	健康づくり推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 乳幼児健康診査事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	妊産婦や乳幼児を対象に、健康診査や育児に関する指導等を実施し、健康の保持及び増進を図る。				(事後評価)	【4か月児健康診査】56回 対象者数 1,179人 受診者数 1,128人 受診率95.7%					
						【1歳6か月児健康診査】48回 対象者数 1,300人 受診者数 1,274人 受診率98.0%					
(事前評価)	年齢に応じて、以下のとおり健康診査等を実施する。 【4か月児健康診査】 問診、計測、小児科医による診察 【1歳6か月児健康診査】 問診、計測、歯科医・小児科医による診察、相談、必要に応じて栄養、歯科、発達育児相談 【3歳6か月児健康診査】 問診、計測、歯科医・小児科医による診察、尿検査、相談、必要に応じて栄養、歯科、発達育児相談				【D】 事業実績	【3歳6か月児健康診査】48回 対象者数 1,426人 受診者数 1,369人 受診率95.9%					
(事前評価)	乳幼児健康診査受診につなげるため、以下の取り組みを実施する。 ①乳幼児健康診査の案内を個別に通知する。 ②両親教室を実施する。 ③妊娠届出時に、保健師等の専門職が全数面接し、妊娠期から子育て期の相談機関としての保健(福祉)センターの役割を周知する。 ④乳児家庭全戸訪問事業を実施し、出産後の不安などに対応する。 ⑤母子保健事業に携わる出務者を対象に、乳幼児健康診査従事者研修を開催する。 ⑥子育て支援アプリの登録者に、対象健康診査時期に受診を促す通知を行う。				【D】 成果指標 向上のための具体的な取組の実績	①日程案内、必要書類を事前郵送し個別に通知した。指定日に受診しなかった場合は再度個別に通知した。 ②両親教室を実施し、保健(福祉)センターが妊娠中から身近な相談場所であることを伝えとともに、出産後のこどもの健診や継続した相談場所であることを伝えた。15回 延257人 ③妊娠届出時に全数面接を行い、保健(福祉)センターの役割を伝えとともに、出産後のこどもの健診や継続した相談場所であることを伝えた。実人数 1,146人 ④乳児家庭全戸訪問事業を実施し、相談対応を行った。 対象数1,129家庭、実施数1,075家庭(95.2%) ⑤乳幼児健康診査の質向上のため、乳幼児健康診査従事者に研修を1回開催した。 ⑥子育て支援アプリの登録者に健康診査の受診を促す通知をした。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
【P】 活動指標	乳児家庭全戸訪問事業訪問実施率				%	93.0	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報酬	9,215,000				報酬	7,975,300				
	報償費	8,700,000				報償費	8,600,000				
	旅費	344,000				旅費	184,760				
	計		18,259,000			計		16,760,060			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に比べ、受診率は向上した。4か月児健診(令和3年度 95.6%→令和4年度 95.7%)、1歳6か月児健診(令和3年度 97.5%→令和4年度 98.0%)、3歳6か月児健診(令和3年度 94.9%→令和4年度 95.9%) ・令和3年度に引き続き、コロナウイルス感染拡大防止のため、呼び出し時間を分散し、健診内容を見直すなどの工夫を行った結果、待ち時間が短縮していることも健診の受けやすさにつながり、受診率向上につながっているのではないかと推定される。 ・令和2年度はコロナウイルスが初めて感染拡大したため、訪問に抵抗がありキャンセルが増えていたが、徐々に訪問への受け入れは良くなり、令和4年度はさらにコロナを理由にしたキャンセルは減っている。(令和2年度 85.7%→令和3年度 92.0%→令和4年度 95.2%) ・妊娠届出時に全数面接を行い、乳児家庭全戸訪問事業について説明していることも、訪問の実施率向上につながっていると考えられる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<ul style="list-style-type: none"> ・健診の受診率は向上しており、健診を通して発育・発達の確認や育児に関する相談につながっている。 ・妊娠届出時の全数面接において、保健(福祉)センターの役割を伝えることや、乳児家庭全戸訪問事業等で健診の受診勧奨をしていること、指定日に受診しなかった場合の再通知等が受診率向上につながっていると考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査の必要性の啓発を継続するとともに、受診者に満足してもらえる健診を実施できるよう、内容の見直しや従事者研修等を継続し、質の向上を図る。 ・妊娠届出や乳児家庭全戸訪問事業等の機会を活用し、子育てアプリの登録を継続して促し、健康診査の受診を促す通知を行う。 ・未受診者については、状況に応じ、健診以外の方法(訪問や経過観察健診等)を実施し、健診にて把握すべき内容(児の発育状況や発達状況、保護者の心配事・不安等)を確認し、相談対応ができる機会を提供していく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	02 子どもたちの健やかな発育の支援											
成果指標 (KPI)	0202	日本脳炎、BCG、麻しん・風しんの接種率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	94.8				目標値 (R7)	97.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	86.5	94.5	97.2	92.1	93.6	94.8	77.7	97.3				達成状況
達成率							0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	健康づくり推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 主要予防接種受診率向上事業					地方創生関連交付金事業該当	-											
						和泉創発プラン該当	-											
(事前評価)	【P】事業の目的 市民に対し広く予防接種を受ける機会を提供することにより、接種率の向上や感染症罹患の機会の減少を図り、感染症の蔓延を予防する。				(事後評価)	【BCG】 対象者1,242人、接種者1,132人、接種率91.15%(前年比-14.1%) 【日本脳炎】第一期 対象者4,186人、接種者4,473人、接種率106.86%(前年比+35.97%) 【日本脳炎】第二期 対象者1,772人、接種者1,901人、接種率107.28%(前年比+73.55%) 【麻しん風しん混合(第一期)】 対象者1,247人、接種者1,177人、接種率94.39%(前年比+10.08%) 【麻しん風しん混合(第二期)】 対象者1,582人、接種者1,370人、接種率86.60%(前年度-7.64%) ※対象者数は年度当初の対象年齢の人数であることに対し、接種者数は当該年度において予防接種を受けた全員の人数であるため、実施率は100%を超える場合がある。												
(事前評価)	【P】事業の内容 A類感染症である日本脳炎、BCG、麻しん・風しんの接種率向上に向けた啓発を行う。																	
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 各予防接種について、和泉市医師会や実施医療機関と連携し、積極的な接種勧奨を行う。 ①年度当初に全実施医療機関に手引きを配布 ②医師会の理事会で予防接種取り扱い等説明 ③保健センター及び医療機関で、各予防接種のスケジュールの管理・指導を行う。 ④接種勧奨通知を、適切なタイミングで発送する。 ⑤就学前健診で個別に接種勧奨チラシを配付する。				(事後評価)	・BCG未接種者【生後9か月から10か月の時期未接種者】 毎月月初めにリストアップし、87名に接種勧奨を行った。 ・日本脳炎特例対象者 6月に未接種者1,244名に接種勧奨の個別通知を行った。 ・麻しん風しん混合【就学前対象者へのチラシ配布】 10月に対象者1,462名に各小学校で配付を行った。 ・麻しん・風しん混合【第二期接種勧奨】 1月に未接種者669名に接種勧奨の個別通知を行った。												
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値											
							R3	R4	R5	R6	R7							
	接種勧奨通知(BCG)				回	12	12	12										
	接種勧奨通知(日本脳炎的・特例)				回	1	1	1										
	接種勧奨通知(MR第2期)				回	1	1	1										
就学前検診で個別接種勧奨チラシを配布(MR第2期)				回	1	1	1											
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)									
	委託料	97,178,000	需用費	20,000		委託料	90,160,697	需用費	21,969									
			役務費	153,300				役務費	141,386									
	計		97,351,300			計		90,324,052										
	備考					備考												
【P】予算				【D】決算														

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	【BCG】 生後9か月から10か月の時期の未接種者へ個別接種勧奨を毎月継続的にを行い、引き続き接種率の増加に努めた。 【日本脳炎】 前年度のワクチンの供給不足が解消したため、1期・2期ともに前年度減少分を含むほど大幅に増加した。 【麻しん・風しん混合】 第一期については、健診時にあわせてチラシの配布を行うことで引き続き接種率の増加に努めた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	BCGと麻しん・風しん混合予防接種については、接種勧奨チラシの個別配布やホームページでの周知により、例年に近い接種率を保つことができた。 日本脳炎については、前年度のワクチン供給不足解消のため、接種率が向上した。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	国からの通知に基づき、タイムリーに接種勧奨を行っていく。 麻しん風しん(MR)についてはより接種率の向上をめざし、令和5年度はいずみメールやいずまるアプリを活用して発信していくことを検討する。 近隣市町との感染症の啓発に関する情報共有や、厚生労働省や大阪府からの感染症サーベイランス(発生動向調査)情報を基に、ホームページ等で感染症情報の発信を迅速に行っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	02 子どもたちの健やかな発育の支援											
成果指標 (KPI)	0203	こども医療費助成の対象年齢拡大									指標の単位	
	基準値 (R2)	(通院・入院) 中学3年生まで				目標値 (R7)	(通院・入院) 年度末年齢18歳まで				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	(通院) 小学6年 生まで (入院) 中学3年 生まで	(通院) 小学6年 生まで (入院) 中学3年 生まで	(通院・ 入院)中 学3年生 まで	(通院・ 入院)中 学3年生 まで	(通院・入 院)中学3 年生まで	(通院・入 院)中学3 年生まで	(通院・入 院)年度末 年齢18歳 まで	(通院・入 院)年度末 年齢18歳 まで				達成状況
	達成率						100.0%	100.0%				
備考												
担当課	子育て支援室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 こども医療費助成事業				地方創生関連交付金事業該当				-			
					和泉創発プラン該当				○			
(事前評価)	【P】事業の目的 子どもの健やかな成長の支援と子育て世帯の経済的負担の軽減を目的とする。				(事後評価)	【令和4年度の助成実績】 通院(年度末年齢18歳まで) 対象者数 28,502人 件数 325,288件 助成額 580,353,209円 入院(年度末年齢18歳まで) 対象者数 28,502人 件数 1,953件 助成額 86,495,505円 合計 327,241件 666,848,714円						
(事前評価)	和泉市に住所のある子どもに対し、医療費の一部助成を行う。 【一部自己負担金】 1つの医療機関について、2回目の受診まで自己負担額を1日500円とし、3回目以降は無料とする 【対象者】 年度末年齢18歳											
(事前評価)	【P】事業の内容 年度末年齢18歳までを対象に、こども医療証を発行する。 ※令和3年4月から入通院医療費助成の対象年齢の拡大(年度末年齢18歳)、入院時食事療養費の助成廃止を行った。				(事後評価)	【D】事業実績 年度末年齢18歳までを対象に、こども医療証を発行する。 ※令和3年4月から入通院医療費助成の対象年齢の拡大(年度末年齢18歳)、入院時食事療養費の助成廃止を行った。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値					
	こども医療証発行数				枚	28,932	29,028	28,502				
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	扶助費	728,499,000	役務費	22,330,000		扶助費	666,848,714	役務費	20,832,092			
	委託料	24,000	需用費	534,000		委託料	0	需用費	333,051			
						返還金	0					
	計		751,387,000			計		688,013,857				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	令和3年4月診療分より、入通院医療費助成対象を中学3年生から年度末年齢18歳に拡充し、医療費助成を行うことができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	令和3年4月診療分より、入通院医療費助成対象を中学3年生から年度末年齢18歳に拡充し、医療費助成を行うことができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き、医療費助成を行い保護者の経済的負担軽減を図ることで、子どもが経済的理由により必要な医療を受けることができないことがないよう支援する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	02 子どもたちの健やかな発育の支援											
成果指標 (KPI)	0204	保育コンシェルジュ開設日数									指標の単位	日
	基準値 (R2)	166				目標値 (R7)	243				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					166	166	224	227				達成状況
達成率							75.3%	79.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	こども未来室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 利用者支援事業				地方創生関連交付金事業該当				-			
					和泉創発プラン該当				-			
(事前評価)	保護者等のニーズにあわせ、多様な教育・保育施設、地域の子育て支援、保育サービス事業等を適切に結びつけ、必要な支援を行うことを目的とする。				(事後評価)	○相談件数 412件 【相談内容】 発育発達に関すること 2件 保育に関すること 400件 仕事に関すること 1件 育児に関すること 4件 その他 5件						
(事前評価)	子育て世代の保護者等に教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じた相談・助言を行う。											
(事前評価)	①子育てに関する様々な不安や悩みに対する助言を行う。 ②地域の子育て支援に関する情報提供を行う。 ③親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行う。				(事後評価)	①②子育てに関する保護者等の様々な不安や悩みを聞き、地域や子育て支援に関する情報提供(子育て支援センターなどの案内)等を行った。 ③親子の心身の状況や養育環境(保育所等の入所手続き方法等)の把握や助言を行った。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	年間相談件数				件	180	365	412				
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	報酬	2,329,200				報酬	2,388,000					
	職員手当	312,435				職員手当	323,985					
	共済費	434,935				共済費	423,058					
	計		3,076,570			計		3,135,043				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	地域で行っている様々な子育て支援の情報等の内容把握に努め、子育て世帯に対し、情報提供(広報いずみ、市ホームページ等)を行うことで、活動指標の目標を達成することができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	個々の子育ての悩みや療育状況を具体的に把握し、的確なアドバイスを行うことができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き、子育て支援に関する制度改正等の内容を把握し、広報いずみや市ホームページ、市内の子育て支援センター等で情報発信を行っていくとともに、子育てに関するオンライン相談(子育てに対しての助言・子育て相談全般)等を行っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	02 子どもたちの健やかな発育の支援											
成果指標 (KPI)	0205	年間保健指導数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	15,085				目標値 (R7)	15,500				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	12,496	11,776	12,525	13,707	15,176	15,085	16,128	16,336				達成状況
達成率							100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	健康づくり推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 母子健康教育相談・訪問指導事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的				事業実績	・妊娠期から出産、育児をしている対象者に、保健師・栄養士・歯科衛生士などが面接や電話、訪問にて相談を実施した。 面接：延10,088件、電話：延4,332件、訪問：延1,916件					
(事前評価)	【P】事業の内容					・乳児期の親子が参加できる教室や相談交流会、訪問を実施し、育児の孤立化を防ぐとともに、専門職が相談に応じることで、育児の軽減を図ることができた。 教室延107人、相談交流会延810人、訪問延131件					
						・出産後、不安の高まる時期に乳児家庭全戸訪問事業を行い、子育てに関する情報提供だけではなく、保護者の育児についての状況把握を行い、保護者への傾聴や助言等を行った。訪問を実施できていない家庭には、面接や電話での相談対応を行った。 訪問家庭数：1,075家庭、実施率95.2%					
						・家族等から支援が受けられず、心身の不調や育児不安や負担がある、4か月未満の乳児の家庭へ、産後ケアの利用を促すことで、母子が安心して子育てができるように支援を行った。 利用回数 宿泊：延129回、日帰り：延18回					
						・子育て応援アプリ登録者に子育て情報を通知した。					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績					
	支援が必要な乳幼児・保護者を早期に把握し、必要な支援や今後の相談・指導につなげるため、下記の取組を実施する。 ①妊娠届出時に、保健師等の専門職が全数面接し、妊娠前から子育て期の相談機関としての保健（福祉）センターの役割を周知 ②産前産後サポート事業の実施 ③出産後初となる全乳児を対象とした乳児家庭全戸訪問事業において、適切な相談対応を実施 ④産後ケア事業の実施 ⑤子育てアプリを活用した、市民が子育てしやすい環境の整備、充実				妊娠からの相談機関としての周知を図るため、妊娠届出時に全数面接を行い、相談機関の役割を伝えた。 届出時の面接：実1,146人、転入で把握した妊婦の面接：103人						
					出産後は、乳児家庭全戸訪問事業を実施。初回訪問後は、相談ニーズに合わせて保健師や助産師による訪問を行うことで、必要な支援や今後の相談指導につなげた。 乳児家庭全戸訪問事業：1,075家庭 産前産後サポート事業 あかちゃんくらぶ参加者数：延810人、サポート訪問：131人 乳児期親子教室参加者数：延107人						
					家族の支援を得ることができない4か月未満の家庭については、産後ケアを通して産科医療機関と連携し、母子の育児についての不安の軽減を図った。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
【P】活動指標	いずまるあかちゃんくらぶ延参加者数				人	350	R3	R4	R5	R6	R7
							509	810			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報酬	10,281,000				報酬	9,317,645				
	報償費	1,664,000				報償費	737,500				
	旅費	275,000				旅費	122,640				
	計			12,220,000		計				10,177,785	
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	活動指標である相談交流会はR3年度と比較し、参加者数が増加したため面接延人数が増加している。 また乳児家庭全戸訪問数もコロナを理由にキャンセルする家庭が減少し実施率は上昇した。 乳児家庭全戸訪問事業実施率／令和3年度:92.0%→令和4年度:95.2% 保健指導数／令和3年度:16,128件→令和4年度:16,336件 【保健指導数の内訳】 訪問指導数:令和3年:1,647人→令和4年度:1,916人 個別相談(面接)／令和3年:9,659人→10,088人 個別相談(電話)／令和3年:4,822人→4,332人
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	妊娠届出時の全数面接で、保健(福祉)センターの役割を伝えることで、相談機関であると周知することができる。保健指導数は増えており身近な相談先であることの認識がされていると考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き、妊娠届出時より、保健(福祉)センターの役割を伝えていくことで、相談機関であることを周知していく。また、相談交流会等実施し、育児の孤立化を防ぐとともに、専門職が相談に応じることで、育児の軽減を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進												
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり												
重点施策	03 きめ細やかな子育てサポート体制の充実												
成果指標 (KPI)	0301	ふたば・第2ふたば幼児教室の待機児童数									指標の単位		人
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)		0			総合戦略 該当		○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	41	0	0	0	0	0	0	0				達成状況	
達成率							100.0%	100.0%					
備考													
担当課	子育て支援室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 ふたば・第2ふたば幼児教室運営事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	発達に課題や気がある子どもを対象に、遊びを通して、日常生活に必要な基本的能力の発達を援助する。				(事後評価)	【親子教室実施実績】 ○ふたば幼児教室 1歳児以下 週1回・最大3クラス 年123回 2歳児以上 週2回・最大4クラス 年315回					
(事前評価)	保護者が言葉や発達課題がある子どもの特性を理解し、子どもが基本的な生活習慣を身につけるなかで、子どもの自尊心を育てる。 子どもとのかかわり方や遊び、進路について、保護者と一緒に考えたり、保護者同士の交流を深めるきっかけ作りを行う。					【D】事業実績 第2ふたば 1歳児以下 週1回・最大3クラス 年104回 2歳児以上 週2回・最大4クラス 年383回 【ふたば幼児教室利用者数】 ふたば 年間(実) 53人 第2ふたば 年間(実) 57人					
(事前評価)	各教室で、教室数の増加等に取り組み、待機児童を解消する。				(事後評価)	保護者支援の充実を図るために、2歳以上クラスは通室回数を週2回に増加し、専門職による学習会を定期的に実施した。 クラスを増加した際は、必要時クラスの変更も実施する(保護者の意向確認)。 年度途中で卒業する児を早期に把握する。 長期欠席者などの対応について保健(福祉)センター保健師と共有し、一定期間定員を増員するなどの対応を図る。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
【P】活動指標	ふたば・第2ふたば親子教室実施回数				回	200	R3	R4	R5	R6	R7
							984	925			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	共済費	3,838,000	報酬・手当	17,038,000		共済費	2,576,000	報酬・手当	16,190,000		
	報償費	1,361,000	旅費・需要費	975,000		報償費	1,143,000	旅費・需要費	871,000		
	役務費	284,000	借上料	29,000		役務費	70,000	借上料	21,000		
	計		23,212,000			計		20,871,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	利用者数の減少や通室期間の短期化から保護者支援の充実のため通室回数を増加したが、クラス数を増加することで、待機児童なく実施することができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	クラス数を増加することで、待機児童なく開催できた。 これまで希望者のみ実施してきた保護者向けの学習会を親子教室のプログラムの中で複数回開催することで保護者支援の充実を図った。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	就園前の発達支援において、より効果的な教室運営を行うため、2歳児以上クラスについては、週2回通室できるようクラス編成を工夫する。 満3歳児で就園する児童の増加に伴い、通室期間が短くなる傾向があることから、親子ともに就園に向けた準備ができるよう親子教室等の内容の工夫に継続して取り組む。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進													
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり													
重点施策	03 きめ細やかな子育てサポート体制の充実													
成果指標 (KPI)	0302	児童虐待等の養育課題が見られる児童のうち状況が安定し支援を終結した児童数								指標の単位		件		
	基準値 (R2)	525				目標値 (R7)		450			総合戦略 該当		-	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	252	361	588	763	682	525	569	423				達成状況		
達成率							100.0%	100.0%						
備考														
担当課	子育て支援室													

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 子育てなんでも相談事業				地方創生関連交付金事業該当				-			
					和泉創発プラン該当				-			
(事前評価)	【P】事業の目的 虐待を受けている子どもをはじめとする要保護児童等(児童福祉法に規定される支援対象児童等)の早期発見や適切な支援を行う。				(事後評価)	【D】事業実績	【令和4年度の実績】 子ども家庭総合支援拠点を開設、要保護児童等だけではなく、ヤングケアラーをはじめとした養育環境に気がかりのある児童への支援体制や関係機関における連携のあり方について検討した。 ○虐待相談受理件数【419件】 ○要保護児童対策地域協議会代表者会議【1回】 ○要保護児童対策地域協議会実務者会議【20回】 内訳:実務検討会議【12回】 進行管理会議【8回】 ○個別事例検討会議【98回】					
(事前評価)	【P】事業の内容 市民や学校等からの児童虐待相談等に対応するため、児童福祉法に規定されている要保護児童対策地域協議会(関係機関による支援のネットワーク)を設置、その調整機関として、虐待相談等に適宜対応するとともに、構成機関の代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議等を開催し、要保護児童等に対し、適切な支援を実施する。											
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①児童虐待への早期対応 ・通告受理後48時間以内の安全確認の実施及び保護者指導 ②支援対象家庭への継続指導 ・家庭訪問による、支援対象の児童の保護者への助言指導 ③児童虐待の要因の一つである子育て負担感軽減のための支援 ・家庭訪問支援員による育児支援家庭訪問事業 ④担当者の専門性の向上および対応力強化				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	【令和4年度の実績】 ①児童虐待通告受理件数及び安全確認実施件数 児童虐待通告受理件数【214件】 48時間以内の安全確認実施件数【213件】 うち保護者への指導等直接支援した件数【100件】 ②家庭訪問による指導助言実施件数【209件】 ③育児支援家庭訪問実施件数【77件】 ④児童家庭相談担当者スキルアップ研修への参加【11日を1人】					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	【P】活動指標 家庭訪問による指導助言実施件数				件	200	133	209				
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	4,809,000					委託料	563,200				
	報償費	416,000					報償費	244,800				
	計		5,225,000				計		808,000			
	備考						備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	学校や認定こども園・保育所等における児童のモニタリングを継続するとともに、要保護児童対策地域協議会としては必要に応じて個別事例検討会議を適宜開催している。それにより、関係機関との効果的な連携及び情報共有が図られるとともに、支援方針決定に向けての協議が必要なタイミングで実施できていると考えられる。これら連携を通じた児童虐待の早期発見・早期対応の結果が、虐待の重症化を予防、かつケースの終結につながっていると推察される。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	学校や認定こども園・保育所等における要保護児童等のモニタリングは、児童虐待通告受理及び初動の対応以降の経過について、的確に状況を把握するための非常に有効な手段となる。このモニタリングを通して得た情報を基に、要保護児童対策地域協議会において多機関によるリスクアセスメント及びリスクマネジメントを行うことが、児童虐待の重症事例の発生予防にとっては必要不可欠であり、成果指標の達成継続に向けて今後も事業継続が求められる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	要保護児童対策地域協議会における要保護児童等のモニタリング及び個別事例検討会議等を通して、適切な支援を継続していくためには、関係機関における密な連携だけでなく、子育て支援室の専門職の直接的支援が必要である。このような取組みが児童虐待の重症化を防ぐとともに、子ども家庭総合支援拠点の業務として、児童虐待通告受理及び指導等の対応だけでなく、妊婦を含む虐待ハイリスク群への相談支援による児童虐待の発生予防に向けた取り組みについても継続していく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	04 地域で安心して子育てができる仕組みづくり											
成果指標 (KPI)	0401	地域子育て支援事業の1日当たりの利用者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	162				目標値 (R7)	300			総合戦略 該当	-	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	243	309	320	324	287	162	139	140				達成状況
達成率							0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	子育て支援室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 地域子育て支援拠点施設事業				地方創生関連交付金事業該当		-							
					和泉創発プラン該当		-							
(事前評価)	【P】事業の目的 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。				(事後評価)	利用者数 (地域子育て支援センター) 子育て支援センターぶらんこ 2,352人 地域子育て支援センターハッピーランド 1,294人 認定こども園ひかりGreenWell子育て支援センター 1,366人 認定こども園横山きのみ保育園子育て支援センターおひさま 300人 クレアール子育て支援センター 596人 合計 5,908人								
(事前評価)	【P】事業の内容 在宅子育て世帯の乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。					【D】事業実績 (いずみ・エンゼルハウス) いずみ・エンゼルハウス鶴山台 5,515人 いずみ・エンゼルハウス府中 7,823人 いずみ・エンゼルハウス和泉中央 4,821人 いずみ・エンゼルハウス青葉台 9,384人 合計 27,543人 【子育てサークルの利用実績】134人								
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 子育て中の親子に対し、支援センターの開放、親子教室(製作・絵本の読み聞かせ・歯磨き指導・リトミック等)を開催するほか、子育て相談(情報提供・助言等)、子育てサークル支援の啓発(支援センター掲示板にパンフレットの設置・案内チラシの配布)等を行い、子育て支援の充実を図り利用者の増加に取り組む。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 子育て中の親子に対して、「広報いずみ」や「いずみメール」等を活用して、子育てに関する情報を発信した。 また、子育てする親のニーズにあわせた講座を開催し、子育て支援の充実を図るとともに、「いずみ子育てガイド」を配信するなどし、子育てに関する情報を発信した。								
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値							
							R3	R4	R5	R6	R7			
	【P】活動指標 地域子育て支援拠点設置箇所数				箇所	9	9	9						
(事前評価)	内訳		金額(円)		(事後評価)		内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	報酬・共済		6,848,000				共済・賃金・交通費		6,924,263		需用費		502,109	
	役務費		177,000				役務費		64,996		委託料		26,000,000	
	使用料・賃借料		3,304,000				使用料・備品購入費		3,384,440		負担金補助		24,504,000	
	計		65,513,000				計				61,379,808			
	備考						備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	新型コロナウイルス感染症流行の影響により、年間実績は前年度と同程度でしたが、子育て世代の親子(利用者)に対して広報いずみや案内チラシで周知・啓発を行ったことで、親子教室・センター開放(センターで自由に遊んだり、情報交換をする場)への参加を促すことができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	子どもの年齢に応じた子育て相談や講座等を「支援センターぶらんこ」等で開催し、子育て世帯のニーズにあわせた支援を行った。 また、各関係機関(保健センター、子育てサークルネットワーク推進協議会等)と会議を開催し、啓発・周知に対しての情報交換等を行い、SNSの配信やこんにちは赤ちゃん訪問等での啓発に取り組むことができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き、関係機関と定期的に会議を開催し、子育てに関する情報交換を行うと同時に、子育て世代への利用促進の啓発・周知を関係機関等に行う。 また、情報交換した内容を含め、子どもの年齢に応じた子育て支援(子育て相談・子育て講座・子育て教室等)や子育てイベント等を通じて親同士が交流できる場(親学習・親子教室・講師による講座・父親参加による活動・異年齢交流など)の提供を行い、子育ての支援の充実を図っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進											
節		第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策		04 地域で安心して子育てができる仕組みづくり											
成果 指標 (KPI)	0402	地域主催の教育講演会・イベント及び見守り活動等への参加者数									指標の単位		人
	基準値 (R2)	4,163				目標値 (R7)		14,000			総合戦略 該当		-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	10,538	11,893	15,361	15,568	17,329	4,163	4,281	7,667				達成状況	
達成率							1.2%	35.6%	0.0%	0.0%	0.0%		
備考													
担当課		学校教育室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 我が町の子どもを育てよう事業				地方創生関連交付金事業該当		－							
					和泉創発プラン該当		－							
(事前評価)	子どもの「生きる力」を育成するため、学校・家庭・地域が協働する教育コミュニティを形成し、社会総がかりで輝く和泉の子どもを育む環境をつくる。				【P】事業の目的	市内全10中学校区の地域教育協議会が実施した取組みに対して補助金を交付した。 (各校区の取組み) 令和4年度 教育講演会・イベント等の参加者数 7,667人								
(事前評価)	各中学校区に設置された地域教育協議会が実施する教育コミュニティづくりの推進に向けた取組みに対して補助金を交付する。 (主な取組み内容) 講演会・イベントの開催、見守り活動等												【D】事業実績	
(事後評価)	【D】事業実績				・事務局会議、実行委員会(10中学校区) 876人 ・教育講演会(2中学校区) 200人 ・見守り活動(6中学校区) 1,544人 ・あいさつ運動(4中学校区) 1,025人 ・花いっぱいプロジェクト(1中学校区) 300人 ・地域清掃活動(3中学校区) 930人 ・イベント(6中学校区) 2,772人 ・休日体験教室(1中学校区) 20人									
(事前評価)	①和泉市地域教育協議会連絡会で各地域の取組み状況を共有し、活動の幅を広げる。 ②子どもの登下校の見守りとあいさつ運動を、全校区でさらに推進できるよう、各校区の地域教育協議会に働きかける。				【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①新型コロナウイルスへの配慮から、和泉市地域教育協議会連絡会を书面開催にて実施した。令和4年度における各中学校区地域教育協議会が実施した取組みについて冊子として集約し、発行することで取組み状況の共有を図った。 ②あいさつ運動・見守り活動時に使用するのぼり旗を作成し、配付。運動の周知を進めることができた。								
(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績													
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値							
							R3	R4	R5	R6	R7			
	登下校の見守り活動にかかわる人の延べ人数				人	45,000	34,067	33,860						
(事前評価)	内訳		金額(円)		【D】決算		内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	補助金		3,325,000				補助金		3,325,000					
	計		3,325,000				計				3,325,000			
	備考						備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
	(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	
	②前年度より向上	新型コロナウイルス感染拡大の傾向が改善に転じたこともあり、徐々にではあるが、従来の取組みが配慮のもと再開されたことから、成果指標の数値としては前年度比で上昇した。
	事業の評価	評価理由
	(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	
	②効果的だった	補助金が各地域教育協議会の主体的な活動の支えとなっている。地域の実情や課題を捉えた講演会や各種イベント、活動が実施されるとともに、事務局会議等では、できること、すべきことについて検討を重ねるなど、地域で子どもたちを育てる風土の醸成が進んでいる。 依然コロナ禍であったことを踏まえると、成果指標の前年比での数値の上昇は各地域教育協議会の創意工夫と活動への理解が深まっているものと評価する。
	事業の方向性	今後の事業展開
	(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	
	①継続	活動費の補助を継続することで、各校区で実施されている取組みを確実に保証していく。 全10中学校区の取組みについて情報共有を深めることで、他の中学校区の好事例に学び、各校区の取組みの充実を図る。 市教委からも適宜助言を行うなど側方支援によりイベントや活動の企画・運営の充実を図る。

取組事業	1 小中一貫教育推進事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価)	学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む、「地域とともにある学校」への転換を図り、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。				(事後評価)	・南松尾はつが野学園での学校運営協議会を年3回(6月22日、10月18日、3月10日)実施した。学校教育自己診断の分析などを通して学校の運営に関して熟議するとともに、地域と連携した取組みを実施することができた。 ・学校教育自己診断の「学校は保護者・地域とともに歩む開かれた学校になっていると思う。」に対する保護者の肯定的な回答は88%となった。(令和3年度85%) ・槇尾中学校区にて学校運営協議会研究推進委員会を発足させ2回(12月8日、3月20日)の会議を実施した。					
(事前評価)	南松尾はつが野学園で、年5回の学校運営協議会を実施する。 全校区のコミュニティ・スクール設置に向けて、(仮称)槇尾学園においてコミュニティ・スクールの研究推進委員会を発足する。										
(事前評価)	①南松尾はつが野学園において、コミスク実践報告会を実施し、市内各中学校区へ取組みを広める。 【P】成果指標向上のための具体的な取組 ②(仮称)槇尾学園の開校準備委員会を活用して、研究推進委員会を発足する。 ③コミュニティ・スクールについて、地域や保護者に周知を図る。				(事後評価)	①「和泉市地域とともにある学校づくり研修」を南松尾はつが野学園で実施し、コミュニティ・スクールの取組みを広める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止することとなった。 ②槇尾中学校区にて学校運営協議会研究推進委員会を発足し、2回の会議を実施した。 ③槇尾中学校区、富秋中学校区における新校開校に向けた学校開校準備委員会を活用し、コミュニティ・スクールの制度や地域と一体的に学校運営を行う体制づくりに向け周知を図った。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	学校運営協議会または学校運営協議会推進委員会の会議開催校区数				校区	2	1	2			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報酬	100,000				報酬	64,000				
	報償費	40,000				報償費	8,000				
	計		140,000			計		72,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナウイルス感染拡大の傾向が改善に転じたこともあり、徐々にではあるが、従来の取組みが配慮のもと再開されていったことから、成果指標の数値としては前年度比で上昇した。 コミュニティ・スクールである南松尾はつが野学園では、コロナ禍への配慮のもと創意工夫を凝らし、地域と連携した取組みを実施した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	南松尾はつが野学園学校運営協議会では、コーディネーターを中心に、コアメンバーによる少人数の会議にて行事等の骨子を固めた後、役員会議や全体会議を行うなど、コロナ禍においても取組みを継続、充実させられるよう組織的な運営がなされていた。 槇尾中学校区においては、学校運営協議会研究推進委員会を発足させ、地域教育協議会やPTAとの連携体制の強化による学校教育の充実に向けた会議を2回実施し、次年度に向けた準備を進めることができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	③拡大	令和5年度からは、南松尾はつが野学園、槇尾中学校区を除く全ての中学校と富秋中学校区(3校合同)で学校運営協議会研究推進委員会を発足させ、令和6年度の学校運営協議会発足に向けた協議を行う。また、各校・各校区の間では、校長会等で情報共有を行い、取組み内容を共有するとともに令和6年度からの全小学校での学校運営協議会研究推進委員会の円滑な発足につなげる。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	04 地域で安心して子育てができる仕組みづくり											
成果指標 (KPI)	0403	放課後子ども教室の実施校区数									指標の単位	校区
	基準値 (R2)	11				目標値 (R7)	21				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	15	21	21	21	21	11	10	11				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	こども未来室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 放課後子ども教室推進事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価) 【P】 事業の 目的	放課後や週末等に、安全で安心な子どもの活動場所を確保するとともに、地域のボランティアの方々の参画・協力を得て、子どもの体験・交流活動等の活性化を図ることにより、地域社会全体で子どもの豊かな成長を育む教育コミュニティづくりを推進する。				(事後評価) 【D】 事業実績	コロナの影響が残っていたが、活動を再開する校区もあり、バスケットボール、ソフトボールなど活動内容も徐々にコロナ前の状況に戻ってきた。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	市から放課後子ども教室の実施を委託された各小学校区の実行委員会もしくは市が、小学校区の実情に合わせてスポーツや文化活動、体験活動等地域の特色を活かした様々な活動を行い、地域における子どもの居場所づくりを行う。 【対象】主に実施小学校区の小学生										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	全小学校区での事業実施を継続するため、大阪府教育庁の紹介する企業・団体による活動プログラム等を活用する。 【市が事業実施する予定校区】和気、伯太、いぶき野、南松尾はつが野、黒鳥、池上、鶴山台北				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	民間企業プログラムを利用することで、自分達では体験できないような分野の活動も体験することができ、活動内容に幅を持たせることができた。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	府の企業等プログラムを活用して実施した校数				校区	5	1	1			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報償費	1,958,000	使用料	15,000		報償費	1,205,200	使用料	7,250		
	需用費	471,000				需用費	229,681				
	委託料	1,183,000				委託料	762,157				
	計		3,627,000			計		2,204,288			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	コロナの流行から月日がたち、コロナ対策も浸透したことで放課後子ども教室も安心して実施できるようになったことから前年度より実施校区が1増えた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	目標とする21校区での実施は叶わなかったが、前年度より実施校区が増えたことはよかった。また、民間企業プログラムを利用し、体験できる幅が広がったことは事業として効果があった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	目標とする21校区での実施に向けて、コロナで実施を自粛していた校区で再開できるように働きかけを行っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	05 子育てと仕事の両立支援体制の充実											
成果指標 (KPI)	0501	保育所等利用待機児童数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	51				目標値 (R7)	0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	27	44	56	44	72	51	15	16				達成状況
達成率							70.6%	68.6%				
備考												
担当課	こども未来室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 民間保育所等整備補助事業				地方創生関連交付金事業該当					-	
					和泉創発プラン該当					-	
(事前評価)	民間保育所等の保育環境の充実を図るため、施設を増改築した際の費用を補助することで待機児童の解消を図る。				(事後評価)	【D】事業実績	【令和4年度の整備実績】 ○認定こども園さいわいこども園の改築 令和4・5年度の2か年事業 保育定員120名(改築前120名) 補助金額106,581,000円(35%分を支払) ○みなまつ保育園分園の創設 保育定員30名(創設) 補助金額129,475,000円				
(事前評価)	施設の老朽化により改築等が必要な民間保育所等に対し、その費用の一部を補助し、保育環境の充実を図る。										
(事前評価)	①双百合幼稚園改築事業補助金の交付(令和2年度からの継続事業) ②信太保育園大規模修繕事業費補助金の交付				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	○認定こども園さいわいこども園 老朽化への対策としての改築。保育定員の変更はなし。 ○みなまつ保育園分園 分園として保育定員が30名増加。				
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	建築・改築・新設等の実施園数				園	2	2	2			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	補助金	273,099,000					補助金	236,056,000			
	計		273,099,000				計		236,056,000		
	備考						備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
	(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	
	④前年度より減少	前年度よりも待機児童は増加したが、保育定員増加のための取り組みの実績はある一定効果を上げている。
	事業の評価	評価理由
	(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	
	②効果的だった	みなまつ保育園の分園の開園に向け、準備を整えることが出来た。
	事業の方向性	今後の事業展開
	(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	
	①継続	本市では、現在においても待機児童が発生しており、今後も保育ニーズの高まりが継続し、さらに待機児童が増加することも予想される。本事業を継続的に進め、待機児童の減少・解消に向けて取り組む。令和5年度は「ひばり幼稚園」の認定こども園化に伴う改修と、「認定こども園さいわいこども園」の改築(2か年目)、「認定こども園和泉チャイルド幼稚園」の大規模修繕が予定されている。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり											
重点施策	05 子育てと仕事の両立支援体制の充実											
成果指標 (KPI)	0502	留守家庭児童会の待機児童数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	0	0	0	0	0	0	0	0				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	こども未来室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 留守家庭児童会運営事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価)	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学1年生から6年生の児童に対し、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る。				【D】事業実績	令和4年度の利用者数の実績					
【P】事業の目的											
(事前評価)	市内19小学校・義務教育学校(幸・南横山除く)において、以下のとおり、留守家庭児童会を開設する。 【開設日】原則日祝日年末年始を除く日 【開設時間】平日)放課後～19時 土曜日長期休暇等)8時～19時				【D】事業実績	令和4年度の利用者数の実績					
【P】事業の内容											
						クラブ名	クラス数	定員(人)	利用者数(人)		
						国府	4	160	122		
						信太	3	114	105		
						鶴山台南	2	76	43		
						鶴山台北	2	80	63		
						黒島	3	120	100		
						緑ヶ丘	4	156	121		
						芦部	3	118	77		
						伯太	3	119	79		
						池上	2	76	34		
						和気	4	160	117		
						北池田	3	119	108		
						北松尾	4	157	139		
						光明台南	2	78	46		
						光明台北	2	80	50		
						いぶき野	6	240	181		
						横山	1	39	24		
						南池田	3	118	73		
						青葉はつが野	7	280	234		
						南松尾はつが野	4	154	106		
						合計	62	2,444	1,822		
						※R5.3.1現在					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 年々増加する留守家庭児童会の入会希望者に対応するため、クラス数を増設する。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 前年度に入会児童数の推計を算出し、2クラスを増設したことで、年間を通して待機児童が発生することなく運営できた。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
【P】活動指標	留守家庭児童会の開設クラス数				クラス	62	60	62			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報酬	349,854,000	需用費	7,858,000		報酬	305,054,044	需用費	6,685,203		
	職員手当等	34,428,000	委託料	2,581,000		職員手当等	21,642,928	委託料	1,803,369		
【P】予算	共済費	54,853,000	その他	19,239,000		共済費	31,317,039	その他	22,662,205		
	計		468,813,000			計		389,164,788			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	入会児童数の推計を算出し、2クラス増設したことで待機児童が発生しなかった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	在籍児童数の推移を学校ごとに把握、推計し、適切な数のクラスを運営できるようにクラスの増減を行った結果、待機児童が発生させず事業を遂行できた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	入会児童数の推計に基づき、引き続き待機児童が発生しないように留守家庭児童会を運営する。

第1章 定住の促進

第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実

06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり

07 豊かな心を育む教育の推進

08 国際社会の中で活躍する人材の育成

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進												
節	第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実												
重点施策	06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり												
成果指標 (KPI)	0601	保育所、認定こども園、幼稚園職員を対象にした研修の参加のべ人数									指標の単位	人	
	基準値 (R2)	503				目標値 (R7)	1,200				総合戦略 該当	-	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	850	830	851	941	1,060	503	461	517				達成状況	
達成率							0.0%	2.0%					
備考													
担当課	こども未来室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 保育園・幼稚園等職員研修事業				地方創生関連交付金事業該当				-					
					和泉創発プラン該当				-					
(事前評価)	【P】事業の目的 就学までの子どもたちの健やかな育ちや小学校以降の教育との接続を踏まえた幼児教育、保育のあり方について学ぶ研修を実施し、保育・教育の質の向上を図る。				(事後評価)	【D】事業実績 【令和4年度に実施した研修】 ・幼児の発達と遊びについて ・「主体性と意欲を育てる乳児保育」 ・「自尊感情を育てる運動遊び」 ・保幼小連携「スタートカリキュラム研修」手遊び集団遊び等 ・人権を学ぶ「ぼくの宝もの」 ・「子どもたちにかかわる大人ができること～自己肯定感につながる支援～」 ・「子ども理解とは」 ・「園での気づきを支援につなぐ」 ・「未来に生きる言葉の力」～人権感覚を磨くには～ ・「保育者一人ひとりが主体となる園内研修・園づくり」 他計15回の研修を計画し、15回開催								
(事前評価)	【P】事業の内容 大学教授等を招聘し、幼児教育・保育の専門的分野に関する研修を開催する。幼児教育と小学校教育との円滑な接続のため、研修を開催する。													
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①研修内容の充実 現場で課題となっている内容や新たに学ぶべき内容を考えて企画する。 ＜研修内容(予定)＞ 保護者対応や気になる子どもの理解と支援、幼児の発達と遊び、主体性と意欲を育てる保育について等 ②職員への周知 年間研修計画配布のほか、月毎の案内、園長会等での再通知などを通して周知する。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①研修内容の充実 ・実践的な研修と大学教授等による理論的な研修を組み合わせることで、より理解を深めることができた。園の職員からの学びたいこと等、希望も取り入れながら、予定していた内容についても実施することができた。 ②職員への周知 ・年間研修計画配布のほか、月ごとの案内、園長会議、副園長会議等での再通知など呼びかけの回数を増やしている。Web研修も実施し、研修回数は令和3年度より増えた。								
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値							
							R3	R4	R5	R6	R7			
	保育園・幼稚園等職員研修開催回数				回	15	9	15						
(事前評価)	内訳		金額(円)		(事後評価)		内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	講師謝礼		480,000				講師謝礼		390,000					
	会場借り上げ		218,000				会場借り上げ		142,100					
	計		698,000				計						532,100	
	備考						備考							
【P】予算														

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>コロナ禍ではあるが、昨年度よりは対面での研修を多く実施できた。また、Web研修も実施した為、参加者の人数が増えた。</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>・昨年度計画していた「未来に生きる言葉の力」「ありのまま自分が宝もの」等の研修を開催することができた。「子どもたちにかかわる大人ができること～自己肯定感につながる支援～」 「子ども理解とは」「園での気づきを支援につなぐ」「主体性と意欲を育てる乳児保育」等実施できた研修により職員の質の向上に繋がった。</p> <p>・保幼小連携の研修についても、新型コロナウイルス感染症の流行により縮小しての開催となったが実施できた研修により連携が深まった。</p>
	事業の方向性	
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>・引き続き、保育現場の現状に即した課題解決に向けての研修、保育の質の向上を目指す研修など、今後も幅広い視点で研修の企画に取り組む。</p> <p>また、遠方の講師の研修などは、Web研修も計画開催し研修参加者を増やす。</p> <p>・認定こども園の研修参加者を増やすために、引き続き年間計画や月毎に周知したり、Web研修を取り入れたりするなど工夫に取り組む。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進												
節		第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実												
重点施策		06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり												
成果指標 (KPI)	0602	全国学力・学習状況調査の結果の平均正答率 対全国比									指標の単位			
	基準値 (R1)	小学校	0.980			目標値 (R7)	小学校	1.060			総合戦略 該当	-		
		中学校	0.914				中学校	1.010						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	小	0.947	0.958	0.938	0.969	0.980	-	0.950	0.972				達成 状況	
	中	0.970	0.945	0.932	0.943	0.914	-	0.922	0.964					
達成率	小						89.6%		91.7%					
	中						91.3%		95.4%					
備考														
担当課		学校教育室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 学力向上対策事業				地方創生関連交付金事業該当					-	
					和泉創発プラン該当					-	
(事前評価)	【P】事業の目的				【D】事業実績						
児童生徒の学習状況に応じたきめ細かな指導を通して、一人ひとりの学力向上・自学自習力の育成を図る。											
(事前評価)	【P】事業の内容										
・「学力向上サポーター」(※)を市内の小中学校に派遣し、放課後、長期休業等を活用した学習会の支援を行う。 ・「いずみ寺子屋」事業を実施し、リーダー(※)を市内の中学校に派遣し、放課後等を利用した学習会の支援を行う。 (※)元教員、大学生、地域の方々等による有償ボランティア											
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績					
①児童生徒への放課後等における学習支援において、学習室の整備及び教材等の準備を行う。 ②児童生徒との人間関係づくりや教員との連携による指導のための打ち合わせを行う。					①令和4年度は13小学校、1義務教育学校で、学力向上サポーター28人が延べ1268回活動した。また、9中学校、1義務教育学校で、いずみ寺子屋リーダー22人が延べ586回活動した。 ②放課後、長期休業中に、児童生徒の学びの状況に応じたきめ細やかな指導に活用する国語、数学(算数)、英語の教材等の準備を行い、児童生徒とともに学習を進めた。 ③学習会の中で、児童生徒との人間関係づくりを行うとともに、教員との連携を図り、児童生徒の学習意欲の向上と自学自習力の育成に努めた。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	【P】活動指標										
	学力向上サポーター活動校数				校	12	21	14			
学力向上サポーター活動回数					回	660	1,524	1,268			
いずみ寺子屋リーダー活動回数					回	350	473	586			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報償費	2,100,000				報償費(学サポ)	1,268,000				
	報償費	1,320,000				報償費(寺子屋)	879,000				
	計		3,420,000			計		2,147,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>令和3年度と比較すると、全国平均には達していないものの、小学校・中学校とも対全国比・対府比ともに数値が上昇し、着実に学習内容の習得について成果が出ている。小学生では国語、中学生では数学において無解答率が低下しており、粘り強く課題に向き合い、学習に取り組む力が身につけてきたことも成果である。</p> <p>小学校 H29～R04 正答率(対全国比)</p> <p>中学校 H29～R04 正答率(対全国比)</p> <p>小学校 教科(区分)別 無解答率 対全国差(市～全国) 経年比較</p> <p>中学校 教科(区分)別無解答率 対全国差(市～全国) 経年比較</p>
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>事業の評価</p> <p>評価理由</p> <p>・14校(小学校・義務教育学校前期課程)に対し、学力向上サポーター28人を派遣し、延べ1268回の活動を行った。また、10校(中学校・義務教育学校後期課程)に対し、いずみ寺子屋リーダー22人を派遣し、延べ586回の活動を行った。</p> <p>・授業を担当する教員との日々の連携により、児童生徒とのよりよい人間関係づくりを行うことができ、一人ひとりの学力の状況に応じた決め細やかな指導を実施することができた。</p>
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	⑤廃止	<p>事業の方向性</p> <p>今後の事業展開</p> <p>令和4年度から、いずみ希望塾の定員を450名程度から850名程度に増加させたことに伴い、学力向上サポーター及びいずみ寺子屋リーダーは一定の役割を終えたため、発展的に解消するもの。引き続き、いずみ希望塾において、「自学自習力の育成」「学習習慣づくり」「学習意欲の向上」に向けて取組みを継続実施する。</p>

取組事業	2 いずみ希望塾運営事業(学習支援・居場所づくり事業)				地方創生関連交付金事業該当					－																																																																																															
					和泉創発プラン該当					－																																																																																															
(事前評価) 【P】事業の目的	家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていなかったりする小・中学生を対象に、「確かな学力」を育成する。そのため、児童・生徒に対し、校外での学習環境を整え、学習習慣・自学自習力の定着、学習意欲や基礎学力の向上を図る。				(事後評価) 【D】事業実績	【各会場および各学年 受講者人数】																																																																																																			
	<table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">会 場</th><th colspan="4">小学生</th><th colspan="4">中学生</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>小計</th></tr><tr><td>1</td><td>北部リージョンセンター</td><td>12</td><td>14</td><td>14</td><td>40</td><td>11</td><td>12</td><td>17</td><td>40</td><td>80</td></tr><tr><td>2</td><td>青少年センター</td><td>13</td><td>8</td><td>7</td><td>28</td><td>13</td><td>10</td><td>5</td><td>28</td><td>56</td></tr><tr><td>3</td><td>和泉図書館</td><td>13</td><td>13</td><td>14</td><td>40</td><td>14</td><td>17</td><td>9</td><td>40</td><td>80</td></tr><tr><td>4</td><td>和泉シティプラザ</td><td>23</td><td>17</td><td>19</td><td>59</td><td>21</td><td>22</td><td>19</td><td>62</td><td>121</td></tr><tr><td>5</td><td>南部リージョンセンター</td><td>6</td><td>9</td><td>9</td><td>24</td><td>12</td><td>8</td><td>4</td><td>24</td><td>48</td></tr><tr><td>6</td><td>和泉市教育センター</td><td>11</td><td>10</td><td>11</td><td>32</td><td>14</td><td>12</td><td>7</td><td>33</td><td>65</td></tr><tr><td></td><td>合 計</td><td>78</td><td>71</td><td>74</td><td>223</td><td>85</td><td>81</td><td>61</td><td>227</td><td>450</td></tr></table>											会 場	小学生				中学生				合計	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	小計	1	北部リージョンセンター	12	14	14	40	11	12	17	40	80	2	青少年センター	13	8	7	28	13	10	5	28	56	3	和泉図書館	13	13	14	40	14	17	9	40	80	4	和泉シティプラザ	23	17	19	59	21	22	19	62	121	5	南部リージョンセンター	6	9	9	24	12	8	4	24	48	6	和泉市教育センター	11	10	11	32	14	12	7	33	65		合 計	78	71	74	223	85	81	61	227
	会 場	小学生				中学生				合計																																																																																															
		4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	小計																																																																																																
1	北部リージョンセンター	12	14	14	40	11	12	17	40	80																																																																																															
2	青少年センター	13	8	7	28	13	10	5	28	56																																																																																															
3	和泉図書館	13	13	14	40	14	17	9	40	80																																																																																															
4	和泉シティプラザ	23	17	19	59	21	22	19	62	121																																																																																															
5	南部リージョンセンター	6	9	9	24	12	8	4	24	48																																																																																															
6	和泉市教育センター	11	10	11	32	14	12	7	33	65																																																																																															
	合 計	78	71	74	223	85	81	61	227	450																																																																																															
(事前評価) 【P】事業の内容	市内在住で市立学校に通う小学4年生から中学3年生まで(約420名)を対象に、和泉市の公共施設6会場を利用し、民間教育事業者を活用した学習支援を実施する。				(事後評価) 【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①各会場に1名の管理者と、3名～12名のアドバイザーを配置し、学習支援を実施(児童・生徒5～6名に対して1名の配置)。加えて、参加児童生徒が取り組む問題集だけでなく、タブレット端末を1会場あたり3台、プリンター1台を用意し、個に応じた教材の提供を行った。 ②1会場あたり年間80回実施することができた。理解度確認テスト等で現状を確認しながら、児童生徒一人ひとりの習熟状況に応じた授業を展開し、基礎学力の向上を図ることができた。																																																																																																			
(事前評価) 【P】成果指標向上のための具体的な取組	①「参加児童・生徒の個別の習熟状況に合わせた学習や、ICT教材等を用いた学習指導」を行う。 ②1会場あたり全80回実施するとともに、各受講児童・生徒の出席状況や理解度確認テスト等で現状を確認する。また、一人ひとりのつまづきを把握し、改善させることで基礎学力の向上を図る。																																																																																																								
(事前評価) 【P】活動指標	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値																																																																																																		
							R3	R4	R5	R6	R7																																																																																														
	いずみ希望塾受講人数				人	420	451	450																																																																																																	
	いずみ希望塾受講回数(一人あたり)				回	80	65	80																																																																																																	
(事前評価) 【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)																																																																																																
	委託料	46,000,000				委託料	45,906,520																																																																																																		
	会場借上料	3,798,000				会場借上料	3,794,380																																																																																																		
	計		49,798,000			計		49,700,900																																																																																																	
	備考					備考																																																																																																			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>令和3年度と比較すると、全国平均には達していないものの、小学校・中学校とも対全国比・対府比ともに数値が上昇し、着実に学習内容の習得について成果が出ている。 小学生では国語、中学生では数学において無解答率が低下しており、粘り強く課題に向き合い、学習に取り組む力が身につけてきたことも成果である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="453 376 916 651"> <p>小学校 H29～R04 正答率(対全国比)</p> </div> <div data-bbox="932 376 1422 651"> <p>中学校 H29～R04 正答率(対全国比)</p> </div> </div>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>本事業初回時4月と2月での確認テストの結果(小学生は国語・算数、中学生は英語・数学の2教科合計)で、偏差値が上がった児童生徒(小学4年生～中学3年生)は、84.9%であり多くの児童生徒の学力向上につながったことがわかる。</p> <p>アンケートの結果では、①「学校以外で学習する時間が以前より増えた」という設問に対し、80%以上が肯定的な回答をしていたことから、家庭学習等の習慣が身についた児童生徒が多数いることがわかる。また、「学校で教科の授業内容が以前よりもわかるようになりましたか」という設問に対し、小学生では国語91%・89%、中学生では国語79%・数学87%が肯定的な回答だったことから、効果的であったといえる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="437 1003 783 1402"> <p>【小学生】</p> <p>①</p> </div> <div data-bbox="812 1003 1283 1402"> <p>【中学生】</p> <p>①</p> </div> </div>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	③拡大	<p>平成29年度の事業開始からの成果をふまえて、対象児童生徒は小学4年生～中学3年生とし、6会場で実施。各受講児童生徒の出席状況や理解度確認テスト等で現状を把握し、一人ひとりのつまづきを確認しながら、個々に応じたきめ細やかな学習支援を継続することにより、自学自習力や学習習慣の定着を図る。</p> <p>変更点は次の2点</p> <p>①募集定員を850名程度(令和4年度は420名)と約2倍に拡充</p> <p>②指導方法の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の習熟状況に合わせた学習指導を実施するために学習教材にAIドリル「Qubena」を活用した、より個別最適な学びになるよう対面指導を全40回実施 ・家庭学習の力をつけるため、学習履歴確認支援方式(自宅でAIドリルを自学自習し、講師がオンラインで学習履歴を確認してアドバイスメールを送信)全40回実施 ・合計80回実施

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進												
節		第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実												
重点施策		06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり												
成果指標 (KPI)	0603	年度末学校図書館調査における市の児童生徒一人あたりの年間貸出冊数									指標の単位		冊数	
	基準値 (R2)	小学校	54.9			目標値 (R7)	小学校	71.0			総合戦略 該当	-		
		中学校	8.8				中学校	16.5						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	小	70.1	70.2	70.6	69.8	65.7	54.9	62.6	57.5				達成 状況	
	中	16.0	14.8	13.1	12.1	11.7	8.8	7.9	6.7					
達成率	小							47.8%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
	中							0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
備考														
担当課		学校教育室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 小中学校図書館教育推進事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的 小中学校の図書館教育の充実を図り、読書活動に積極的に取り組むことで、知的活動の基盤となる国語能力の向上をめざす。			(事後評価)	【D】事業実績 【令和4年度における学校図書館司書の活動実績】 (配置人数)30人(市内全校に配置) (主な活動内容) ・学校図書館が児童生徒の読書活動の拠点となるよう環境を整備するとともに、読書活動の推進及び読む力の育成のための取組みを司書教諭と協力して行った。 ・授業のねらいに沿った資料を司書教諭や教員と相談して整備したり、教員主導で行う学校図書館を活用した授業において、児童生徒の学習支援を行ったりした。 ・図書館資料を活用して児童生徒や教員の情報ニーズに対応したり、指導に必要な教材・機器や授業構成等について、教員と事前に打ち合わせを行ったりした。						
(事前評価)	【P】事業の内容 専門的な知識を有する学校図書館司書を各学校に配置し、学校図書館の環境整備や学校図書館を活用した授業支援などを行うことにより、読書活動に対する意識を向上させる。										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①各学校での取組みを推進させるため、学校図書館司書連絡会や司書教諭連絡会を開催する。 ②学校図書館の活用・充実を図るための図書館活動計画を策定し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、学校図書館の利活用を図る。			(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①学校図書館支援司書連絡会を年間3回、司書教諭連絡協議会を年間2回開催した。 ②年間指導計画・全体計画を各校において作成するだけでなく、各中学校区ごとの学校図書館教育全体計画の見直しも図り、図書館教育における小中一貫教育の推進と学校図書館の活性化に努めた。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	「読書が好き」という子どもの割合(小6)				%	54					
	「読書が好き」という子どもの割合(中3)				%	40					
	子どもの不読率の割合(小6)				%	27	30	32			
【P】活動指標	子どもの不読率の割合(中3)				%	42	43	47			
	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報酬	28,050,000	旅費	1,932,000		報酬	28,383,960	旅費	1,386,898		
	期末手当	3,420,000	報償費	30,000		期末手当	3,021,988	報償費	0		
	共済費	5,861,000				共済費	5,762,758				
計		39,293,000		計		38,555,604					
備考				備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	令和3年度に引き続き、感染拡大防止を図りつつ学校図書館活用の時間を確保することはできているが、成果指標である一人あたりの年間貸出冊数が低下した。 各校での一人一台学習用端末の活用が進んだことにより、図書室を利用した調べ学習等が減少したこと、本離れが進んでいることが要因と考えられる。 社会的な本の電子化の流れも加速していく中、今後どのように読書活動を推進し、国語能力の向上につなげていくかが課題である。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	新型コロナウイルス感染拡大に加えて、社会的な本の電子化の流れは、成果指標である貸出冊数に大きな影響を及ぼしている。一人一台学習用端末の活用を推進していく中で、本離れが進んでいく可能性が高い。ただ、その中で学校図書館司書が図書館の環境整備を行ったり、学級担任や司書教諭と連携して指導にあたることで、子どもの読書活動に対する意識を向上させる取組みは、小学生の貸出冊数を見ても、一定効果があったと考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	専門的な知識を有する学校図書館司書を各学校に配置し、児童生徒への指導や図書館の環境整備を行うことにより、読書活動に対する意識を向上させるという取組みについては、引き続き実施していく。スマートフォンやデジタル通信機器の普及による読書離れも現実となっている中、中学生の読書活動に対する意識を高めていくための工夫が必要になる。そのためにも、司書教諭と学校図書館司書が協働し、子どもへ働きかけることで、読書活動への興味・関心をより一層高めることをめざす。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実											
重点施策	06 社会の変化に対応できる生きる力を育むづくり											
成果指標 (KPI)	0604											指標の単位
	基準値 (R2)					目標値 (R7)	令和7年3月完成				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
								0			令和7年3 月完成	達成状況
達成率								0.0%				
備考												
担当課	学校園管理室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 (仮称)榎尾学園整備事業				地方創生関連交付金事業該当	-					
					和泉創発プラン該当	○					
(事前評価)	○榎尾中学校区では児童生徒の減少が進み、集団教育や切磋琢磨する機会の減少等が懸念されている。 ○榎尾中学校区の教育環境の充実を図るべく、榎尾中学校、横山小学校、南横山小学校を統合し、市内全域から通学できる特認制度を継承した新たな施設一体型義務教育学校「(仮称)榎尾学園」として、現榎尾中学校敷地に新校舎を整備する。				(事後評価)	・実施設計完了…令和4年9月21日完了 ・○準備工事 (工事用出入口設置、工事事務所整備)…令和4年6月完了 ○追加敷地造成…令和4年10月完了 ○工事ヤード整備…令和4年7月完了 ○既存プール解体…令和4年7月完了 ○技術室改修工事…令和5年1月完了 ○新体育館建設工事着手…令和4年9月26日着手 ○工事監理事業者との契約締結…令和4年7月1日契約締結					
(事前評価)	○実施設計完了 ○準備工事 (工事用出入口設置、工事事務所整備) ○追加敷地造成・工事ヤード整備 ○既存プール解体 ○技術室改修工事 ○新体育館建設工事着手 ○工事監理事業者との契約締結										
(事前評価)	○定例会議にて意思疎通を図り、進捗管理や問題点の洗い出し、仕様のすり合わせを行い実施設計を進めていく。 ○学校行事と工事のスケジュールについて、学校と随時調整する。				(事後評価)	・定例会議にて、協議を行いながら実施設計を完了させ、学校行事と工事スケジュールについても調整を行った。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
	基本設計の完成率				%	100	R3	R4	R5	R6	R7
	実施設計の完成率				%	100	50	100			
	工事完成率				%	20	0	3			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	実施設計監修	17,600,000	DB実施設計	119,000,000		実施設計監修	17,600,000	DB実施設計	99,260,000		
	DB工事(除却含)	606,000,000				DB工事(除却含)	295,490,000				
	工事監理	14,900,000				工事監理	13,164,000				
	計		757,500,000			計		425,514,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	R7年開校へ向け、R4年に予定していた事業(実施設計完了、プール解体、新体育館建設工事着手等)をスケジュール通り進めることができている。 なお、活動指標「工事完成率」について出来高は「3%」にとどまるも、目標値は単純に全体の工期から「20%」としていたものであり、特に工期や開校スケジュールに影響が生じている状況ではない。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	成果指標の達成へ向け、スケジュール通り進めることができていることから効果的であったと評価する。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	R7年開校へ向け、新校舎建設工事、外構工事等を進める。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進												
節		第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実												
重点施策		06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり												
成果指標 (KPI)	0605	全国学力・学習状況調査児童質問紙「授業の内容はよく分かりますか」(小学校:国語・算数、中学校:国語・数学)の肯定的な回答の割合									指標の単位			
	基準値 (R2)	小学校	83.4			目標値 (R7)	小学校	90.0			総合戦略 該当	-		
		中学校	74.2				中学校	80.0						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	小	79.1	79.0	80.3	84.5	85.6	83.4	84.8	85.2				達成 状況	
中	70.6	72.6	68.8	73.3	74.5	74.2	77.4	76.3						
達成率	小						21.2%		27.3%					
	中						54.3%		36.2%					
備考														
担当課		学校教育室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 教職員人材育成事業				地方創生関連交付金事業該当		-			
					和泉創発プラン該当		-			
(事前評価)	【P】事業の目的 児童生徒への指導力を向上させるため、教職員の資質や指導力育成を図る。			(事後評価)	51回の公開校内研修を実施することができた。校内研究授業を公開することで、学校の枠を越えて市全体の授業改善活性化の一助となった。					
(事前評価)	【P】事業の内容 ○国、府が実施する研修、研究会等への参加費及び校内研修の実施に係る経費を補助する。 ○市教育センターにおいて、初任者研修、2年目研修等を実施する。				市教育センターにおいて、授業改善推進担当者会や初任者研修など、授業づくり等についての集合型の研修を18回実施することができた。					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 学力向上担当者を対象とし、全国学力学習状況調査の結果分析等を通して、授業改善を推進する。 授業改善・学力向上の推進のため、授業研究にかかわる指導・助言等を行う。 教職員のICT活用能力向上のため、ICT活用に係る研修を実施し、ICTを活用した授業づくりを推進する。				研修や担当者会で意見・実践の交流をすることで、さらなる授業づくりについての取組みにつなげることができた。					
(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績			授業改善推進担当者会を4回実施し、授業改善推進事業校の公開校内研修と取組み報告、STF和泉の学び研修、講師を招聘しての今求められる授業づくりについての研修等を実施した。 学校訪問については各学期に1回ずつ、計90回の訪問を行い、「STF和泉の学び育成プラン」に基づいて指導・助言を行った。 教職員のICT活用能力向上のため、年間25回の教員向け研修を実施するとともに、教職員情報共有ポータルサイト(IZUMI e シェアリング)を活用して、広く好事例を共有した。						
(事前評価)	指標の名称			単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
						R3	R4	R5	R6	R7
	授業研究にかかわる指導・助言等を行った回数			回	80	254	269			
	【P】活動指標 学力向上に向けた学校訪問実施回数			回	60	90	90			
	和泉市ICT活用アンケート「授業にICTを活用して指導する能力」4項目の肯定的な回答の割合			%	70	68	74			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	補助金	3,390,000				補助金	3,302,800			
	計		3,390,000			計		3,302,800		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析	
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	<div>算数</div> <div>数学</div> <div>国語（小）</div> <div>国語（中）</div>	
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	事業の評価	評価理由	
	②効果的だった	<ul style="list-style-type: none"> ・集合型で初任者研修を実施することで、若手教員の資質・能力の向上につながった。 ・教職員を対象にしたICT活用に係る研修を実施するとともに、教職員情報共有ポータルサイト（IZUMI e シェアリング）を活用して、市内全体で好事例を共有することができた。 ・学期に1回の学校訪問を行うことで、全クラスの授業を見学し、好事例の収集と実態把握に努めた。また、訪問の際には、授業の様子や各校が学期ごとに更新・設定する「STF和泉の学び育成プラン」の内容に基づいて指導・助言することができた。 	
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	事業の方向性	今後の事業展開	
	①継続	<ul style="list-style-type: none"> ・公開校内研修や市内教職員情報共有ポータルサイト（IZUMI e シェアリング）等の取組みの充実を図り、市全体の授業改善を推し進める。 ・STF和泉の学びプロジェクトとして市教育委員会が各学校の校内研修に積極的にかかわり、継続して子どもたちの「資質・能力」の育成をめざした授業改善や校内研修の活性化を図る。 ・各学期1回の学校訪問と合わせ、「STF和泉の学び育成プラン」の内容の充実を図り、各校の授業改善のPDCAサイクルの一助となるよう取組みを進める。 	

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進											
節		第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実											
重点施策		06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり											
成果 指標 (KPI)	0606	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「市内の体力合計点」の平均値 対全国比								指標の単位			
	基準値 (R1)	小5・男		0.96		目標値 (R7)	小5・男		1.01		総合戦略 該当	-	
		小5・女		0.96			小5・女		1.01				
		中2・男		0.98			中2・男		1.01				
		中2・女		0.98			中2・女		1.01				
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
達成 率	小5・男	0.97	0.97	0.98	0.98	0.96	-	0.97	0.95			達成 状況	
	小5・女	0.97	0.97	0.96	0.97	0.96	-	0.97	0.96				
	中2・男	0.95	0.96	0.93	0.95	0.98	-	0.98	0.97				
	中2・女	0.92	0.95	0.96	0.96	0.98	-	0.98	0.98				
	小5・男							96.0%	94.1%				
	小5・女							95.6%	95.0%				
	中2・男							96.8%	96.0%				
	中2・女							96.6%	97.0%				
備考													
担当課		学校教育室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 体力・運動能力向上事業				地方創生関連交付金事業該当		-			
					和泉創発プラン該当		-			
(事前評価)	【P】事業の目的 児童生徒の健全な心身の育成を図るため、小中学校において、児童生徒の体力向上を図る取組を推進する。			(事後評価)	【D】事業実績 ○体力向上担当者会において前年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果を共有するとともに、体力向上の取組みを進めるためのアクションプランの活用等についての伝達、検討、情報交換を行った。参加人数:30人(各学校より1人) ○体力向上事業を実施し、参加する小学校及び義務教育学校前期課程に休み時間等に短時間で使うことができる備品、消耗品を購入し、子どもの運動促進に努めた。 (購入備品・消耗品)縄跳び練習台、一輪車練習スタンド、ミニハードル、ラダートレーニングロープなど					
(事前評価)	【P】事業の内容 教職員の資質向上のため、体育にかかる研修を行い、体育科授業の充実を図る。 朝の時間や昼休み等の短時間で効果のある運動ができるよう環境整備する。									
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①教職員の体育指導の資質向上のため、和泉市小学校体育実技研修を実施する。 ②児童の心身の成長と体力向上、運動技能向上のため、小学校水泳記録会、小学校陸上競技大会を開催する。 ③小中連携した取組事例を共有し、各学校の授業改善に取り組む。			(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①大阪体育大学より講師を招き、和泉市小学校体育実技研修を実施した。参加人数:42人 ②水泳記録会(小学6年生対象)、陸上競技大会(小学6年生対象)を開催し、大会に向けた練習等を通し、子どもの体力の向上を図った。 参加人数:水泳記録会 363人、陸上競技大会 753人 ③体力向上担当者会を開催し、市内各学校間で情報を共有し体育の授業改善を図った。					
(事前評価)	指標の名称			単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
						R3	R4	R5	R6	R7
	小5男子の「体育の授業が楽しい」と回答する割合			%	73	73	71			
	小5女子の「体育の授業が楽しい」と回答する割合			%	60	59	54			
	中2男子の「体育の授業が楽しい」と回答する割合			%	47	43	50			
【P】活動指標	中2女子の「体育の授業が楽しい」と回答する割合			%	35	31	33			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	報償費	100,000				報償費	53,000			
	需用費	610,000				需用費	619,726			
	備品購入費	110,000				備品購入費	74,800			
	計		820,000			計		747,526		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
	(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	<p>コロナ禍の影響もあり、全国、大阪府と同様、和泉市においても、児童生徒の体力は低下傾向にあるが、小5・中2ともに体力合計点の平均値は、全国や府に比べて減少率大きい。要因として考えられることは、教員間の体力向上の取組みの情報交換の場が新型コロナウイルスの影響で減少したこと、また、令和2年度から水泳記録会、陸上競技大会等の市全体での体育行事が開催できなかったことによる、子どもたちの練習機会の減少も影響しているのではないかと分析している。令和4年度は、体力向上担当者会、体育実技研修、水泳記録会、陸上競技大会を再開したこともあり、次年度以降の成果指標の改善が期待できる。</p> <div> </div>
	事業の評価	評価理由
	(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	<p>②効果的だった</p> <p>○令和4年度は、陸上競技大会や水泳記録会を再開することができ、それぞれの大会に向けた練習等が活発に行われたことで、これまで以上に体力向上に向けた取組みを進めることができた。</p> <p>○参加型実技研修を実施することによって、教員が児童生徒の思考の流れを体験することができ、日々の授業に活かすことができた。また、ICT機器についても、体育の授業における個々の児童生徒に合わせた効果的な活用について検討することができた。参加者の事後のアンケートからも、感染症対策とICT活用についての実践的な知識や実施方法の理解が深まったとの意見が多く聞かれ、充実した取組みとなった。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
	(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	<p>①継続</p> <p>本事業を継続しつつ、目標達成に向けて、教員対象の体育実技研修や子どもの運動機会を増やすための環境整備をさらに充実させることで、「体育の授業は楽しい」と感じる子どもの割合を向上させる。また、各学校の体力合計点の経年変化の数値を調査、分析するとともに、効果を上げている学校の好事例を研修等を通じて共有し、各学校において実践することで、取組みの質を向上させ、目標の達成をめざす。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実											
重点施策	06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり											
成果指標 (KPI)	0607	学校給食がおいしいと感じている児童・生徒の割合									指標の単位	%
	基準値 (R2)	91				目標値 (R7)	92				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	91	90	89	90	90	91	93	93				達成状況
達成率							100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	学校園管理室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 学校給食充実事業	地方創生関連交付金事業該当				-							
		和泉創発プラン該当				-							
(事前評価)	【P】事業の目的	○児童・生徒の健全な発育のため、文部科学省が示す栄養価の基準値を参考に、栄養バランスのとれたおいしい学校給食を提供する。		(事後評価)	【D】事業実績	【献立作成委員会】 (開催日) 毎月実施(8月を除く年11回) (出席者) 和泉市学校給食会会長、献立担当栄養教諭、栄養士、各校の代表者1名、調理員代表者4名 (内 容) ・当月実施した給食の反省等 ・翌々月実施予定の献立の検討 ・その他給食に関する検討事項							
(事前評価)	【P】事業の内容	○献立作成委員会を開催し、旬の食材や行事食などを取り入れた魅力ある献立を作成する。 ○実施献立の反省や意見を出し合い、今後の献立作成に活かす。											
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組	①こんだてひとくちメモなどの発行 ②行事食の実施 ③計画的に導入を進めているスチームコンベクションオープンを活用し、食材本来のおいしさを引き出す調理を行う		(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①「こんだてひとくちメモ」、「給食ニュース」等を各家庭に配付:各11回 ②行事食の提供:8回(七夕、月見、クリスマス、冬至、正月、節分、ひな祭り、卒業お祝い) ③スチームコンベクションオープンの活用:献立に応じて積極的に活用(きつねうどんの揚げ、手作りケーキ、野菜の下処理等) ④給食だより等を通して給食室の紹介や給食に関する情報、食に関する情報を保護者等に伝え、食に関心をもってもらう一助とした ⑤献立レシピの紹介:市広報紙及び市ホームページに毎月掲載							
(事前評価)	【P】活動指標	指標の名称			単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値						
							R3	R4	R5	R6	R7		
		広報へ給食レシピを掲載			回	12		12					
		市ホームページに給食レシピを掲載			回	12		12					
(事前評価)	【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
		(小)備品購入費	8,898,000					(小)備品購入費	6,209,610				
		(中)備品購入費	1,350,000					(中)備品購入費	902,000				
		計		10,248,000				計		7,111,610			
		備考	小・中学校給食事業					備考	小・中学校給食事業				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	前年度に比べ、「学校給食がおいしいと感じている児童・生徒の割合」は若干減少。 引き続き、調理員と児童・生徒の交流、各学校の実情に応じた教科と連携した食育授業や給食時間中での食育活動を行い、子どもたちに食に興味をもたせ、食に対する正しい知識を伝えるとともに興味・関心・意欲を向上させる取り組みを続けていく。
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	事業の評価 ②効果的だった	アンケートによる「学校給食がおいしいと感じている児童・生徒の割合」が目標値の92%を上回ったことから効果的であったと評価する。 引き続き、様々な取り組みをする中で子どもたちの食に対する興味・関心・意欲を向上させる活動を取り入れる。 あわせて、学校給食は栄養バランスを重視して提供する必要があり、児童・生徒の嗜好のみに合わせた献立にできないことから、給食時間中における食育活動(献立の紹介やその食材を取り入れる意図など伝え、食に対する正しい知識、感謝の心の啓発等)を継続し、正しい食生活習慣の必要性について伝えることも重要であると考えている。
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	事業の方向性 ①継続	今後の事業展開 正しい食生活が生活習慣病の予防になるなど健康な身体づくりにも影響を及ぼすことを児童・生徒に継続的に伝えていくことが大切であると考えている。 このことから、給食時間だけでなく、特別活動や教科と関連させた食育など様々な食育活動と連携し、継続的に食に対する正しい知識、感謝の心などについて児童・生徒に伝え、子どもたちにとって給食が「おいしく楽しい時間」になるように努めていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進												
節	第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実												
重点施策	06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり												
成果指標 (KPI)	0608										指標の単位		
	基準値 (R2)					目標値 (R7)	新校舎建設工事の着工 (令和9年4月開校)				総合戦略 該当	-	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
								0			新校舎建設 工事の着工	達成状況	
								0.0%					
達成率													
備考													
担当課	学校園管理室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 富秋中学校区施設一体型義務教育学校整備事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		○				
(事前評価)	【P】事業の目的 ○富秋中学校区では、児童生徒数の減少が進み、クラス替えができないことや部活動の制限等一定の集団規模が確保されないなどの課題を抱えている。 ○富秋中学校区の課題の解消や良好な教育環境を確保するため、富秋中学校、池上小学校、幸小学校を統合し、富秋中学校敷地内に施設一体型義務教育学校を整備する。				(事後評価)	【D】事業実績 ・新校舎整備に向けたデザインビルド事業者選定支援業務の委託事業者選定 (受注者) 明豊ファシリティワークス株式会社 (契約日) 令和4年6月30日 ・デザインビルド事業者選定…令和5年3月31日公募資料完成 ・普通教室棟改修設計…令和4年11月30日完了					
(事前評価)	【P】事業の内容 ○新校舎整備に向けたデザインビルド事業者選定支援業務の委託事業者選定 ○デザインビルド事業者選定 ○普通教室棟改修設計										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ○学校開校準備委員会、富秋中学校区各校の教職員等のワークショップを開催し、これまで学校づくりに関わってきた地域住民や教職員等の意見を参考に要求水準書等を作成する。 ○要求水準書等をもとにデザインビルド事業者募集を行い、プロポーザルにて選定する。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ・学校開校準備委員会を3回開催し、地域開放を想定する学校図書館、敷地内広場の使い方等について協議を行い、要求水準書等への反映を行った。 ・事業者選定委員会を2回開催し、要求水準書等公募資料の調整を行った。					
(事前評価)	指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値			
【P】活動指標	要求水準書等の完成率				%	100	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	DB事業者選定支援業務等	47,500,000				DB事業者選定支援業務等	13,758,300				
	計		47,500,000			計		13,758,300			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	R9年開校へ向け、R4年に予定していた事業（普通教室棟改修設計、事業者選定に係る公募資料の作成等）を進めることができています。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	物価動向を見極めるため、公告時期の変更を行ったものの、R9年開校に向け事業を進めることができていたことから効果的であったと評価する。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	R9年開校をめざし、準備工事として普通教室棟改修工事を実施するとともに、デザインビルド事業者の選定及び基本設計等に取り組む。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進												
節		第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実												
重点施策		07 豊かな心を育む教育の推進												
成果指標 (KPI)	0701	自分には、よいところがあると思っている子どもの割合(全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙調査の肯定的回答に基づく)									指標の単位		%	
	基準値 (R2)	小学校	74.1			目標値 (R7)	小学校	80.0			総合戦略 該当	-		
		中学校	64.6				中学校	70.0						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	小	72.8	74.8	73.6	82.9	77.9	74.1	70.3	76.3				達成 状況	
	中	55.7	61.3	60.3	67.5	64.2	64.6	67.7	75.2					
達成率	小							0.0%	37.3%					
	中							57.4%	100.0%					
備考														
担当課		学校教育室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 豊かな心の教育推進事業				地方創生関連交付金事業該当		－						
					和泉創発プラン該当		－						
(事前評価) 【P】 事業の 目的	学校・家庭・地域の連携によって、お互いの「生命・人格・人権」を尊重し、人を思いやる心を大切にする、人間性豊かな児童・生徒の育成を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	全学校で道徳科における「豊かな心をはぐくむ授業」は実施した。コロナ禍での規制が徐々に緩和される中、一部の学校を除いて、地域の方に対して授業公開を実施することができた。							
(事前評価) 【P】 事業の 内容	学校・家庭・地域が一体となって「確かな学力を身につけた心豊かな子ども」の育成をめざし、市内全校で「豊かな心をはぐくむ授業」の公開授業を実施する。												
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①全校で「豊かな心をはぐくむ授業」を公開し、あわせて大阪府の「道徳教育推進事業」を受けている学校では、外部講師による講演や、授業に関する指導・助言を受ける。 ②和泉市道徳教育推進教師研修会において、道徳の公開研究授業や教材研究を実施することで、教員の道徳教育における資質向上を図る。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①大阪府の「道徳教育推進事業」を受けている学校において、外部講師を招聘し、授業に関する指導助言等を年間2回実施した。その際、当該の学校に通っている児童生徒の出身幼稚園と保育園の教員も参加した。 ②和泉市道徳教育推進教師を対象に、講師を招聘した研修会や協議会を年に5回実施した。							
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称					当該年度 の目標値	(事後評価) 【D】 実績値						
							R3	R4	R5	R6	R7		
	和泉市道徳教育推進教師研修会の実施回数						回	3	6	5			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)				
	報償費	240,000				報償費	150,000						
	需用費	250,000				需用費	250,000						
	会場借上料	33,000				会場借上料	0						
	計		523,000			計		400,000					
	備考					備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	R4年度はR3年度と比較して、小学生では6%、中学生では7.5%数値が上昇した。 この要因としては、「先生はあなたの良いところを認めてくれている」と感じている児童が86%、生徒が85.3%であり、自己の存在を認められることで子どもの自己肯定感が育まれたことが要因の一つと考えられる。 また、「道徳の授業で自分の考えを深めることができる」と回答した児童が86.2%、生徒が79.1%となっており、自らの考えを深めることによって、自他を認めることができるようになる等、自己肯定感の育成につながっている。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	自分には良いところがあると思っているという子どもが増えたことから、R4年度に実施した事業は効果的であった。 各学校における道徳科の授業の核となる道徳教育推進教師に対し、研修を実施することにより、各校の道徳科の授業の質の向上を図ることができた。 さらに、道徳教育の推進校においては外部講師を招聘するなど、第三者の視点を活かした研修を実施することにより、より効果を得ることができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	子どもたちの自己肯定感をはぐくむためには、家庭、学校、地域が一体となり、道徳科の授業をはじめとして様々な教育活動を通して子どもたちの成長を促すことが大切である。 そのことから、今後も道徳教育推進教師に対する研修の実施、「豊かな心をはぐくむ授業公開」の実施等を継続的に行う。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実											
重点施策	07 豊かな心を育む教育の推進											
成果指標 (KPI)	0702	小学校におけるいじめの解消率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	65				目標値 (R7)	95				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	78	95	80	69	51	65	62	65				達成状況
達成率							0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	学校教育室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 スクールカウンセラー派遣事業					地方創生関連交付金事業該当					－	
						和泉創発プラン該当					○	
(事前評価)	【P】事業の目的				【D】事業実績	【令和4年度 文部科学省における「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」】 ・いじめ認知件数 866件 ・上記のうち解消している件数 565件 【令和4年度の市スクールカウンセラー活動実績】 ・配置校 全21校 ・配置回数 各校年間70時間 (19校:7時間×10回、2校:7時間×18回) ・相談件数 2,158件(令和3年度 2,058件) ・相談人数 延べ2,909人(令和3年度 3,116人)						
(事前評価)	【P】事業の内容											
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【D】事業実績						
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績						
(事前評価)	【P】活動指標				(事後評価)	【D】実績値						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	R3	R4	R5	R6	R7	
(事前評価)	【P】活動指標				件	2,000	2,058	2,158				
(事前評価)												
(事前評価)												
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	報償費	8,701,000				報償費	8,701,000					
	計		8,701,000			計		8,701,000				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	各小学校において、軽微な事案や疑いの事案も含め、日頃の子どもたちの小さなサインを見逃さないよういじめの早期発見に努めるとともに、子どもたちへのアンケートを定期的に行うことで積極的な認知がすすみ、いじめ認知件数の増加につながった。文部科学省が定めるいじめの解消の定義として「いじめが止んでいる状態が相当な期間継続している」ことが要件となっており、1月から3月に認知したいじめに関して、解消したと判断することができないこと、被害者に寄り添ったいじめへの対応を進めていることから、解消率について目標の数値には届いていないが、認知したいじめは、スクールカウンセラー等の専門家と連携し、「チーム学校」として組織的に早期対応を行うことができています。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	スクールカウンセラーの相談件数は、前年度(令和3年度)2,058件から今年度(令和4年度)2,158件と、100件増加した。また、多職種連携の観点から、スクールカウンセラーをチーム学校の一員として位置づけ、学校組織運営についても教員と協働するなど相談対応以外の役割も大きくなっている。その中で、スクールカウンセラー連絡協議会での協議で共有した好事例等を、各校での児童、保護者、教職員の相談に活かすことができ、問題行動や不登校等の課題解決に向けた取組みが進んだ。加えて、指導主事による各配置校への訪問により、スクールカウンセラーが来室相談対応をするだけでなく、事案対応や児童観察によるアセスメント等においても学校を支援することができるようになった。また、スクールカウンセラーとの協働により、児童生徒による問題行動等の背景に寄り添う意識が教職員により一層浸透したことも大きな成果である。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	③拡大	小学校のスクールカウンセラーの日程の都合が合わない場合は、中学校配置のスクールカウンセラーが対応しているが、中学校の予約が埋まっていることも多く、相談を必要とする児童への機会確保のため、小学校のスクールカウンセラーの配置時間数の拡充が必要である。それにより、相談室における児童生徒及び保護者へのカウンセリングの充実だけでなく、教職員に対する助言・援助、校内研修会・ケース会議への参画など、取組みの更なる発展につなげる。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進												
節		第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実												
重点施策		07 豊かな心を育む教育の推進												
成果指標 (KPI)	0703	市内小中学校の不登校児童生徒数の割合									指標の単位		%	
	基準値 (R2)	小学校	12.7			目標値 (R7)	小学校	5.2			総合戦略 該当	-		
		中学校	44.9				中学校	30.5						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	小	7.0	5.3	5.5	6.2	6.9	12.7	17.4	22.1				達成 状況	
	中	34.5	41.1	30.6	34.0	37.4	44.9	54.8	60.5					
達成率	小							0.0%	0.0%					
	中							0.0%	0.0%					
備考														
担当課		学校教育室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 不登校対策・相談支援事業				地方創生関連交付金事業該当					－	
					和泉創発プラン該当					－	
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	【令和4年度の不登校児童・生徒数】 ・小学校 227人(1年14人、2年24人、3年27人、4年40人、5年50人、6年72人) ・中学校 310人(1年70人、2年130人、3年110人) 【令和4年度の事業実績】 ①教育センターカウンセリング(カウンセラー2名) ・相談件数 74件 ②発達検査(発達診断士1名) ・検査件数175件 ・公認心理師による発達検査を実施し、保護者及び担任等に子どもの状況に応じた支援措置を求めた。 ③和泉市教育センター学生等ボランティア指導員(9名) ・指導日数:115回(1回 半日) ・児童生徒が、自学自習を行う際の個別支援を行い、学習理解の定着を図るとともに、自主性や社会性を育てる活動に参加した。					
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績				
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
【P】活動指標							R3	R4	R5	R6	R7
	各学校が行うケース会議への教育センター職員の参加回数				回	20	25	30			
	適応指導教室に在籍児童生徒の学校復帰率(併用含む)				%	85.0	76	94			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報償費	3,869,000				報償費	3,840,500				
	役務費	21,000				役務費	18,900				
	計		3,890,000			計		3,859,400			
	備考					備考					
【P】予算					【D】決算						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価)	【C】 成果指標の達成状況と要因分析	<p>④前年度より減少</p> <div> <p>【小学校不登校児童数】</p> <p>【中学校不登校生徒数】</p> </div> <p>平成28年より不登校児童生徒数は増加し続けている。令和3年度と同様に本市における新型コロナウイルス感染症に関わって不登校になった児童生徒が、引き続き登校できなくなることが要因の一つである。不登校については早期発見・早期対応が重要であり、兆候が見られた場合は、児童生徒に対して継続的に支援を行いつつ、全ての学年において、個に応じた支援を積極的に行う必要がある。</p>
	【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	<p>事業の評価</p> <p>評価理由</p> <p>②効果的だった</p> <p>学校と市適応指導教室でケース会議等の連携を密にし、個に応じた対応や配慮事項等を共有できた結果、市適応指導教室に通う児童生徒で一昨年度からの在籍数18人のうち、市適応指導教室と学校の併用をしている人数が17人となり、学校への復帰に向けて状況が改善している児童生徒が多い。 また、和泉市教育センターで実施している「発達検査」のニーズが非常に高く、年間で175件実施されている。公認臨床心理師によるフィードバックを当該児童生徒の保護者および当該児童生徒の在籍する学校の教員に対して行うことにより、それらの情報を活用し、個に応じた児童生徒の支援につなげることができた。</p>
(事後評価)	事業の方向性	今後の事業展開
	【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	<p>③拡大</p> <p>○学校訪問を通して、各校の管理職および不登校担当教員に不登校傾向にある児童・生徒の状況を早期につかむとともに、「6つのレベルに応じた欠席・長欠・不登校対応チャート」を活用し、適切な初期対応を行うことにより不登校の未然防止に努める。また、研修等を通して、市適応指導教室に在籍している児童生徒への取組み事例や環境の作り方などを発信し、さらに市内全教職員へと広め、教職員の対応力の向上を図る。</p> <p>○発達検査をする公認心理師を1名増員し、令和4年度は週2回だった検査日を週3回に増やし、検査のニーズに応えられるようにする。引き続き、検査結果については保護者・学校教員にフィードバックし、日常生活や学校生活での個に応じた支援へとつなげ、児童生徒が「安心」「安全」な学校生活を送れる環境をつくる手がかりとする。</p> <p>○市適応指導教室を教育支援センターと改め、学校復帰にとどまらず、将来的な社会的自立につながる支援を行う。通室する児童生徒については、学校が作成した支援計画をもとに、適応指導教室指導員(校長OB)が中心となり、学生等ボランティアを活用しながら個に応じた支援を行う。また、日常的に学校と連携を密にとり、学校訪問を行うことにより、学校とともに共通理解した上で、不登校児童生徒や長欠生についての支援を行い、学校復帰をめざすようにする。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進												
節		第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実												
重点施策		07 豊かな心を育む教育の推進												
成果 指標 (KPI)	0704	子ども一人当たりの市立図書館児童図書貸出冊数									指標の単位		冊	
	基準値 (R2)	12				目標値 (R7)		20			総合戦略 該当		-	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	17	17	16	17	17	12	15	15				達成状況		
達成率							37.5%	37.5%						
備考														
担当課		生涯学習推進室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 子どもの読書活動推進事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的 子どもたちが読書を通じ生きる力を育めるよう、子どもの頃から読書に親しめる環境づくりに取り組む。				(事後評価)	【D】事業実績					
(事前評価)	【P】事業の内容 ①子どもの読書活動推進協議会を開催し、子どもの読書活動の推進に係る取組みについて議論する。 ②絵本を親子のスキンシップに活用してもらうため、乳幼児健診の場を活用して絵本の有用性の理解を深めてもらうとともに、図書館の利用案内を行う。(ブックスタート事業の実施) ③子どもの読書活動推進に向けた事業(コンクール・講座・講演会等)を実施する。					【令和4年度の子どもの利用実績】 ■18歳以下の人口:31,701人(R3:32,353人) ■児童図書貸出点数(個人):460,284点(R3:499,013人) ※18歳以下の貸出点数(個人):286,503点(平均9.0点) (R3:301,193点(平均9.3点)) ①子どもの読書活動推進協議会を2回開催。令和3年度子どもの読書活動推進に関する事業報告、第3次和泉市子どもの読書活動推進計画における成果と数値目標結果の報告などを行った。 ②ブックスタート事業を実施 ・4か月児健診時(絵本配付)1,150人配付/1,171人対象(98.2%) ※1歳6か月児健診時と3歳6か月児健診時(読み聞かせ等)についてはR4年度も新型コロナウイルス感染予防のため中止 ③ボランティア及び市民を対象に、子どもの読書活動推進に関する講座を開催 テーマ:人と人とを結ぶ紙芝居 講師:西本和三氏(人と人とを結ぶ紙芝居の会主宰) 開催日:令和5年1月28日 参加人数:24人					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①「第3次和泉市子どもの読書活動推進計画」に係る委員会を開催し、子どもの読書活動推進のために計画の進行管理をしていく。 ②子どもが読書をするきっかけの創出や読書意欲の向上をねらい、学校と連携しながら小学生読書おたよりコンクール及び中学生POPコンクールを実施する。 ③新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら、子どもの読書推進に向けた講座・講演会の内容を指定管理者と協議し実施する。					①上記と同じ ②・小学生読書おたよりコンクール 応募人数321人 ・中学生POPコンクール 応募人数24人 ③親子・市民を対象とした講演会を開催 テーマ:いしかわこうじさんワークショップ&絵本おはなし会 講師:いしかわこうじ氏(絵本作家) 開催日:令和5年2月23日 参加人数:大人25人 子ども23人 計48人					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
【P】活動指標	子どもの実利用人数				人	9,000	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報酬	112,000	使用料	15,000		報酬	112,000				
	需用費	212,000				需用費	131,479				
	委託料	202,000				委託料	178,002				
	計		541,000			計		421,481			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	<p>コロナ禍は緩和したもの、利用件数が増えることなくほぼ横ばいの状況だった。コロナ禍により図書館から離れてしまった利用者が多いものと推測される。</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>ボランティア等を対象とした紙芝居に関する講座、親子等を対象とした絵本作家の講演会を開催することができた。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>・市内の小学1年生を対象に図書館カードを作成・配布するとともに、子ども向けの事業を開催・周知し、市立図書館の利用を促す。 ・今後も「第3次和泉市子どもの読書活動推進計画」及び「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画」に基づき進行管理を行う。また、計画の目標達成に向け、市立図書館と学校図書館の連携が不可欠であることから、引き続き指導室と協議を重ね、互いに協力しながら、新たな事業展開について検討していく必要がある。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実											
重点施策	08 国際社会の中で活躍する人材の育成											
成果指標 (KPI)	0801	市内全中学校3年生の英検3級程度以上の英語力を有すると思われる生徒の割合									指標の単位	%
	基準値 (R2)	47.4				目標値 (R7)	55.0				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					42.2	47.4	41.1	44.8				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	学校教育室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 英語能力検定推進事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価)	検定を、生徒の英語学習への動機付けや客観的な英語力の確認に活用し、義務教育終了段階で「身近な英語を理解し、また使用することができる生徒」を育成する。				【D】事業実績						
(事前評価)	年間1回、学校を通じて、英検3級以上の検定試験を受験する生徒の検定料を市が負担する。 ・対象者：市内在住の中学校3年生 ・検定料：4,800円～12,600円 ※級に応じて金額が異なる ・受験方法：本会場又は準会場 ・準会場実施条件 ①学校教育法に定める学校 ②2～5級の志願者数の合計が10名以上										
(事前評価)	①英語科教員に対して、「英語の授業を英語で行う」ことの定着を図るべく、授業改善推進教員による「英語による授業」の授業公開、研修会を実施する。 ②校長会や英語教員の部会等で生徒の英語力把握の必要性や、その結果を指導に反映させる有効性等を説明するほか、英検の受験啓発を行う。				【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①授業力向上に向けた研修として、英語コーディネーター及び授業改善推進教員によるモデル授業の動画配信や公開授業などを実施し、受講後のアンケートでは、ほぼ全ての受講者が「内容が参考となった」と回答するなど、効果的な学習活動や評価方法について理解を深めることができた。 ②英検受験料補助制度の活用促進及び受験率の向上を図り、各校訪問時や担当教員連絡会などの機会に啓発を行い、受験率は1.9ポイント向上した。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
【P】活動指標	英語検定の受験率				%	55	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	5,452,000				委託料	4,147,490				
	計		5,452,000			計		4,147,490			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>成果指標はR3:41.1%から44.8%と3.7ポイント向上した。</p> <p>成果指標達成に向けた取組事業としている英語能力検定推進という点については、受験率が向上(前年比1.9ポイント増)した。英語を知識としてとどめず、コミュニケーションのツールとして活用することができる力を高めるために、授業において「話すこと」、「聞くこと」などの言語活動を充実させたことで、自らの英語力への関心が高まった。</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>準2級以上の受験割合がR1:29.8%、R2:30.1%、R3:47.8%、R4:51.7%と上昇しており、より難度の高い級を受験する傾向が継続している。そのことから、生徒の英語の活用に関する姿勢や意欲、教員の英語によるやりとりを意識した授業改善などが見られ、実用技能としての英語力を測る英検の活用は生徒、教員にとって有意義なものとなっている。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの生徒の英語学習への動機付け、客観的な英語力の確認を通して、生徒自らが英語の活用に取り組むことができるよう、英検の受験者数増加を図る。 ・英検以外の外部検定(GTEC、TOEIC、TOEFLなど)の活用も検討し、将来に向けて必要とされる英語能力の判定方法などについて、担当教員連絡会や研修会などを通して、情報発信を行っていく。 ・生徒の英語活用のさらなる意欲向上に向けて、授業を「英語によるコミュニケーションの場面」とするための授業改善が必要であることから、モデル授業の公開や研修会を一層充実させる。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実											
重点施策	08 国際社会の中で活躍する人材の育成											
成果指標 (KPI)	0802	交換学生派遣事業参加者の国際交流事業等参加率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	60				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		5	30	19	19	0	13	0				達成状況
達成率							21.7%	0.0%				
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 交換学生派遣事業				地方創生関連交付金事業該当				-			
					和泉創発プラン該当				-			
(事前評価)	他国の伝統及び自然・文化等に接し、人々との交流を通じて相互理解と友好親善を深め、国際感覚を養うことにより、国際化に対応できる人材を育成する。				(事後評価)	【直近2回の交換学生派遣事業参加者のうち、国際交流事業等に参加した人数】0人 (対象者：H28年度10名、H30年度6名の計16名) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度に予定していた学生派遣は中止。 R4年度実施の国際交流事業 ○いずみ国際交流フェア、世界の文化講座生野コリアタウンパスツアー、世界の文化講座インドネシア伝統芸能講座						
(事前評価)	新型コロナウイルス感染症の影響により、姉妹都市アメリカ・ミネソタ州ブルーミントン市との学生相互派遣は実施できないが、国際交流事業等への参加を呼びかける。											
(事前評価)	交換学生派遣事業参加者に国際交流事業等への参加を呼びかける。				(事後評価)	新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、過去の交換学生派遣事業参加者への事業参加の呼びかけは行わなかった。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	直近過去2回の交換学生派遣事業参加者への講座、イベントの周知回数				回	2	2	0				
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	報償	83,000	食糧費	2,000		報償	0	食糧費		0		
	特別旅費	364,000	印刷製本費	97,000		特別旅費	0	印刷製本費		0		
	消耗品費	102,000	使用料	63,000		消耗品費	0	使用料		0		
	計		711,000			計		0				
	備考	参加学生実費徴収金 240,000円				備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、過去の交換学生派遣事業参加者への事業参加の呼びかけは行わなかった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	④効果的でなかった	新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、令和4年度に予定していた学生派遣は中止。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	次年度は、交換学生派遣事業を実施できる見通しであることから、過去の参加者への呼びかけを行い、本事業への協力、国際交流事業への参加をしてもらうことで国際化に対応できる人材の育成に努める。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実											
重点施策	08 国際社会の中で活躍する人材の育成											
成果指標 (KPI)	0803	「日本と世界の子どもの作品展」応募作品数(市内)									指標の単位	点
	基準値 (R2)	79				目標値 (R7)	60				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	35	37	25	49	48	79	41	59				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1日本と世界の子どもの作品展				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的 友好姉妹都市の子ども達と、作品の交換・展示を行う芸術を通じた国際交流により、文化の多様性に気づき国際交流に関する理解や関心を深め、次代を担う子ども達の国際感覚を養う。				(事後評価)	令和4年度は友好都市・南通市に加え、台湾との絵画交流を実施。 開催時期：令和4年11月12日(土)・13日(日) 開催場所：和泉シティプラザレセプションホール 作品課題(「日本と世界の子どもの作品展」)：国際理解、地球環境問題、世界平和 応募作品(「日本と世界の子どもの作品展」)：市内59点(参加者365名)、南通市40点(参加者40名)、台湾50点(参加者50名)					
(事前評価)	【P】事業の内容 市内の子ども達が、友好都市・中国江蘇省南通市及び姉妹都市・米国ミネソタ州ブルーミントン市の子ども達と絵画や書道等の作品の交換・展示を行う。					(事後評価)	【D】事業実績				
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①作品募集にあたっての工夫 ・応募者を増加させるために、児童への作品応募の働きかけについて、市内校・園長会で協力要請を行う。特に小学校の夏季休暇中の自由課題への採用を依頼する。 ・応募の増加につながるよう、募集期間を設定する。 ②作品展の周知 ・各種媒体を活用した周知の実施				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①作品募集にあたっての工夫 ・応募者を増加させるために、児童への作品応募の働きかけについて、市内校・園長会で協力要請を行う。特に小学校の夏季休暇中の自由課題への採用を依頼する。 ・応募の増加につながるよう、募集期間を設定する。 ②作品展の周知 広報・ホームページ等を活用し周知を行った。					
(事前評価)	指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値			
【P】活動指標	市内小中学校や関係団体への開催通知回数				回	2	4	2			
【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	消耗品費	120,000				消耗品費	77,167				
	印刷費	37,000				使用料	38,760				
	使用料	39,000									
	計		196,000			計		115,927			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	市内応募者を増やす取組をした結果、目標数値には届かなかったが、前年度よりも18点増加し59点の応募があった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	市内応募数が増加しただけでなく、南通市、台湾からも多くの出展があったことから、作品展が賑わい、多くの来場者の目に触れることができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	今後も友好都市・南通市、姉妹都市・ブルーミントン市の他、海外からの出展を受け入れ、継続実施する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実											
重点施策	08 国際社会の中で活躍する人材の育成											
成果指標 (KPI)	0804	世界の文化講座(文化バスツアーを含む)における年間受講者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	39				目標値 (R7)	100				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					50	39	117	63				達成状況
達成率							100.0%	39.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 国際交流事業				地方創生関連交付金事業該当				-			
					和泉創発プラン該当				-			
(事前評価)	市民が世界の文化に触れる機会を提供し、市民の国際理解を深め、国際社会に生きるための幅広い視野を持つ国際感覚豊かな人材を育成する。				(事後評価)	○世界の文化講座 生野コリアタウン体験バスツアー 1. 開催日 2022年10月28日(金) 2. 行き先 生野コリアタウン 3. 内容 全国一の在日コリアンの多住地域であるコリアタウンを訪れ、FW、体験学習(キムチ作り・チャング演奏など)により人権・歴史・文化、多文化共生のまちのこれまでの歩みや取り組みについての理解を深める。 4. 参加者 7人						
(事前評価)	市民を対象に世界の文化講座や世界の文化バスツアーを実施する。 また、市の国際交流事業を広く周知するため和泉市国際交流ニュースの発行を行う。					○世界の文化講座 インドネシア伝統芸能講座 1. 開催日 2023年2月25日(土) 2. 場所 コミュニティセンター大集会室 3. 内容 インドネシアの首都・ジャカルタがあるジャワ島の伝統芸能、ワヤン(影絵芝居)や、ガムランの演奏を、解説を交えながら鑑賞する。また、参加型コーナーとして、アングルン(竹楽器)の演奏を体験。 4. 参加者 56人						
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 広報、LINE、SNS等によって講座やイベントの周知に努める。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ・広報いずみ及び庁舎内デジタルサイネージへの掲載、市有施設へのチラシ配架により、事業の周知を行った。 ・国際交流ニュースは1月号市広報紙に同封して全世帯に配布し、市の国際交流事業について広く周知した。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値					
	広報、LINE、SNS等での周知回数				回	2	R3	R4	R5	R6	R7	
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	報償費	60,000	印刷費	381,000		報償費	82,000	印刷費	328,350			
	消耗品費	18,000	委託料	190,000		消耗品費	4,028	委託料	189,800			
	食糧費	30,000	使用料	161,000		食糧費	216	使用料	105,380			
	計		840,000			計		709,774				
	備考	バスツアーは実費徴収金有り				備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	新型コロナウイルスの影響も落ち着いたことから、2講座を開催することができた。 受講者数は、前年度よりも減少し、特に生野コリアタウン体験バスツアーにおいては、定員20人のところ、7人の参加となり、受講者数を伸ばすことができなかった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	インドネシア伝統芸能講座については、本格的な内容ということもあり、乳児から年配の方まで幅広い年齢層によりたくさんの受講があり、国際理解を深めることができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	市民が世界の文化に触れる機会を提供し、市民の国際理解を深め、国際社会に生きるための幅広い視野を持つ国際感覚豊かな人材を育成するため、事業内容を見直し、継続実施する。

第1章 定住の促進

第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援

09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成

10 豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援											
重点施策	09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成											
成果指標 (KPI)	0901	各種生涯学習講座等の年間参加者数(和泉市コミュニティセンター、和泉シティプラザ、和泉市生涯学習サポート館、和泉市立青少年の家)								指標の単位	人	
	基準値 (R2)	16,408				目標値 (R7)	46,000				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	41,485	42,401	37,957	43,979	42,355	16,408	19,630	33,708				達成状況
達成率							10.9%	58.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 生涯学習活動促進事業		地方創生関連交付金事業該当		-				
			和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	市民の生涯学習意欲の醸成をはかるため、生涯学習センターをはじめとする生涯学習施設での生涯学習情報の収集・提供体制の充実や施設相互の連携体制の強化に取り組む。	(事後評価)	各施設の指定管理者が、多様化する市民ニーズに応えるため、それぞれの施設の特性を活かして各種生涯学習講座を実施した。						
【P】事業の目的			各施設講座等参加者数 ()内は定員 ○和泉市コミュニティセンター 1,401人(2,494人) ○和泉シティプラザ(生涯学習センター) 16,009人(19,022人) ○和泉市生涯学習サポート館 15,821人(22,570人) ○和泉市立青少年の家 477人(1,000人) 合計 33,708人(45,086人) ※受講率75%						
(事前評価)	民間のノウハウを活用し、協議・調整のうえ、各施設において市民ニーズに応える多様な分野の学習講座を提供する。	【D】事業実績							
【P】事業の内容									
(事前評価)	①各種講座との連携 ・市及び市の所管する施設が実施する講座等で生涯学習に関わるものについては、生涯学習サポート講座として認定し、「マナビィ」スタンプを「まなびの手帳」に押印することで、学習のモチベーションを継続しやすくする。 ・「マナビィ」ポイントを「ココロトリコイズミ生涯学習カード」のポイントに交換し、ポイントに応じて講座等の招待券をプレゼントする。 ②広報活動 広報紙、市HP、チラシ等で生涯学習サポート講座のタイトルにガクマル(学に○)マークや共通のイラストを付けることで周知を行う。	(事後評価)	①各種講座との連携 ・「まなびの手帳」発行を継続することにより、各受講者が学びの成果を確認することができ、モチベーションの維持・向上につなげることができた。 ・健康づくり推進室で実施している市の各種がん検診・特定健診の受診・ウォーキングすることで貯まる「ヘルシィ」ポイントについて、「マナビィ」ポイントと合算して「ココロトリコイズミ生涯学習カード」のポイントに交換できるようになった。 ②広報活動 ・生涯学習サポート講座について、昨年度に引き続き共通のマーク等を使用することで、市民の目に留まりやすくなった。						
(事前評価)	指標の名称		単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
					R3	R4	R5	R6	R7
	定員に対する受講者の割合		%	75	69	75			
【P】活動指標									
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	コミセン指定管理料	35,771,000	市民大学運営委託料	4,350,000		コミセン指定管理料	33,843,391	市民大学運営委託料	4,089,207
	施設指定管理料	225,777,000				施設指定管理料	225,716,838		
	青少年の家指定管理料	41,000,000				青少年の家指定管理料	41,000,000		
	計		306,898,000			計		304,649,436	
	備考					備考			
【P】予算					【D】決算				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナウイルスの影響が少なくなり、前年度よりも開催回数、参加人数ともに増加することができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	各指定管理者において、施設の特性を活かし、ニーズに合った事業を実施した結果、受講率も向上し、多くの市民に生涯学習講座を受講してもらうことができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	今後も事業実績を踏まえて、講座内容の見直しを適宜行いながら、多くの市民に参加してもらえるような生涯学習講座を実施する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援											
重点施策	09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成											
成果指標 (KPI)	0902	日本語サロンの在住外国人の受講者参加人数(延べ数)									指標の単位	人
	基準値 (R2)	275				目標値 (R7)	1,200				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					932	275	487	1,303				達成状況
達成率							22.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 識字施策推進事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつも、ほぼ平常通りの教室運営ができたため、外国人市民に対し日本語学習の機会を提供できた。 日本語ボランティア養成講座も開催し、新たなボランティアの担い手を確保した。					
(事前評価)	【P】事業の内容										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績					
指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
【P】活動指標					回数以上	2	2	1			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報償費	200,000	会場借上料	833,000		報償費	189,140	会場借上料	811,750		
	需用費	118,000	入場料	80,000		需用費	63,870	入場料	38,700		
	役務費	40,000				役務費	9,500				
	計		1,271,000			計		1,112,960			
	備考	予算は識字学級、読み書き教室を含む。				備考	日本語サロンで使用分のみ。				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつも、ほぼ平常通りの教室運営ができたため。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	キャンセル待ちが発生しており、日本語を学びたい外国人市民が多くいると推察される。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	受講者、ボランティアともに需要があり、継続する必要があると思われる。しかし、教室のキャパシティなどの検討事項もあるため、安易な拡大はできない。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援											
重点施策	O9 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成											
成果指標 (KPI)	0903	いずみ市民大学における年間受講者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	270				目標値 (R7)	675				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		680	614	625	598	270	643	641				達成状況
達成率							92.1%	91.6%				
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 いずみ市民大学事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	市民の生涯学習への取組を支援するため、教養学部とまちづくり学部の2学部制で市民大学を実施する。				【D】事業実績	○まちづくり学部52名、教養学部(前期328名・後期261名)受講					
【P】事業の目的											
(事前評価)	○教養学部では、歴史や文化、和泉市の地域資源等について、楽しくわかりやすい講座を開催する。 ・前期、後期各6講座(1講座10回程度) ・定員:各講座50人										
【P】事業の内容	○まちづくり学部では、まちづくり本科・まちづくりスキルアップ学科・観光おもてなし学科を設置し、地域のまちづくりに活躍できる人材を育成するための講座を開催する。修了者に対しては、修了証を交付する。 ・定員:各学科25人										
(事前評価)	①広報活動の充実 広報紙、市HPIに加え、関係団体等にも周知を行う。					【D】事業実績	①まちづくり学部				
【P】成果指標向上のための具体的な取組	②魅力ある講座の設定 まちづくり学部においてコーディネーターを2人配置し、まちづくりに関する専門家を講師として多数迎え、受講者の増加をめざす。						まちづくり本科				
							まちづくりスキルアップ学科				
							観光おもてなし学科				
						合計					
						定員					
					受講者数						
					講義回数						
(事前評価)	○教養学部(前期)				定員						
	泉州学・和泉市の地域資源を知る				50						
	ニュース・事件で考える法				50						
	『源氏物語』五十四帖を読む6				50						
	ピアノ名曲探訪～生演奏でつづる				100						
	宮沢賢治の人と作品				72						
	『列仙伝』を読む				72						
	教養学部(後期)				定員						
	短歌から見る近代日本の社会と人々				50						
	高齢社会における生前整理(終活)				72						
	『源氏物語』五十四帖を読む7				50						
	幕末・明治維新の英傑に学ぶパート2				72						
	ギリシアの哲学者たち				72						
	はじめよう!防災アクション				50						
	合計				760						
					589						
					113						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
【P】活動指標	定員に対する受講者の割合				%	75	R3	R4	R5	R6	R7
							66	73			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
【P】予算	委託料	4,350,000				委託料	4,089,207				
	計			4,350,000		計				4,089,207	
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、当初の予定どおり講座を開催することができたが、講座内容により受講人数に大きな偏りがあり、前年度よりも受講者数を伸ばすことができなかった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	まちづくりスキルアップ学科においては、受講人数が少ないことに加え、受講者が固定化しており新規の受講者が少ないため、改善が必要である。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	②一部見直し	まちづくり学部において、カリキュラムの見直しを行う予定。具体的には、ボランティアコーディネーション協会認定講師を講師に迎え、ボランティアコーディネーション検定3級対策講座やホワイトボードミーティング検定Basic3級の実技試験の会議フレーム体験ができる講座を取り入れたり、2年後に開催される大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を主題とした、市職員等による講義を開催する予定。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進												
節	第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援												
重点施策	09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成												
成果指標 (KPI)	0904	成人教室の年間修了者数									指標の単位		人
	基準値 (R2)	37				目標値 (R7)		61			総合戦略 該当		-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	51	58	42	38	37	37	33	45				達成状況	
達成率							0.0%	33.3%					
備考													
担当課	生涯学習推進室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 成人教室事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	茶華道・琴演奏の基礎的技術の習得及び伝統文化の体験を通じて、世代を超えた市民同士の交流を促進し、地域の生活文化を育むことを目的とする。				(事後評価) 【D】 事業実績	10代から70代まで様々な世代に受講いただき、教室を通じての交流、生きがいづくりができた。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	和泉市文化協会の協力で講師を派遣してもらい、茶道・華道・琴の教室を開講する。 (対象者)和泉市に在住、在勤又は在学の満18歳以上の者										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①広報にて受講希望者の募集を行う。 ②文化協会の会員を通じて市民へ情報提供を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	新型コロナウイルスによる影響が緩和し、開講日数・受講者数が例年より増加した。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	開催教室数				教室	6	6	6			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報償費	400,000				報償費	315,500				
	消耗品費	122,000				消耗品費	106,334				
	使用料	958,000				使用料	723,170				
	計		1,480,000			計		1,145,004			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナの影響が緩和し、前年度よりも参加者が増加した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	10代から70代まで様々な世代に受講いただき、教室を通じての交流、生きがいづくりができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	開催日時や場所のニーズを検討しながら、開催を継続していく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援											
重点施策	09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成											
成果指標 (KPI)	0905	図書館年間入館者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	534,762				目標値 (R7)	869,000				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	1,005,583	989,708	959,089	961,786	877,969	534,762	594,472	640,069				達成状況
達成率							17.9%	31.5%				
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 図書館管理運営事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的 図書館が地域の情報拠点・生涯学習支援施設として、市民の教育・文化の発展に寄与するため、図書館の利便性の向上と良質な読書環境を提供し、利用促進を図る。				(事後評価)	【資料の購入及び貸出状況】 ・資料購入点数16,781点 ・貸出人数：個人273,103人、団体4,956団体 ・貸出点数：個人1,027,930点、団体21,973点					
(事前評価)	【P】事業の内容 図書館に来てもらうきっかけづくりとして、多様な行事・講座を開催するほか、調査・探求を手助けする情報拠点として、広く資料を収集・保存し、市民が求める情報を提供する。					【D】事業実績 【指定管理者における自主事業の実施状況】 和泉： 36回実施、1,122人参加 シティプラザ：44回実施、4,227人参加 北部： 36回実施、 664人参加 南部： 3回実施、 353人参加					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①新型コロナウイルス感染症の影響や週1回の休館日による来館機会の減少対策として電子図書館を導入し、図書館利用のきっかけを創出する。 ②ゆったりと読書を楽しむことができるよう、カップ式飲料自動販売機を置いた「カフェコーナー」をシティプラザ図書館内に設置し、図書館利用のきっかけを創出する。 ③「ぶっくんつうちょう」により図書館利用のきっかけを創出する。 18歳以下の市内在住・在学者： 無料 大人や広域対象者： 有料				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①電子図書館(令和3年4月5日から稼動) ・蔵書数(コンテンツ数)：13,778点 ・ログイン数：11,325回、貸出数：7,258回、閲覧数：17,449回 ②令和4年度シティプラザ図書館自販機販売数：6,234杯 ③ぶっくんつうちょう発行冊数 和泉：269冊 シティプラザ：699冊 北部：131冊 南部：56冊 合 計：1,155冊					
(事前評価)	指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値			
【P】活動指標	資料予約件数				件	185,000	199,126	190,822			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	指定管理料	318,195,000				指定管理料	321,453,576				
	計			318,195,000		計			321,453,576		
【P】予算	備考	うち図書購入費33,000,000円				備考	うち図書購入費33,000,000円				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	令和4年度 館別入館者数 和泉: 196,288人(前年度比108.8%) シティラザ: 314,266人(前年度比104.8%) 北部: 89,882人(前年度比107.8%) 南部: 39,633人(前年度比136.2%) 合計: 640,069人(前年度比107.7%)
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	読書離れが進んでいるなかで、市の図書館に来館していただけるよう様々な取り組みを実施しています。今年度については、新型コロナウイルス感染防止対策により定員数を減らした行事があったものの、ほぼコロナ禍前のように、自主事業の充実や利用者のニーズにあった事業展開を実施できた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・さらなる図書館利用促進を目指すため、多くの利用者に「ぶっくんつうちょう」(通帳型読書記録帳)を有効的に使用していただけるよう創意工夫し、子どもも大人も生涯にわたって読書の履歴を記録することで読書活動の推進を図る。 ・令和3年度から始まった電子図書館サービスについて、図書館への来館が難しい人にも利用していただけるよう、電子図書館の周知・利用促進を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援											
重点施策	10 豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興											
成果指標 (KPI)	1001	市民文化祭に参加している市民の延べ人数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	10,500				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	9,550	10,029	8,360	9,227	8,765	0	7,345	9,924				達成状況
達成率							70.0%	94.5%				
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 市民文化祭事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	市民文化祭期間中に開催される展示会や発表会に多くの市民が関心を持ち、参加や鑑賞ができる環境を整えることで、市民の文化・芸術活動を支援する。				(事後評価)	【第66回市民文化祭の開催実績】 開催期間：令和4年10月1日(土)～12月4日(日) ○式典：11月3日(土・祝) ○展示 第1期：10月21日(金)～23日(日) 第2期：11月1日(月)～3日(木・祝) 第3期：11月12日(土)～13日(日) ○市民ステージ：10月22日(土)【24組】 ○和泉市合唱祭・フラメンコライブ・太鼓クリエイション等					
(事前評価)	秋の一定期間を市民文化祭期間とし、市民の文化芸術に関する作品(絵画・書道・陶芸等)の展示を行うほか、市民による演劇やダンス等の発表の場として、市民ステージ等を開催する。										
(事前評価)	①広報により、市民文化祭の周知を広く行うほか、チラシの配架、ポスターの掲示により、市民の参加意欲促進を図る。 ②文化協会との共催により、文化祭の活性化を図り、協会の積極的な協力を得る。 ③市民ステージ、市民展示において発表する新たな団体や分野を発掘する。				(事後評価)	○チラシ、ポスターによる市民文化祭の周知 チラシ3,000枚、ポスター50枚作成し、文化協会会員及び和泉市所管の公共施設等、関係各所に配付、掲示依頼を行った。 ○文化関係団体の協力 様々なジャンルの展示や発表を行った。例年、文化協会による無料体験教室を実施していたが、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、開催を中止した。 ○市民ステージにおいて、学生によるピアノ発表や、親子の漫才など、新しい分野や、より広い年齢層に参加いただけた。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	文化祭期間中に行っているイベント数				件	24	17	17			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報償費	40,000	使用料	2,716,000		報償費	40,000	使用料	2,150,820		
	需用費	601,000				需用費	454,117				
	委託料	136,000				委託料	127,008				
	計		3,493,000			計		2,771,945			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	作品展示では、3年ぶりにPTA作品展も開催され、来場者は増えた。市民ステージもたくさん申し込みたくさ盛り上がった。また、発表部門も入場制限をしながらも、コロナ前と同じ団体が開催することができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	特に、文化祭式典において、参加者数の増加に向けて、市民周知の強化や実施方法の改善など、更なる対策が必要である。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	毎年同時期に行われるイベントであるため、市民も目標が立てやすく、発表の場として適当な事業であると評価しており、今後も継続して事業を推進していく必要がある。 より多くの市民に参加いただけるよう、控え室として使用している部屋の活用や、広報・ホームページ・各種社会教育団体を通じた周知の強化など、共催者である文化協会と協議し、対策を検討する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援											
重点施策	10 豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興											
成果指標 (KPI)	1002	いずみの国歴史館、信太の森ふるさと館への年間来訪者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	2,775				目標値 (R7)	19,000				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	16,419	18,270	19,761	14,838	15,241	2,775	5,283	11,930				達成状況
達成率							15.5%	56.4%				
備考												
担当課	文化遺産活用課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 いずみの国歴史館活性化事業				地方創生関連交付金事業該当				－			
					和泉創発プラン該当				－			
(事前評価) 【P】事業の目的	和泉市の歴史を広く市内外にアピールするため、いずみの国歴史館の活性化を図る。				(事後評価) 【D】事業実績	【いずみの国歴史館年間入館者(令和4年度)】8,536人 ○企画展を1回開催した。 企画展「イチオシ！2」4,107人 ○まなびのフェスタに参加した 1回 5/2 359人 2回 8/20 900人 3回 10/23 531人						
	(事前評価) 【P】事業の内容	①魅力ある特別展、企画展を開催する。 ②体験型イベントや体験コーナーの充実を図る。										
(事前評価)	①文化芸術科学ふれあい体験事業でいずみの国歴史館を紹介する。				(事後評価)	①文化芸術科学ふれあい体験事業として、市内の小学6年生全員に体験授業を実施した。(21校1,930人) ②和泉史塾は補講を合わせて10回実施した。計10回248人 ③勾玉教室(青少年センター)7/22 20人 ④大阪大谷大学、帝塚山学院大学、八洲学園大学計9人の博物館実習を受け入れた。						
	(事前評価) 【P】成果指標向上のための具体的な取組	②和泉史塾を定期開催する。 ③学校教育室や久保惣記念美術館、弥生文化博物館と連携し、出張展示や出前授業を行う。 ④大学等研究機関と連携し、館蔵品の調査研究を行い、その成果を特別展や企画展で発表する。 ⑤市HPやブログを活用し、情報を発信する。										
(事前評価) 【P】活動指標	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	特別展・企画展の開催				回	2	2	1				
	和泉史塾の開催				回	8	8	10				
(事前評価) 【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	報償費	200,000				報償費	0					
	委託料	8,436,000				委託料	6,462,590					
	計		8,636,000			計		6,462,590				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>コロナ対策を徹底したうえで企画展や講座等の事業を実施し、前年度より入館者数は増加した。</p> <p>〇いづみの国歴史館年間入館者数8,536人（対前年度+5,553人）</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>第3回和泉市文化遺産フォーラムをオンラインと対面を併用して開催するなど、今後の事業のあり方の検討をすすめた。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果を活かし、市民の関心が高く時宜に合った企画展示を開催する。 ・緑化センターや美術館、弥生文化博物館、桃山学院大学など関連機関と協力し、体験型イベントや講座の充実を図る。 ・ホームページやブログの活用をはじめ、あらゆる状況に対応した展示、講座のあり方を検討する。

取組事業	2 信太の森ふるさと館活性化事業				地方創生関連交付金事業該当				-				
					和泉創発プラン該当				-				
(事前評価)	【P】事業の目的				和泉市の歴史を広く市内外にアピールするため、信太の森ふるさと館の活性化を図る。				(事後評価)	【信太の森ふるさと館年間入館者(令和4年度)】3,394人 ○特別展、企画展を開催した。 企画展「信太山から発掘された弥生時代の鏡」展 367人 特別展「知ってる？信太山の古墳たち」展 390人 ○協力会主催による展示を開催した。 「中世真言律宗寺院と信太山の墓制」展 493人 「和泉地方の神功皇后伝説-和泉国の起源を訪ねて-」展 314人 ○特別展に合わせ記念講演会を開催した。 記念講演会「信太山丘陵の古墳と豪族」 29人 ○体験イベントとして、特別展に合わせ体験教室「子ども考古学者体験」を実施した。8人			
(事前評価)	【P】事業の内容				①魅力ある特別展、企画展を開催する。 ②体験型イベントや体験コーナーの充実を図る。								
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				①ふるさと館の独自企画として、特別展を開催する。 ②地元小学校と連携し、生徒児童向け企画を実施する。 ③市HPやブログを活用し、情報を発信する。								
(事後評価)	【D】事業実績				①特別展として「知ってる？信太山の古墳たち」展を開催した。 また、企画展として「信太山から発掘された弥生時代の鏡」展を開催した。 ②地元小学校と連携した、児童絵画展を開催した。 ③文化財活性化実行委員会のHPおよびブログでの情報発信につとめた。								
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値						
							R3	R4	R5	R6	R7		
	特別展・企画展の開催				回	2	3	2					
	体験型イベントの開催				回	1	1	1					
(事前評価)	内訳		金額(円)		(事後評価)	内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	消耗品		56,000			消耗品		18,701					
	通信運搬費		108,000			通信運搬費		98,121					
	委託料		2,400,000			委託料		2,400,000					
	計		2,564,000			計						2,516,822	
	備考					備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>コロナ対策を徹底したうえで、特別展や企画展、講座等を実施したため、前年度と比較して入館者数が増加した。</p> <p>○信太の森ふるさと館年間入館者数 3,394人(対前年度比+1,094人)</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>信太の森ふるさと館の所在する地元で行われた発掘調査の成果をいち早く展示することで地元の方がたに還元することができ、好評を得た。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと館の独自企画(特別展示)を実施し、市民の興味関心にそった展示に努める。 ・協力会主催の展示について、テーマ及び内容の見直しをすすめる。 ・信太いろは歌留多の活用など地元小学校の連携を強化する。 ・ホームページやブログの活用をはじめ、コロナ禍に対応した展示、講座のあり方を検討する。 ・モニュメントを生かし、ふるさと館の活性化を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進												
節		第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援												
重点施策		10 豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興												
成果指標 (KPI)	1003	久保惣記念美術館の年間来館者数									指標の単位		人	
	基準値 (R2)	7,070				目標値 (R7)		35,000			総合戦略 該当		-	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	23,161	28,265	43,925	32,639	34,676	7,070	11,024	19,646				達成状況		
達成率							14.2%	45.0%						
備考														
担当課		久保惣記念美術館												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 研究発表展事業				地方創生関連交付金事業該当		－																																												
					和泉創発プラン該当		－																																												
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	【展覧会の開催実績(令和4年度)】																																													
	豊富な所蔵品を生かした展覧会を開催し、文化・芸術に対する市民意識の高揚を図る。 また、気軽に文化芸術に親しむ機会を創出する。					<table><tr><td></td><td colspan="2">展覧会名</td><td>期間</td><td>来館者数(人)</td></tr><tr><td>特別展</td><td colspan="2">玉石の美</td><td>9/18～11/13</td><td>4,694人</td></tr><tr><td>特別企画</td><td colspan="2">ダイアローグ かたちのちから</td><td></td><td></td></tr><tr><td>特別陳列</td><td colspan="2">所蔵名品撰</td><td>4/10～6/5</td><td>3,899人</td></tr><tr><td rowspan="3">常設展</td><td colspan="2">浮世絵オールスター</td><td>6/26～8/21</td><td>3,940人</td></tr><tr><td colspan="2">重要文化財 源氏物語手鑑</td><td>12/4～1/29</td><td>4,073人</td></tr><tr><td colspan="2">世界をひらく</td><td>2/11～3/26</td><td>3,040人</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td colspan="4">19,646人</td></tr></table>								展覧会名		期間	来館者数(人)	特別展	玉石の美		9/18～11/13	4,694人	特別企画	ダイアローグ かたちのちから				特別陳列	所蔵名品撰		4/10～6/5	3,899人	常設展	浮世絵オールスター		6/26～8/21	3,940人	重要文化財 源氏物語手鑑		12/4～1/29	4,073人	世界をひらく		2/11～3/26	3,040人	合計				19,646人	
	展覧会名		期間	来館者数(人)																																															
特別展	玉石の美		9/18～11/13	4,694人																																															
特別企画	ダイアローグ かたちのちから																																																		
特別陳列	所蔵名品撰		4/10～6/5	3,899人																																															
常設展	浮世絵オールスター		6/26～8/21	3,940人																																															
	重要文化財 源氏物語手鑑		12/4～1/29	4,073人																																															
	世界をひらく		2/11～3/26	3,040人																																															
合計				19,646人																																															
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【D】事業実績																																													
当館所蔵品を活用した常設展を開催するほか、他の美術館や個人が所蔵している美術品を借用をして企画する特別展、当館所蔵品の国宝・重要文化財を活用した特別陳列を開催する。																																																			
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績																																													
	①展覧会名の工夫 一般の人々の心をとらえる展覧会名にする。 ②展覧会ポスター、チラシの工夫 より人目を引くように作成する。 ③展示キャプションの工夫 展示室内において作品をより深く理解し鑑賞できるよう、作品一点一点に展覧会テーマに沿った分かりやすい解説文を設置する。 ④開館40周年を記念し、これまでのコレクションの中でも代表する作品を主に陳列し、当館の魅力を感じてもらえる展覧会を開催するとともに、特別企画として当館では初となる現代美術を特別展と同時開催する。					①展覧会名の工夫 展覧会名に開館40周年記念の冠をつけ、限定感、特別感を表現した。 ②展覧会ポスター、チラシの工夫 デザイナーを使い、より人目を引くように作成した。 ③展示キャプションの工夫 浮世絵展では、わかりやすい言葉を用い昔の文化やくらしを簡単に説明するをテーマに子ども向け解説を91点作成した。また、夏休み期間中に、小学生とその保護者を対象として、親子で美術館を楽しむことができる「夏休み親子で楽しむミュージアム」を実施し、10組31人が参加した。 ④開館40周年を記念し、所蔵品の中から名品や特に知られる作品を中心に選び常設展を開催し、当館のコレクションの質の高さと豊富さを提示した。美術館新館を会場として開館以来初の試みである現代美術の展覧会を開催した。同時開催した玉石の美も鑑賞いただき古美術から現代美術まで若年層からシニアまで幅広い来館者に対応できた。																																													
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値																																												
							R3	R4	R5	R6	R7																																								
	展覧会の開催数				回	6	5	5																																											
(事前評価)	【P】活動指標				(事後評価)	【D】決算																																													
	内訳		金額(円)			内訳		金額(円)		内訳		金額(円)																																							
	委託料		86,696,000			委託料		70,752,994																																											
	計		86,696,000			計						70,752,994																																							
(事前評価)	【P】予算				(事後評価)	【D】決算																																													
	備考					備考																																													

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント自粛や不要不急の外出自粛等の制限が緩和されたことにより、臨時休館等の影響は受けずに予定した通り展覧会を開催できたことで、前年度と比較し成果指標は向上している。また、展覧会においても開館40周年を記念した特別企画「ダイアログ かたちのちから 西宮市大谷記念美術館所蔵品展」を開催し、開館以来初の試みである現代アートをテーマにした作品を展示したことで、普段とは異なる客層にも来館頂いたことが成果指標の向上に有効的であったと考えられる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	前年度に引き続きコロナ禍でも安心して来館いただけるよう、感染症対策として入館シートの設置・定期的な消毒作業等を行い、魅力的な作品を楽しんでもらえるよう努めた。また、成果指標の実績によると、予定どおり展覧会等を開催することが、有効であったと考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	所蔵品の魅力を発信できるよう毎年内容を変更し、特別展、特別陳列、常設展の各展覧会の開催を継続するとともに、各展覧会の会期中に学芸員によるスライドレクチャーを実施するなど、各展覧会の内容より深く理解し鑑賞して頂くためのイベント等を開催する。

取組事業	2文化芸術普及促進事業				地方創生関連交付金事業該当				-																										
					和泉創発プラン該当				-																										
(事前評価)	【P】事業の目的 久保惣記念美術館の施設を活用し、市民の芸術・創作活動を支援することで、文化・芸術の振興を図る。				(事後評価)	【開催実績(令和4年度)】																													
						<table><tr><td></td><td>事業内容</td><td>実施回数</td><td>参加数(人)</td></tr><tr><td rowspan="4">久保惣市民ホール</td><td>ミュージアムコンサート</td><td>67</td><td>3,315人</td></tr><tr><td>チャリティコンサート</td><td>1</td><td>41人</td></tr><tr><td>特別コンサート</td><td>1</td><td>57人</td></tr><tr><td>くぼそう・超茶会</td><td>1</td><td>49人</td></tr><tr><td>本館</td><td>久保惣・初春茶会</td><td>1</td><td>70人</td></tr><tr><td>久保惣市民創作教室</td><td>市民講座</td><td>3</td><td>57人</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>3,589人</td></tr></table>								事業内容	実施回数	参加数(人)	久保惣市民ホール	ミュージアムコンサート	67	3,315人	チャリティコンサート	1	41人	特別コンサート	1	57人	くぼそう・超茶会	1	49人	本館	久保惣・初春茶会	1	70人	久保惣市民創作教室	市民講座
	事業内容	実施回数	参加数(人)																																
久保惣市民ホール	ミュージアムコンサート	67	3,315人																																
	チャリティコンサート	1	41人																																
	特別コンサート	1	57人																																
	くぼそう・超茶会	1	49人																																
本館	久保惣・初春茶会	1	70人																																
久保惣市民創作教室	市民講座	3	57人																																
合計			3,589人																																
(事前評価)	【P】事業の内容 音楽ホールでのコンサート、市民ギャラリーでの市民創作展等、美術館施設を使った文化事業を開催する。				(事後評価)	【D】事業実績																													
【市民ギャラリー】 は、感染症対策を継続しながら、市民による創作作品の展示を計12回開催した。																																			
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①市民ギャラリーにおける創作展情報の発信 美術館HPの掲載及び出展者による案内状の送付にて広く周知する。 ②文化芸術イベントの実施 美術品以外の美術館の魅力を伝えるため、ミュージアムコンサートや茶会等を実施する。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①市民ギャラリーにおける創作展情報の発信 美術館HPの掲載及び出展者による案内状の送付にて広く周知した。 ②文化芸術イベントの実施 超茶会(煎茶会)及び初春茶会をそれぞれ開催した。																													
(事前評価)	指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値																											
					R3			R4	R5	R6	R7																								
					ミュージアムコンサートの開催			回	70	55	69																								
(事前評価)	内訳		金額(円)		内訳		金額(円)		(事後評価)	内訳		金額(円)																							
	委託料		86,696,000							委託料		70,752,994																							
	計				86,696,000					計		70,752,994																							
	備考									備考																									

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント自粛や不要不急の外出自粛等の制限が緩和されたことにより、音楽ホールの定員を昨年度の60名から80名に緩和させた。良質な音楽を生演奏で楽しむことができるミュージアムコンサートを開館中の週末を中心に69回開催し、成果指標向上に有効的であった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	ミュージアムコンサートの鑑賞を目的とした来館者も見受けられるなど、コンサート開催は成果指標向上に資すると考えられる。また、前年度と比較してコンサートを多数開催できたことが、成果指標として効果的であったと考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント自粛や不要不急の外出自粛等の制限が緩和されている現状を踏まえ、積極的にコンサートを開催できるよう継続した開催に取り組む。

取組事業	3 広報活動事業			地方創生関連交付金事業該当		-				
				和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的 美術館の認知を高めるとともに展覧会の周知を図る。			(事後評価)	【D】事業実績 美術館の認知を高め、来館者数の増加を図るため、展覧会情報を市の広報、地域ミニコミ誌、マスコミなどへ情報提供した。また、ホテルや公共交通機関へのポスター掲出や案内の配布を実施するとともにホテルに配架されている大阪観光ガイド雑誌へ美術館情報を掲載した。					
(事前評価)	【P】事業の内容 美術館の認知を高めるため、美術館広告や展覧会内容の告知用広告を各新聞社や雑誌に掲載するとともに、公共交通機関でのポスター掲出を行う。									
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①美術館の認知度向上 美術関係、旅行関係の雑誌媒体等や、泉北高速鉄道の車内に広告を掲載する。 ②展覧会の告知 新聞等に展覧会広告を掲載する。 ③人が多い場所での広告 市民を対象とし、市役所庁舎におけるデジタルサイネージを活用した展覧会PRをおこなう。 ④観光客の誘致 大阪府内でコンシェルジュ係を備えるホテルに、宿泊客への案内に活用されるよう展覧会案内を送付する。また、ホテルに設置されている観光ガイド雑誌へ美術館情報を掲載する。 ⑤HP、Twitter、YouTubeの活用 HPの他、誰でも閲覧が可能であるTwitter、YouTubeを活用し、積極的に展示会やイベントPRを行う。Twitterにおいては、展覧会期間中は週一回のペースで陳列作品を紹介する。			(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①美術館の認知度向上 美術関係、旅行関係等の雑誌媒体等に広告掲載し、美術館の認知向上を図った。 ②展覧会の告知 新聞等へ展覧会広告を掲載し、泉北高速鉄道駅構内にポスターを掲示することで展覧会PRを行った。 ③都市圏での広告 大阪駅前ビルみちまちスクエア等にて年間展示案内や展覧会チラシの提示、配架を行った。 ④観光客の誘致 大阪府内でコンシェルジュ係を備えるホテルに、宿泊客への案内に活用されるよう展覧会案内を送付するとともに、旅の情報サイトやホテルに配架されている大阪観光ガイド雑誌へ美術館情報を掲載した。 ⑤他の機関等との連携・提携 各種団体と連携・提携し、会報誌等に美術館情報を掲載し、各種団体の来館者について、入館料の割引を行った。 ⑥ホームページ、いずみメール、SNSの活用 ホームページやいずみメール、YouTube、Twitter等で作品紹介などの展覧会情報を発信した。					
(事前評価)	指標の名称			単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
	展覧会告知のための広告数			回	12	14	21			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	委託料	86,696,000				委託料	70,752,994			
	計		86,696,000			計		70,752,994		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント自粛や不要不急の外出自粛等の制限が緩和されたことにより、臨時休館等の影響は受けずに予定した通り展覧会を開催できたことで、前年度と比較し成果指標は向上している。また、新聞購読者に展覧会情報が目に触れる機会として、全国紙の泉州版等に展覧会ごとに展覧会告知広告を掲載し、来館促進のため割引クーポンを企画(335人/年)したことが、成果指標として有効的であったと考えられる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	前年度と比較して成果指標が向上している実績を踏まえ、各種広告掲載による情報発信は効果的であったと考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	来館者の年齢層は高いため、新聞等の広告掲載を継続するが、若年層の取り込みも見据え、引き続きYouTube、Twitterなどに加え、新たにInstagramでの情報発信にも取り組んでいく。

第1章 定住の促進

第4節 健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進

- 11 定期的な健康チェックの推進
- 12 スポーツを通じた心身の健康増進
- 13 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進											
重点施策	11 定期的な健康チェックの推進											
成果指標 (KPI)	1101	がん検診受診率(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)									指標の単位	%
	基準値 (R2)	20.9				目標値 (R7)	40.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	20.0	20.3	20.0	21.8	23.2	20.9	22.1	22.1				達成状況
達成率							6.3%	6.3%				
備考												
担当課	健康づくり推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1がん検診受診勧奨事業				地方創生関連交付金事業該当		－																																		
					和泉創発プラン該当		－																																		
(事前評価)	がんの早期発見・早期治療につなげるため、各種がん検診の受診勧奨による受診率の向上を図る。				(事後評価)	○各がん検診毎の受診率																																			
【P】事業の目的						<table><tr><td></td><td>対象者数(人)</td><td>受診者数(人)</td><td>受診率(%)</td><td>対前年度率</td></tr><tr><td>胃がん検診</td><td>62,670</td><td>1,146</td><td>1.8%</td><td>-0.1%</td></tr><tr><td>肺がん検診</td><td>62,670</td><td>17,338</td><td>27.7%</td><td>0.9%</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>62,670</td><td>14,034</td><td>22.4%</td><td>-0.4%</td></tr><tr><td>子宮がん検診</td><td>22,817</td><td>6,983</td><td>30.6%</td><td>0.6%</td></tr><tr><td>乳がん検診</td><td>19,600</td><td>5,441</td><td>27.8%</td><td>-1.2%</td></tr></table>								対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対前年度率	胃がん検診	62,670	1,146	1.8%	-0.1%	肺がん検診	62,670	17,338	27.7%	0.9%	大腸がん検診	62,670	14,034	22.4%	-0.4%	子宮がん検診	22,817	6,983	30.6%	0.6%	乳がん検診	19,600	5,441	27.8%
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	対前年度率																																					
胃がん検診	62,670	1,146	1.8%	-0.1%																																					
肺がん検診	62,670	17,338	27.7%	0.9%																																					
大腸がん検診	62,670	14,034	22.4%	-0.4%																																					
子宮がん検診	22,817	6,983	30.6%	0.6%																																					
乳がん検診	19,600	5,441	27.8%	-1.2%																																					
(事前評価)	○子宮がん・乳がん検診の無料クーポン券を発行する。 ○受診勧奨及び周知・啓発を実施する。 ・個別勧奨通知 ・健康教育の場を活用した啓発・受診勧奨 ・チラシ・リーフレットの配布				(事後評価)	【D】事業実績																																			
【P】事業の内容																																									
(事前評価)	①がん検診無料クーポン券の発行 子宮がん・乳がん検診の無料クーポン券を発行する。 ②個別勧奨通知 受診に繋がりのやすい対象者に勧奨通知を送付する。 ③チラシ等の配布 受診率向上に効果的な配布場所を検討し、チラシ等を配布する。 ④健康教育の実施 ⑤検診を受診することでポイントを付与する健康づくりポイント事業の実施。(集めたポイントを検診無料券に交換				(事後評価)	①がん検診無料クーポン券の発行(4,172人) 子宮がん検診1,054人、乳がん検診1,083人に対し、無料クーポン券の送付を行った。また、クーポン券未使用者である子宮がん検診1,004人、乳がん検診1,031人に対し、再勧奨を行った。 ②個別勧奨通知(31,805人) 過去の受診状況を分析し、昨年度効果的であった通知についてさらに内容を充実させて通知した。また、今年度から胃内視鏡対象者を拡大、3世代に予約方法や検査内容の情報を分かりやすく記載したハガキを送付した。 ③チラシ等の配布 胃がん・乳がん集団検診、4ヶ月、1歳半、2歳半、3歳半健診時等に配布 胃がん検診18回、536枚(5大がん向けリーフレット) 骨密度検診16回、644枚(子宮がん・乳がん検診リーフレット) 乳がん検診12回、506枚(5大がん向けリーフレット) 3歳半健診48回、1,367枚(5大がん向けリーフレット) 4ヶ月健診56回、1,179枚(子宮がん検診リーフレット) 1歳半健診48回、1,300枚(子宮がん検診リーフレット) 2歳半健診48回、1,391枚(子宮がん検診リーフレット) いずみメールの配信 10月(乳がん月間)に、市庁舎のピンク色ライトアップ実施、いずみメール発信。 ④健康教育の実施 R4.6.17「女性のがん・がん検診について」のぞみ野自治会館 参加者8人 R4.9.15「女性のがんについて」子育て支援センター 参加者4人 R4.10.5「女性のがん・がん検診について」いずみエンゼルハウス府中 参加者4人 R4.11.19「女性のがん・5大がんについて」いぶきの小学校 参加者35人 ⑤健康づくりポイント事業の実施 市内73医療機関にポスター掲示、各がん検診受診票に健康ポイント事業の説明を記載																																			
(事前評価)	指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値																																	
【P】活動指標	検診の受診啓発実施者数				人	30,000	R3	R4	R5	R6	R7																														
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)																																
	印刷製本費	1,923,160				印刷製本費	923,670																																		
	計		1,923,160			計		923,670																																	
	備考					備考																																			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	・受診率は、肺がん検診、子宮がん検診において上昇、胃がん検診、大腸がん検診は僅かに低下、昨年大幅に上昇した乳がん検診は低下した。 ・令和4年度は、胃がん集団検診の回数減少(24回→18回)したが、今年度から対象者拡大した胃内視鏡個別検診の受診者数は大幅に増加(471名→610名)した。 ・がん検診の受診控えの影響が大きな要因と考えられたため、受診勧奨素材の掲載内容を工夫し、送付対象者や送付時期の選定は適切であった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	・受診勧奨の効果およびリーフレット配付等により検診を周知できた。 ・がん検診受診控えにより、がん発見の遅れによる進行がんの増加が懸念されるため、今年度の受診状況などを分析し、次年度の受診勧奨へと繋げる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	③拡大	・個別受診勧奨については、対象者を拡大実施、ハガキの紙面を拡大し掲載内容を充実させるなど、周知手法を検討する。 ・引き続き、幅広く働きかけを行うため、地域の健康教育や乳幼児健診で来所された保護者等を対象に周知啓発を行う。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進											
重点施策	11 定期的な健康チェックの推進											
成果指標 (KPI)	1102	前年度のメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者・予備群のうち、当該年度において対象外となった人の割合									指標の単位	%
	基準値 (R2)	27.0				目標値 (R7)	35.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					33.5	27.0	27.7	27.4				達成状況
達成率							8.7%	5.0%				
備考												
担当課	保険年金室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 特定健康診査受診勧奨事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	生活習慣の改善が必要な人に早期にかつ適切な特定保健指導を実施するため、特定健康診査の受診率向上を図る。 【P】事業の目的 (特定健康診査の対象者) 和泉市国民健康保険に加入する40歳から74歳の人				(事後評価)	＜令和4年度特定健康診査受診実績＞ 【受診対象者数】23,828人 【受診者数】 9,419人 【受診率】 39.5%(R5.4.26現在法定報告速報値) 【勧奨者数】 17,346人 うち受診者数 6,751人 【勧奨者の受診率】 38.9% } (けんこうカルテより抽出)					
(事前評価)	特定健康診査の受診勧奨を実施し、受診につなげる。 【P】事業の内容					＜勧奨通知の送付＞ 送付日 送付通数(延べ) 第1回目 令和4年5月 12,500通 第2回目 令和4年8月 5,198通 第3回目 令和4年10月 9,643通 計27,341人 (実17,346人)					
(事前評価)	はがきによる勧奨 対象者数: 延べ26,500人 【P】成果指標向上のための具体的な取組 勧奨時期及び対象者の検討 対象者の年齢や過去の受診歴などを基に、受診率向上に効果的な時期・対象者を検討する。				(事後評価)	AIにより、対象者をタイプ別に区分したのち、優先対象者判定を行い、タイプに応じた内容のはがきを年3回、合計17,346人(実人員)に送付。 結果、6,751人が特定健康診査を受診した。 ＜対象者＞ 第1回目: 不定期受診者(過去3年間のうち、1～2回受診) 未経験者(過去3年間受診歴なし) 第2回目: 不定期受診者(過去3年間のうち、1～2回受診) 未経験者(40代50代) 第3回目: 発送時点未受診者					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	特定健康診査受診率(速報値)				%	42.1	37.5	39.5			
	勧奨通知者で特定健康診査を受けた人の割合				%	35.0	37.3	38.9			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	6,446,000				委託料	6,445,868				
	計		6,446,000			計		6,445,868			
	備考					備考					
【P】予算				【D】決算							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、運動不足や栄養の偏りなどが影響したためか、積極的な働きかけを行っていたが、KPIはほぼ同様であった。 ・受診率の向上が即座にKPIの目標値に直結するものではないものの、KPIの達成のためには、長期的な視点で、市民の健康意識を高めることが必要であり、受診率を向上させる働きかけが重要である。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率(速報値)は、前年度確定値と比較して2.0ポイント増加した。 ・勧奨通知による受診者の割合は、R3年度(37.3%)より1.6ポイント上昇した。「受診行動タイプ」別にハガキの内容を変える、送付対象者に優先順位を付けて送付する方法で実施したのは、3年目になるが、R4年度も、発送後、健診に関する問い合わせが増え、R4特定健診受診率の速報値は令和3年度より増加した。今後も、前年度の効果検証を行い、効果的な勧奨の時期や対象を検討する。 ・年齢や受診履歴を勘案して勧奨対象者を抽出すると、前年度より受診率が上昇したため、優先順位をつけたことは効果的であったと評価できる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期受診者及び未受診者の固定化に対する対策として、はがきによる勧奨回数対象者の拡大(未経験者への発送数を増やす等)や40、50歳代向けに新たにハガキのデザインを変える等を検討する。 ・はがきによる勧奨通知については、効果の検証をしつつ引き続き実施するが、対象者の年齢や過去の受診歴などを基に受診率向上に効果的な時期・対象者を抽出できる業者との委託をすすめる。また、内容については、未受診者をタイプ別に分類し、ナッジ理論に基づいた行動変容を促す勧奨メッセージを送付できるよう取り組む。

取組事業	2 特定保健指導利用促進事業				地方創生関連交付金事業該当					-		
					和泉創発プラン該当					-		
(事前評価)	生活習慣病の発症、重症化を予防するため、特定保健指導の利用率向上を図る。				(事後評価)	特定保健指導対象者数 1,077人 特定保健指導利用者数 261人 ①電話による利用勧奨 期間 令和4年4月～7月、令和4年9月～3月 勧奨対象者 728人 勧奨できた人の数 381人 勧奨率 52.3% 特定保健指導を利用(業者委託分)した人の数 38人 利用率10.0% ②運動教室 期間 月2回、6か月間を2クール、 月3回、4か月間を3クール 定員 15人/回(定員75人) 実施回数 年間5クール 1回目 令和4年4月18日～ 参加者 7人 2回目 令和4年6月10日～ 参加者 3人 3回目 令和4年10月12日～ 参加者 5人 4回目 令和4年12月6日～ 参加者 5人 5回目 令和5年2月7日～ 参加者 5人 参加者数計 25人 参加率 33.3%						
【P】事業の目的	(対象者)和泉市国民健康保険に加入する40歳から74歳の人のうち、特定健康診査を受診し、その結果、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善が必要な人											
(事前評価)	①特定保健指導対象者に利用勧奨を行う。 ②特定保健指導に運動教室を併設した支援を実施する。					【D】事業実績						
【P】事業の内容												
(事前評価)	①文書による案内で特定保健指導の利用意向の返事がない人を対象に電話により勧奨する。 ②実施回数及び定員、運動教室の開催期間等月2回・6か月間を2クール、月3回・4か月間を3クール実施。定員はいずれも15人。				(事後評価)	①特定保健指導の利用案内を送付し、締切日までに利用意向の返事がない人を対象に、電話による利用勧奨を行った。 特定健康診査の結果を踏まえ、生活習慣改善の必要性を伝えた。 ②年齢や性別、体力に応じて、一人ひとりが自宅や日常生活で取り組みやすい運動方法を習得するプログラムを実施した。 また、生活改善の必要性の理解を深めるため、健康や運動等に関する学習時間を設けた。						
【P】成果指標向上のための具体的な取組					【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績							
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	利用勧奨(電話)できた人のうち特定保健指導を利用した人の割合				%	10	9.1	10.0				
	運動教室併設型で特定保健指導を利用した人の人数				人	60	32.0	25				
【P】活動指標												
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	印刷製本費	120,120	使用料及び賃借料	153,170		印刷製本費	127,160	使用料及び賃借料	5,911			
	役務費	378,480				役務費	168,607					
	委託料	6,187,000				委託料	4,402,310					
	計		6,838,770			計		4,703,988				
	備考					備考						
	【P】予算					【D】決算						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	・新型コロナウイルス感染症の影響で、外出控え等により、運動不足や栄養の偏りなどが影響したと思われる。 ・特定保健指導利用率の向上が即座にKPIの目標値に直結するものではないものの、KPI達成のためには、特定保健指導を活用する人が増え、利用者及び家族などの周囲の人に、自身の健康行動を伝達するなどして、市民の健康意識を高めていくことが重要である。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	・特定保健指導の電話勧奨による特定保健指導の利用者数、運動教室併設型の特定保健指導参加率は、目標値には届かなかったが、利用勧奨(電話)できた人のうち特定保健指導を利用した人の割合は増加した。 勧奨時に、現在の身体の状態及び今後想定される疾患の発症リスクを伝える等、保健指導の必要性を効果的に伝えることができたと思われる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・文書による案内で特定保健指導の利用意向がない人を対象に、架電により利用勧奨を継続する。Web面接でも特定保健指導を実施できるメリットを伝えていく。 ・人間ドック実施医療機関等、健診当日に特定保健指導が実施可能な医療機関を増やす。 ・運動教室は継続し、参加者が効果的にメタボリックシンドロームを改善できるように事業を実施する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進												
節		第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進												
重点施策		11 定期的な健康チェックの推進												
成果指標 (KPI)	1103	「ヘルスアップサポーターいずみ」の年間地域活動回数									指標の単位		人	
	基準値 (R2)	1,244				目標値 (R7)		3,100			総合戦略 該当		○	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	1,047	1,397	1,747	1,981	2,150	1,244	1,070	1,254				達成状況		
達成率							0.0%	0.5%						
備考														
担当課		健康づくり推進室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1ヘルスアップサポーターいずみ養成・活動支援事業				地方創生関連交付金事業該当				－			
					和泉創発プラン該当				－			
(事前評価)	【P】事業の目的 健康都市いずみを実現するため、地域で健康づくり活動を推進する健康づくりボランティア「ヘルスアップサポーターいずみ」の養成と育成を図る。				(事後評価)	①養成講座 6回/クール実施。延24人参加。うち4名がボランティア登録。 ②定例会、交流会 定例会6回、交流会1回。延112人参加。 (内容)身体活動・運動、健康チェック、歯と口腔、食生活、たばこ、アルコール、こころの健康に関する情報提供。ヘルサボ活動を活発にしていけるための情報、意見交換。医師による生活習慣病予防の講演会の実施。会員同士のつながりを強化するための仕掛けづくりの実施。 ③地区担当保健師と協議・協力をしながら、地域でのイベントの企画実施を支援した。						
(事前評価)	【P】事業の内容 ①養成講座を開催する。 ②健康づくりの情報提供や活動の情報交換等を行う会員対象の定例会を開催する。 ③会員の地域での健康づくり活動に関する支援を行う。					【D】事業実績						
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①サポーターに対して、定例会等を活用した活動支援を行う。 ・学習会 ・地域活動に関する情報交換 ・市と協働によるイベント企画・運営 ②養成講座受講後の活動者を増やすため、活動者から活動内容等を伝えたり、ココロいずみダンスの実践、身近な地域での活動企画案の作成など、講座内容の充実を図る。 ③養成講座受講者の地域健康づくりへの参画を支援するため、地域担当保健師が窓口となり受講者と地域活動者とのコーディネートを行う。				(事後評価)	①定例会、交流会を活用した活動支援 ・学習会 5回 健康都市いずみ21計画の健康分野(身体活動・運動、健康チェック、歯と口腔、食生活、たばこ、アルコール、こころの健康)について実施 ・地域活動に関する情報交換の機会 7回 ・市と協働によるイベント企画・運営 3回 ウォーキングイベントや食育部の企画イベント、食育イベントでのダンスを実施 ②具体的な活動内容について、分野ごとに話す機会を確保し、活動イメージができるように工夫した。また、講座参加者全員で企画立案を行うことで、つながり強化を図った。修了者4名全員が、定期的にイベントや定例会の参加を継続できている。 ③地区活動との連携の中で、担当保健師がつながりを継続できている。また、事業担当からの定期連絡を継続し、活動意欲の維持に努めている。						
(事前評価)	指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
【P】活動指標	ヘルスアップサポーターいずみ登録数				人	106	R3	R4	R5	R6	R7	
【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	報酬	366,000	消耗品費	50,000		報酬	366,000	消耗品費	35,402			
	報償費	73,000	印刷製本費	0		報償	49,000					
	旅費	16,000				旅費	2,340					
	計		505,000			計		452,742				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	地域活動回数は1254回(令和3年度1070回、令和2年度1244回)、活動箇所は44箇所(令和3年度35箇所、令和2年度37箇所)と前年度に比べて増加した。延べ人数は14595人(令和3年度20119人、令和2年度17086人)であり、減少している。 新型コロナウイルスの感染拡大防止を徹底し、一回あたりの活動人数や頻度の減少は見られているが、活動箇所や回数は増加しており、それぞれ感染予防を実施しながらも、活動自体は活性化しているものと推測できる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動頻度は令和3年度と同等で実施しており、成果指標は前年度より増加し回復傾向となっている。感染予防に配慮しつつ養成講座を開催したり、各部会のミーティングや地域の健康づくり活動、交流会等を行い、活動者同士の繋がりの機会やスキルを深める機会を設け、より地域に目を向けた形の事業運営ができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	「第3次健康都市いずみ21計画」の基本目標である健康寿命の延伸をめざし、健康課題を健康づくり活動の実践者であるヘルスアップサポーターいずみと共有し、協働した活動を展開していく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進											
重点施策	12 スポーツを通じた心身の健康増進											
成果指標 (KPI)	1201	スポーツイベント等の年間参加者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	182				目標値 (R7)	14,000				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						182	140	1,882				達成状況
達成率							0.0%	12.3%				
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 スポーツイベント推進事業				地方創生関連交付金事業該当	-							
					和泉創発プラン該当	-							
(事前評価)	【P】事業の目的 誰もが気軽にスポーツに親しむ機会を提供し、生涯スポーツの推進を図る。				(事後評価)	○春季ファミリー歩こう会 参加者数:17人 ○市民ゴルフ大会 参加者数:49人(前年比-24人) ○ニュースポーツ教室 参加者数:4月(21人)、5月(12人)、6月(12人)、11月(12人)、12月(7人)、2月(7人) 前年比+34人 ○ニュースポーツフェスタ 参加者数:55人 ○信太山クロスカントリー大会 参加者数:1223人 ○ランニングイベント 参加者数:33人 ○市民観戦デー セレッソ参加者数:144人 エヴェッサ参加者数:290人(1日目:139人、2日目:151人) ＜開催中止となった事業＞ ・スポーツフェスティバル ・走り方教室 ・市民観戦デー(オリックス)							
(事前評価)	①各種スポーツイベントやスポーツ教室を開催する。 ②野球やサッカー等のプロスポーツ観戦の機会を提供する。					【D】事業実績							
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①シティプロモーションと連動し、大阪ミュージアムイベントミックスなどにイベント情報を提供し、事業啓発等を行う。 ②民間事業所等にチラシ・ポスターを配布・掲示する。 ③各イベントにおいて、企画内容の充実を図るとともに、協賛企業の獲得に取り組む。 ④気軽に誰でも楽しめるイベントとしてニュースポーツフェスタを開催し、スポーツイベント参加者の拡大を図る。 ⑤現状の体力を把握し、日常的な運動につなげるためスポーツフェスティバルで体力測定会を実施する。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①アピール担当のシティプロモーション事業を活用し、広域的な啓発を行った。 ②市内体育施設、公共施設にチラシを配布・ポスターを掲示し、広く周知できた。 ③第70回を迎えた信太山クロスカントリー大会では、ゲストランナーに福士加代子(4大会連続五輪出場)を招聘し、市民とオリンピックが触れ合う機会を創出できた。アスリートビブスに協賛企業のロゴを掲載するなど、新しい取り組みで協賛金を獲得できた。 ④幅広い年代が参加するニュースポーツフェスタを開催した。 ⑤新型コロナウイルス感染症のため中止。							
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値						
							R3	R4	R5	R6	R7		
	年間参加者数のうち新規参加者の割合				%	30	75	99					
(事前評価)	内訳		金額(円)		内訳		金額(円)		(事後評価)	内訳		金額(円)	
	需用費		1,947,000		委託料		651,000			需用費		1,222,278	
	報償費		150,000							報償費		50,000	
	使用料及び賃借料		376,000							使用料及び賃借料		158,296	
	計				3,124,000					計		1,778,574	
	備考									備考			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	○時期により新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したイベントもあったが、3年ぶりに信太山クロスカントリー大会等を開催し、参加者数が増加した。 ○新規のイベントとして、ランニングイベント開催および大阪エベッサ(プロバスケットボール)市民観戦デーを実施した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	○新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施し、各大会を実施することができた。市民観戦デーでは、プロバスケットボール(大阪エベッサ)を初めて実施することができた。 ○新規イベントに取り組み実施することができた。 ○信太山クロスカントリー大会では、協賛各社に働きかけ、協賛金の増額につながった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	○イベント内容の充実を図り、SNSの利用や、見やすいホームページの作成、手にとってもらえるようなチラシの作成等、より有効な告知方法の検討をし、魅力あるイベントを実施していく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進												
節	第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進												
重点施策	12 スポーツを通じた心身の健康増進												
成果指標 (KPI)	1202	スポーツ施設の年間利用者数									指標の単位		人
	基準値 (R2)	280,893				目標値 (R7)		578,000			総合戦略 該当		○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	540,296	518,384	555,613	554,450	520,182	280,893	337,550	462,921				達成状況	
達成率							19.1%	61.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
備考													
担当課	生涯学習推進室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 体育施設利用促進事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	誰もが気軽にスポーツに親しむ機会やライフステージに応じた多様なスポーツ活動の場を提供する。				(事後評価)						
【P】事業の目的											
(事前評価)	市内の各体育施設において、スポーツ教室やイベントなどを開催する。				【D】事業実績						
【P】事業の内容											
(事前評価)	①トップアスリートを招いたスポーツ教室等を開催する。				(事後評価)	①光明池球技場 延利用者数: 65,840人(前年度比9,424人) ②光明池緑地運動場 延利用者数: 43,694人(前年度比2,197人) ③温水プール 延利用者数: 77,915人(前年度比29,243人) ④市民体育館 延利用者数: 56,079人(前年度比10,503人) ⑤コミュニティ体育館 延利用者数: 82,051人(前年度比27,025人) ⑥総合スポーツセンター 延利用者数: 124,836人(前年度比45,662人) ⑦槇尾川公園テニスコート 延利用者数: 12,506人(前年度比1,317人)					
【P】成果指標向上のための具体的な取組	②各施設の利用情報等を周知するため、体育施設へのチラシの配架やSNS、いずみメール等を活用する。										
(事前評価)	①平野美宇選手(東京オリンピック卓球女子団体銀メダリスト)を招聘し、小学生以上の市民を対象とした卓球クリニック「IZUMI Mizuno Victory Clinic 2022」を実施 参加・観覧者 合計181名				(事後評価)	②施設での掲示等や広報紙において予約システムへの団体登録の周知を行った。 【登録団体数】458団体(前年度比+36)					
【P】活動指標											
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
【P】活動指標	指定管理者によるスポーツイベント実施数				件	200	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	139,685,000				委託料	143,137,235				
	計			139,685,000		計			143,137,235		
【P】予算					【D】決算						
備考						備考	電気料高騰分による増額含む				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	○新型コロナウイルスを理由とした休館・制限がなくなり利用者数が回復傾向にある。トップアスリートを招いた教室等を実施し施設の利用促進につながった。 ○各施設ホームページ等において、施設や予約システムの利用方法を周知した結果、団体登録者数が増加した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	○新型コロナウイルスを理由とした休館・制限がなくなり、指定管理者と協働しスポーツイベントや大会運営をスムーズに実施できた結果、施設利用者数の回復につなげることができた。 ○施設や予約システムの利用方法を周知した結果、団体登録者数が増加した。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	指定管理者と協議のうえ、トップアスリートを招いたスポーツ教室や誰もが参加しやすいスポーツイベントなどを開催し、運動することの楽しさを伝え、幅広い年代を取り込むことで、更なるスポーツの普及に向けて施設の利用促進を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進											
重点施策	12 スポーツを通じた心身の健康増進											
成果指標 (KPI)	1203	体育協会の加盟者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	8,423				目標値 (R7)	11,000				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	10,862	10,890	11,638	10,263	9,818	8,423	8,447	8,260				達成状況
達成率							0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 体育協会運営費補助事業		地方創生関連交付金事業該当		-	
			和泉創発プラン該当		-	
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○陸上競技連盟 加入者数:409人(前年度比:▲3人) ○軟式野球連盟 加入者数:1,569人(前年度比:▲268人) ○卓球連盟 加入者数:372人(前年度比:+82人) ○バレーボール連盟 加入者数:482人(前年度比:±0人) ○ソフトボール連盟 加入者数:202人(前年度比:▲17人) ○ソフトテニス連盟 加入者数:110人(前年度比:±0人) ○柔道連盟 加入者数:81人(前年度比:+1人) ○空手道連盟 加入者数:146人(前年度比:±0人) ○バスケットボール連盟 加入者数:685人(前年度比:±0人) ○剣道連盟 加入者数:156人(前年度比:▲33人) ○バトミントン連盟 加入者数:540人(前年度比:+25人) ○ゲートボール連盟 加入者数:51人(前年度比:+12人) ○テニス連盟 加入者数:1,208人(前年度比:+81人) ○サッカー連盟 加入者数:1,150人(前年度比:±0人) ○少林寺拳法連盟 加入者数:125人(前年度比:±0人) ○太極拳連盟 加入者数:233人(前年度比:▲127人) ○グラウンドゴルフ連盟 加入者数:289人(前年度比:▲86人) ○キックベースボール連盟 加入者数:430人(前年度比:+150人) ○インディアカ連盟 加入者数:22人(前年度比:▲4人)		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,330円 ・大阪府総合体育大会派遣費 268,200円 ・大阪府総合体育大会諸経費 204,740円 ・体育協会表彰諸経費 85,800円 ・雑費 183,767円 ○各連盟に対して、体育協会運営費補助事業の制度周知を図った。		
(事前評価)	【P】事業の内容					
(事前評価)	【P】事業の目的		(事後評価)	○体育協会に対して、以下のとおり補助金を交付した。 交付実績 8,101,796円 【内訳】 ・交付団体数 19団体 ・加盟団体事業実施補助金 1,880,959円 ・施設使用料 5,478,3		

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	○軟式野球連盟では、大会参加チーム数が減少したため。グラウンドゴルフ連盟、太極拳連盟では高齢化により加盟者数が減少した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	○連盟主催の実施事業数は昨年度に比べて増加し、新型コロナ対策を実施のうえ各大会がスムーズの運営されたが、各連盟において加盟者が増えるような魅力的な情報発信ができなかった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	○体育協会と連携を図り、市広報やホームページを活用するなどしてスポーツの普及・振興や大会参加者数の増加に努め、体育協会に対して積極的な加盟者数の増加を促し地域スポーツ活動の活性化を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第1章 定住の促進												
節		第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進												
重点施策		13 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進												
成果指標 (KPI)	1301	住民自主グループによる介護予防体操における年間参加者実人数									指標の単位		人	
	基準値 (R2)	1,783				目標値 (R7)		2,400			総合戦略 該当		○	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	253	647	913	1,425	1,703	1,783	1,797	2,018				達成状況		
達成率							2.3%	38.1%						
備考														
担当課		高齢介護室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 地域介護予防活動支援事業				地方創生関連交付金事業該当		-					
					和泉創発プラン該当		-					
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	【D】事業実績	【令和4年度末の活動団体の状況】 団体数:93団体 参加人数:2018人 (うち令和4年度の新規立ち上げ団体数:11団体 新規参加者数:214人)					
(事前評価)	【P】事業の内容											
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①活動の場の立ち上げ 体験講座実施数:9団体 シリーズ講座実施数:10団体 ②活動団体の継続支援 モニタリング講座実施数:9団体 評価フォロー実施数:57団体 療法師フォロー実施数:38団体 活動者交流会実施数:4回 90歳以上の参加者への表彰実施 ③体験の周知 体操を理解してもらうためのPRとして、「おためしいきいきずみ体操」を年間3回実施。 運動機能向上クラスで、いきいきずみ体操の紹介。 ④地域包括支援センターへデータ提供し、体力測定の共有。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値						(事後評価)【D】実績値
(事前評価)	【P】活動指標				団体	6	R3	R4	R5	R6	R7	
(事前評価)	【P】予算				(事後評価)	【D】決算	内訳		金額(円)	内訳	金額(円)	
(事前評価)	報償費						195,000	報償費		182,000		
(事前評価)	委託料						14,500,000	委託料		4,221,200		
(事前評価)	計						14,695,000	計		4,403,200		
(事前評価)	備考						備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>自主グループ活動は、コロナ禍での活動自粛傾向から回復しつつあることから、体験講座やシリーズの実施回数が令和3年度より増加した。</p> <p>しかし、感染予防対策による自粛等の影響で、活動再開が困難な団体も見受けられるため、地域包括支援センターと継続して活動支援を継続していく。</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>地域活動状況としては、コロナ禍での活動自粛から活動再開し戻りつつある。</p> <p>新型コロナウイルス感染が始まった令和1年～令和3年にかけて数十人での増加状況であったが、令和4年には221人の増加があった。また、令和4年では、団体も10団体設立している。地域活動が戻りつつあるタイミングで地域包括支援センターが活動団体へ出向き、体験講座を実施、立ち上げ支援が効果的に行えているためだと考えられる。</p> <p>評価フォローが57団体実施できていることから、地域包括支援センターが団体への活動支援を行っていると考えられる。しかし、活動が再開出来ていない団体もいることから、地域包括支援センターと継続して活動支援を行っていく必要がある。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>活動再開が困難な団体へ、地域包括支援センターと共に活動再開への支援をおこなっていく。</p> <p>また、モニタリング講座や評価フォロー講座を通して、フレイルについて考えるきっかけづくりをおこない、運動を継続する大切さを参加者に知ってもらうことで、いきいきいずみ体操の継続へ働きかけていく。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進											
重点施策	13 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進											
成果指標 (KPI)	1302	認知症予防教室の延べ参加者数(令和3年度～令和7年度)									指標の単位	人
	基準値 (R2)					目標値 (R7)	2,100			総合戦略 該当	○	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	253	647	913	1,425	1,703	2,007	326	626				達成状況
達成率							15.5%	29.8%				
備考	令和3年度から令和7年度の5年間で目標値(R7)の達成を目指します。											
担当課	高齢介護室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 認知症予防教室開催事業				地方創生関連交付金事業該当				-			
					和泉創発プラン該当				-			
(事前評価)	【P】事業の目的 ①認知症とその進行予防に対する正しい知識や手法を身につけてもらい、認知症の予防を図る。 ②認知症を正しく理解することで、地域に住む認知症の方への理解や見守り等について考える機会を提供する。				(事後評価)	【D】事業実績	【令和4年度の認知症予防教室開催実績】 ①認知機能向上クラス ・開催数：4日間×6コース ・参加者数：(実)55人 (延)198人(延べは実人数×出席日数) ・教室内容 1日目：スクリーニング、脳トレ、講話、GW 2日目：講話、脳トレ、運動、GW 3日目：講話、脳トレ、GW 4日目：講話、脳トレ、体操、GW ②健康寿命のびのび教室 ・開催数：1日×6コース ・参加者数：(実)(延)102人 ・教室内容 地域の団体へ講師を派遣し、体力測定や座位での有酸素運動や脳トレーニングのメニューを実施し、認知機能向上を図る。 198人+102人=300人					
(事前評価)	【P】事業の内容 65歳以上の方に対し、計4日間の認知症予防教室を開催する。また地域に出向いて出張型の教室を開催する。 (教室の内容)簡易なスクリーニングテストや脳トレーニング、ウォーキング、口腔体操等											
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①健康寿命のびのび教室、認知症予防教室の講座内容を充実する。 認知症の基礎知識や予防の取組、実技等、教室終了後も自分で取り組みそうな内容を検討する。 ②広報活動を充実する。 広報、市HP、お知らせパンフレットや高齢者の集会への出向により周知を図る。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①認知症予防教室の講座内容の充実 ・エビデンスに基づいたメニュー(国立長寿医療研究センターが開発したコグニサイズなど)を取れ入れたことで教室修了後の主体的な取り組みに繋がった。 ・虚弱高齢者や認知機能の低下が著しい参加者については、短期集中的に運動機能へ働きかける通所Cの教室や、専門職による相談等を実施し、機能低下を予防する取り組みを行い、介護予防に繋がった。 ②広報活動の充実 ・広報いずみや市のHP掲載 ・医療機関へのチラシ配布 ・70歳到達された方への介護予防の啓発文書を送付。その中で教室周知					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	【P】活動指標 認知症予防教室の開催コース数				コース	6	6	6				
	健康寿命のびのび教室開催数				回	7	5	6				
(事前評価)												
	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	4,000,000				委託料	3,594,360					
	計		4,000,000			計		3,594,360				
備考				備考								

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて教室の定員を削減し、伸び率は緩やかになったが、認知機能向上クラスの介護予防教室では延べ198名、のびのび教室では延べ102人の高齢者に参加頂いた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	認知機能向上クラスについては昨年同様参加者定員を25人から15人に削減したため、年間の目標数を達成することはできなかったが、参加者からのアンケート結果では、認知症予防へ関心や理解が深まったことが分かり、開催の成果があったと考えられる。 周知については、新たな取り組みを行うことができず、来年度に向けての反省点とする。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>今後は社会情勢によるが、段階的に教室参加定員を引き上げ、年間目標が達成できるよう努める。</p> <p>また、下記の取組は引き続き実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命や要支援認定割合が多い本市の傾向を踏まえ、フレイルに陥りやすい70歳を節目に集中的に情報提供を行い、身近な地域での開催を検討する。介護予防に関心がある、または取組ことができる高齢者の増加を狙う。 ・認知症の予防を教室内で高齢者へお伝えするとともに、認知症の方との「共生」についても講師より語りかけていく。 <p>昨年度課題としていた周知について、今後はこれまで周知してこなかった団体・集会に出向き、周知を図ることとする。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進											
重点施策	13 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進											
成果指標 (KPI)	1303	老人クラブの登録者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	12,660				目標値 (R7)	13,100				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	14,536	14,283	13,901	13,408	13,097	12,660	12,034	11,507				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	高齢介護室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1	老人クラブ加入促進事業			地方創生関連交付金事業該当			-					
					和泉創発プラン該当			-					
(事前評価)	老人クラブは会員相互の連絡を図り、老後の生活を健全で豊かなものにし、老人の福祉増進に資することを目的としている。活動組織の基盤となる会員の増強に向け、加入率の低い60歳代の方に加入促進を行い、休会、退会クラブの復活を目指す。				(事後評価)								
(事前評価)	老人クラブが存在しない地域に対し、クラブの必要性について周知を図り、新規クラブの設立を推進する。また、休会・解散クラブへ、CSWや地域包括支援センターが自治会長等へ働きかけを行うとともに、近隣のクラブへ協力を求めるなど復活への支援を行う。その他、老人クラブが地元でない、もしくは現在休会中、解散したクラブに所属していた方も活動に参加できるよう、校区外老人クラブを立ち上げ、加入者の増進をめざす。					(D) 事業実績	【令和4年度末の老人クラブの状況】 (クラブ数) 178クラブ(対前年度 ▲1クラブ) (会員数) 11,507人(対前年度 ▲527人) 【活動内容】 ・昨年同様、コロナ禍において、外出が難しい高齢者へ見守り訪問を行った。 ・コロナ禍でも各種イベントの実施を可能な範囲で、工夫して実施した。(日程の変更や感染予防の徹底など)						
(事前評価)	①校区会長をはじめ、女性部、若手部について、それぞれ地元校区、単位クラブにおいて、積極的な老人クラブの新規結成と休会・解散クラブの復活を目指し、入会勧誘に努める。 ②和泉市役所の関係団体に働きかける。 ③各単位クラブが活発に様々な活動を行えるような魅力あるクラブづくりを目指す。 ④他市の先進クラブの視察を行う。 ⑤老人集会所の施設、設備の更新と充実を行う。 ⑥校区外老人クラブを立ち上げ、周知、活動を行う。				(事後評価)	(D) 成果指標向上のための具体的な取組の実績	①休会クラブや継続が難しい状況のクラブ等へ個別に相談等を行った。また、広く周知を図るため、ホームページを活用した。 ②高齢介護室を中心として各関係課と検討等行った。 ③校区活動助成金を交付し、より地域の活動を活性化を促したが、コロナ禍において、効果的な助成とはならなかった。 ④コロナ禍により60周年記念大会が中止となったが、代わりに個別に会員宅へ訪問するなど、コロナ禍において効果的な見守り活動を実施し、講演会などは時期をずらして開催した。また、別途カラオケ大会を開催することとし、活動の場を増やした。 ④老人クラブの若手会員を対象に、高齢者の健康等生きがいづくりを推進するリーダーを育成するため、シニアクラブ大阪健康づくり大学校講座に参加した。 ⑤老人集会所の設備を更新し、高齢者が活用しやすいよう整備した。 ⑥地元老人クラブ等の活動の場がない人に向けて校区外老人クラブを立ち上げ、活動を行った。 R4実施内容:誘導灯等消防設備、屋根・外壁修繕等						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値						
							R3	R4	R5	R6	R7		
	単位クラブ数				クラブ	180	179	178					
(事前評価)	【P】活動指標												
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)				
	補助金	13,000,000				補助金	13,000,000						
	計		13,000,000			計		13,000,000					
	備考					備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	今年度においてもコロナ禍の影響により、様々な行事が中止を余儀なくされ、活発な活動を行うことができなかった。また、例年の傾向からも、新規加入者が少ないため、クラブの中心的な役割を担うべき若手のクラブ会員が減少し、組織が高齢化する中で、クラブの継続が困難となる悪循環によりクラブ数が減少した。また、これに伴い会員数が減少した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	コロナ禍の影響により、様々な行事が中止を余儀なくされ、活発な活動を行うことができなかった。代替案等を行ったが、成果としては難しい状況だった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	②一部見直し	○校区外老人クラブを推進していく。 ○校区活動助成金を有効的に活用してもらえるよう、制度の見直しや周知を行い、地域の活動の活性化をめざす。 ○高齢者と子ども達との交流を行い、高齢者の生きがいづくりや活動の活発化を図る。 ○地域の介護事業所と協力して、利用者や地域の方たちの交流や老人クラブ活動の周知を行う。 ○市として、老人クラブへ必要なフォローを継続して行うとともに、老人集会所の設備更新を行う。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進											
重点施策	13 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進											
成果指標 (KPI)	1304	高齢者おでかけ支援事業の年間利用率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	40.3				目標値 (R7)	50.0			総合戦略 該当	○	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						40.33	47.47	54.92				達成状況
達成率							73.8%	100.0%				
備考												
担当課	高齢介護室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 高齢者おでかけ支援事業				地方創生関連交付金事業該当				-			
					和泉創発プラン該当				-			
(事前評価)	【P】事業の目的 高齢者の積極的な社会参加や健康づくりを推進するため、公共交通の利用促進を図り、外出機会の創出につながる支援をめざす。				(事後評価)	【D】事業実績 R4年4月1日現在、居住しており今年度75歳以上となる方26,380人に送付。 利用者人数は14,487人(利用率:54.92%)						
(事前評価)	【P】事業の内容 市内在住の75歳以上の高齢者に対し、高齢者おでかけ支援チケットを送付する。送付時に利用案内パンフレットを封緘する。 おでかけのきっかけとなるイベントの宣伝やお買い物情報などを説明パンフレットに盛り込み、利用率向上をめざす。											
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ・広報、ホームページ等により、周知を図る。 ・令和2年度の2000円から3000円分になったので、南海バス「なっちカード」の新規作成の追加金が発生しなくなったことをアピール、「なっちカード」のチャージ、オレンジバス専用チケットへの交換の利便性向上のため、出張交換会を令和3年度の6回より回数を増やして行う。 ・実績データを分析し、利用の傾向を把握(バス・タクシーの種別、地域別利用率、アンケート結果など)する。											
(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績				①対象者への郵送以外にも、広報誌掲載、市HP等による周知を行い、事業内容の周知と利用してもらえるよう働きかけた。 ②南海バス「なっちカード」へのチャージ、オレンジバス専用チケットへの交換所が市内に2か所しかなく、利用者の利便性向上のため、出張交換会を実施。8日間11箇所、来場者数は1,170人。 ③アンケート調査を行い、利用状況の傾向を分析を行った。免許を返納等で持っていない方の利用が多く、また、利用した者にとっては外出のきっかけとなった者が多かった。							
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	【P】活動指標 高齢者おでかけ支援チケット交換会				回	12	6	11				
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	作成委託費	4,576,000	入力業務委託費	940,000		作成委託料	4,576,000	入力業務委託費	842,669			
	助成金	46,800,000	会場借上料	210,000		助成金	40,684,600	会場借上料	95,780			
	印刷製本費	693,000				印刷製本費	436,590					
	計		53,219,000			計		46,635,639				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	対象者は26,380人。利用者人数は14,487人(54.92%) 当初予算額46,800,000円に対し、予算執行額40,684,600円(バス利用額18,403,000円 45.23% タクシー利用者は22,281,600円 54.77%) 対象者に対する利用率は54.92% タクシー利用者がより多かったのは、コロナウィルス蔓延化で公共交通の利用を控えた高齢者が多かったものと考察する。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	なっちカードの購入・チャージの出張交換会の回数や場所を増やすことでチケットの利便性を高め、また、チケット送付時の同封チラシに市内のイベント等を掲載することで、高齢者の外出意欲を高めることができ、昨年よりも利用率があがり、成果指標を達成することができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	なっちカードの購入・チャージの出張交換会を行うなどチケットの利便性を高め、高齢者が家にこもることなく、外で活動できるきっかけとしてのツールの一つとして、事業を継続していく。

第1章 定住の促進

第5節 外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備

14 緑のある憩いの場の創出

15 住み続けたいくなる快適な都市環境の整備

16 外出を容易にする交通機能の充実

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第5節 外出機会を創出するうまいのある都市基盤の整備											
重点施策	14 緑のある憩いの場の創出											
成果指標 (KPI)	1401	都市公園の開設面積									指標の単位	ha
	基準値 (R2)	150.9				目標値 (R7)	155.2				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	144.5	147.0	148.2	149.1	149.6	150.9	151.6	153.0				達成状況
達成率							16.3%	47.7%				
備考												
担当課	都市整備室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 都市公園整備事業				地方創生関連交付金事業該当		－				
					和泉創発プラン該当		－				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	緑とうるおいのある快適な都市環境の向上を図るため、憩いの場として休息やレクリエーション、地域のコミュニティ活動等に利用できる公園や緑地を整備する。				(事後評価) 【D】 事業実績	○黒鳥山公園：公園整備を実施し、開設面積が約0.34ha増加した。 ○松尾寺公園：公園整備を実施し、開設面積が約0.45ha増加した。 ○民間開発に伴い整備された公園の移管により、公園の開設面積が約0.61ha増加した。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	本市の中核的な公園である、黒鳥山公園をのほか、松尾寺公園の整備を進めるとともに、民間住宅開発時に適切な公園配置を求める。 ○黒鳥山公園：公園整備工事を行う。 ○松尾寺公園：公園整備工事を行う。 ○民間開発公園の移管を受ける。										
(事前評価)	①黒鳥山公園：0.2haの公園開設を目指し、幼児用複合遊具等の整備を行う。 ②松尾寺公園：園路の整備を行う。 ③開発行為の届出があった場合は、適切な公園設置を行うよう事業者と協議する。				(事後評価) 【D】 成果指標向上のための具体的な取組の実績	①黒鳥山公園 ・複合遊具やドッグラン、園路舗装や階段等の施工を計画通り実施した。 ②松尾寺公園 園路舗装や階段等の施工を計画通り実施した。 ③開発等に伴い、次の公園が整備され、移管を受けた。 春木2号公園、はつが野7号緑地、はつが野8号緑地、はつが野9号公園、はつが野10号公園、内田7号公園、内田8号公園、唐国9号公園、小田8号公園					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	都市公園の整備面積				ha	0.2	0.7	1.4			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	工事費(黒鳥)	35,000,000				工事費(黒鳥)	34,611,500				
	工事費(松尾寺)	25,000,000				工事費(松尾寺)	24,984,300				
	計		60,000,000			計		59,595,800			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	黒鳥山公園及び松尾寺公園の整備を実施し、開設面積が約0.79ha増加した。 また、はつが野付近で行われていた複数の大規模な民間開発が完了し、開発公園の移管時期が重なったこと等により約0.61haの増加となり、合わせて約1.4haの開設面積の増加となった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	黒鳥山公園は複合遊具やドッグラン、園路舗装や階段等の施工を計画通り実施し事業の進捗が図られた。 松尾寺公園は園路舗装や階段等の施工を計画通り実施した。 全体としては開発公園の移管による面積を加え、開設区域を約1.4ha拡大することができた。 市民が憩いの場として休息やレクリエーション、地域のコミュニティ活動等に利用できる場所やその機会をより増やすことができたことに加え、都市の防災機能の向上を図ることができたことから、事業は効果的であったと判断できる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	計画的な整備を行い、順調に進捗を図ることができたことから、年次的な目標値についてはクリアしているが、条例で定められている市民1人当たり10㎡/人には至っていない(現在約8㎡/人)ことから、今後も整備を継続していく。 黒鳥山公園、松尾寺公園、信太山丘陵里山自然公園については、今後も引き続き社会資本整備総合交付金を確保しながら整備を行い、開設面積の拡大に向け事業を進める。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第5節 外出機会を創出するうおいのある都市基盤の整備											
重点施策	14 緑のある憩いの場の創出											
成果指標 (KPI)	1402	貴重動植物の数									指標の単位	種類
	基準値 (R2)	6				目標値 (R7)	6				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	6	6	6	6	6	6	6	6				達成状況
達成率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
備考												
担当課	環境保全課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 信太山丘陵市有地貴重動植物モニタリング事業				地方創生関連交付金事業該当	-					
					和泉創発プラン該当	-					
(事前評価) 【P】 事業の 目的	貴重な動植物が生息する信太山丘陵市有地を次世代に継承すべき財産、地域のシンボルと位置づけ、里山的環境の保持に取り組む。				(事後評価) 【D】 事業実績	・協議会所属のNPO団体(特定非営利活動法人信太の森FANクラブ及び特定非営利活動法人いずみの国の自然館クラブ)協力のもと、湿地のモニタリング調査を、令和4年4月、8月、10月の計3回実施。 ・湿地調査において、調査対象種のほか「サギソウ」、「コモウセンゴケ」等の絶滅危惧Ⅱ類や準絶滅危惧種にランク付けされている貴重種の生育を確認した。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	大阪府レッドリスト2014において絶滅危惧Ⅰ類にランク付けされている「カスミサンショウウオ」、「コバナノワレモコウ」、「ヒメコヌカグサ」、「イガクサ」、「ノグサ」、「トキソウ」の継続的なモニタリングを行い、目指すべき自然環境の姿にどれだけ近づいたかを評価する。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①湿地(湿地周辺を含む)の雑草除去、樹木の伐採を実施する。 ②カスミサンショウウオの産卵場所確保のための泥上げ作業等を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	・湿地及び周辺の草原等の雑草除去、樹木の伐採等の管理作業を実施した。 (実施日)5/17、12/4、12/20、2/16、2/21 ・カスミサンショウウオの産卵場所確保のための泥上げ作業や、湿地周辺の草刈等を実施した。 (実施日)2/26 ・生きもの観察会当日、ヤマトサンショウウオの成体を確認。参加者に直接観察頂いた。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
	保全活動実施回数				回	12	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	3,300,000				委託料	2,772,000				
	計		3,300,000			計		2,772,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	モニタリング調査の主たる対象としている貴重な動植物全6種をモニタリング調査等で確認し、信太山丘陵における里山的環境が保持されていることを確認した。 学識経験者や地域のNPO団体、コンサルタント事業者等との連携のもと、ネザサ等の雑草の除去やカスミサンショウウオが産卵しやすい環境づくりなど、湿地の保全活動を継続して実施した結果、希少な動植物が生育可能な環境を保持できたためと判断している。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	調査対象としている動植物は、いずれも大阪府レッドリスト2014において絶滅危惧Ⅰ類にランク付けされており、生存に適切な環境が維持できなければ、大阪府内で見られなくなってしまうリスクが非常に高い種である。 今年度の湿地におけるモニタリング調査でも、調査対象種のほか「サギソウ」、「コモウセンゴケ」等の絶滅危惧Ⅱ類や準絶滅危惧種にランク付けされている貴重種の生育を確認できたことから、効果的な保全活動が実施できたと判断した。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	「貴重動植物の数を保持していくため、信太山丘陵里山自然公園協議会における公民協働による様々な活動や取組が不可欠であり、活動や取組の支援及び主導するためのより専門的な「保全手法の検討」や継続的な「モニタリング調査」を適宜遂行していく。 具体的には、多様な下草植生の保持のためネザサ等の草刈を実施、カスミサンショウウオの産卵場所の保全のため湿地の適宜確認と管理作業の実施、外来種の侵入や人為的な被害を未然に防止するための対応策の検討など、学識経験者やNPO団体と協力しながら進めていく。また、定期的な調査を継続して実施することにより、信太山丘陵における環境の変化を記録し、貴重な動植物が生育可能な環境を維持できるよう努めていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第5節 外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備											
重点施策	14 緑のある憩いの場の創出											
成果指標 (KPI)	1403	市民などによる花壇管理面積									指標の単位	m ²
	基準値 (R2)	59.7				目標値 (R7)	120				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						59.7	59.7	187.9				達成状況
達成率							0.0%	100.0%				
備考												
担当課	都市整備室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 いずみみどりの共生事業				地方創生関連交付金事業該当					-	
					和泉創発プラン該当					-	
(事前評価)	市民・地域団体・企業との公民協働の取組により、緑化活動を通して、地域コミュニティの育成や強化を図るため、安らぎと潤いのある豊かなまちづくりを推進する。				(事後評価)	①公民協働による植樹活動や緑化活動を推進する。 ・まちなか花壇事業は、令和3年度にて計画していた箕形町児童遊園において支援団体(商工会議所 女性会)を見つけ、管理を開始した。また、新規として黒鳥山公園において活動しているボランティア団体(夢と歴史を創る会)が管理及び支援を担うことで、管理を開始した。 ・過年度の実施箇所であるくすのき公園の花壇において、継続に事業を実施した。 ・黒鳥山公園千本桜構想は、市民の協力により計画本数の20本と同数程度の22本植樹することが出来た。 ・黒鳥山公園のバラ園において市民ボランティアのサポートを行った。 ②公共施設の緑化に取り組む。 ・和泉中央北駐輪場及び和泉府中東駐輪場において緑化活動を行い、公共施設の緑化に取り組んだ。					
(事前評価)	①公民協働による植樹活動や緑化活動を推進する。 ②公共施設の緑化に取り組む。										
(事前評価)	植樹・緑化活動 緑化活動を推進のため、花壇等の維持管理を市民・地域団体・企業等と協働で行う。 また、公共施設の緑化にも取り組む。				(事後評価)	・企業発掘のためにチラシ配布や企業等への事業説明を実施した。本事業に興味がある企業を、登録企業とし把握している。 ・箕形町児童遊園への支援団体を見つけ、支援団体と地元自治会を協議させ、管理内容等を決定し管理を開始した。 ・過年度の実施箇所であるくすのき公園の花壇において、継続に事業を実施した。 ・公共施設の緑化として、和泉中央北駐輪場にガザニア、和泉府中東駐輪場に水仙を植樹し緑化を実施した。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
	緑化活動箇所数 (合計)				箇所	3	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	負担金	2,350,000				負担金	1,977,966				
	計		2,350,000			計		1,977,966			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	過年度からの課題であった箕形町児童遊園の支援団体が見つかり協議が整ったこと、また、黒鳥山公園においてはコキア花壇を新設したことにより事業を開始することができたため、市民などによる花壇管理面積が増加した。 今後も緑化を推進することを目的に新規の場所及び支援企業の発掘を行うことに努める。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	箕形町児童遊園の支援団体を見つけ、協議を行ったことにより事業を実施出来るようになり、管理面積が増加することになった。また、黒鳥山公園においてもコキア花壇を新設し、地元団体が支援及び管理を行うことで、管理面積が増加することになった。 また、過年度実施のくすのき公園の花壇においては、継続して地元団体及び企業が活動している。学校教育の一環として活用されている。 黒鳥山公園の千本桜構想及びバラ園においても、公民協働による取組が継続しており、少しずつではあるが認知度が高まっているように感じられる。 公民協働による緑化活動に加え、行政主導の緑化の推進として和泉中央北駐輪場及び和泉府中東駐輪場の2カ所を行った。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	現在実施中のくすのき公園、箕形町児童遊園及び黒鳥山公園における事業へのフォローアップを行いつつ、引き続き、新規の場所の発掘や相手企業とのマッチングに努め、管理面積の拡大を目指し、公民協働による緑化推進を図る。 黒鳥山公園千本桜構想や黒鳥山公園のバラ園については、認知度をさらに高め緑化の推進を図る。 公民協働による緑化活動に加え、行政主導の緑化活動を行う場所を新規で発掘し、緑化の推進を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第5節 外出機会を創出するうおいのある都市基盤の整備											
重点施策	14 緑のある憩いの場の創出											
成果指標 (KPI)	1404	信太山丘陵里山自然公園の開設面積									指標の単位	ha
	基準値 (R2)	0.0				目標値 (R7)	2.2				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						0.0	0.0	0.0				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	都市整備室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 信太山丘陵里山自然公園整備事業				地方創生関連交付金事業該当	-					
					和泉創発プラン該当	-					
(事前評価) 【P】 事業の 目的	既存の貴重な自然環境を保全し、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用していくため、公民協働により公園整備を推進する。				(事後評価)	公民協働による自然環境及び生き物の生育環境の保全に取り組んだ。 ・公民協働による保全活動 20回					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	信太山丘陵里山自然公園の整備を推進する等、公民協働で自然環境及び生きものの生息環境の保全に取り組む。				【D】 事業実績	以下の公園整備を推進した。 ・造成工事や園路舗装及び駐車場等の公園整備を行った。 ・管理棟の建築・設備工事に着手した。 ・用地については、計画通り5,811.34㎡の買戻しを行った。					
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	保全活動 公民協働で自然環境及び生きものの生息環境の保全に取り組む。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	保全活動 ・公民協働による保全活動20回 令和6年度に西側一部開園(A=2.2ha)に向けて、計画通り用地取得や整備工事を推進させた。 ・駐車場、主園路舗装、柵の設置等整備完了 ・管理棟の建築・設備工事に着手→令和5年6月末竣工予定 ・用地取得約0.6ha(累計約2.7ha取得済み)					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
	保全活動実施回数				回	12	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	工事費	120,000,000				工事費	62,478,600				
	活用検討委託	4,000,000				活用検討委託	3,832,400				
	用地購入費	208,800,000				用地購入費	65,332,660				
	計		332,800,000			計		131,643,660			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	成果指標の開設面積としては0となっているが、一部開園(約A=2.2ha)が令和6年度となるため、数値の増加は令和6年度となる。 ただし、進捗については計画通り進んでいる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	成果指標の開設面積としては0となっているが、一部開園(約A=2.2ha)が令和6年度となるため、数値の増加は令和6年度となる。 しかし、年度毎の事業進捗については計画通り進めており、また公民協働による保全活動の実施回数も増えている。さらに、保全活動だけではなく、環境学習の場としても活用している。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・保全活動 : 公民協働による保全活動の継続 ・公園整備 : 令和6年度に西側の一部開園(A=約2.2ha)に向けた管理棟や公園施設整備 ・用地取得 : 西側A=約2.2haの用地取得が完了したため引き続き東側の用地取得を予定 ・管理運営等: 令和5年度中に管理運営手法の検討及び策定、事業の周知

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第5節 外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備											
重点施策	15 住み続けたいくなる快適な都市環境の整備											
成果指標 (KPI)	1501	特定経路のバリアフリー化整備率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	68.3				目標値 (R7)	85.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	40.0	40.0	46.1	56.6	65.8	68.3	68.3	68.3				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	都市整備室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 道路改良事業				地方創生関連交付金事業該当					-	
					和泉創発プラン該当					-	
(事前評価)	【P】事業の目的 誰もが安全に安心して通行できるように、交通バリアフリー基本構想に基づき歩道のバリアフリー化整備を行う。				(事後評価)	【D】事業実績 R4年度は特定経路に位置づけられている歩道のバリアフリー化整備は実施しなかったものの、和泉中央駅前周辺地区の整備について、予定通りの進捗を図り完了することができた。					
(事前評価)	【P】事業の内容 駅から主要な公共施設等を結ぶ特定経路に位置付けられている歩道のバリアフリー化整備を行う。 (R4年度は事業実施予定なし)										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 R5年度以降に和泉府中駅周辺地区の整備に着手できるよう、和泉中央周辺地区都市再生整備計画の確実な事業推進を行う。 (参考) バリアフリー化関連事業の今後の予定 R4年度：和泉中央駅周辺地区案内サイン設置工事 R5年度以降：和泉府中駅周辺地区整備着手予定				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 R5年度以降に和泉府中駅周辺地区の整備に着手できるよう、和泉中央駅前周辺地区の整備について、予定通りの進捗を図り完了することができた。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
【P】活動指標	特定経路のバリアフリー整備路線数				箇所	0	0	0			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	計		0			計		0			
備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	和泉府中駅周辺地区において未整備路線があるが、現状、和泉中央駅前周辺地区を優先して整備しており、R4年度は特定経路の歩道整備を実施しなかったことから成果指標は変化なしとなった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	成果指標は変化なしだったものの、和泉中央駅前周辺地区整備について予定どおりの進捗を図ることができ、都市整備室の事業としては成果指標向上に向け事業が進捗していることからR4年度事業は効果的だったと評価した。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	R5年度には和泉府中駅前周辺地区における大阪和泉南線の一部において、歩道設置に向けた用地買収業務を大阪府から受託し、事業に取り組んでいく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第5節 外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備											
重点施策	15 住み続けたいくなる快適な都市環境の整備											
成果指標 (KPI)	1502	市内におけるこどもの事故死傷者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	30				目標値 (R7)	27				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					45	30	46	52				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	土木維持管理室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1交通安全施設整備事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的 自動車等の運転者に対する安全性の向上や通学児童等の安全性の確保				(事後評価)	【路側帯カラー化工事】 ・唐国町1号線他1線(令和5年3月竣工) L=559.0m					
(事前評価)	【P】事業の内容 路側帯をカラー舗装化することにより、即効性のある歩行空間の整備を行い、通学児童の安全性確保を図る。										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 通学路の路側帯をカラー舗装化することにより、通学児童の安全性を確保する。 令和4年度は、国の交付金を活用し、市立石尾中学校の通学路である唐国町1号線および市立北池田小学校の通学路である伏屋唐国線の一部について、工事発注を行う。				(事後評価)	【路側帯カラー化工事】 社会資本整備総合交付金を活用 ・唐国町1号線他1線 L=559.0m					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
【P】活動指標	路側帯カラー化工事				km	0.6	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	工事費	5,500,000				工事費	5,552,690				
	計			5,500,000		計				5,552,690	
【P】予算					【D】決算						
備考						備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	通学路交通安全プログラムに基づき、国の交付金を活用して、2路線の工事を発注し、年度内に竣工することができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	工事発注した道路区間については、費用を縮減しつつ、子供たちの安全を確保するとともに、効率的に工事を実施することができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	○国の交付金を活用しながら整備を推進する。 ○今後の整備については、優先度の高い順に工事発注を行っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第5節 外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備											
重点施策	15 住み続けたいくなる快適な都市環境の整備											
成果指標 (KPI)	1503	市内における歩行者及び自転車による交通事故発生件数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	224				目標値 (R7)	180				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					209	224	239	229				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	都市政策室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1交通安全啓発実施事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】事業の目的	市民一人一人が交通ルールを守り、正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故の発生を未然に防ぐ。				(事後評価) 【D】事業実績	【令和4年度における交通安全教室開催実績】 ①保育園、幼稚園、認定子ども園・・・38園(3,806人) ②小・中学校、義務教育学校・・・21校(3,833人) ③子育てサークル、高齢者、地域団体等・・・8回(520人) 【令和4年度における交通安全啓発活動の実績】 ①運転者講習会・・・6回(244人) ②交通安全研修会等・・・15回(1,891人)					
(事前評価) 【P】事業の内容	交通安全教育指導員を中心とした交通安全教室等の交通安全教育を推進するとともに、関係機関と連携を図り、交通安全の啓発活動を実施する。										
(事前評価) 【P】成果指標向上のための具体的な取組	①交通安全教育指導員による交通安全教室等の開催回数の維持・増加に取り組む。 ②高齢者向け交通安全教室の実施に向けた取組を強化する。				(事後評価) 【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	【高齢者向け交通安全教室開催実績】 老人会等の団体・・・2回(40人) 年輪大学講座・・・1回(20人)					
(事前評価) 【P】活動指標	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	交通安全教室の年間参加人数				人	8,400	6,778	8,159			
	交通安全啓発活動の年間参加人数				人	2,500	139	2,135			
(事前評価) 【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	負担金補助及び交付金	4,884,000				負担金補助及び交付金	1,850,000				
						負担金補助及び交付金	2,206,994				
	計		4,884,000			計		4,056,994			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	交通安全活動の年間参加者数は10,294人で、前年度に比べ増加(3,377人)した。 交通安全教室においては、新型コロナウイルス感染症の影響が減り、前年より教室の実施をした保育園等は多く、小中学校での実施校数も増加したため、前年に比べて受講者数は増加(1,234人)した。 【保育園等 実施園数:38園(R4)、33園(R3)、受講者数:3,806人(R4)、2,835人(R3)】 【小中学校 実施校:21校(R4)、18校(R3)、受講者数:3,833人(R4)、3,570人(R3)】 また、高齢者をはじめとした地域団体等についても、同様の要因により教室を実施し、交通安全の街頭啓発活動等も実施したことにより前年度より増加する結果となった。 【高齢者向け教室 実施回数:2回(R4)、3回(R3)、受講者数:40人(R4)、62人(R3)】 【運転者講習会 実施回数:6回(R4)、0回(R3)、受講者数:244人(R4)、0人(R3)】
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	交通安全教室については、前年よりコロナ禍による影響も減り、交通安全教室を行うことが出来、交通安全教育に取り組んだ。 街頭啓発活動については、前年よりコロナ禍による影響も減り、警察主体の各種啓発活動に積極的に参加し、街頭啓発活動を行った。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	幅広い年代層に対する交通安全教室の実施を継続していくとともに、警察が実施している街頭啓発活動へ参加するなど警察との連携を強化し、啓発活動の実施回数を増やすことにより市民の交通安全への意識向上に努める。また、福祉総務課や高齢介護室とも連携し、今後も高齢者向けの交通安全教室の実施回数の増加に努める。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第5節 外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備											
重点施策	15 住み続けたいくなる快適な都市環境の整備											
成果指標 (KPI)	1504	空家解消延べ件数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	33				目標値 (R7)	60				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					9	33	55	72				達成状況
	達成率						81.5%	100.0%				
備考												
担当課	建築住宅室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 老朽危険空家除却推進事業				地方創生関連交付金事業該当		－				
					和泉創発プラン該当		－				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	地域住民の安全・安心で良好な住環境を確保するため、老朽危険空家等の除却に対する支援を行い、除却を推進する。				(事後評価) 【D】 事業実績	様々な手法で制度を周知することにより16件の老朽危険空家等について補助金を交付し除却させた。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	老朽危険空家等の除却に要した費用の一部(10分の8)を補助する。 ・補助上限:40万円 (主な補助要件) ・概ね1年以上居住等の使用がされていないもの。 ・木造で過半が住宅用として使用されていた不良度測定基準の評点が100点以上であるもの又は特定空家等										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①補助制度の利用について、広報・市HP・いずみメール・個別相談会を活用して周知を行う。 ②空家等所有者に対する助言・指導を行う際に、補助制度を案内し、自主的な除却を促す。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①幅広い世代に周知できるよう、広報・メール・空家相談会等様々な媒体を利用し周知を図った。 ②空家所有者への助言・指導時に直接空家所有者へ補助制度を案内し、除却を促した。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	適正管理通知				通	100	50	54			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金	8,000,000				除却補助	6,400,000				
	計		8,000,000			計		6,400,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	指導時に対面で直接補助案内を行うことにより除却に踏み切るきっかけとなり、補助件数について増加させることができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	前年度より1件増の16件について補助金を交付し、空家を解消できた。 長年、放置されていた特定空家等についても補助金の利用を促し除却に至った。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	○補助制度、老朽危険空家の基準について、広報・ホームページ・個別相談会等を活用して周知を行う。 ○空家等所有者に対する助言・指導を行う際に、補助制度を案内し、自主的な除却を促す。

取組事業	2 空家相談会事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	2ヶ月に1度、空家所有者からの相談を受け付け、多岐にわたる空家問題に対して解決策の提案を行うもので、実績として5月、7月、11月、1月、3月の5回実施した。					
(事前評価)	【P】事業の内容										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】実績値					
①相談会について、広報・市HP・いずみメール等を活用して周知を行う。					①各開催予定月の広報への掲載、市HPの掲載、いずみメールによる発信及び指導時の案内により周知を図った。						
②相談会の内容を充実させる。					②限られた時間の中でより良い相談会となるよう、物件の立地条件等の下調べを市で行い相談員へ情報提供を行った。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	空家相談会開催				回	6	3	5			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	90,000				委託料	75,000				
	計		90,000			計		75,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	5月、7月、11月、1月、3月の5回実施し計12組の相談を受け付け、そのうち1件について利活用済みである。管理不全の空家について指導を行う際に、空家相談会についても案内し周知を行った。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	相談会後の物件の状況としては、売却相手がまだ見つかっていない物件が多いが、相談会を機に活用に向けて動き出すことができた案件が多くあった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	相談の結果、手放したいが不動産業界の流通に乗らない物件について、相談後の動静も見ながら空家バンク制度へ誘導するなどアフターフォローの強化を行う。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第5節 外出機会を創出するうおいのある都市基盤の整備											
重点施策	16 外出を容易にする交通機能の充実											
成果指標 (KPI)	1601	コミュニティバス等年間利用者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	79,997				目標値 (R7)	118,100				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	124,323	118,709	116,531	112,720	112,178	79,997	84,577	99,585				達成状況
達成率							12.0%	51.4%				
備考												
担当課	都市政策室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 コミュニティバス等運行事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的 ○コミュニティバス、オレンジバス等の運行により、日常生活に必要不可欠な交通手段を確保し、公共交通空白地域の解消を図る。 ○効果的で利便性の高い公共交通ネットワークを構築することにより公共交通の利用促進を図る。				(事後評価)	【コミュニティバス】 ・市民の移動手段を確保し、公共交通空白地域の解消のため運行（ルート数） 4ルート （利用者数） 77,711人（前年度 67,133人）前年度比116% 【路線維持バス】 ・路線バスの廃止・減便計画に対し、生活路線の維持存続のため運行（ルート数） 3ルート、朝夕のみ （利用者数） 15,166人（前年度 12,423人）前年度比122% 【オレンジバス】 ・市民の移動手段を確保し、公共交通空白地域の解消のため運行（ルート数） 3ルート （利用者数） 6,708人（前年度 5,021人）前年度比134%					
(事前評価)	市内公共交通の確保、維持のため下記のバス運行にかかる補助金・負担金を交付する。 【P】事業の内容 (補助等の対象バス) ・コミュニティバス ・路線維持バス ・オレンジバス										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会において、公共交通施策の検討・実施を行う。 ②市HP等により運行情報の提供を行い、マイカー利用からの行動転換を促す小冊子を配信し、公共交通利用促進に取り組む。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会の開催 ・和泉市地域公共交通網形成計画事業の進捗状況について ・榎尾校区公共交通・通学バス路線検討について ・榎尾校区AI オンデマンド運行計画素案について 他 ②WEB（インターネット）によりPC、スマートフォン等でコミュニティバスやオレンジバスを検索できるよう情報配信し利用促進に努めた。また、公共交通チラシ「和泉市公共交通利用のすすめ」を作成し、コミュニティバス等の利用促進を図った。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
	公共交通利用活性化プロジェクト委員会の開催回数				回	3	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	負担金補助及び交付金	70,419,000				負担金補助及び交付金	68,006,487				
	計			70,419,000		計			68,006,487		
備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	【コミュニティバス等の利用者数の対前年度増減】 ・コミュニティバス : 10,578人 ・路線維持バス : 2,743人 ・オレンジバス : 1,687人 コロナ禍の影響が減少したことによる公共交通利用の増加、自家用車・自転車利用の増加などに起因し、コロナ禍以前の利用者数の回復には至っていないものの、令和3年度に比べて利用者は増加している。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	公共交通の利用促進を図るうえで市ホームページや検索サイトの活用、コミュニティバス等の利用促進を図るため、公共交通チラシ「和泉市公共交通利用のすすめ」を作成し、コミュニティバス等の利用促進を図った。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	和泉市地域公共交通網形成計画(平成31年3月策定)に基づき、コミュニティバス、路線維持バス、オレンジバス、路線バス等の各交通サービスの役割や位置づけを精査し、本市にとって望ましい持続可能な公共交通ネットワークを形成することで公共交通のサービスレベルの向上を図り、利用者数の確保につなげる。また、今後の事業展開としては、オレンジバスに関しては、運行内容の見直しを行い、令和6年1月末をもって運行を終了し、令和6年2月からオレンジバスの代替交通として、AIオンデマンドバスの実証運行を行う。

第1章 定住の促進

第6節 環境に配慮した快適なライフスタイルの確立

17 環境負荷の少ない社会システムの構築

18 ごみの減量化と再資源化の推進

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第6節 環境に配慮した快適なライフスタイルの確立											
重点施策	17 環境負荷の少ない社会システムの構築											
成果指標 (KPI)	1701	太陽光発電設備の導入により削減された二酸化炭素(CO2)量									指標の単位	t-CO2
	基準値 (R2)	101,191				目標値 (R7)	190,000				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	16,806	35,829	53,751	69,082	85,004	101,191	118,996	134,223				達成状況
達成率							20.0%	37.2%				
備考												
担当課	環境保全課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 太陽光発電設備の導入に関する啓発				地方創生関連交付金事業該当				-			
					和泉創発プラン該当				-			
(事前評価)	【P】事業の目的 CO2の削減に効果的な太陽光発電設備の普及啓発を図り、地球温暖化防止対策を推進する				(事後評価)	【D】事業実績 太陽光発電及び蓄電池システムの共同購入支援事業への参加登録件数 113件						
(事前評価)	【P】事業の内容 おおさかスマートエネルギーセンター（大阪府と大阪府が共同設置）が実施する太陽光発電及び蓄電池システムの共同購入支援事業との連携し、太陽光設備の普及を促進する											
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 上記事業の広報活動を実施する。				(事後評価)	【D】広報活動実績 ①広報紙での周知 73,000枚 ②市有施設へのチラシ配架 50枚 ③LINE、Twitter、Facebook、いずみメールによる周知						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値					
	太陽光発電及び蓄電池システムの共同購入支援事業への参加登録件数				件	80	R3	R4	R5	R6	R7	
							67	113				
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	計		0			計		0				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	太陽光発電設備数は順調に増加しており、それに伴い削減されたCO2量も増加している。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	太陽光発電及び蓄電池システムの共同購入支援事業への人口当たりの参加登録件数は、他市町村と比較して多いため。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	太陽光発電設備の導入は地球温暖化対策に効果的であるため、来年度も引き続き広報活動等を実施していく予定である。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第6節 環境に配慮した快適なライフスタイルの確立											
重点施策	17 環境負荷の少ない社会システムの構築											
成果指標 (KPI)	1702	水洗化率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	90.6				目標値 (R7)	90.9				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	89.7	89.9	90.1	90.4	90.6	90.6	90.6	90.7				達成状況
達成率							0.0%	33.3%				
備考												
担当課	お客さまサービス課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 水洗化啓発事業				地方創生関連交付金事業該当	-							
					和泉創発プラン該当	-							
(事前評価)	公衆衛生及び生活環境の改善や公共水域の水質保全を図るため、早期の水洗化促進を啓発し、安定的な下水道事業運営を継続するため、下水道使用料の増収につなげる。				(事後評価)	【令和4年度末の公共下水道による水洗化の状況】 ■水洗化家屋：65,295件 ■未水洗化家屋：7,003件 ■令和4年度の水洗化件数：830件 （内訳）新築家屋 666件 既存家屋 164件 ■水洗化率＝水洗化人口/水洗化地域人口(告示) ＝147,894人/163,136人≒90.7%							
【P】事業の目的													
(事前評価)	公共下水道整備区域における整備後3年以内の水洗化率を検証し、未水洗化家屋には実態に即した啓発を切れ目なく継続的にを行い、下水道施設への接続を加速化させる。				(事後評価)	【D】事業実績							
【P】事業の内容													
(事前評価)	①スケジュールの作成:リストアップ・計画立案 ②戸別訪問:現地調査・アンケート調査の実施 ③PRの工夫:チラシの刷新・市HP等による市民周知の徹底・広報誌による定期的な啓発				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績							
【P】成果指標向上のための具体的な取組													
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値						
【P】活動指標	戸別訪問等(320件/月のうち、40%を対面での啓発)				件	3,840	5,815	4,008					
	上下水道だよりの発行				回	2	2	2					
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	消耗品費	31,000					消耗品費	20,590					
	委託料	17,995,000					委託料	16,358,400					
	計		18,026,000				計		16,378,990				
	備考						備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	水洗化率は、令和7年度の目標値90.9%に0.2ポイント及ばず、90.7%に留まった。 令和4年度は、排水設備工事完了家屋830件のうち、新築家屋666件、既存家屋164件の水洗化を図ったが、リストアップした未水洗化家屋に対し、コロナ禍の影響により、啓発活動の一部制限を受け、対面による啓発は約6割、残り約4割はチラシのポスティングのみとなった。 また、啓発活動における環境の変化とは、別に、行政人口の減少に伴う整備区域内の人口の流出についても、水洗化人口の低迷の要因となっている。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	令和3年2月から、直営から業務委託へ制度設計の見直しを図り、計画的・継続的に粘り強い戸別訪問等の実施など、きめ細やかな市民対応を行う予定をしていたが、コロナ感染拡大の影響があり、引き続き、対面での啓発活動の制限を受けた。しかしながら、対面及びチラシのポスティングによる戸別訪問4,008件を行い133件の接続、また、22件の汚水桝への無断接続者との交渉を行い全件の納付約束ができ、一定、啓発活動の準備が行えたものと評価している。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・引き続き、「上下すいどうだより」により、広く市民に情報発信し、公共下水道の役割や支援制度などについて、市民の理解と関心を高め、水洗化促進を円滑に行っていく。 ・委託業者活用により、現地調査の頻度を上げ、計画的かつ継続的にアプローチし、未水洗化家屋解消につなげていく。 ・早期未水洗化家屋の解消を図り、下水道使用料の収益の確保を行い、公衆衛生の向上、生活環境の改善及び環境保全に寄与する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第1章 定住の促進											
節	第6節 環境に配慮した快適なライフスタイルの確立											
重点施策	18 ごみの減量化と再資源化の推進											
成果指標 (KPI)	1801	市民1人当たりの年間ごみ排出量									指標の単位	kg
	基準値 (R2)	279.6				目標値 (R7)	260.7				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	292.0	266.0	269.3	279.0	282.4	279.6	278.1	272.9				達成状況
達成率							7.9%	35.4%				
備考												
担当課	生活環境課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 ごみ減量啓発事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	環境負荷の軽減に向けて、市民や事業者に対し、ごみ減量やリサイクルに対する意識の向上を促し、その取組を推進することで、循環型社会の形成を目指す。				(事後評価) 【D】 事業実績	【泉北クリーンセンターへのごみ搬入実績】(事業系含む) 令和4年度 49,999トン (令和3年度 51,370トン 前年度比約2.7%減)					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	ごみ減量・リサイクル促進の周知啓発に取り組むとともに、市民や事業者をごみ減量・リサイクルに誘導できるような仕組みづくりに取り組む。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	「ごみダイエット作戦」の実施 これまで啓発を行ってきたリサイクルできる紙ごみの分別、生ごみの水切りのほか、新たに食品ロスの削減を加えて、更なるごみ減量の啓発を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①「ごみダイエット作戦」の実施 ごみ減量の啓発として、紙ごみ分別用紙袋の封筒を作成し、その封筒へ食品ロスや生ごみ処理容器の補助の内容を記載し周知を行った。 ②コンタクトレンズの空ケースの拠点回収 令和元年10月10日に発表した「いずみプラスチックごみゼロ宣言」に基づき、桃山学院大学と連携しコンタクトレンズの空ケースの拠点回収を実施した。 ③使用済みインクカートリッジ拠点回収 令和4年度から市役所他3箇所にて、使用済みインクカートリッジの拠点回収を実施した。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	ごみの搬入量				t	50,000	51,222	49,999			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	負担金補助及び交付金	826,386,000				負担金補助及び交付金	634,763,207				
	委託料	1,047,405,000				委託料	1,033,636,903				
	計		1,873,791,000			計		1,668,400,110			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	【泉北クリーンセンターへのごみ搬入実績(内訳)】 ○可燃ごみ(家庭系)27,189トン(令和3年度実績28,303トン 前年度比約3.9%減) (直営・直接搬入を含む事業系)17,843トン(令和3年度実績17,766トン 前年度比約0.4%増) ○粗大ごみ(家庭系)1,860トン(令和3年度実績1,919トン 前年度比約3.1%減) (直営・直接搬入を含む事業系)503トン(令和3年度実績663トン 前年度比 約24.1%減) ○資源ごみ(家庭系)2,510トン(令和3年度実績2,629トン 前年度比 約4.5%減) (直営・直接搬入を含む事業系)92トン(令和3年度実績89トン 前年度比 約3.4%増) ・家庭系の可燃ごみ・粗大ごみ・資源ごみについては、分別意識の向上により、昨年度と比較して微減となったものと思われる。 以上のことから、総量の比較として、令和4年度の実績は49,999トンで令和3年度の実績51,370トンと比較して約2.7%減となっている。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	家庭系日常(可燃)ごみ有料化以降の取組として、ごみ減量の意識向上を促すため、ごみ減量の啓発に係る広報の折込チラシの配布や新分別や食品ロス削減の啓発、プラスチックごみゼロ宣言などの施策を有効的に実施したことにより、ごみの減量を図ることができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・事業系ごみ削減のための啓発・周知の取組として、多量排出事業所からの排出計画書や排出実績を基に、排出量が上位の事業所に対して、実地確認や事業系ごみの削減を働きかける。 ・引き続き、広報などを活用し、ごみ削減の啓発を行っていく。

取組事業	2 再資源化事業推進奨励金事業				地方創生関連交付金事業該当					-		
					和泉創発プラン該当					-		
(事前評価)	【P】事業の目的 ごみの減量化、資源再生利用、環境美化および地域コミュニティの育成を推進し、リサイクルに対する市民意識の向上を図る。				(事後評価)	【D】事業実績 【集団回収量】3,661,005kg(前年度比+310,394kg) 【集団回収登録団体数】248団体(前年度比+4団体) 【奨励金額】21,945,900円(前年度比+1,861,800円)						
(事前評価)	【P】事業の内容 町会・自治会等の営利を目的としない住民団体が古紙等の集団回収を実施し、回収量に応じて奨励金を交付する。 【回収品目】新聞、雑誌・書類、ダンボール、飲料用紙パック、その他紙類、古繊維 【奨励金の金額】 H27.3～H29.12 7円/kg H30.1～ 6円/kg											
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①集団回収の促進 奨励金の金額を従来の5円/kgから増額し、集団回収を促進する。 ②古紙等の分別啓発 広報の折り込みチラシに、紙ごみの分別啓発の記事を掲載する。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①集団回収の促進 回収量はやや落ち込んだ。 ②古紙等の分別啓発 広報にてごみダイエット作戦を記載した封筒を配布した。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	集団回収量				t	4,835	3,971	3,661				
(事前評価)	内訳		金額(円)		(事後評価)		内訳		金額(円)		【D】決算	
	報償費		28,955,000				報償費		21,945,900			
	計		28,955,000				計		21,945,900			
	備考						備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	年間ごみ排出量については、分別意識の向上により、昨年度と比較して微減となったものと思われる。しかしながら、電子書籍の普及及び中国での古紙輸入削減等の複合的な要因から、集団回収量は減少傾向である。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	集団回収量は、電子書籍の普及及び中国での古紙輸入削減等により、減少傾向にある。団体数についても、昨年に比べ4団体減少しているが、市民の分別意識の向上により、年間ごみ排出量は減少した。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・集団回収を行っていない町会・自治体もあることから、町会・自治会への働きかけなど、集団回収の促進を検討する。 ・引き続き、市HP等で、再資源化奨励金の制度に関する周知を実施する。

取組事業	3	生ごみ自家処理容器・EMIほかし生ごみ堆肥化容器・家庭用生ごみ処理機 購入費補助事業	地方創生関連交付金事業該当		-						
			和泉創発プラン該当		-						
(事前評価)		一般家庭から排出される生ごみの堆肥化・減量 化を促進し、市民のごみ減量の意識向上を図 る。	(事後評価)	【D】 事業実績	【補助実績】 ・補助総額2,246,700円 コンポスト…補助額138,500円、36基 EMIほかし…補助額12,400円、8基 電動式……補助額2,070,600円、63基 キエーロ……補助額25,200円、2基						
(事前評価)		市民が購入する生ごみ処理容器(コンポスト・EMIほ かし・電動式・キエーロ)の費用の一部を補助する。 【補助内容】 コンポスト…購入費の4分の3(上限額5,000円、1世 帯2基まで) EMIほかし…購入費の4分の3(上限額2,000円、1世 帯2基まで) 電動式…購入費の3分の2(上限額40,000円、1世帯1 基まで) キエーロ…購入費の3分の2(上限額14,000円、1世 帯1基まで)									
(事前評価)		①購入補助制度についての周知啓発 補助制度について、広報・市HPを通じて周知を 行う。 ②補助対象の拡充 平成29年度から、土の力で生ごみを分解するキ エーロを新たに補助の対象とし、生ごみの減量 化の推進につなげる。	(事後評価)	【D】 成果指標 向上のた めの具体 的な取組 の実績	①補助制度について、広報・市HP、ごみ減量等推進委員マニュアル にて、周知活動を行った。 ②補助対象の拡充を行ったキエーロについては、2件の申請があっ た。						
(事前評価)	【P】 活動指標	指標の名称		単位	当該年度 の目標値	(事後評価)【D】実績値					
						R3	R4	R5	R6	R7	
		コンポスト補助基数		基	15	19	36				
		EMIほかし容器補助基数		基	5	16	8				
		電動式生ごみ処理機補助基数		基	40	41	63				
		キエーロ補助基数		基	2	2	2				
(事前評価)	【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
		補助金	4,169,000				補助金	2,246,700			
		計		4,169,000			計		2,246,700		
		備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	【R4年度実績】 コンポスト…36基(R3年度19基 前年比約89.5%増) EM(ぼかし)…8基(R3年度16基 前年比50.0%減) 電動式…63基(R3年度41基 前年比約53.7%増) キエーロ…2基(R3年度2基 前年と同数) 上記のとおり、前年度比で増加傾向であるため、ごみの削減に繋げることができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	電動式が大幅に増加しているため、ごみの削減に繋がっていると考えられる。引き続き広報・市HP等での周知活動をしていく。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き、広報・市HPを通じた制度の周知を継続していく。

第2章 にぎわいの促進

第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出

19 ものづくり産業の振興

20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出

21 産業として成立する農林業の確立

22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	19 ものづくり産業の振興											
成果指標 (KPI)	1901	ものづくり技術・商品開発事業補助金を活用した大学等との連携研究の延べ事業件数 (令和3年度～令和7年度)									指標の単位	件
	基準値 (R2)	5				目標値 (R7)	25				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						5	11	17				達成状況
達成率							30.0%	60.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 ものづくり技術・商品開発支援事業				地方創生関連交付金事業該当				－		
					和泉創発プラン該当				－		
(事前評価) 【P】 事業の 目的	市内中小企業が魅力的な技術・商品を創出するための研究・開発を支援し、市域全体の産業振興を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	【補助実績】 新規事業者：2件 2,000,000円 継続事業者：4件 1,680,615円 合計:3,680,615円 (参考)新規事業者の研究開発内容 ①フリーズドライ玄米のヒ素提言研究及び、新商品開発 ②塗料用白金抗ウイルス薬剤の開発					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	①大学や公設試験研究機関などの共同研究開発機関と新技術・新商品の共同研究開発事業を行う市内事業者に対し、研究開発に係る費用を補助する。 (補助率)10/10 (補助期間)最大2年間 (上限額)初年度100万円、次年度50万円 ②研究開発費の補助により、新技術、新製品の創出にむけた国等のものづくり補助金の採択をめざす。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取 組	より多くの企業に本制度を認知するため、下記を周知する。 ①市広報、市HPへの掲載、SNSでの配信 ②市、共同研究開発機関、審査委員が所属する組織の窓口でのパンフレット配架 ③産業団地における協議会会員へのチラシ送付				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取 組の実績	より多くのものづくり企業に制度の周知を図るため、下記の広報活動を行った。 ・市HPへの掲載、SNSの配信 ・市及び連携機関における窓口へのパンフレット配架、機関紙への折込 ・研究施設入居企業者への補助制度説明 ・産業団地における協議会会員へのチラシ送付					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	交付件数(和泉市ものづくり技術・商品開発事業補助金)				件	5	6	6			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金	7,000,000				補助金	3,680,615				
	計		7,000,000			計		3,680,615			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	補助件数は全6件で変わらないが、令和3年度からの継続企業が4件で、新規が2件にとどまった。第3次募集まで行ったが、応募者が集まらなかった。 新型コロナウイルスの影響や原材料価格の高騰などにより、新製品開発へのインセンティブが働きづらかったことが要因のひとつとして考えられる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	本補助金は国等の補助金の採択を受けるまでの基礎研究への支援であり、採択されるには、事前の研究開発が重要となるなか、採択の実績は無かったものの市内における新技術・新商品の開発に寄与した。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	更なる周知を図るため、市広報、市ホームページへの掲載、メールマガジンの配信等を行う。また、交流会やセミナーにおいて、制度説明を行うとともに、企業との交流を深めることで、気軽に相談・申請しやすい環境づくりを行っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	19 ものづくり産業の振興											
成果指標 (KPI)	1902	和泉市産業振興プラザにおけるセミナー及び事業者交流会の年間参加人数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	200				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						0	204	210				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 販促強化支援事業、中小企業総合力アップ支援事業				地方創生関連交付金事業該当		－				
					和泉創発プラン該当		－				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	市内中小企業の販路拡大を推進し、各社の経営基盤強化、営業力及び売上アップを目指すことにより、市域全体の産業振興を図る。			(事後評価) 【D】 事業実績	【セミナー開催実績】 ①補助金活用セミナー 参加者14名 ②インボイス制度と活用できる補助金について 参加者81名 ③販売促進セミナー 参加者 9名 ④労務対策セミナー 参加者21名 ⑤インボイス入門セミナー 参加者47名 ⑥ECセミナー・ワークショップ 参加者16名 ⑦インボイス制度説明会 参加者22名 合計210名						
(事前評価) 【P】 事業の 内容	上記目的を達成するにあたり、様々なセミナーを開催し、セミナー参加企業による交流会を行う。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	より多くの企業にセミナーへの参加を呼びかけるため、下記を周知する。 ①市広報、市HPへの掲載 ②SNSでの配信 ③市、連携機関の窓口でのパンフレット配架 ④機関紙へのチラシ折込 ⑤産業団地における協議会会員へのパンフレット送付			(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	・市広報、市HPへの掲載 ・SNSでの配信 ・産業団地における協議会会員へのパンフレット送付						
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	産業団地等への制度周知				件	110	120	120			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金	12,000,000				補助金	9,950,000				
	計		12,000,000			計		9,950,000			
	備考	和泉商工会議所が実施する事業				備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	セミナーの内容について、事業者の需要が高いテーマにて実施することにより、受講者数が増加した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながらであったが、目標集客数に到達しており、事業者からのセミナー開催への需要に応じることができたと考えられるため。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	セミナー実施後にアンケート等を実施し、事業者のニーズを把握の上、そのニーズに即したセミナーを引き続き開催していく。また時代に即して、オンラインでの実施も検討していく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出											
成果指標 (KPI)	2001	創業セミナーの年間受講者数									指標の単位	人
	基準値 (R1)	97				目標値 (R7)	130				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					97	-	95	128				達成状況
	達成率						73.1%	98.5%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 創業支援事業				地方創生関連交付金事業該当					-
					和泉創発プラン該当					-
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回 8月7日 10:00～12:00 内容:知って安心！事業資金調達と補助金・助成金活用法 受講者数:34人 第4回 8月7日 13:00～15:30 内容:成果がでる！人材採用と定着促進の基本 受講者数:33人 計4回開催 延べ受講者数:128人 特定創業支援事業を受けたことの証明所得:9人				
(事前評価)	【P】事業の内容					(事後評価)	【D】事業実績			
(事前評価)	【P】事業の内容				(事後評価)	【創業セミナーについて】 第1回 7月31日 10:00～12:00 内容:ゼロから学ぶ！起業に必要な基本知識と手続き 受講者数:31人 第2回 7月31日 13:00～15:00 内容:簡単に実践できる！利益を出す販売促進活動の基本 受講者数:30人 第3回				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	和泉商工会議所と連携し、延べ4回の創業セミナーを滞りなく実施することができた。創業への機運が高まっていることが窺われる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	「コロナ禍」が落ち着きつつあったことと、近年の働き方の多様化などを背景に、創業への機運が高まっているのではないかと考える。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	創業セミナー実施後にアンケートを行うなど、開催日、周知方法、講座内容等を含めた参加者のニーズを把握する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出											
成果指標 (KPI)	2002	商店街内への新規出店者に対する補助金の年間交付件数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	3				目標値 (R7)	5				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					4	3	4	4				達成状況
	達成率						50.0%	50.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 創業支援事業				地方創生関連交付金事業該当					-	
					和泉創発プラン該当					-	
(事前評価)	【P】事業の目的 市内商店街の空き店舗を活用して創業する事業者に対し、家賃の一部を補助することにより、市内商業の活性化及び創業の支援を図る。				(事後評価)	【補助金交付実績について】 店舗名:Beauty Garden Salon & Spa (R3から継続) 店舗住所:和泉市桑原町247-1 3F 加入商店街:木楽座ストリート 補助金額:38,000円 店舗名:鮎 こみ太郎 (R3から継続) 店舗住所:和泉市府中町四丁目5-22 1F 加入商店街:木楽座ストリート組合 補助金額:200,000円					
(事前評価)	【P】事業の内容 市内商店街の空き店舗を活用して創業する事業者に対し、市内商店街の空き店舗における家賃(月額)の1/2(上限5万円)を最大6ヶ月間補助する。					【D】事業実績 店舗名:Undo (R3から継続) 店舗住所:和泉市伏屋町三丁目5-57 進化16ビル 加入商店街:木楽座ストリート組合 補助金額:100,000円 店舗名:Rukka 店舗住所:和泉市万町2030 加入商店街:木楽座ストリート組合 補助金額:300,000円 <div>合計4件 638,000円</div>					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 より多くの創業希望者等に対し、本補助金を知らせるため、下記の周知を実施する。 ①市広報への掲載 ②市HPへの掲載 ③SNSでの配信 ④市、連携機関の窓口でのチラシ配架				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 より多くの創業する事業者に対し、創業支援補助金を知らせるため、下記の周知を実施した。 ①市HPへの掲載 ②市、連携機関の窓口でのチラシ配架					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	本補助金交付件数				件	3	4	4			
	【P】活動指標										
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金	4,500,000				補助金	4,643,000				
	計		4,500,000			計		4,643,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	商店街に加入して創業した場合の令和3年度の補助金交付件数は4件となっており、前年度と同水準である。ただし、うち3件は令和3年度からの継続であり、新規は1件である。令和3年度は4件とも新規であったことから、昨年度より減少したと評価する。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	令和3年度創業補助金決算額289万円に対し令和4年度決算額は約1.6倍の464万円に上っていることから、市内での創業機運は非常に高まっている状況であり、大きく寄与したと考えられる。しかし、商店街以外での創業を対象に広げたこともあり、令和4年度中頃に補助金が予算上限に達し、商店街での創業を拾いきることができなかった。商店街での創業に結びつけるため、そうでない場合に比べて家賃の補助上限額を2倍の額(5万円/月)に設定しているが、令和4年度前期の創業については商店街での創業が少なく、動機付けに結びつかなかったと判断する。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	②一部見直し	令和4年度の中頃には補助金が予算上限に達したことや、「コロナ禍」の経験や技術革新に伴いここ数年で事業の形態がドラスティックに変容していることを踏まえ、現状に即した補助のあり方について検討していく必要があると考える。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出											
成果指標 (KPI)	2003	商店街加入店舗数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	320				目標値 (R7)	341				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	190	183	361	373	341	320	326	306				達成状況
達成率							28.6%	0.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 商店街活性化事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	個別事業者への経営支援や商店街を活性化させる取組への支援等を通じて、魅力ある個店や商店街全体の賑わいを創出する。				(事後評価)	①和泉市商店連合会への補助事業					
【P】事業の目的						〈商店街基盤強化事業〉 ・催事の共催事業 4回 (鶴山台商店会、エコール・いずみ店舗会、和泉府中駅前商店街、木楽座ストリート組合) ・地域教育機関と連携した誘客事業 1回 (和泉府中駅前商店街)					
(事前評価)	①和泉市商店連合会への補助事業 〈商店街基盤強化事業〉(3分の2補助) 各商店街組合イベント開催補助、パンフレット作成補助等 〈商店街魅力創出事業〉(10割補助) 大盆踊り大会開催による商連PR事業				【D】事業実績	〈商店街魅力創出事業〉 ・キッズイベント「こどもらんど」の開催					
【P】事業の内容	②市実施事業 よろず支援拠点との連携					②市実施事業 よろず支援拠点連携事業 ・実施回数12回、相談件数23件					
(事前評価)	①和泉市商店連合会が行う商店街基盤強化事業及び商店街魅力創出事業への補助を行う。				(事後評価)	①和泉市商店連合会が行う商店街基盤強化事業及び商店街魅力創出事業に対して補助を行った。					
【P】成果指標向上のための具体的な取組	②国が設置する「よろず支援拠点」と連携し、経営相談を毎月実施する。					②国の実施事業である「大阪府よろず支援拠点」と連携、市役所内において出張相談を毎月第3木曜日に実施した。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	商店街周知イベント				回	2	5	3			
【P】活動指標											
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金	3,000,000				補助金	2,052,000				
	計		3,000,000			計		2,052,000			
	備考					備考					
【P】予算					【D】決算						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	<p>コロナ禍が続き経済活動が停滞していたにも関わらず、休業要請は発令されず休業支援金の支給がなくなったこともあり、経営難による休廃業や会費負担を減らすための商店街脱退で商店街加入店舗が減少した。</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>基盤強化や魅力創出事業を実施し、商店街の魅力をお買い物客に周知できたが、創業希望者を商店街加入に繋げることができなかった。創業者が商店街加入につながるよう引き続きより効果的な施策を検討する必要がある。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>各商店街によるイベント実施に対して継続的な支援を行う。また、加盟店舗が新たな商売を行う基盤づくりのため昨年度実施した勉強会を複数回実施することを検討する。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出											
成果指標 (KPI)	2004	テクノステージ和泉における企業の立地割合									指標の単位	%
	基準値 (R2)	100.0				目標値 (R7)	100.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 産業集積促進事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価) 【P】 事業の 目的	本市の産業振興及び経済の活性化のため、テクノステージ和泉において、工場等の操業の継続等、産業集積の維持及び促進を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	【令和4年度末のテクノステージ和泉の操業状況】 区画数:120 空き区画:0 企業数:106社 【補助実績】 継続補助件数 1件 新規補助件数 0件					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	テクノステージ和泉にて操業している企業に対し、和泉市産業集積促進条例に基づき、補助金を交付する。 (補助額)取得した工場等の建物の固定資産税額の1/2 (補助上限額)500万円/年 (補助期間)5年										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のた めの具 体的な取組	企業の操業環境の改善や補助制度の活用を図るため、テクノステージ和泉まちづくり協議会と連携し、操業状況等の情報収集に努める。 補助制度について、市HPで周知を図る。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のた めの具 体的な取組 の実績	・大阪府やテクノステージ和泉まちづくり協議会と連携し、新たに創業を予定している企業や工場の増設等を予定している企業の情報集収を行った。 ・補助制度について、市ホームページで周知を図った。 ・開発協議や工場立地法届出の際に企業への案内を行うなどの周知に努めた。 ・大阪府が開催する「大阪府産業集積促進市町村連携会議」において、企業立地促進に係る他市町村の取組み事例など、情報共有を図った。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	産業集積促進補助金の周知チラシの配布(全立地企業)				社	110	0	110			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金	828,000				補助金	828,000				
	計		828,000			計		828,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	・撤退した事業者が発生していないため、立地割合については100%を維持している。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	・補助制度の周知を図り、補助金を活用した工場増設を行う企業もあり、企業の事業拡大や産業活性化に貢献していると考え。工場立地等の相談があった際に直接本補助金の趣旨・制度等を説明案内していることが、本補助金の活用に結びついていると考えている。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・テクノステージ和泉まちづくり協議会や産業振興プラザとの連携を深め、事業拡大を検討している企業の有無など情報収集を行い、制度の周知に努めることで、他市への企業流出を防ぎ、産業団地における立地維持を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出											
成果指標 (KPI)	2005	トリヴェール和泉西部地区における企業の立地割合									指標の単位	%
	基準値 (R2)	100.0				目標値 (R7)	100.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	95.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1産業集積促進事業				地方創生関連交付金事業該当	-							
					和泉創発プラン該当	-							
(事前評価)	【P】事業の目的 本市の産業振興及び経済の活性化のため、トリヴェール和泉西部地区において、工場等の操業の継続等、産業集積の維持及び促進を図る。				(事後評価)	【令和4年度末のトリヴェール和泉西部地区の操業状況】 区画数:44 空き区画:0 企業数:38社							
(事前評価)	【P】事業の内容 トリヴェール和泉西部地区にて操業している企業に対し、和泉市産業集積促進条例に基づき、補助金を交付する。 (補助額)取得した工場等の建物の固定資産税額の1/2 (補助上限額)500万円/年 (補助期間)5年					(事後評価)	【D】事業実績 【補助実績】 継続補助件数 7件 新規補助件数 1件						
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①企業の操業環境の改善や補助制度の活用を図るため、トリヴェール和泉西部地区連絡協議会と連携し、操業状況等の情報収集に努める。 ②開発協議や工場立地法届出の際に企業への案内を行う。 ③補助制度について、市HPで周知を図る。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ・トリヴェール和泉西部地区連絡協議会と連携し、新たに創業を予定している企業や工場の増設等を予定している企業の情報集収集を行った。 ・補助制度について、市ホームページで周知を図った。 ・開発協議や工場立地法届出の際に企業への案内を行うなどの周知に努めた。 ・大阪府が開催する「大阪府産業集積促進市町村連携会議」において、企業立地促進に係る他市町村の取組みなど、情報共有を図った。							
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値						
							R3	R4	R5	R6	R7		
	産業集積促進補助金の周知チラシの配布				社	20	0	20					
(事前評価)	【P】活動指標												
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)				
	補助金	23,921,000				補助金	18,921,000						
	計			23,921,000		計				18,921,000			
	備考					備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	・撤退した事業者が発生していないため、立地割合については100%を維持している。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	・協議会と連携して補助制度を周知したことにより、企業のトリヴェール和泉西部地区での操業を促進することができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	トリヴェール和泉西部地区連絡協議会との連携を維持し、事業者が抱えている課題やニーズを把握し、産業団地における立地維持を図る施策の検討を進める。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	21 産業として成立する農林業の確立											
成果指標 (KPI)	2101	エコ農産物の申請栽培面積									指標の単位	アール
	基準値 (R2)	4,768				目標値 (R7)	5,200				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					4,565	4,768	4,898	4,752				達成状況
達成率							30.1%	0.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 地産地消推進事業				地方創生関連交付金事業該当	-					
					和泉創発プラン該当	-					
(事前評価) 【P】 事業の 目的	慣行農法より少ない農薬、化学肥料を使用して農産物(エコ農産物)を生産することにより、食に対する安全志向の高い消費者の安心を獲得し、もって地産地消を推進する。				(事後評価) 【D】 事業実績	生産者数:19名 栽培面積:4,752ha					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	エコ農産物を栽培する農家を募集、認証し、大阪エコ農産物の規格に則した農産物を生産してもらう。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	認証農家に対して、大阪府、JAと一体となった現場確認、指導、助言を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	認証農家に対し、電話、インターネットによる生産データのやり取りや、大阪府、JAと一体となった指導、助言を行った。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	エコ農産物栽培農家数				人	20	19	19			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	需用費	5,000				需用費	5,000				
	計		5,000			計		5,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	栽培農家及び圃場の状況により栽培中止となるものがあった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	成果指標が農家及び現場の状況に左右される面が強いが事業自体は有効。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	新規認証者の開拓と、過年度経験者を呼び戻すための工夫を凝らす必要がある。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	21 産業として成立する農林業の確立											
成果指標 (KPI)	2102	農業関係団体が実施する各種研修会等の受講者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	120				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					115	0	27	15				達成状況
達成率							22.5%	12.5%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	16次産業化促進事業				地方創生関連交付金事業該当		-			
					和泉創発プラン該当		-			
(事前評価) 【P】 事業の 目的	農業者等が地場農産物を活用し、生産から加工、販売までを行う6次産業化を促進することにより、自立した農業者の育成を図り、活力のある地域農業の実現と新たな担い手の創出につなげる。			(事後評価) 【D】 事業実績	【研修会等】 和泉市認定農業者連絡協議会 インボイス制度の講習会(15名)					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	資金面のリスクにより、6次産業化に躊躇する農業者を支援するための事業を農業関係機関と連携し実施する。									
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のた めの具 体的な取組	商品開発や販路開拓等に関する取組の支援 策定した6次産業化戦略プラン(※)に基づき、農業者が市内商工業者等と連携した新たな商品開発や販路開拓等に関する取組を支援し、魅力ある農産物加工品の提供・道の駅における加工品の販売額増加をめざす。 (※)H28年度に、「和泉市6次産業化等戦略プラン」を策定し、本プランに基づき、農業者が6次産業化に取り組む場合は、国の補助金が拡充される。			(事後評価) 【D】 成果指標 向上のた めの具 体的な取組 の実績	新型コロナウイルスの感染が拡大していた時期があり、研修会の開催ができず目標達成に至らなかった。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称			単位	当該年度の 目標値	(事後評価)【D】実績値				
	研修会等実施件数			件	3	R3	R4	R5	R6	R7
	研修会等への参加等率			%	50		10			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	負担金補助及び交付金	380,000				負担金補助及び交付金	0			
	計		380,000			計		0		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	新型コロナウイルス蔓延に伴い、研修会等が実施できず目標に至っていない。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	④効果的でなかった	WEB等の開催も試みたが、各農業団体の組合員は高齢者が多く対応できなかった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	状況を見ながら再開に向けて動いていきたい。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	21 産業として成立する農林業の確立											
成果指標 (KPI)	2103	農業体験交流施設の年間利用者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	11,609				目標値 (R7)	43,000				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	38,262	39,129	43,543	41,527	31,147	11,609	21,779	34,751				達成状況
達成率							32.4%	73.7%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 都市農村交流事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価)	【P】事業の目的 農地及び自然環境を活用し、市民が農業とふれあい、体験し、学ぶ等の活動を促進することにより、市内農産物の消費拡大及び食の安全・安心の促進を図り、もって市民福祉の増進及び農業の振興に資する。				(事後評価)						
(事前評価)	【P】事業の内容 農業体験交流施設(いずみふれあい農の里)を活用した農産物収穫体験等の都市農村交流事業を実施する。					【D】事業実績 ・農業体験交流事業 13回開催 416人参加 ・農業担い手塾 10回開催 155人参加 ・育てて食べよう野菜バリバリ事業 3回開催 261人参加 ・農産物の収穫、加工体験 340回開催 27,774人参加 ・イベント活動 14回開催 1,128人参加 ・バーベキュー施設貸し事業 379基 1,925人利用					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①広報等を活用し、施設のPRを行う。 ②農業体験交流事業として、より地域に密着した魅力あるイベントを開催する。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①広報・ホームページ等で周知を行い、来訪促進に取り組んだ。 ②小川いちご組合と連携し、いちご狩り体験を実施した。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
	イベント開催回数				回	233	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	需用費	365,000				需用費	258,487				
	役務費	30,000				役務費	25,260				
	委託料	9,477,000				委託料	9,477,000				
	計		9,872,000			計		9,760,747			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	過去2か年にわたるコロナからの脱却。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	過去2年のコロナの影響が大きかった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	更なる農業体験メニューの開発と、施設の改良を図り利用者の増加を目指す。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	21 産業として成立する農林業の確立											
成果指標 (KPI)	2104	いずもくの年間搬出量									指標の単位	m ³
	基準値 (R2)	356				目標値 (R7)	300				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	402	180	113	0	0	356	941	618				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 市内産木材ブランド化推進事業				地方創生関連交付金事業該当				－			
					和泉創発プラン該当				－			
(事前評価) 【P】 事業の 目的	市内で産出された木材「いずもく」のブランド化を推進することにより、市内林業・木材産業の活性化を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	①いずもくで建てよう支援事業 補助件数:3件 補助金額:1,000,000円 ②森林経営計画に対する補助 ・間伐区域集約化事業補助金 事業実施面積:23.3ha 補助金額:2,685,944円 ③間伐材搬出事業補助金 補助件数:3件 搬出間伐量:81.1㎡ 補助金額:497,700円						
(事前評価) 【P】 事業の 内容	①いずもくで建てよう支援事業の実施 補助額:いずもくの使用量1㎡に対し5万円 (上限8㎡) ②森林経営計画に対する補助の実施 間伐区域集約化事業補助金 (経営計画に基づく間伐等の施業に対する補助金) ③間伐材搬出事業補助金 経営計画以外の間伐材搬出に対する補助金											
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的取組	①いずもくを公共事業へ積極的に導入するための利用促進に係る庁内への啓発活動を実施する。 ②イベント等を活用し、いずもくのPRを行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的取組 の実績	①庁内への利用周知を行い、各部署が行う事業でいずもく利用を促した結果、下記のとおり利用があった。 ・公共建築物への利用:1件 ・備品等への利用:1件 ②大阪府森林組合や和泉市林業協議会と連携を図り、いずもくのPRを行った。						
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価)【D】実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	いずもくで建てよう支援事業の申請件数				件	2	0	3				
	森林経営計画に含まれる森林の延べ面積				ha	543	543	543				
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	需用費	105,000				需用費	81,987					
	委託料	14,000,000				委託料	25,097,627					
	負担金補助及び交付金	5,313,000				負担金補助及び交付金	4,798,644					
	計		19,418,000			計		29,978,258				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	大阪府森林組合施行の森林経営計画による間伐が計画どおり実施された。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	令和7年度目標値を達成している。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	③拡大	和泉市木材利用基本方針を改正し更なる事業拡大を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成											
成果指標 (KPI)	2201	中小企業振興対策事業補助金(人材育成支援事業)の年間交付件数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	5				目標値 (R7)	20				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					9	5	6	3				達成状況
達成率							6.7%	0.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 中小企業振興対策事業				地方創生関連交付金事業該当	-					
					和泉創発プラン該当	-					
(事前評価) 【P】 事業の 目的	市内中小企業の後継者を育成することで、安定した雇用の創出と次代の担い手を確保する。				(事後評価) 【D】 事業実績	申請件数 3件 補助額 29,000円					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	市内中小企業の社員が技術の開発・向上や事業経営の合理化を図るための人材育成研修を受講・修了した場合、その経費の一部を企業に対して補助する。 (補助額)受講費用の1/2(1,000円未満切捨) (補助上限額)1事業者につき1会計年度あたり合計20万円										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①補助制度について、市HPで周知を図る。 ②研修の実施期間(大学・訓練校等)に対して補助制度の情報提供と利用者に対する周知を依頼する。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	市のHP及び研修実施機関(大学・訓練校等)の広報誌に掲載することにより事業の周知を図った。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	制度周知チラシの配布				枚	2,000	0	2,000			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金	2,000,000				補助金	29,000				
	計		2,000,000			計		29,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	人材育成のメニューでの申請は前年度より減少しているが、本補助金全体の申請件数は、令和2年度5件、令和3年度6件、令和4年度10件と漸増している。 今後もより一層の利用率向上に努めるため、市HPやチラシ等で広報に努める。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	技術の開発・向上や事業経営の合理化を図るための人材育成研修を受講・修了したことにより市内中小企業の社員の人材育成支援に繋がった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	更なる利用率向上を図るため、テクノステージまちづくり協議会を通じて、事業者にはチラシを配布するなど、更なる事業周知を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成											
成果指標 (KPI)	2202	認定農業者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	76				目標値 (R7)	80				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	77	76	76	76	75	76	79	75				達成状況
達成率							75.0%	0.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 農業担い手育成事業			地方創生関連交付金事業該当	－						
				和泉創発プラン該当	－						
(事前評価) 【P】 事業の 目的	農業従事者の高齢化、後継者の他産業への流出に伴う担い手の減少が課題となるなか、農空間を次世代へ継承するため、就農実践研修等を実施し、新たな担い手を育成・確保する。			(事後評価) 【D】 事業実績	農業経営は継続しているが、認定農業者の更新申請がされなかった農業者がいた為、人数が減少した。						
(事前評価) 【P】 事業の 内容	①新規農業者の自立を促すため、「農業次世代人材投資事業給付金」を給付する。 ②農業の人材育成・確保のため「和泉市農業担い手塾」を開催する。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①「農業次世代人材投資事業給付金」の給付新規就農者の給付金受給に向けて、必要な計画等について申請者、関係機関等と協議・調整を行う。 ②「和泉市農業担い手塾」の開催 就農希望者に対し、農業技術を習得する研修事業を実施する。			(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	中核的な農業の担い手としてメリット措置を周知することにより、新規認定の増加を更新者の確保に務める。						
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	農業次世代人材投資事業給付金の受給者数				人	5	4	2			
	記入相談会の年間実施回数				回	2	1	2			
	農業担い手塾参加者の実人数				人	16	17	16			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	負担金補助及び交付金	6,592,000				負担金補助及び交付金	3,000,000				
	計		6,592,000			計		3,000,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	新規就農者に対し、給付金申請に伴う書類作成支援並びに申請手続や法制度の詳細な周知を文書により送付やホームページで行うことにより、対象者全員が某業次世代人材投資事業給付金の受給可能となった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	希望者全員が給付金を受給できたことにより、新規就農者等の経営安定を図り、また、持続的な農業経営を支援することができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き新規就農者等への支援を実施する。また、担い手塾も継続して行い、和泉市の農業発展に尽力する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成											
成果指標 (KPI)	2203	和泉市就職情報フェアの年間面接者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	50				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					45	0	4	48				達成状況
	達成率						8.0%	96.0%				
備考												
担当課	くらしサポート課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1和泉市就職情報フェア事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	和泉市就職情報フェアを行うことにより、求職活動及び企業の人材確保を支援し、就労の促進と雇用の安定を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	開催日: 令和5年3月2日(木)午後1時～午後4時 開催方法: 対面 参加事業所: 15社 延べ参加者: 185人 面接者数: 48人					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	市・ハローワーク・商工会議所で構成された実行委員会により、和泉市就職情報フェアを実施する。 (フェアの内容) 対面で実施										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	和泉市就職情報フェアの周知拡大に向け、下記項目に取り組む。 ①市HP、市SNS、府HP、商工会議所会報等で開催内容を周知する。 ②チラシを作成し、広報と同時に配布する。 ③市関係機関、外部機関等にチラシの配架を依頼する。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①市ホームページ、府ホームページ、商工会議所会報等で開催内容を周知する。 ②チラシを作成し、広報と同時に配布(73,000部)。 ③市関係機関、外部機関等にチラシの配架を依頼(500部)。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	和泉市就職情報フェアの参加者数				人	100	114	185			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	負担金	300,000				負担金	282,747				
	計		300,000			計		282,747			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	令和4年度は新型コロナウイルス感染症が少し落ち着きを取り戻しつつあり、平成31年以降の対面開催となった。 久しぶりの対面での開催であり、参加事業者数はオンラインに比べて減少したものの、参加者数及び面接者数は昨年度と比べて増加した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	新型コロナウイルス感染症による中止や対面を避けたオンライン方式から対面式に戻ったことで、企業と参加者の意思疎通も行いやすく、参加者や面接者の増加につながった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	今後も対面開催を行っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成											
成果指標 (KPI)	2204	和泉市無料職業紹介センターにおける年間紹介者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	322				目標値 (R7)	220				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					220	322	478	410				達成状況
	達成率						100.0%	100.0%				
備考												
担当課	くらしサポート課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 和泉市無料職業紹介センター事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	就職困難者等の就業機会の拡大を図るため、和泉市無料職業紹介センターを中心に関係機関と協力しながら、就職困難者等の自立・就労を支援する。				(事後評価) 【D】 事業実績	相談者数:1,529人 紹介者数:410人 就職者数:140人 市独自の求人開拓で企業への訪問を行った(8件)。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	市内5か所で和泉市無料職業紹介センターを開設し、就労支援コーディネーターによる就労支援相談及び職業紹介を行う。また、パソコン等で、いつでも和泉市無料職業紹介センターの求人情報を見ることができるHP(eワーク和泉)を開設している。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①和泉市無料職業紹介センターの周知拡大に向け、下記項目に取り組む。 ・市HP、SNS、広報に相談場所や内容を掲載する。 ・チラシを作成し、各相談場所に配架する。 ・市関係機関、外部機関等にチラシの掲示を依頼する。 ②和泉市無料職業紹介センターにおいて、就労支援コーディネーターが継続支援者に繰り返し連絡し、マッチング求人やスキルアップセミナーの案内を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①周知 ・ホームページ ・市内関係機関にチラシ配架(約30箇所) ②就労支援コーディネーターが継続支援者に繰り返し連絡し、マッチング求人やスキルアップセミナー等の案内を実施(37件)					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	和泉市無料職業紹介センターにおける年間登録者数				人	500	552	545			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	会場借上料	272,000				会場借上料	251,180				
	計		272,000			計		251,180			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	前年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたことによって生活困窮者が減少したことにより、相談者数は13人、紹介者数が68人減少したが、就職者数は10人増加した。前年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による採用枠の減少があったが、相談者に応じたマッチングができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	前年度と比較して、相談者数及び紹介者数は減少したが、就職者数が増加しており、今後も相談者に応じたマッチングを行う必要がある。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	相談者に応じた求人等の情報提供や相談など、就労支援コーディネーターによるきめ細やかな支援を行うとともに、来所者の就職に繋がる求人を開拓していく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出											
重点施策	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成											
成果指標 (KPI)	2205	奨学金返還支援制度を活用した市内企業への就職者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	14				目標値 (R7)	25				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					8	14	13	17				達成状況
	達成率						0.0%	27.3%				
備考												
担当課	くらしサポート課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1和泉市奨学金返還支援事業				地方創生関連交付金事業該当				－		
					和泉創発プラン該当				－		
(事前評価) 【P】 事業の 目的	奨学金の貸与を受けた者に対し、奨学金返還支援補助金を交付することにより、市内企業等の若者人材確保、労働者の定着と雇用の安定、市内への定住促進を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	認定決定した40名のうち、17名就職した。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	対象奨学金の貸与を受けている大学生・高校生等が、市内に定住し、市内企業で正規雇用により就労した場合に、在学中に貸与を受けた奨学金の返還の一部を支援する。 (補助金額) 月2万円を上限とし、返還した奨学金の額を最大36か月分補助する。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的取組	奨学金返還支援補助金の周知拡大に向け、下記項目に取り組む。 ①市HP、SNS、広報に内容や補助の流れを掲載する。 ②チラシを作成し、府下の主要大学、市内の高校・企業、市関係機関等へ配布する。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的取組 の実績	①周知 ・ホームページ ・広報掲載(7月) ② ・府下主要大学等、市内の高校等への案内(83校) ・市内商工会議所の会報にチラシを折り込み(2100枚) ・市内関係機関等(27箇所)にチラシ配架					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	奨学金返還支援認定者数				人	25	23	40			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	需用費	99,000				需用費	36,190				
	補助金	5,513,000				補助金	3,039,546				
	計		5,612,000			計		3,075,736			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	制度の周知が拡がっており、認定申請者数の増加とそれに伴い就職者数も増加した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	無料職業紹介センターの活用、ホームページ及び広報への掲載等で制度周知されており、認定者数及び就職者数も増加している。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き制度の周知に努め、無料職業紹介センター及び和泉市就職情報フェアを活用し、市内企業等への就職者数を増やす。また、令和5年度からが高校と大学の認定者数上限の垣根を払い、それぞれの上限数に満たない場合充当できるものとし認定者数の確保を図る。

第2章 にぎわいの促進

第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興

23 地域資源を活用した観光産業の振興

24 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興											
重点施策	23 地域資源を活用した観光産業の振興											
成果指標 (KPI)	2301	いずみの国観光おもてなし処の年間来館者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	11,799				目標値 (R7)	21,000				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					14,672	11,799	12,134	16,610				達成状況
	達成率						3.6%	52.3%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 おもてなし処来館促進事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	和泉市を来訪する観光客等に対し、必要な観光情報の案内等を行うことで、スムーズで快適な観光を提供し、市の魅力発信につなげる。				(事後評価)	・いずみの国観光おもてなし処(和泉府中) 令和4年度末 年間来館者数:9,090人 前年比 -290人 令和3年度末 年間来館者数:9,380人 前年比 -213人 ・いずみの国観光おもてなし処(和泉中央) 令和4年度末 年間来館者数:7,520人 前年比 +4,766人 令和3年度末 年間来館者数:2,754人 前年比 +548人					
(事前評価)	和泉市を来訪する際の玄関口となる駅周辺(JR和泉府中駅・泉北高速鉄道中央駅)において、窓口と電話の問い合わせの対応や、情報提供を行う。										
(事前評価)	【P】事業の内容 (スタッフは英語対応可能) ①観光情報一般(観光施設、イベント等)の案内 ②飲食店・宿泊施設等の紹介 ③特産品の販売業務 ④観光ボランティアガイドの予約受付 ⑤観光特大MAP等の制作 ⑥観光HP・SNS等の運営										
(事前評価)	①観光特大MAPの配布 おもてなし処の認知度を向上するため、観光MAPを作成し、配布する。 ②来館促進のための取組 来館促進のため、各種イベント等を実施する。				(事後評価)	①観光特大MAPの配布 令和4年度は在庫があったため、代わりに、和泉市ファンクラブ協力店に加入した店舗を掲載した焼肉ガイドブックを作成し、おもてなし処や観光客の来訪が見込まれる観光施設へ配布。【配布数:10,000部】 ②来館促進のための取組み 観光客や地域住民にも愛着を持っていただけの拠点となるように以下のイベント等を開催した。 ・和泉野菜等の直売イベント(60回開催、参加人数約2,550人) ・いずみパールのアクセサリ作り体験等のワークショップイベント(16回開催、参加人数約160人) ・マンホールカード配布(随時配布、配布枚数1,118人) ・eスポーツイベント(2回開催、参加人数22人)					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	観光特大マップの配布				部	30,000	30,000	10,000			
	観光おもてなし処和泉府中での来訪促進イベント				回	70	68	78			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	30,000,000				委託料	27,784,496				
	計		30,000,000			計		27,784,496			
	備考					備考					
(事前評価)	【P】予算				【D】決算						

(事後評価)	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
	②前年度より向上	<p>今年度の7月末をもって、おもてなし処運営委託期間が終了することに伴い、新たな運営業者を選定すべく、プロポーザル入札にて、運営業者を選定した。</p> <p>このプロポーザル入札の際は、いずみの国観光おもてなし処(和泉中央)において、リモートを用いた遠隔接客による無人化運営を行う仕様とし、8月から無人化運営を開始した。</p> <p>結果、ドアを取り払ったことで開放的な空間となり、かつ無人となることで、心理的なハードルが軽減され、来館しやすくなった。</p> <p>いずみの国観光おもてなし処(和泉府中)の来館促進によるイベントについては、駐輪スペースや交流スペースを活用した既存イベントだけでなく、新たなイベント(eスポーツイベントやマルシェ)も行ったことで、開催数は増加傾向であった。</p> <p>なお、観光特大マップの配布が減少した理由は、観光特大マップの在庫があったため、観光特大マップ3万部相当の焼肉ガイドブックを1万部作成したことによるもの。</p>
(事後評価)	事業の評価	評価理由
	②効果的だった	<p>イベント開催数が増加したことで、いずみの国観光おもてなし処(和泉府中)の認知度が向上しており、また、いずみの国観光おもてなし処(和泉中央)においても、気軽に立ち寄りやすくなり、パンフレットなどの持ち帰り数も増加していることから、効果的だったと考えられる。</p>
(事後評価)	事業の方向性	今後の事業展開
	①継続	<p>本事業については、認知度向上、かつ来館促進につながる事業として継続していくが、今後、コロナの規制が緩和され、万博の開催も予定されていることから、外国人観光客が増えていくことが予想されるため、おもてなし処運営業者との連携をより一層行い、参加型・体験型イベントの企画の充実化を図っていく。</p>

取組事業	2 おもてなし処訪日旅行者来館促進事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	和泉市を来訪する訪日旅行者に対し、必要な観光情報の案内等を行うことで、スムーズで快適な観光を提供し、市の魅力発信につなげる。					
(事前評価)	【P】事業の内容					【D】事業実績					
(事前評価)	和泉市を来訪する際の玄関口となる駅周辺(JR和泉府中駅・泉北高速鉄道と泉中央駅)において、窓口・電話の問い合わせの対応や、情報提供を行う。 (スタッフは英語対応可)				和泉市を来訪する際の玄関口となる駅周辺(JR和泉府中駅・泉北高速鉄道と泉中央駅)において、窓口・電話の問い合わせの対応や、情報提供を行う。 (スタッフは英語対応可)						
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績					
(事前評価)	和泉市を来訪する際の玄関口となる駅周辺(JR和泉府中駅・泉北高速鉄道と泉中央駅)において、窓口・電話の問い合わせの対応や、情報提供を行う。 (スタッフは英語対応可)					和泉市を来訪する際の玄関口となる駅周辺(JR和泉府中駅・泉北高速鉄道と泉中央駅)において、窓口・電話の問い合わせの対応や、情報提供を行う。 (スタッフは英語対応可)					
(事前評価)	【P】活動指標				【D】実績値						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
(事前評価)	海外からの観光HPへのアクセス数				PV	1,500	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	【P】予算				【D】決算						
(事前評価)	内訳				金額(円)		内訳		金額(円)		
(事前評価)	委託料				204,000		委託料		67,900		
(事前評価)	計				204,000		計		67,900		
(事前評価)	備考						備考		令和4年8月以降は、おもてなし処運営委託費に含む。		

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	コロナの影響が落ち着いてきたこともあり、観光施設等へのアクセス等の問い合わせ先である観光おもてなし処へのアクセス数は増加した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	昨年度に引き続き、ホテルルートイン2店舗などの外国人観光客の来訪が多い場所へ、パンフレットなどを多く配架し、目に触れる機会の創出に取り組み、また、いずみの国観光おもてなし処(和泉中央)の無人化運営によって、タッチパネルで観光ホームページを自由に閲覧できるようにしたことも有効であったと考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	観光ホームページについては、外国人観光客に好まれるコンテンツを増やすこと、また、外国人観光客の誘客に効果的なWEB、youtubeやInstagram等SNSの発信媒体を利用することで、更なる情報発信に取り組む。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興											
重点施策	23 地域資源を活用した観光産業の振興											
成果指標 (KPI)	2302	国史跡池上曽根史跡公園、国史跡和泉黄金塚古墳等への年間来訪者数								指標の単位	人	
	基準値 (R2)	48,770				目標値 (R7)	125,000				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	116,317	89,628	65,162	85,775	72,187	48,770	64,262	118,548				達成状況
達成率							20.3%	91.5%				
備考												
担当課	文化遺産活用課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 史跡公園活性化事業				地方創生関連交付金事業該当				-			
					和泉創発プラン該当				-			
(事前評価)	【P】事業の目的 国史跡池上曽根遺跡や国史跡和泉黄金塚古墳等、和泉市が誇る文化財を広く市内外にアピールするため、来訪者の増加を図る。				(事後評価)	【D】事業実績 ○池上曽根遺跡 ・「大賀ハス日記」ブログにより古代のハスを周知を図った。 ・池上曽根遺跡の活性化を図るため、池上曽根イベントマラソンを開催した。(令和4年3月～) ○和泉黄金塚古墳 泉北クリーンセンター主催和泉黄金塚古墳周辺クリーンアップツアーのなかで和泉黄金塚古墳の見学を行った。						
(事前評価)	【P】事業の内容 文化財活性化推進事業内容の見直しをすすめ、オンラインによる文化遺産フォーラムの開催等、魅力ある新規事業を企画する。											
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 史跡公園を活用したイベント内容を見直しを図り、魅力ある企画を実施する。					【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ○池上曽根史跡公園 池上曽根イベントマラソンの一環として、本年度は、目指せ池上博士！池上曽根遺跡検定、池上プレイステージフェスタ、池上曽根体験水田、さくらサーカスを開催した。そのほか、池上曽根弥生文化祭、寺子屋池上曽根(全4回)を開催した。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	史跡公園を活用したイベントの開催				回	4	3	9				
	【P】活動指標											
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	負担金	2,500,000				負担金	2,500,000					
	備品	0				備品	884,180					
	原材料費	100,000				原材料費	35,037					
	計		2,600,000			計		3,419,217				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	コロナ対策を徹底したうえで、池上曽根イベントマラソンや池上曽根弥生文化祭、寺子屋池上曽根などを実施することで来園者数が増加した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	池上曽根弥生文化祭、寺子屋池上曽根は継続して実施していく。 前年度より入園者数は増加したものの、より魅力あるイベントの開催や情報発信につとめる必要がある。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・整備事業後の活用の具体化をはかる。 ・ホームページやブログを活用した情報発信に努める。 ・コロナ禍に対応した文化財活性化事業のあり方を検討する。

取組事業	2 史跡整備事業				地方創生関連交付金事業該当					-	
					和泉創発プラン該当					-	
(事前評価) 【P】 事業の 目的	国史跡池上曽根遺跡や国史跡和泉黄金塚古墳等、和泉市が誇る文化財の保存と整備をすすめ、その魅力を市内外に発信し、観光振興・地域活性化を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	○池上曽根遺跡の整備 ・基本設計・実施設計を行った。 ・弥生情報館の空調改修工事を行った。 ・利便施設の活用を図った。 和泉・信太の森ヒストリータウン ・池上曽根遺跡のイメージソングを制作した。 ・信太の白きつねモニュメントのメイキング動画を制作した。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	①池上曽根遺跡の適切な保存と観光拠点としての活用を図るため、整備に向けた基本設計・実施設計を実施する。 ②池上曽根遺跡や和泉黄金塚古墳を含む北部地域の観光振興のため、和泉・信太の森ヒストリータウンの具体化を図る。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①史跡池上曽根遺跡整備指導委員会を開催する。 ②和泉・信太の森ヒストリータウンについて、関係部局と協議をすすめる。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①史跡池上曽根遺跡整備指導委員会を2回開催し、整備の基本設計・実施設計を作成した。 ②和泉・信太の森ヒストリータウンについて、池上曽根遺跡のイメージソングや信太の白きつねモニュメントのメイキング動画を制作するなど、周知を図った。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	整備指導委員会の開催				回	3		2			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報償費	150,000	委託料	37,000,000		報償費	90,000	委託料	21,476,400		
	旅費	66,000	使用料及び賃借料	4,000		旅費	17,260	使用料及び賃借料	0		
	需用費	27,000				需用費	26,984				
	計		37,247,000			計		21,610,644			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	弥生情報館の空調改修工事を実施し、施設の維持管理に努めた。 池上曽根遺跡のイメージソングや信太の白きつねモニュメントメイキング動画を制作した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	池上曽根遺跡の整備に係る基本設計・実施設計を作成し、令和8年のリニューアルオープンに向けた準備を進めることができた。 池上曽根遺跡のイメージソングや信太の白きつねモニュメントメイキング動画を制作し、和泉・信太の森ストーリータウンを周知することができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	令和8年度の池上曽根史跡公園のリニューアルオープンを目指し、第2期整備を進めていく。 信太の森ストーリータウンについて、関係課と協議および補助金の活用検討をすすめる、具体化をはかる。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興											
重点施策	23 地域資源を活用した観光産業の振興											
成果指標 (KPI)	2303	池上曽根史跡公園及び大阪府弥生博物館来館者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	62,281				目標値 (R7)	113,800			総合戦略 該当	-	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					105,384	62,281	64,674	133,807				達成状況
	達成率						4.6%	100.0%				
備考												
担当課	文化遺産活用課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 ヒストリータウン事業				地方創生関連交付金事業該当				－			
					和泉創発プラン該当				－			
(事前評価) 【P】 事業の 目的	池上曽根史跡公園及び大阪府弥生博物館を中心とした「和泉信太の森ヒストリータウン」を活用した新たな観光施策を創出し、北部エリアの来訪者数を増加させる。				(事後評価) 【D】 事業実績	【令和3年度 来訪者数】 ○池上曽根史跡公園 49,880人 ○大阪府弥生博物館 14,794人 【令和4年度 来訪者数】 ○池上曽根史跡公園 118,558人 ○大阪府弥生博物館 15,249人(10/1～3/31改修工事につき閉館)						
(事前評価) 【P】 事業の 内容	「和泉信太の森ヒストリータウン」において、観光客を増加させるための施策を検討し、交流人口を拡大させ、ひいては、観光産業の振興を図ることを目指し、2件のコンテンツを開発する。											
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的 な取組	①池上曽根史跡公園を活用したイベントの開催。昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった池上曽根史跡公園でのイベントを開催する。 ②ヒストリータウン内に設置されたモニュメントを活用した来訪促進コンテンツを開発する。 ③広報活動 「①②」について、観光HP「SATOMACHI IZUMI」、SNSを活用し、広報活動を実施する。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的 な取組 の実績	①池上曽根史跡公園を活用したイベントを開催し、来訪者の増加を図った。 ②信太の森ヒストリーガイドブックを制作し、来訪促進を図った。 ③②については、報道提供だけでなく観光HP、SNSで情報発信を行った。						
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値					
	観光メニュー開発				件	2	R3	R4	R5	R6	R7	
							2	0				
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	委託料	660,000				委託料	627,000					
	計		660,000			計		627,000				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	前年度よりも来訪者数が増加している。 大阪府立弥生文化博物館が10月より大規模改修工事のため閉館していたことを踏まえても、コロナ禍前の水準に戻りつつある。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	令和4年3月より池上曽根史跡公園内で「さくらサーカス」が開催され、また、関連イベントやその他イベントを開催することができ、年間の来訪者数増加には大きく反映された。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	②一部見直し	担当課の変更に伴い、事業の方向性、今後の事業展開を見直す必要がある。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興											
重点施策	23 地域資源を活用した観光産業の振興											
成果指標 (KPI)	2304	地域通訳案内士及び市民地域ボランティアガイドの延べ育成数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	30				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						0	13	33				達成状況
達成率							43.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 市民地域ボランティアガイド育成事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価) 【P】 事業の 目的	・5年間で、市民地域ボランティアガイド25名を育成する。 ・令和2年度よりスタートする観光おもてなし学科において、市民地域ボランティアガイドを育成する(R3より誕生)				(事後評価) 【D】 事業実績	①いずみ市民大学 観光おもてなし学科 令和4年度 受講者20人(修了者15人) 令和3年度 受講者13人(修了者12人) ②和泉観光ボランティアクラブ養成講座 令和4年度 実施していない 令和3年度 修了者13人 コロナ影響が落ち着き、他市からのガイド依頼が増加し、市内のガイドを行った(計10回) 和泉観光ボランティアクラブ会員 令和4年度末24人 令和3年度末18人 ③外国人観光客への外国語対応 外国語自動翻訳機ポケットークを導入					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	①いずみ市民大学 観光おもてなし学科 ②和泉観光ボランティアクラブ養成講座 ③外国人観光客への外国語対応										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のた めの具体 的な取組	①自分達が住む街の魅力を学び、愛着を感じてもらうことにより、市民自らがPRや情報発信をすることで、多くの来訪者を迎え入れる機運を高めていく。 ②ボランティアクラブの養成講座を行うことで、新規会員の増加を図っていく。また、いずみ市民大学とも連携し、現会員のガイド知識や経験を若い世代に受け継いでいく。 ③外国人観光客の誘客や満足度向上を図っていく。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のた めの具体 的な取組 の実績	観光おもてなし学科における講習において、受講者自らが本市の施設に出向いて、調査を行い、まち歩きマップである「和泉そぞろ」を作成した。 これにより、受講者が自ら感じたことをPRできるようになり、市の観光情報の発信に寄与した。 また、他市からの観光客に対し、和泉市の魅力を感じてもらうことができた。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	観光ホームページやSNS配信による周知				回	3	1	2			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	②補助金	319,000				②補助金	256,000				
	計		319,000			計		256,000			
	備考	①は生涯学習室にて予算化				備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	観光ホームページやSNS配信による周知の回数を達成することはできなかったが、いずみ市民大学観光おもてなし学科受講者は増加していることから、一定の効果的な事業実施ができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきている中、ボランティアガイドをめざして、いずみ市民大学観光おもてなし学科の受講者が増加し、本市の観光について学び、発信していく人材が増加したことは、本市の観光施策において効果的であった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p> 今後は、国内観光客だけでなく、外国人観光客が増加することが予想されるため、様々な観光客に対し、和泉市の魅力を感じてもらえるよう、おもてなし処と連携を強化する。 また、周知・PRを積極的に行うことで、受講者数を増やし、新規会員の増加を図っていくよう対策を講じる。 </p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興											
重点施策	24 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進											
成果指標 (KPI)	2401	宿泊施設の延べ建設数(令和3年度～令和7年度)									指標の単位	件
	基準値 (R2)	1				目標値 (R7)	2				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						1	1	2				達成状況
達成率							0.0%	100.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 宿泊施設誘致事業				地方創生関連交付金事業該当	-					
					和泉創発プラン該当	-					
(事前評価) 【P】 事業の 目的	宿泊施設を誘致することで、まちのにぎわいの創出及び都市機能の充実を図り、もって市内経済の活性化及び市民福祉の向上に資する。				(事後評価) 【D】 事業実績	【補助実績】 ○新規補助 1件(ホテルルートイン大阪和泉府中、令和4年10月営業開始) ・借地料補助金額金 2,500,000円 ・下水道使用料補助金 1,731,000円 ○継続補助 1件(ホテルルートイン大阪和泉) ・固定資産税等補助金 8,890,000円 合計13,121,000円					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	和泉市ホテル・旅館の誘致に関する条例に基づく、補助金の交付 ・建築費等補助金(建築費用の100分の10に相当する額:上限1億円) ・固定資産税等補助金(土地及び建物に係る固定資産税及び都市計画税に相当する額) ・借地料補助金(土地借地料の1/2に相当する額:上限年額500万円) ・下水道使用料補助金(下水道使用料に相当する額:上限年額500万円)										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	・市HPによる制度周知を行う。 ・宿泊施設の開業に向け、ホテル事業者との協議を行う。 ・ホテル事業者の企業訪問を行い、補助金等の説明を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	・HPによる制度周知を行った。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	業界団体等向け制度周知				団体	3	0	0			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金	14,774,000				補助金	13,121,000				
	計		14,774,000			計		13,121,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	ホテルルートイン大阪和泉(あゆみ野、平成29年3月開業)に加え、令和4年10月にホテルルートイン大阪和泉府中(府中町)が開業した。 「コロナ禍」の影響が長引く中、ホテル業界にとっては厳しい状況が続くが、本市からの積極的な呼びかけにより誘致に成功し、開業を迎えたものである。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	平成29年3月開業したホテルルートイン大阪和泉(あゆみ野)の稼働率はコロナの影響で一時落ち込んだものの、開業以降、順調に推移していた結果、市内2店舗目であるホテルルートイン大阪和泉府中のオープンに繋がったと考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	既存2軒とともに誘致条例の周知に努めていく。また、ホテル事業者やホテル用地所有者への意向確認や訪問を引き続き行う。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興											
重点施策	24 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進											
成果指標 (KPI)	2402	和泉・久保惣ミュージアムタウンエリア内主要施設への来訪者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	415,471				目標値 (R7)	535,000				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					429,200	415,471	413,007	489,182				達成状況
	達成率						0.0%	61.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	久保惣記念美術館・産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 和泉・久保惣ミュージアムタウン推進事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	和泉市久保惣記念美術館を中心とする半径2km以内のエリアである「和泉・久保惣ミュージアムタウン」を「美術館のあるまち」としてブランディングし、エリアへの来訪を促進する。				(事後評価) 【D】 事業実績	【連携事業】 ①『もしも、わたしが自動販売機だったら』ワークショップをエコール・いずみアムゼ広場でコンソーシアムと連携して開催(10/2)し、10名が参加した。 ②壁画アート子どもワークショップを和泉市久保惣記念美術館隣接地でコンソーシアムと連携して開催(11/3)し、40名が参加した。 ③和泉・久保惣ミュージアムタウンアートコンクールをコンソーシアムと連携して開催(12/1～1/15)し、10作品の応募があった。 ④和泉・久保惣ミュージアムタウン音楽ライブを和泉シティプラザ弥生の風ホールでコンソーシアムと連携して開催(1/22)し、320名が来場した。 ⑤親子体験型アート浮世絵ワークショップをコミュニティカフェ・オアシスでコンソーシアムと連携して開催(2/19・2/26)し、7名が参加した。 ⑥JR和泉府中駅と美術館を結ぶ100円直通シャトルバスを5/3～5/8、9/23～9/25、10/30の各期間で運行し、期間中合計276名が乗車した。 ⑦新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、8月より和泉市周遊観光バスを開始した。 【交流拠点創出】 古民家交流拠点運営者に補助金を交付し、個展や演奏会、ワークショップ、セミナー等の定期的な開催を支援した。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	①和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムや地域住民、協力企業と協働・連携した事業展開を検討する。 ②アーティストやクリエイター等が活動できる古民家交流拠点の運営を支援する。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のた めの具 体的な取 組	①和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムの自走を図るため、負担金による支援を行う。 ②和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムを主体としたイベントや事業について、定期的に委員と意見交換、打合せを行い、情報発信等を支援する。 ③和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムや古民家交流拠点が実施するイベント等で連携した事業(学芸員出張講座や体験講座等)を実施する。										
(事後評価)	【D】 成果指標 向上のた めの具 体的な取 組 の実績				①和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムに対して、負担金を交付した。 ②和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムの定例会議等(6/3、10/3、3/29)を開催し、関係者と意見交換等を行った。 ③2/19と2/26に開催した親子体験型アート浮世絵ワークショップで学芸員による浮世絵講座を実施した。						
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度 の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
	和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムとの連携イベント				回	2	R3	R4	R5	R6	R7
	周遊観光バスの乗車人数				人	2,000	0	702			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	負担金 (コンソーシアム)	4,270,000				負担金 (コンソーシアム)	4,191,490				
	負担金 (バス)	2,042,000				負担金 (バス)	1,498,616				
	計		6,312,000			計		5,690,106			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント自粛や不要不急の外出自粛等の制限が緩和されたことにより、コンソーシアムや古民家交流拠点運営者によるイベント等の開催、和泉市周遊観光バスの運行により、和泉・久保惣ミュージアムタウンエリア内主要施設への来訪者数が増加している。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	イベント自粛や不要不急の外出自粛等の制限が緩和されたことにより、和泉・久保惣ミュージアムタウンエリア内主要施設への来訪者数が前年度と比較し増加しており、和泉市周遊観光バスの運行も含め、成果指標の達成に向けた事業展開を一定図れたと考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	成果指標の達成に向けて更なる来訪者増を目指すために、アートに対して普段馴染みがない方にも、興味・関心を惹きつけられるような魅力的なイベント等を実施できるよう、大学と連携した事業展開を図る。また、和泉・久保惣ミュージアムタウンなどにおける観光施設や商業施設を周遊する和泉市周遊観光バスの運行についてはコロナの影響や乗車人数などの実績を勘案しながら、運行の判断を行うものとする。運行する場合は、バス停留所施設と連携を図り、乗車人数向上に向けて、情報発信や特典の充実化を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第2章 にぎわいの促進											
節	第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興											
重点施策	24 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進											
成果指標 (KPI)	2403	南部リージョンセンター道の駅における農産物等売り上げ額									指標の単位	千円
	基準値 (R2)	134,857				目標値 (R7)	336,000				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					147,000	134,857	149,063	343,723				達成状況
	達成率						7.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1地域農林産物振興事業			地方創生関連交付金事業該当		－				
				和泉創発プラン該当		－				
(事前評価)	【P】事業の目的			(事後評価)	・売上額:343,722,400円 ・レジ通過者数:223,855名 ・出荷点数:1,247,585点					
(事前評価)	【P】事業の内容									
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組			(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績					
				・4月29日にリニューアルオープンイベントを開催し、新しい道の駅を周知した。 ・PR大使である「紅しょうが」さんを起用し、「広報いずみ」の表紙と巻頭4ページを使った特集や旬の食材や新商品等のおすすめ情報コーナーの連載、「和泉でしょうが」等のTV番組、雑誌への掲載、Instagram等SNSを活用した周知・PR活動を行った。 ・出荷協会と指定管理者の共催により、市内の四季折々の旬の農産物等をPRするために「四季の味覚祭」を実施した。 ・市内で採れた玉ねぎを使った「山愛ドレッシング」、みかんを使った「みかん(100%)ジュース」、ねぎを使った「ねぎキムチ」、レモンを入れた「クラフトビール」等、市内産の農産物を使ったオリジナル商品を充実させることで他施設と差別化を図った。 ・日本航空の協力を得て、ご当地看板メニュー(みかんケーキ)の開発。 ・「いずもく」の商品棚など木を基調とした雰囲気を持続するよう意識的に店内レイアウトを変更し、ポップなどで商品紹介を行った。						
(事前評価)	指標の名称			単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
						R3	R4	R5	R6	R7
	【P】活動指標									
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	計		0			計		0		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	リニューアル前については、市内産の農産物及び加工品のみの販売となっていたが、リニューアル後は市内産をメインにしつつ、市内産の農産物等の販売促進を図るため肉や魚、市内では収穫のない、少ないといった農産物等を消費者ニーズに合わせ、市外産の農産物や加工品も販売を行ったことが要因と考える。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	成果指標並びに活動指標において目標数を十分上回ったことから施設が活性化されたと考え、十分効果的だった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き、施設のリニューアル後増加傾向にある子育て世代の更なる来訪促進をめざしながら、リピーターとして定着してもらえよう、飽きられないよう情報発信する。また、販売実績を出荷者にフェードバックし、次年度の策付け量や品目の参考にもらい、出荷量・販売額の増加に繋げたい。

第3章 安全・安心の促進

第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり

25 地域医療の充実

26 支援を必要とする人への相談支援体制の充実

27 安心して生活できる防犯体制の整備

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり											
重点施策	25 感染症対策の推進と地域医療の充実											
成果指標 (KPI)	2501	総合医療センター救急患者受入日数									指標の単位	日
	基準値 (R2)	365				目標値 (R7)	365				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					365	365	365	365				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	健康づくり推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 和泉市立総合医療センター救急医療事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価)	【P】事業の目的 市民の生命と健康を守る公立病院としての使命を果たすため、市内の他の救急告示病院と連携を図りながら、救急医療体制の強化を図る。				(事後評価)	【D】事業実績 平成30年度から24時間365日で救急受入を行っており、令和4年度は、和泉市消防本部からの救急搬送受入は2,185件で、全救急搬送の22.5%を受入した。					
(事前評価)	【P】事業の内容 24時間365日断らない救急を維持するため、救急専門医確保を行うとともに、疾患により専門化が進む各分野の連携体制を構築し、脳、心疾患、呼吸器、消化器、外傷等と多岐に渡る領域の救急医療の充実を図っていく。										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ＜市による取り組み＞ ・指定管理による公立病院運営の最も重要な事業と位置づけ、実施状況をチェックしていく。また、手術室の高機能化や、必要となる医療機器の整備・更新を行い、救急受入体制の強化を図る。 ・和泉市立総合医療センター経営評価委員会を開催し、指定管理者の運営状況のチェックを行う。 ＜指定管理者による取り組み＞ 救急専門医、臨床研修医をはじめとするスタッフの確保に取り組む。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ＜市による取り組み＞ 医療水準の向上のため、医療機器の整備、更新を行った。 ＜指定管理者による取り組み＞ 救急医療のため、救急専門医の確保した。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
【P】活動指標	指定管理者評価委員会の開催				回	2	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	指定管理料	195,307,000				指定管理料	194,638,000				
	(政策医療交付金のうち救急医療分)					(政策医療交付金のうち救急医療分)					
	計		195,307,000			計		194,638,000			
	備考					備考					
【P】予算					【D】決算						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	24時間365日の体制で救急患者の受け入れを行った。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	公立病院として24時間365日の体制で受入を行っていることから役割を十分果たした。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き、市外搬送件数の減少に向け、指定管理者とともに取り組んでいく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり											
重点施策	26 支援を必要とする人への相談支援体制の充実											
成果指標 (KPI)	2601	高齢者見守り協力事業所の登録件数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	90				目標値 (R7)	200				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						90	155	172				達成状況
達成率							59.1%	74.5%				
備考												
担当課	高齢介護室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 高齢者見守り協力事業所ネットワーク事業				地方創生関連交付金事業該当		-					
					和泉創発プラン該当		-					
(事前評価)	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、本市と地域の見守りに協力いただける事業所が相互に連携して、日常生活の見守り活動を実施することにより、異変を早期に発見して必要な支援を行う。				(事後評価)	地域包括支援センターの生活支援コーディネーターを中心に、市と生活支援コーディネーターの連携のもと、各種事業所への周知、特に介護事業所へ協力事業所への登録を働きかけ、17か所登録につながることができた。						
(事前評価)	協力事業所、実施機関が密接に連携し、地域において高齢者を見守るためのネットワークを構築し、相互連携を図りながら、高齢者の異変の発見及び情報の共有からその支援までを実施する。											
(事前評価)	・地域マップを活用し、地域研究から協力事業所の増加に取り組む。 ・広報活動を通して周知啓発を実施する。 ・協力事業所は、道迷い等による行方不明高齢者等の早期発見のため、「和泉市認知症高齢者等SOSおかえりネットワーク」の協力事業者に登録する。				(事後評価)	地域マップを活用し、介護事業所や各種事業所を把握し、協力事業所の登録の周知を実施。必要に応じて個別訪問を生活支援コーディネーターが行った。また、HPや広報紙を活用して、当該事業の周知を実施し、登録を促した。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値					
【P】活動指標	周知啓発件数				回	20	R3	R4	R5	R6	R7	
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	印刷製本費	116,000										
	計			116,000			計				0	
備考						備考	予算支出無し					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	介護事業所への周知を重点的に行うことで、登録に繋ぐことができた。 また、地域マップを活用し、登録へ繋げたい事業所へ生活支援コーディネーターが個別訪問を行うことで、地域に抜け目のない見守り体制構築に資することができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	本室より介護事業所へ一斉メールによる周知を行い、また、生活支援コーディネーターが個別での訪問を行ったため、効果的だった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	地域マップを令和5年度より導入予定のシステム上に反映し、登録が進んでいない地域や民間業者へ周知啓発を継続する。また、登録後の事業所へのフォローアップの為、交流会や情報共有の手段を検討していく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり											
重点施策	26 支援を必要とする人への相談支援体制の充実											
成果指標 (KPI)	2602	サービス等利用計画のうち、セルフプラン作成割合									指標の単位	%
	基準値 (R2)	30.0				目標値 (R7)	20.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					27.9	30.0	31.0	31.7				達成状況
	達成率						100.0%	100.0%				
備考												
担当課	障がい福祉課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 障がい者地域自立支援協議会等運営事業				地方創生関連交付金事業該当		-			
					和泉創発プラン該当		-			
(事前評価)	【P】事業の目的			(事後評価)	障がい者地域自立支援協議会を実施した。 【第1回目】令和4年8月24日 ①子ども部会(案)について ②和泉市障がい者就労支援センターについて ③令和4年度における各部会等の進捗と今後の方向性について 委員提案に関する協議について					
(事前評価)	【P】事業の内容				【第2回目】令和4年12月20日 ①子ども部会(案)について ②令和4年度における各部会等の進捗と今後の方向性について 【第3回目】令和5年3月28日 ①和泉市障がい者就労支援センターについて ②子ども部会(案)について ③令和4年度における各部会等の進捗と今後の方向性について					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組			(事後評価)	相談支援部会(5回) 相談支援専門員の質の向上や連携強化等に関する取組みとして、業務上の困りごとの解決に向けた手法などについてグループワークや相談支援専門員同士のオンライン相談の構築を行った。 相談支援の利用促進等のために「ココスル」というサイトを開設し、市民が障がい福祉サービスなどの情報にアクセスしやすい環境を構築した。また、「ココスル」について「障がい福祉課だより」に掲載し、全戸配布にて周知を行った(閲覧数月約700件)。					
(事前評価)	指標の名称			単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
						R3	R4	R5	R6	R7
	障がい福祉サービス受給者数			人	1,800	1,788	1,914			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	報酬	288,000				報酬	208,000			
	使用料及び賃借料	19,860				使用料及び賃借料	19,860			
	計		307,860			計		227,860		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	障がい福祉サービスの利用者は増加(前年度比 126件増)しており、計画相談支援の利用も増加(前年度比 68件増)しているが、セルフプランの利用も多かった(前年度比 53件増)ため、達成状況は減少した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	セルフプラン作成割合は減少できなかったものの、計画相談支援の利用は増加(前年度比 68件増)しており、その認知度は高まっているものと考ええる。また、新規に特定相談支援事業所を開設した事業者が、令和2年度に5件、令和3年度に2件、令和4年度に6件増加しており、計画相談支援の供給体制も整備が進んでいる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	障がい者基幹相談支援センターを中心に、障がい者等が相談しやすい体制を整備することや、計画相談支援の質の向上を図るため、相談支援部会において研修会や相談支援専門員への個別指導などの取組を行う。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり											
重点施策	26 支援を必要とする人への相談支援体制の充実											
成果指標 (KPI)	2603	就労訓練事業・就労体験の年間延べ利用者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	2				目標値 (R7)	26				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	3	18	11	13	6	2	11	16				達成状況
達成率							37.5%	58.3%				
備考												
担当課	くらしサポート課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1生活困窮者就労訓練・体験事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	生活困窮者のうち、長期離職等の理由により直ちに一般就労が困難な者に対して、就労訓練事業や就労体験事業を活用することにより、一般就労のための意欲や経験等の向上を図る。				(事後評価)	【就労訓練事業利用者】延べ57件 非雇用(見学・体験)10人で日数は10日間 雇用型体験2人で日数は47日間(4か月間雇用)					
(事前評価)	【就労訓練事業】 大阪府等の認定を受けた認定就労訓練事業者による就労に関する訓練を活用し、利用にあたっての支援を行う。 【就労体験事業】 市に登録のある就労体験事業者において職場体験・見学を行う。また、利用にあたっての支援を行う					ひきこもり等で一般就労を行うことができず就労機会がなかった方が、見学、体験を通じて一般就労に繋がった。 【就労体験事業利用者】延べ12件 (見学)2人2日間 (体験)2人10日間					
(事前評価)	①自立支援調整会議の開催 【会議構成員】 ・主任相談員、相談支援員、就労支援員 ・ケースにより、CSW等他職種の職員も参加する。 【取組内容】 ・ケースの抱える課題の確認・検証 ・支援プランの策定にあたり、就労の見込みのある生活困窮者については、就労訓練事業や就労体験事業を支援内容に位置付ける。 ②制度の周知 ・地域の関係機関等と連携し、就労訓練・就労体験事業の支援を必要としている方に対して、相談窓口や制度の周知を図る。 ・支援を必要としている方の情報が集まりやすいCSW等地域の相談支援機関に対し、制度の周知を図る。また、対象者への家庭訪問によるアウトリーチを強化する。				(事後評価)	①自立支援調整会議自立支援調整会議177回 (プラン策定支援調整会議131回) (評価支援調整会議46回) ②就労体験事業者の登録促進 ひきこもり等の相談が増えていることから、就労体験先を増やすことと、障がい者の方の受け入れ体験先の新規事業者の開拓ができた。 就労体験先4件新規登録(合計34事業所) 障がい者就労体験先14事業所新規登録 ③市に登録のない就労体験事業者において職場見学と体験 ひきこもり支援においては就労継続支援B型や就労継続支援A型の見学や体験等の同行支援も実施した。延べ15件 (見学)11人11日間 (体験)4人4日間					
(事前評価)	指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値			
【P】活動指標	自立相談支援事業のプラン策定件数				人	140	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	3,498,000				委託料	3,498,000				
	計		3,498,000			計		3,498,000			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	令和2年度から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受け入れを見合わせる事業者が多くあり、事業実施に影響が出たが、「断らない相談」「伴走型支援」を取り組み、協力事業者との調整をすすめることで、就労訓練・体験に繋がった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	ひきこもり支援では、就労体験先の見学・同行・体験、雇用型就労から、一般就労へつながった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	当該事業は、ひきこもり等でただちに一般就労を行うことが困難な方に対して、中間的就労として、就労や社会参加の第一歩として活用してもらえるものである。ひきこもりの新規相談は、増加しており本事業を必要としている方が多数おられる。これにより、協力していただける就労訓練事業、就労体験事業先の開拓を目指すことと、個別支援、就労支援を通じた地域づくりを目指す。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり											
重点施策	27 安心して生活できる防犯体制の整備											
成果指標 (KPI)	2701	地域見守りの年間活動日数									指標の単位	日
	基準値 (R2)	243				目標値 (R7)	243				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	242	246	243	243	243	243	246	247				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	危機管理課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 防犯ボランティア活動活性化事業					地方創生関連交付金事業該当		-			
						和泉創発プラン該当		-			
(事前評価) 【P】 事業の 目的	「自分たちのまちは自分たちで守る」という防犯意識の醸成を図り、防犯ボランティア活動を活性化させることにより、犯罪の発生を未然に防止し、安全で安心して暮らせる街をつくる。				(事後評価) 【D】 事業実績	○和泉市防犯協議会への委託事業を通じて、各地区の防犯委員が小学校PTA等と合同で「子ども安全見守り隊」活動に取り組み、登下校時における児童の安全確保を行った。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	市内の犯罪発生情報や特殊詐欺の手口等の情報提供を行い、和泉防犯協議会による防犯キャンペーン、子ども見守り活動等を実施して、被害に遭いやすい子ども・女性・高齢者を守る活動の実施を推進する。					○声かけ事案や公然わいせつ等の発生時に、青色防犯パトロール車で登下校の見守り活動を実施した。また、各地区の青色防犯パトロール登録車が、随時巡回パトロール活動を行った。					
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①防犯教室・防犯啓発を行うとともに、子どもの見守り活動が無理なく継続して実施できるように、効果的な活動の実施方法を案内する。 ②警察と連携して犯罪発生情報や有事の対応方策を提供する。 ③地元の防犯委員と学校側が連携して、組織的な見守り活動が展開されるように各校区の防犯支部長に働きかけていく。 ④青パト車両の貸出を実施し、各青パト所有団体に向けて青パト活動を推進する。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①防犯教室・防犯啓発を行うとともに、子どもの見守り活動が、無理なく継続して実施できるように効果的な活動の実施方法を案内した。 ②児童への声かけ事案、特殊詐欺と思われる不審電話等が連続して発生した際には、警察と連携して事案発生情報や有事の対応方策を提供した。 ③学校や警察からの不審者情報をもとに各校区の防犯支部長と連携し、地域の見守り活動を実施した。 ④新型コロナウイルス感染拡大の影響から青パト合同パトロールを実施できなかった。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称					単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値			
	青色防犯パトロール車登録台数				台	125	115	116			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	需用費	203,000	補助金	800,000		需用費	38,311	補助金	640,000		
	役務費	99,000				役務費	89,180				
	委託料	1,705,000				委託料	1,705,000				
	計		2,807,000			計		2,472,491			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	○活動の実施方法の案内、警察と連携しての犯罪発生件数情報や有事の対応方策の提供、積極的に活動する防犯ボランティア団体と連携して市内の見守り活動を行う。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>特殊詐欺や、広域強盗団が全国的に発生するなど犯罪に関する社会的な関心が高まる中、住民同士が不審者の出没情報等を共有し、継続的に防犯活動に取り組んでいただくことで、防犯ボランティア活動にも繋がっており、住民の防犯意識の向上を図ることができている。</p> <p>また、同情報については、和泉警察署と共有し、パトロール強化を実施していただいている。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>○犯罪被害に遭うことのない安全で安心して暮らせるまちを確立するためには、行政と地域が一体となった防犯活動を継続的に取り組む必要がある。</p> <p>○街頭における犯罪発生件数の大幅な減少は、地域に根ざした地道な防犯ボランティア活動によるところが大きいことから、これからの防犯ボランティア活動を担う若い人材の育成と、少年の規律意識の醸成を図っていく。</p> <p>○また、引き続き警察と連携して犯罪発生状況や被害防止方策等の情報発信を実施し、市民の自主防犯意識を向上し、地域の見守り活動につなげていく。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり											
重点施策	27 安心して生活できる防犯体制の整備											
成果指標 (KPI)	2702	防犯教室・防犯啓発の年間活動回数									指標の単位	回
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	117				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	95	107	107	105	105	0	0	0				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	危機管理課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 防犯啓発事業				地方創生関連交付金事業該当		-							
					和泉創発プラン該当		-							
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、春の地域安全運動、秋の全国地域安全運動等が中止となったため、各種キャンペーン、防犯教室を開催することができなかった。 ○和泉警察署と連携して、青色防犯パトロール活動を実施した。								
(事前評価)	【P】事業の内容													
(事前評価)	和泉市安全なまちづくり推進協議会への業務委託を行いながら、春の地域安全運動、秋の全国地域安全運動、ひたくり防止デー等の様々な機会を活用して、特殊詐欺、サイバー犯罪等の、近年増加している犯罪に的を絞った各種防犯キャンペーン、防犯教室を開催する。				(事後評価)	【D】事業実績								
(事前評価)	①和泉市安全まちづくり推進協議会をはじめとする防犯ボランティア団体、和泉警察署と連携して、各種キャンペーン等の取組における情報共有を行い、開催回数を確保する。 ②春と秋に実施される地域安全運動期間中において集中的な防犯啓発活動を行うことができるよう、関係機関と連携して取り組む。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績								
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値							
	和泉市安全まちづくり推進協議会会員数				人	40	R3	R4	R5	R6	R7			
(事前評価)	内訳		金額(円)		(事後評価)		内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	委託料		3,280,000				委託料		3,261,930					
	計		3,280,000				計						3,261,930	
	備考						備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、春の地域安全運動、秋の全国地域安全運動等が中止となったため、各種キャンペーン、防犯教室を開催することができなかった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種防犯キャンペーン、防犯教室を開催することができなかったが、「安まちメール」の不審者出没情報等を活用した青色防犯パトロール活動を行った。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	○引き続き、大阪府警察本部、和泉警察署と連携を密にして、最新の犯罪発生情報や不審者出没情報を和泉市安全なまちづくり推進協議会をはじめとする防犯ボランティア団体等に伝達し、犯罪被害の拡大防止を図っていく。

第3章 安全・安心の促進

第2節 災害に備える仕組みづくり

28 地域における防災体制の強化

29 消防体制の強化

30 災害に強い環境づくりの推進

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	28 地域における防災体制の強化											
成果指標 (KPI)	2801	防災訓練の年間実施回数									指標の単位	回
	基準値 (R2)	17				目標値 (R7)	44				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					26	17	19	32				達成状況
達成率							7.4%	55.6%				
備考												
担当課	危機管理課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 自主防災組織等支援事業				地方創生関連交付金事業該当	-					
					和泉創発プラン該当	-					
(事前評価)	【P】事業の目的 町会・自治会等で結成される自主防災組織の活動を推進し、地域の組織力の向上をめざす。				(事後評価)	【令和4年度の補助実績】 ・資機材購入費 5件 ・自主防災組織の訓練等での消耗品購入費 19件 ・追加資機材購入費 10件					
(事前評価)	自主防災組織に対して、下記の補助を行い、地域防災力育成事業を実施する。 ・資機材購入費(1回限り上限200,000円) ・校区の訓練等での消耗品購入費(上限50,000円) ・自主防災組織の訓練等での消耗品購入費の50%(上限20,000円) ・追加資機材購入費(4年に1回限り上限100,000円)					【D】事業実績 令和3年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、地域防災訓練の中止を始め各校区・町会・自治会単位での訓練実施回数も伸び悩んだが、出前講座や、窓口対応時等の機会を捉えて資機材購入の促進を図った。					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①防災の出前講座の際に、共助の必要性の説明等で防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の必要性を説明し、自主防災組織の設立につなげる。 ②校区長会議に対する案内を行う。 ③防災の専門機関に自主防災組織の育成業務を委託し、実際の災害を想定した訓練や研修等を実施し、新規設立を推進するとともに組織の活性化を図る。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①新型コロナウイルスの影響で出前講座の機会が減少したこと、町会・自治会等の集まりも縮小したことから、自主防災組織の設立の決定に至らず、設立数は6件となり十分な成果を挙げることができなかった。 ②感染対策を講じた上で実施し、防災に関する制度の案内を実施した。 ③感染対策を講じた上で自主防災組織の代表者を集めて、自主防災組織の具体的な活動について、外部講師を招き研修会を実施した。					
(事前評価)	指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値			
【P】活動指標	出前講座開催数				回	40	R3	R4	R5	R6	R7
	出前講座参加人数				人	1,200	253	523			
【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報償費	187,000	委託費	1,943,000		報償費	91,440	委託費			
	需用費	501,000	使用料等	134,000		需用費	267,540	使用料等		129,490	
	役務費	30,000	補助金	4,000,000		役務費	0	補助金		2,276,953	
	計		6,795,000			計				2,765,423	
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	令和3年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により、出前講座、その他各種イベント時に実施予定であった自主防災組織の必要性や補助金に関する説明の機会を中止又は規模を縮小したことから、十分な成果を挙げることができなかった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	新型コロナウイルスの影響により、出前講座、その他各種イベント時に実施予定であった自主防災組織の必要性や補助金に関する説明の機会を中止又は規模を縮小したことから、当初予定していたほどの効果を挙げることができなかった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	近年の災害を教訓に町会・自治会及び自主防災組織を対象とした説明会を開催し、自主防災(自助・共助)の理解を深める。また、町会・自治会に対して出前講座を含めた地域版タイムラインの作成支援を行い、防災訓練の実施を促すことで、成果指標の達成を目指す。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	28 地域における防災体制の強化											
成果指標 (KPI)	2802	支援者が避難行動要支援者名簿を活用して活動を行っている割合									指標の単位	%
	基準値 (R2)	19.7				目標値 (R7)	35.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		37.7	33.3	41.9	30.2	19.7	27.6	34.7				達成状況
達成率							51.6%	98.0%				
備考												
担当課	福祉総務課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 避難行動要支援者支援事業				地方創生関連交付金事業該当					-				
					和泉創発プラン該当					-				
(事前評価)	【P】事業の目的 災害が発生、または発生するおそれのある場合に、自ら避難することが困難な人が、円滑かつ迅速に避難できるよう、支援体制を整備する。				(事後評価)	【D】事業実績	令和4年度 要支援者数3, 139名、同意者数1, 548名 (令和5年3月31日現在) 避難行動支援者説明会 (開催回数)市内4箇所、計10回 (参加人数)426名 (説明会内容) 1同意台帳の交換 2説明 避難行動要支援者事業と同意台帳について 個別支援計画の作成と取組の推進について 個別支援計画登録確認書の発送者 1,586名(返送率78.9%) 内、作成予定者895人							
(事前評価)	【P】事業の内容 ・避難行動要支援者名簿(同意台帳)を作成し、地域の支援者へ提供する。 ・平常時から同意台帳の活用を促進するため、地域の支援者へ研修等を開催する。 ・同意台帳の登録の受付を行う。 ・同意台帳の更新・追加を行う。 ・同意台帳に登録されている者と、新規登録者に個別支援計画を発送するとともに、その作成を推進する。													
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①地域の支援者に説明会等を行い同意台帳を提供する。 同意台帳の更新及び台帳の活用事例の紹介や、個別支援計画モデル事業の取組を報告する。 ②個別支援計画作成を推進する。 要支援者本人がセルフプランで作成した個別支援計画をより実効性のあるものにするため、市は地域の支援者と要支援者の間に入り、話し合いや顔合わせの場を設定する。また、各地域で得られた経験・ノウハウ等を説明会等で報告することで、市域の取組みを推進させる。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①説明会を市内4箇所、計10回開催。個別支援計画の発送についての具体的なスケジュールや、前年度の取組みである個別支援計画モデル事業の報告を行った。 ②緑ヶ丘、鶴山台南校区で地域の支援者と要支援者の話し合いや顔合わせの場を設定した。他にも信太校区、南松尾はつが野校区等でも地域の支援者と話し合いを行い、地域における避難支援体制構築の推進を図った。令和5年7月の説明会にて報告予定。 また、令和4年11月から対象者1,586名に個別支援計画登録確認書等を送付し、895人から個別支援計画作成の同意を得た。							
(事前評価)					単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値							
							R3	R4	R5	R6	R7			
	【P】活動指標 避難行動要支援者説明会の開催回数				回	9	10	10						
(事前評価)	内訳		金額(円)		【D】決算		内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	報償費		69,000				報償費		0		委託料		277,200	
	消耗品費		687,000				消耗品費		394,282		会場借上料		81,640	
	印刷製本費		381,000				印刷製本費		272,690		複製利用料		197,406	
	計		1,736,000				計						1,223,218	
	備考						備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	支援者が避難行動要支援者名簿を活用して活動を行っている割合は27.6%から34.7%に増加した。コロナ禍の影響はあったと考えるが、7月の説明会で台帳の活用や取組の進め方を説明したことにより向上したと考える。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	避難支援体制を構築するため、支援者が避難行動要支援者名簿を活用し、家庭訪問による要支援者との話し合いや支援者間の話し合いなどの活動の実施実績が27.6%から34.7%に増加したため。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	説明会は今後も継続して実施する。令和4年度中に個別支援計画を同意台帳に登録されている要支援者へ送付。(回答率は78.9%)令和5年度から地域の支援者に個別支援計画を提供し、地域の支援体制の構築を促す。また危機管理課が実施する地域避難計画の説明会に参加し、地域に入る機会を逃さず取組を進めていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	28 地域における防災体制の強化											
成果指標 (KPI)	2803	外国人市民向け防災講座の年間受講者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	0.0				目標値 (R7)	30				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						0.0	0.0	0.0				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	危機管理課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 外国人市民防災啓発事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	災害時に外国人市民が適切な避難や活動を行うことができるよう、大阪府国際交流財団（OFIX）等と連携しながら防災知識の普及・啓発に努める。				(事後評価) 【D】 事業実績	令和3年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、外国人を対象とした出前講座や防災訓練は実施できなかった。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	外国人市民の防災知識の普及・啓発を図るため、OFIX等と連携し、防災ガイドマップ等の多言語化を推進するとともに各種防災講座への参加を呼びかける。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	OFIX等と連携しながら多言語化された防災ガイドマップ等を活用し、出前講座等により防災知識の普及・啓発を図る。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	令和3年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、外国人を対象とした出前講座や防災訓練は実施できなかった。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	外国人市民が参加する団体への呼びかけ数				団体	1	0	0			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	計		0			計					
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	令和3年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、外国人を対象とした出前講座や防災訓練は実施できなかった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	④効果的でなかった	令和3年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、外国人を対象とした出前講座や防災訓練は実施できなかった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	外国人を対象とした出前講座や防災訓練の実施を実現し、成果指標の達成を目指す。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	28 地域における防災体制の強化											
成果指標 (KPI)	2804	地域活動拠点の登録箇所数									指標の単位	箇所
	基準値 (R2)	66				目標値 (R7)	60				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						66	69	86				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				達成
備考												
担当課	危機管理課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 地域活動拠点整備事業				地方創生関連交付金事業該当		-							
					和泉創発プラン該当		-							
(事前評価) 【P】 事業の 目的	市民が自主的に開設・運営する地域活動拠点の登録及び支援を行うことにより、災害発生前に自主的に避難する市民の安全な一時避難場所の確保及び災害発生時の地域活動を促進する。				(事後評価) 【D】 事業実績	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で出前講座が減少したが、数少ない機会を捉えて17団体の登録を推進した。								
(事前評価) 【P】 事業の 内容	市民が自主的に開設し、運営する地域活動拠点(自治会館等)の登録を推進するため、防災説明会や出前講座を実施する。													
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	本市における災害リスク(地震や風水害)に関する説明会を実施するとともに、希望する町会・自治会に対して、出前講座を行い、地域活動拠点の登録を推進する。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で出前講座が減少したが、数少ない機会を捉えて17団体の登録を推進した。								
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値							
							R3	R4	R5	R6	R7			
	出前講座開催数				回	40	20	5						
	出前講座参加人数				人	1,200	253	40						
(事前評価) 【P】 予算	内訳		金額(円)		(事後評価) 【D】 決算		内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	計		0				計						0	
	備考				備考									

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で出前講座が減少したが、数少ない機会を捉えて17団体の登録を推進した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で出前講座が減少したが、数少ない機会を捉えて17団体の登録を推進した。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	出前講座等の機会が増えると想定されるので、共助の理解を深め、登録の推進を引き続き行う。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	28 地域における防災体制の強化											
成果指標 (KPI)	2805	感染症対策物資(マスク)の備蓄数									指標の単位	枚
	基準値 (R1)	38,740				目標値 (R7)	67,590				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						38,740	48,500	67,590				達成状況
達成率							33.8%	100.0%				達成
備考												
担当課	危機管理課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 感染症対策物資備蓄事業				地方創生関連交付金事業該当		－				
					和泉創発プラン該当		－				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	災害時において、避難所における新型コロナウイルス等の感染対策が実施できるよう必要な物資を計画的に備蓄する。			(事後評価) 【D】 事業実績	避難所における新型コロナウイルス等の感染対策のため、必要な消耗等について、定期的にマスク及び消毒液等は、寄付などにより一定数の備蓄は出来ている。 ただし、マスクは不織布、布、ウレタンと様々種類となっており感染症対策に一番有効な不織布マスクの備蓄は約50,000枚のため今後も継続して備蓄は行っていく。						
(事前評価) 【P】 事業の 内容	感染症対策を踏まえた避難所運営を行うため、消費期限等を考慮し、計画的にマスク等の必要な消耗品を購入する。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	避難所担当職員を対象とした感染症対策を踏まえた避難所運営訓練を実施するとともにコロナ禍での避難所運営に必要な物資を検討し、各避難所に配備する。			(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	年1回以上は、避難所担当職員を対象とした感染症対策を踏まえた避難所運営訓練を実施した。						
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	感染症対策を踏まえた避難所運営訓練等の実施数				回	1	1	1			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	需用費	2,389,000				需用費	2,282,504				
	計		2,389,000			計		2,282,504			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	民間企業や、団体からのマスクの寄贈等が多く、想定よりも早く目標数値である、備蓄数は達成。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	民間企業や、団体からのマスクの寄贈等が多く、想定よりも早く目標数値である、備蓄数は達成。 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行へされたため。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	②一部見直し	新型コロナウイルス感染症対策における、マスクの着用が必須ではなくなったこと、一定、備蓄数はその他マスクも含め超えていることから、既存の備蓄しているマスクを維持管理していく

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	28 地域における防災体制の強化											
成果指標 (KPI)	2806	戸別受信機の設置台数									指標の単位	台
	基準値 (R2)	169				目標値 (R7)	1,044				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						169	211	220				達成状況
達成率							4.8%	5.8%				未達成
備考												
担当課	危機管理課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 防災情報伝達体制整備事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価) 【P】 事業の 目的	町会館及び自治会館等へ同報系デジタル防災行政無線戸別受信機を設置することで、町会、自治会及び民生委員と連携し、避難行動要支援者へ災害時の情報をいち早く確実に届けることを目的とする。				(事後評価) 【D】 事業実績	校区長会議を通じ、町会連合会加入の町会自治会等へ周知。希望する11町会(自治会)へ設置。この戸別受信機の設置をきっかけに、2次の避難所となる町会館(自治会)の活動拠点登録につながった。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	避難行動要支援者は、HPやSNS等の情報をキャッチ出来ず、台風などの強風・暴風時は特に、防災無線等だけでは、災害時の情報伝達が不足することから、災害時の情報をいち早く確実に届けるため、町会館及び自治会館等へ同報系デジタル防災行政無線戸別受信機を設置する。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	町会館及び自治会館等へ同報系デジタル防災行政無線戸別受信機を設置し、町会、自治会及び民生委員と連携し、避難行動要支援者向けの支援者説明会(協議の場等)を通じ、同報系デジタル防災行政無線戸別受信機の設置を推進する。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	福祉総務課が事業主体である避難行動要支援者向けの支援者説明会へ参加し、同報系デジタル防災行政無線戸別受信機チラシ等の配布を行った。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
	避難行動要支援者向けの支援者説明会(協議の場等)				回	10	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	3,400,000				委託料	3,203,200				
	計		3,400,000			計		3,203,200			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	令和2年度に設置希望調査を実施。令和3年度に希望する町会自治会館へ戸別受信機を設置済み。町会長(自治会長)等の変更となった町会(自治会)に対し、再度周知を行い戸別受信機の設置希望確認をし、設置希望のある町会(自治会)へ設置しているため。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	市内指定避難所とは別に2次的避難所となる町会館、自治会館等へ同報系デジタル防災行政無線戸別受信機を設置することにより、災害時の情報伝達手段が一つでも多くなり、より迅速な情報伝達が可能となった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	説明会等を通じ、各町会、自治会館等へ周知することで、一つでも多くの同報系デジタル防災行政無線戸別受信機の設置にむけて事業を継続していく。 また、引き続き他課とも連携し、周知の機会を増やしていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	28 地域における防災体制の強化											
成果指標 (KPI)	2807	中小企業BCP策定支援事業補助金の年間交付件数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	5				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						0	5	3				達成状況
	達成率						100.0%	60.0%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 中小企業BCP策定支援事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	災害時の経営環境の急激な悪化や事業の中断を防ぎ、損害を最小限にとどめる。				(事後評価) 【D】 事業実績	①和泉商工会議所及びテクノステージまちづくり協議会の協力のもとチラシの折り込みを行った。 ②あいおいニッセイ同和損害保険(株)MS&ADインターリスク総研(株)主催によるBCPセミナーにてBCPIに関する和泉市独自のアンケートを行った。 ③市HPにおいて周知を行った。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	市内中小企業がBCPを策定または改訂するにあたりコンサルタント・アドバイザー等に対して支払った費用を一部補助する。 (補助額)対象経費の1/2(1,000円未満切捨) (補助上限額)200,000円										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①市内中小企業団体等に対して情報提供と制度周知の依頼を行う。 ②セミナー開催時等に参加企業に対して周知を行う。 ③市HPにおいて周知を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①和泉商工会議所及びテクノステージまちづくり協議会の協力のもとチラシの折り込みを行った。 ②あいおいニッセイ同和損害保険(株)MS&ADインターリスク総研(株)主催によるBCPセミナーにてBCPIに関するアンケートを行った。 ③市HPにおいて周知を行った。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	制度周知チラシの配布				枚	2,000	4,700	3,000			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金	1,000,000				補助金	600,000				
	計		1,000,000			計		600,000			
備考				備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	昨年度のチラシの配布、企業への直接訪問によりBCPの周知されたことで、昨年度、新たにBCPの説明を行う企業が減少したため件数の減少につながった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	BCP策定は平時の売上には繋がらないため企業にとっては後回しになる案件であるが前年度より件数は減少しているものの1件当たりの費用の増加していることより企業が今まで以上に本格的なBCP策定に取り掛かり始めたと思われる
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	各産業団体に対して継続した施策周知依頼を行い、BCPの重要性を周知する。補助金により災害への備えを企業に促すことでBCP策定に繋げ、災害時に一刻も早い復旧を市内全域で可能にすべく継続して事業を実施する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	29 消防体制の強化											
成果指標 (KPI)	2901	新消防本部庁舎完成									指標の単位	-
	基準値 (R1)					目標値 (R7)	消防本部庁舎完成				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						-	-	-	-	消防本部 完成	-	達成状況
達成率							-	-	-	-	-	
備考												
担当課	消防本部総務課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 北西部地域公共施設再編成事業				地方創生関連交付金事業該当		－			
				和泉創発プラン該当		－				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	現庁舎が、老朽化・来庁者の増加に伴う交通アクセス不便性・交通量増加による出場時の支障等多くの問題を抱えており、これらを早期に解決し、災害時の防災拠点としての機能を確実に果たすことのできる新庁舎整備を行う。			(事後評価) 【D】 事業実績	新消防本部庁舎の立地は現消防本部よりも市役所や和泉府中駅に近く来庁者の交通アクセスに利便性の向上が見込め、また、災害出場時には和泉中央線、国道480号の2路線からの出場が可能であり、渋滞による支障の緩和も期待できる。 基本・実施設計ではこれらに加え、来庁者の窓口対応のスペースを多く確保し、また、エントランスフロアには停車中の消防車両を見学できるスペースを設け、気軽に市民の方に消防に触れてもらえるよう設計を行った。 庁舎の屋上には太陽光発電システムを設置する予定であり、環境にも配慮した設計となっている。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	基本方針として、次の4つを掲げ、令和6年12月に新庁舎開庁を目指す。 ・市民の安全安心を守る防災拠点施設となる庁舎 ・機能性が高く消防力が向上する庁舎 ・市民に開かれた庁舎 ・環境にやさしく経済性に優れた庁舎									
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のた めの具 体的な取 組	①6月まで実施設計を完了する。 ②12月に工事請負の契約を行う。 ③1月から工事の着工を行う。			(事後評価) 【D】 成果指標 向上のた めの具 体的な取 組の実績	社会情勢の影響による物価上昇等で実施設計の見直しがあり、工期の延長もあったが、入札により工事の施工業者も決定し、令和5年2月から着工した。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称			単位	当該年度 の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
						R3	R4	R5	R6	R7
	消防本部整備実施設計の進捗率			%	0	80	100			
	消防本部整備工事の進捗率			%	0	0	10			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	基本、実施設計	67,523,000				基本、実施設計	66,525,800	新築機械工事	55,820,000	
	新築工事	359,800,000				新築本体工事	200,000,000			
						新築電気工事	81,300,000			
	計		427,323,000			計		403,645,800		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	社会情勢の影響による物価上昇を踏まえ、設計の見直しを行ったが、着工の遅延も1ヶ月にとどめた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	設計変更により工事費の積算金額を減額しなかったが、変更内容により消防本部の機能性を損なわないよう慎重に行った。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	着工の遅延はあったが令和6年12月の消防本部の開庁予定には影響はなく、令和5年度も継続して工事を行う。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	29 消防体制の強化											
成果指標 (KPI)	2902	消防団員数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	352				目標値 (R7)	370				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	362	362	355	352	351	352	347	346				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	消防本部総務課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 消防団加入促進事業				地方創生関連交付金事業該当		-																																																	
					和泉創発プラン該当		-																																																	
(事前評価)	全国的に消防団員が減少傾向にある中、消防団員の確保に取り組み、地域防災力を強化する。				(事後評価)	〈広報誌配布数〉 846部																																																		
【P】事業の目的						〈条例定数〉 370名																																																		
						〈組織数〉 9個分団 37個班																																																		
						〈R4団員数〉 346名																																																		
						〈団員数の推移〉																																																		
(事前評価)	消防の各種行事において消防団紹介コーナーの設置、消防団だよりの配布及び発刊した消防団だよりをHPに掲載することで、消防団の活動をPRし、消防団への加入を促進する。				【D】事業実績																																																			
【P】事業の内容																																																								
						<table><tr><td>年度</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr><tr><td>団員数</td><td>353名</td><td>362名</td><td>362名</td><td>355名</td><td>352名</td></tr><tr><td>退団者数</td><td>▲23名</td><td>▲32名</td><td>▲29名</td><td>▲24名</td><td>▲24名</td></tr><tr><td>入団者数</td><td>32名</td><td>32名</td><td>22名</td><td>21名</td><td>23名</td></tr><tr><td>年度</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>団員数</td><td>351名</td><td>350名</td><td>351名</td><td>346名</td><td></td></tr><tr><td>退団者数</td><td>▲17名</td><td>▲16名</td><td>▲21名</td><td>▲24名</td><td></td></tr><tr><td>入団者数</td><td>16名</td><td>17名</td><td>16名</td><td>19名</td><td></td></tr></table>			年度	H26	H27	H28	H29	H30	団員数	353名	362名	362名	355名	352名	退団者数	▲23名	▲32名	▲29名	▲24名	▲24名	入団者数	32名	32名	22名	21名	23名	年度	R1	R2	R3	R4	R5	団員数	351名	350名	351名	346名		退団者数	▲17名	▲16名	▲21名	▲24名		入団者数	16名	17名	16名	19名	
年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																			
団員数	353名	362名	362名	355名	352名																																																			
退団者数	▲23名	▲32名	▲29名	▲24名	▲24名																																																			
入団者数	32名	32名	22名	21名	23名																																																			
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																			
団員数	351名	350名	351名	346名																																																				
退団者数	▲17名	▲16名	▲21名	▲24名																																																				
入団者数	16名	17名	16名	19名																																																				
(事前評価)	①各種行事で消防団の紹介コーナーを設置 消防関連のイベントで、消防団の活動に関する紹介を行い、消防団への加入を促進する。				(事後評価)	①出初式で車両並びに消防団活動内容のパネル展示コーナーを設置し市民にPRをした。																																																		
【P】成果指標向上のための具体的な取組	②消防団だよりの配布 消防団の活動実績や消防団員の紹介等を行う「消防団だより」を配布する。					②消防団だよりの配布を警察・自衛隊、泉北支部の消防団、女性消防クラブ等に配布した。																																																		
	③消防団だよりのHPへの掲載 発刊した消防だよりをHPに掲載する。					③発刊した消防団だよりをHPに掲載し、市民にPRをした。																																																		
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値																																																	
【P】活動指標	消防団紹介コーナー				回	1	R3	R4	R5	R6	R7																																													
	消防団だよりの配布				部	500	400	400																																																
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)																																															
	印刷製本費	50,000				印刷製本費	48,400																																																	
	計		50,000			計		48,400																																																
	備考					備考																																																		
【P】予算					【D】決算																																																			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	<p>広報誌配布や消防団員加入促進のポスターの配布を行うなど団員加入促進を図ったが昨年より1名減の346名となった。</p> <p>マクロ的には、日本の特殊出生率が1.30となっており、人口も減少している。</p> <p>ミクロ的にみると和泉市消防団員の平均年齢47.7歳となっており、このことから中高年齢者が多いとわかる。退団理由みるとは自己都合となっているが、背景には加齢による身体的・体力的な要因もあると分析する。</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	<p>各分団員へ消防団員加入促進のポスターの配布し、広報してもらうことで入団者の増員を計ったが良い結果に繋がらなかった。また、出初式の消防団紹介コーナーでも、多くの人が見学に来てくれたが、入団者の増員に至らなかった。このことから、今後のPR方法も常備消防と消防団の区別がつくようにしていくことが必要である。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>令和5年の5月から新型コロナウイルスが5類に移行されたので、今までとは違い人の流動が期待されることから事業を継続する。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	29 消防体制の強化											
成果指標 (KPI)	2903	火災件数(過去5年間の平均値の件数)									指標の単位	件
	基準値 (R2)	36				目標値 (R7)	32				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	56	52	48	42	40	36	36	35				達成状況
達成率							0.0%	25.0%				
備考												
担当課	消防本部予防課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1火災予防事業			地方創生関連交付金事業該当	－					
				和泉創発プラン該当	－					
(事前評価)	【P】事業の目的 啓発活動等を通して防火意識の向上に努め、火災予防を推進する。			(事後評価)	年度当初や秋季全国火災予防運動時は、コロナ禍の影響で広報の機会も少なかったが、年度後半の春季全国火災予防運動時は、感染者数の減少により対面での広報活動も実施できるようになり、市民の方の反応を直に感じながら広報を行う事が出来た。 ・毎日ハウジング和泉中央住宅展示場及びスーパービバホーム和泉中央店でリーフレットの配付。 ・毎日ハウジング和泉中央住宅展示場にて、ライダーズパブリシティ(株)と共同で防災イベントを開催し(天ぶら油火災実験と住宅用火災警報器鳴動実験、煙体験、水消火器体験、AEDを使用した救急講習、子供用防火服着用体験、消防車両見学)火災予防の周知を行った。					
(事前評価)	火災予防運動等の機会に、効果的な防火広報を展開する。 【P】事業の内容 防火指導を通じて、消防法令・火災予防条例について市民、事業者へ周知する。									
(事前評価)	①火災予防における周知啓発 ・市内各所に、火災予防に係るリーフレット、ポスターを配布する。 ・防災行政無線による広報を行う。 ・消防車による車両広報を行う。 ②防火指導の実施 ・建物の構造や用途に応じた安全管理・危機対応のあり方について、市民目線のわかりやすい説明をすることで防火防災意識の向上を図る。			(事後評価)	・市内事業所へのリーフレット及びポスター配布 ・広報いずみへの掲載 ・防災行政無線による広報 ・南海バスの車内中張り広告で火災予防啓発ポスターの掲示 ・市内ヤクルト販売事業所のバイクに火災予防啓発文を掲示 ・少年消防クラブ員の音声による ・消防本部、市内2カ所の交差点の電光掲示板による広報 ・事業所、学校、共同住宅、町会等に対して防火指導の実施 ・消防職員による学校関係者対象の防火管理研修の実施 ・火災を発生させた事業所に対して即時立入検査の実施					
(事前評価)	指標の名称			単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
	防火指導件数			件	400	R3	R4	R5	R6	R7
	火災予防広報ポスター、チラシ配布数			枚	7,800	533	588			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	印刷製本費	180,000				ポスター	49,500			
						リーフレット	128,700			
	計		180,000			計		178,200		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	住民に対しての広報と、事業所への防火指導の充実により防災意識の向上したと見込まれる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	一部ではあるが、対面による広報を行う事が出来た事は、反応をダイレクトに感じ取る事ができたが、火災予防に関して関心のある方ばかりではない。今後は、関心のない方に興味を持ってもらう取り組みが必要。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	②一部見直し	広報自体は、今後も継続し行うが、より効率的かつ有意義な広報を目指して行く。 今年度、line及び対面によるアンケートにより、火災予防に関する「市民意識調査」を実施し、広報の方法を再検討する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	29 消防体制の強化											
成果指標 (KPI)	2904	救命入門コースの年間受講者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	159				目標値 (R7)	1,000				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	127	448	728	820	603	159	242	835				達成状況
達成率							9.9%	80.4%				
備考												
担当課	消防本部警防課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 応急手当普及啓発事業				地方創生関連交付金事業該当		-																																		
					和泉創発プラン該当		-																																		
(事前評価)	【P】事業の目的 一般市民による負傷者等への応急手当が適切に実施されるよう、応急手当に関する各種講習を実施し、救命率の向上を図る。				(事後評価)	<table><tr><td></td><td>回数</td><td>人員</td></tr><tr><td>普通Ⅰ</td><td>26</td><td>319</td></tr><tr><td>普通Ⅱ</td><td>4</td><td>10</td></tr><tr><td>普通Ⅲ</td><td>3</td><td>21</td></tr><tr><td>上級</td><td>1</td><td>21</td></tr><tr><td>入門</td><td>58</td><td>835</td></tr><tr><td>実技</td><td>9</td><td>56</td></tr><tr><td>普及員Ⅰ</td><td>1</td><td>11</td></tr><tr><td>普及員Ⅱ</td><td>6</td><td>14</td></tr><tr><td>普及員再</td><td>9</td><td>19</td></tr><tr><td>その他</td><td>70</td><td>1604</td></tr></table>				回数	人員	普通Ⅰ	26	319	普通Ⅱ	4	10	普通Ⅲ	3	21	上級	1	21	入門	58	835	実技	9	56	普及員Ⅰ	1	11	普及員Ⅱ	6	14	普及員再	9	19	その他	70	1604
	回数	人員																																							
普通Ⅰ	26	319																																							
普通Ⅱ	4	10																																							
普通Ⅲ	3	21																																							
上級	1	21																																							
入門	58	835																																							
実技	9	56																																							
普及員Ⅰ	1	11																																							
普及員Ⅱ	6	14																																							
普及員再	9	19																																							
その他	70	1604																																							
(事前評価)	【P】事業の内容 小・中学生や各種専門職従事者に対して、AEDの使用方法や心肺蘇生法、応急手当等の方法について、講習を開催する。 ・普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・上級救命講習 ・救命入門コース/実技救命講習 ・応急手当普及員講習Ⅰ・Ⅱ 等				(事後評価)	【D】事業実績																																			
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①救命入門コースの時間短縮コースの設置に向けた取組 ・小学生を対象に、授業の一環として、救命入門コース(90分)を更に短縮した45分間の講習を試験的に実施する。 ②講習受講者増加に向けた広報活動 ・広報、LINE・消防本部HPに、講習案内を掲載する。 ・他の講習に比べ、講習時間の短い「救命入門コース(90分)」について、周知を図る。								(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ① 救命入門コースの時間短縮コースの設置に向けた取り組みについては、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、救命講習業務の中止や、参加者の人数制限によってはソーシャルディスタンス(感染防止対策)を考慮した講習の実施が困難であったため、実施できず。 ②講習受講者増加に向けた広報について、下記の活動を行った。 ・市広報、消防本部ホームページ、への掲載。 LINEアプリのタイムライン機能を利用した広報活動。 ・従来型の救命講習の申し込みの際、救命入門コースの受講を推奨。各種救命講習時にも救命入門コースを紹介。																															
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値																																		
【P】活動指標	救命入門コース実施回数				回	20	R3	R4	R5	R6	R7																														
							27	58																																	
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)																																
【P】予算	計				0		計																																		
	備考					備考																																			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナウイルス感染症の影響が前年度より落ち着いていたため受講者の増加となった。市役所の職員を対象とした救命入門コースを実施したことも増加の要因となっている。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	令和4年度については、小学生を対象とした救命入門コース(45分)を授業の一環として実施するには至らなかった。新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、通常授業の中に救命入門コースを組み込むのが困難であった。 広報活動に関しては救命講習業務実施中に市広報、消防本部ホームページへの掲載及び、LINEアプリによるタイムライン機能を利用することにより効果的に実施できたと評価する。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	小学生を対象とする救命入門コース(45分)の実施に向け、教育委員会と授業への組み込みについて協議を行っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	30 災害に強い環境づくりの推進											
成果指標 (KPI)	3001	民間建築物の耐震化率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	86.6				目標値 (R7)	95.0				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	83.2	83.8	84.5	85.2	85.9	86.6	87.2	87.9				達成状況
達成率							7.1%	15.5%				
備考	数値は推計値(統計調査で算出しているため)											
担当課	建築・開発指導室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 既存建築物耐震化推進事業			地方創生関連交付金事業該当		－					
				和泉創発プラン該当		－					
(事前評価)	【P】事業の目的 安全・安心なまちづくりの実現に向け、耐震に対する市民の意識を高揚させるとともに、旧耐震基準で建築された民間建築物に対して補助事業を実施することにより耐震化率向上を図る。			(事後評価)							
(事前評価)	【P】事業の内容 耐震化の必要性について周知を行い、耐震化に関する補助金の交付を行う。 (対象)昭和56年5月31日以前に工事着手した旧耐震基準の建築物(※その他要件あり) ・耐震診断…費用の10/11(上限5万円) ・耐震設計…費用の70%(上限10万円) ・耐震改修…60万円＋工事費から60万円を除いた額の3分の1(上限100万円) ・耐震除却…費用の80%(上限20万円)				【D】事業実績 ・耐震診断補助件数 59件 ・耐震改修補助件数 6件 ・耐震除却補助件数 13件						
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①補助制度周知のため、市広報への掲載及びパンフレット配布を行う。 ②まちまる事業(昭和56年以前に建築された木造住宅を対象に、戸別訪問により木造住宅耐震診断等補助制度を説明)を25地区で実施する。 ③防災イベント等で耐震化の必要性を周知する。			(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①耐震関連制度の概要を案内するパンフレットを、6月の広報折込により全戸配布。 ②阪本、東阪本、東荘苑、池田荘苑、坪井、仏並、大畑、仏並町小川、下宮、小野田、北田中、岡町、九鬼、福瀬、善正、南面利、伏屋町(第一、第二、第三、第四、第五)、王子町、王子町宮本、太町、聖ヶ丘、葛の葉、尾井、尾井町山ノ谷、上町の29地区において、昭和56年以前に建築された木造住宅に対して、まちまる事業を実施した。 ③新型コロナウイルス感染症の影響により、防災イベントが中止となったため、イベントを利用した耐震化の周知はできなかった。						
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	耐震診断補助件数				件	70	60	59			
	耐震改修補助件数				件	15	7	6			
【P】活動指標	耐震除却補助件数				件	13	10	13			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	補助金(診断)	3,500,000				補助金(診断)	2,950,000				
	補助金(改修)	15,000,000				補助金(改修)	6,000,000				
	補助金(除却)	2,600,000				補助金(除却)	2,600,000				
	計		21,100,000	計			11,550,000				
	備考			備考							
	【P】予算					【D】決算					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	まちなまる事業について、R3年度から地区数を拡大して実施しており、R4年度も同等の規模で引き続き実施したところ、耐震診断の補助件数は、ほぼ前年度と同等の件数であった。(60件→59件) 耐震改修補助では、旧耐震住宅の所有者の高齢化等により積極的な耐震改修を促すことが難しくなっているが、おおむね前年度と同程度の補助件数となった。(7件→6件) また、除却補助は予算額満額の執行であり、前年度より補助件数は増加した。(10件→13件)
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	特にまちなまる事業は、市の事業費負担がないものであるが、拡大実施を行ったR3年度に続き、多数の診断補助件数の実績を得ていることから、効果的であったと考える。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	耐震改修等については、所有者個人にも費用負担が発生することから、容易に進展させることは難しいが、安全・安心な生活を実現していくため、周知活動や補助制度の整備・運用を行い、粘り強く耐震化への働きかけを行う。 パンフレットの全戸配布による耐震改修の必要性の周知を引き続き行う。 耐震診断・改修補助に加えて除却補助を活用し、耐震化への支援を引き続き行う。 R8年度末の耐震改修促進計画の計画期間終了に向けより多くの市民への周知を図るため、市内全域の対象住宅に対して、R6年度末までにまちなまる事業(戸別訪問)の実施を目指す。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進													
節	第2節 災害に備える仕組みづくり													
重点施策	30 災害に強い環境づくりの推進													
成果指標 (KPI)	3002	耐震管率(耐震管＋耐震適合管)									指標の単位		%	
	基準値 (R2)	42.3				目標値 (R7)	47.2				総合戦略 該当		－	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	38.2	39.1	40.1	41.0	41.7	42.3	43.1	44.0				達成状況		
達成率							16.3%	34.7%						
備考														
担当課	水道工務課													

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 水道管耐震化事業				地方創生関連交付金事業該当	-							
					和泉創発プラン該当	-							
(事前評価)	【P】事業の目的 災害発生時においても、水道水を安定供給できるよう、水道施設の耐震化を図る。				(事後評価)	令和4年度耐震管布設延長 5.7km							
(事前評価)	老朽化した水道管を計画的に耐震管へ更新する ※更新延長約3.3km 下水道管布設工事に伴う、水道管移設工事において耐震管を布設する。 ※更新延長約1.2km 都市計画道路等において新設管を布設する。 ※新設延長約0.6km					(事後評価)	【令和4年度末の水道管の状況】 総延長 586km 耐震管総延長 258km(耐震適合管含む) 耐震管率 44.0%						
(事前評価)	【P】事業の内容 更新工事:青葉台一丁目配水管布設工事 他8件 移設工事:王子町配水管移設工事 他6件 新設工事:府中町配水管布設工事その2 他1件				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①更新・移設工事 布設延長2.6km 青葉台一丁目配水管布設工事 他10件 ②新設工事 布設延長3.1km 府中町二丁目配水管布設工事 他2件							
(事前評価)	指標の名称					当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値						
	耐震管布設距離				km	5.1	R3	R4	R5	R6	R7		
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)				
	工事費	804,907,400				工事費	549,030,900						
	計		804,907,400			計		549,030,900					
	備考					備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	令和4年度末の耐震管布設距離は5.7kmで、目標値5.1km以上を達成することができた。 水道管布設工事の設計業務委託を取り入れ、効率的な管路更新を実施することができた。 令和7年度末最終目標値47.2%までは、残り3力年で3.2%となるため、次年度以降は1.0%以上の向上を目指す。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	耐震管率の向上は、漏水及び大規模災害時における管路破損のリスク低減に繋がるため、効果的だったといえる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	最終目標達成を目指し、設計業務委託の積極的発注、発注手法の見直し(簡易DBの導入検討)、水道管支障移転関連の基本方針設定、設計積算補助員の活用、面的管路整備などを行い、更なる耐震管率の向上に努め、水道水の安定供給を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	30 災害に強い環境づくりの推進											
成果指標 (KPI)	3003	雨水管整備面積の割合									指標の単位	%
	基準値 (R2)	49.09				目標値 (R7)	49.23				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	48.91	48.97	48.99	49.00	49.07	49.09	49.16	49.19				達成状況
達成率							50.0%	71.4%				
備考												
担当課	下水道整備課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 雨水管整備事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	【雨水管整備実績】 R4年度・整備面積 0.83ha					
(事前評価)	【P】事業の内容					【雨水管整備総実績】 ① R4年度末整備総面積 1,277.38ha ② 事業計画面積 2,596.6ha ①/②R4年度末整備率 49.19%					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績					
	①過去の降雨実績(計画雨水量)に基づき設計された雨水管渠の整備を行う。 ②浸水状況を的確に把握し、既存排水施設の活用を図りながら効果的に事業を行う。 ③他事業(都市計画道路の整備等)と連携を図り、効率的な事業を行う。 (R4年度整備予定) ・府中町外 0.83ha (R3繰越分) ・黒鳥町 0.30ha					・既存排水施設の活用を図りながら雨水管の整備を進めたことで、R4年度も大きな浸水被害は発生しなかった。 ・黒鳥町地区において、R4年度に工事発注し雨水管整備を進めていた中、水路内の工事について、地元町会及び水利組合との協議調整に期間を要したため、一部工事においてR5年度へ繰越となった。 【R4年度 整備実績】 [予定] [実績] ・府中町外 0.83ha 0.83ha ・黒鳥町 0.30ha 0.00ha					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
	雨水管整備面積				ha	1.13	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	雨水工事費	76,704,800				雨水工事費	59,766,883				
	計			76,704,800		計			59,766,883		
	備考	うち繰越分 50,454,800					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	一部工事の繰越はあったものの、府中町外における都市計画道路岸和田南海線の雨水管整備を実施した効果により、成果指標の達成率は上昇した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	黒鳥町地区における府中・信太山線付近の雨水管整備については、水路内の工事について、地元町会及び水利組合との協議調整に期間を要したため、一部工事において令和5年度へ繰越となったが、その他大阪府の都市計画道路整備事業とあわせて実施した雨水管整備による効果が大きく、成果指標の達成率は上昇したため、事業全体としては効果的と評価した。今後は、成果指標の目標値の達成に向けて、より事業の推進を図る。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>公共下水道(雨水管)は浸水予防の備えとして重要な都市インフラであることから、過去の降雨実績(計画雨水量)に基づいた雨水管の整備を適切に行っていく。</p> <p>近年の気象状況の変化に伴う記録的な短時間降雨があった場合、住宅等の浸水被害が発生する恐れがあるため、被害状況を的確に把握し、対策が必要な箇所については効果的に事業を進めていく。</p> <p>成果指標における最終目標の達成へ向け、都計道路(岸和田南海線・池上下宮線)への雨水管整備について、引き続き効率的な整備を行えるよう、道路事業者と整備スケジュール等の調整を行い整備を進めていく。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第3章 安全・安心の促進											
節	第2節 災害に備える仕組みづくり											
重点施策	30 災害に強い環境づくりの推進											
成果指標 (KPI)	3004	防災協力農地指定箇所数									指標の単位	箇所
	基準値 (R2)	2				目標値 (R7)	21				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	0	0	0	0	3	2	5	5				達成状況
達成率							15.8%	15.8%				
備考												
担当課	産業振興室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 防災農地設置事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	大地震などの災害時において「農地」を、避難空間や復旧用資材置き場等として利用することで、住民の安全確保及び復旧活動の円滑化を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	住宅地に隣接した条件を兼ね備えた農地所有者と交渉したが、指定に至らなかった。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	防災協力農地の設置を目指す。 【防災協力農地】 ○予め農地所有者の協力を得た500㎡以上の一団の農地を防災空間として登録する。 ○登録した農地には案内標識を設置し、市HP等で市民に周知する。 ○使用時は農地所有者に対し必要な補償を行う。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	対象となる農地所有者に対し、積極的な協力依頼を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	個別訪問の他に地元関係者会議等でも積極的に周知する。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	防災協力農地の設置箇所数				箇所	2.00	3	0			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	計		0			計					
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	広報やホームページにて防災協力農地の登録希望者を募集するのみでなく、こちらから積極的に地権者へ連絡し交渉を行った。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	③あまり効果的でなかった	防災協力農地の登録は協力者にとってメリットがないため、しているに当たり難しい面が多々あり、積極的に交渉を行ったが指定が取れなかった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	目標達成に向けて、これからも積極的に地権者と交渉を行う。

第4章 支えあい・協働の促進

第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり

31 コミュニティの活性化と担い手の育成

32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進											
節	第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり											
重点施策	31 コミュニティの活性化と担い手の育成											
成果指標 (KPI)	3101	市民ラウンドテーブルにおける年間延べ参加人数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	160				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	61	69	87	110	76	0	86	98				達成状況
達成率							53.8%	61.3%				
備考												
担当課	公民協働推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 市民ラウンドテーブル実施事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	参加者の地域や暮らし、様々な活動の紹介など 【P】 事業の 目的 気軽な話し合いを通じ、参加者同士のつながり づくりや、新しい活動への参加機会を創出する。				(事後評価)	市民ラウンドテーブル(おしゃべりカフェ)を開催した。 その場で提起された様々なテーマに沿って自由に話し合い、参加者 同士のつながり作りや新しい活動への参加のきっかけとなった。 【D】 事業実績 「気軽に集まり、気軽におしゃべり」の参加機会を創出するために、 「途中参加、途中退席、出入自由」としている。 コーディネーター：近畿大学総合社会学部 久隆浩教授。					
(事前評価)	参加者を限定せず、話し合いのテーマを自由に 【P】 事業の 内容 設定し、参加者同士が気軽に話し合う場を設け る。										
(事前評価)	①実施手法の変更 参加者が参加しやすいように、場所及び日時を 【P】 成果指標 向上のため の具体的取組 固定して継続的に実施する。 ②市民活動団体への広報 和泉ボランティア・市民活動センターにおいて実 施することで、市民活動に携わる人の参加を増 やす。				(事後評価)	①実施手法 参加しやすい環境をつくるため、場所をアイ・あいロビーに固定してい 【D】 成果指標 向上のため の具体的取組 の実績 る。開催日時については、偶数月は第3木曜日の昼、奇数月は第2 水曜日の夜で日時を固定し、継続的に実施する。 ②市民活動団体への広報 広報紙、アイ・あいロビーHPやSNS、メール配信等により周知した。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度 の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
【P】 活動指標	市民ラウンドテーブル開催回数				回	12	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料 (講師謝礼)	240,000				委託料 (講師謝礼)	212,000				
	計		240,000			計		212,000			
	備考					備考					
(事前評価)	【P】 予算				(事後評価)	【D】 決算					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナウイルス感染症拡大前と同様年12回開催し、また各種世代の人が参加しやすい環境づくりに努めた結果、前年度より延参加者が増加となった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	実施時間を月毎で変更することでより広く市民が参加できる機会を設けることができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き毎月開催し、積極的に広報を行い参加者増加に努める。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進											
節	第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり											
重点施策	31 コミュニティの活性化と担い手の育成											
成果指標 (KPI)	3102	市民活動支援制度年間支援団体数									指標の単位	団体
	基準値 (R2)	33				目標値 (R7)	62				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					37	33	33	32				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	公民協働推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 市民活動推進支援事業				地方創生関連交付金事業該当		-							
					和泉創発プラン該当		-							
(事前評価)	【P】事業の目的 市民活動に対する理解や関心を高めるとともに、市民活動団体の活性化やその活動の促進を図り、市民相互の協働によるまちづくりを実現する。				(事後評価)	【D】事業実績 【エントリー団体数】 33団体 【支援対象団体数】 32団体 【支援金内定額】 10,607,000円								
(事前評価)	【P】事業の内容 ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体から申請のあった事業について、審査会にて事業内容が適正かどうかを審査し、支援対象事業として決定した場合は、市から団体に対して支援金を交付する。													
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①新制度を運用していくにあたり、制度をより良いものとしていくため、課題改善に努める。 ②制度及び団体の活動を周知する。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①制度の課題について審査委員から意見を集め、改善に向けて検討を行った。 ②団体に対し制度や募集について説明会を実施した。団体の活動及び制度を紹介する冊子を広報紙と同時配布した。								
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値							
							R3	R4	R5	R6	R7			
	市民活動支援制度説明会開催回数				回	1	1	1						
(事前評価)	内訳		金額(円)		(事後評価)		内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	報酬		256,000				報酬		192,000		委託料		189,800	
	報償費		39,000				報償費		0		使用料及び賃借料		36,120	
	需用費		895,000				需用費		642,568		支援金		6,594,000	
	計		18,006,000				計						7,654,488	
	備考						備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	前年度からエントリー団体数2団体減少、支援対象団体数1団体減少。 活動体制が整っていない等の理由で既存の4団体が未エントリーであった。 エントリー団体数 R04:33団体 R03:35団体
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	団体数は減少したが、支援決定32団体中5団体が新規団体であり、説明会や紹介冊子、ホームページによる周知の効果があったと考えられる。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き紹介冊子の折込配布やHPにより制度の周知を行う。 また、支援対象団体の成長促進や活動支援のため、和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」と連携し、可能な支援の検討を行う。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進											
節	第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり											
重点施策	31 コミュニティの活性化と担い手の育成											
成果指標 (KPI)	3103	ボランティア年間需給調整数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	42				目標値 (R7)	290				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	180	138	184	223	200	42	46	108				達成状況
達成率							1.6%	26.6%				
備考												
担当課	公民協働推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 ボランティア活動支援事業			地方創生関連交付金事業該当	－					
				和泉創発プラン該当					－	
(事前評価) 【P】 事業の 目的	ボランティアをはじめとする、あらゆる市民活動を総合的にサポートし、住民同士の相互扶助を推進するとともに、コミュニティの活性化と担い手の育成を図る。			(事後評価) 【D】 事業実績	依頼件数 130件 調整件数 108件 (内訳) ・個人からの依頼 7件(4) ・施設、団体からの依頼 8件(5) ・行政・学校からの依頼 19件(19) ・地域団体、施設からの依頼 96件(80) ()内は調整件数					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」において、ボランティア団体等の登録を行い、市民等から要望を受け派遣を行う。									
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①市民ラウンドテーブルの実施 和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」で実施し、施設の周知を図る。 ②活動団体への研修会 ③団体同士の交流			(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①市民ラウンドテーブル「おしゃべりカフェ」を「アイ・あいロビー」で実施し、参加者同士のつながり作りや新しい活動への参加のきっかけとなったとともに、施設の周知に繋がった(12回開催、延98人参加)。「アイ・あいロビー」で実施し、施設の周知に繋がった。 ②ボランティア市民活動入門講座及びステップアップ講座を開催し、参加者の市民活動に関する知識の向上が図られた。(各1回開催、入門講座14名参加、ステップアップ講座46名参加) ボランティア市民活動ステップアップ講座(1回開催、46名参加) ③「ボランティア・市民活動交流サロン」を開催し、団体同士の交流促進が図られた(1回開催、60名参加)。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称			単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
						R3	R4	R5	R6	R7
	ボランティア登録者数(個人)			人	95	73	88			
	ボランティア登録者数(団体)			団体	154	90	99			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	委託料	14,277,000				委託料	13,764,922			
	計		14,277,000			計		13,764,922		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>依頼件数(調整件数)が前年度の58件(46件)から130件(108件)と増加した。 新型コロナウイルス感染拡大が落ち着き始めたことにより、「行政・学校からの依頼」が大幅に増加したことが要因。</p> <p>R04:130件(108件) 調整率83% R03:58件(46件) 調整率79% R02:68件(42件) 調整率61% R01:258件(200件) 調整率77%</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>引き続き専門職員を配置することで、ボランティア活動に対する相談や支援に対する細かな対応が可能となり、依頼に対して高い割合で調整を行うことが出来た。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>ボランティア募集情報のほか、「アイ・あいロビー」のイベントや活動、登録団体の活動などについて、メールマガジン・SNSを活用するなど様々な情報発信を行うことで、ボランティアや市民活動を身近に感じてもらい、年間需給調整数やボランティア登録数、講座・イベント等参加人数の更なる増加を図る。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進											
節	第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり											
重点施策	31 コミュニティの活性化と担い手の育成											
成果指標 (KPI)	3104	空家バンクのマッチング件数									指標の単位	件
	基準値 (R1)	1				目標値 (R7)	5				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						1	7	6				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	建築住宅室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 空家バンク事業				地方創生関連交付金事業該当	－						
					和泉創発プラン該当	－						
(事前評価) 【P】 事業の 目的	空家等の有効活用を通して良好な住環境の確保を図り、地域の活性化及び地域コミュニティの維持に繋がる魅力あるまちづくりを行う。				(事後評価) 【D】 事業実績	マッチング件数は6件、新規登録物件数は6件及び新規希望者数は13件であった。						
(事前評価) 【P】 事業の 内容	市内の空家等の売却及び賃貸情報や空家等利用希望者情報を提供する和泉市空家バンク制度の運用。											
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①和泉市空家バンク制度について、広報・市HP・いずみメール・個別相談会を活用して周知を行う。 ②空家等所有者に対する助言・指導を行う際に、制度を案内し積極的な登録を促す。 ③インターネット上での物件内覧体験・登録物件のPR看板の設置等、成約支援策の実施。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	①市HP・いずみメール・空家相談会等色々な媒体を利用し周知を図った。 ②対面指導の際に制度を勧めた。指導文書を送付する際に空家バンクの案内を同封した。 ③インターネット上での360°カメラによるバーチャル内観や看板作成を実施した。						
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	空家バンク登録物件数の追加				件	5	8	6				
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	計		0			計		0				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	新規登録物件を掘り起こし、希望者の選択肢を増やすことでマッチングの確率を高めた。 具体的には空家の管理に困っている所有者や建物を手放したいと考えている所有者に対して空家バンクの案内チラシの郵送、電話や対面での案内を行い空家バンク登録及びマッチングによる空家の活用につながった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	担当職員数が限られる中、市ホームページへいずみメールでの配信だけではなく、ターゲットを絞った上で空家バンクの周知を行うなど重点的な取り組みも併せて効率的に制度の促進ができた。 また、物件を探している利用希望者については、新規物件が登録された際にメール等で随時物件情報を送信し、より確実に情報提供を行うことができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	市HPやチラシ等で広く空家バンク制度を周知しつつ、引き続き空家所有者に対し登録を促す。市HPではより閲覧しやすいよう表示方法の改善に取り組む。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進											
節	第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり											
重点施策	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり											
成果指標 (KPI)	3201	和泉市地域福祉総合相談員(CSW)の地域連携活動数									指標の単位	件
	基準値 (R2)	95				目標値 (R7)	220				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	208	156	176	253	219	95	110	168				達成状況
達成率							12.0%	58.4%				
備考												
担当課	福祉総務課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 和泉市地域福祉総合相談員(CSW)配置促進事業				地方創生関連交付金事業該当		-					
					和泉創発プラン該当		-					
(事前評価)	住民に身近な生活圏域の総合的な福祉の相談員である地域福祉総合相談員(CSW)を配置し、地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤づくりを行い、地域の健康福祉セーフティネット(いきいきネット)の構築と、子どもから高齢者まで対象にとられない総合的な地域ケアシステムの実現を図ることを目的とする。				(事後評価)	①地域の福祉力向上へのサポート ・地域福祉活動を行っている住民(民生委員・児童委員、校区社会福祉協議会ボランティア、町会・自治会等)を対象に住民懇談会を実施し、地域の福祉力向上をサポートした。 【住民懇談会の開催】12件						
【P】事業の目的						・地域の活動(子ども食堂やサロン等)の開催を支援し、相談窓口の啓発や地域課題の共有、課題解決に向けた取り組みの検討など地域の福祉力向上をサポートした。 【住民活動のコーディネート】106件						
(事前評価)	市内8か所いきいきネット相談支援センターを設置、CSWを配置し、以下の事業を行う。 ①地域の福祉力向上へのサポート ・地域住民の個別相談、安否確認、虐待の予防・見守り・発見及びサービスへのつなぎ機能を強化し、地域の支援者(校区社会福祉協議会、町会・自治会役員、民生委員・児童委員等)や事業所、関係機関等との連携を強化するため、講座や研修会を開催する。 ②複合的なニーズをワンストップで受け止め、課題に対応する。 ・支援を要する本人及び家族全体の課題を整理し、本来の関係機関へつなげたり、既存の制度では充足しきれない「制度の狭間にあるニーズ」を把握し、専門機関や地域住民、各種団体等とのチームアプローチを通じた新たなサービス・システムの提案や開発に取り組む。				【D】事業実績	・地域住民を対象とした認知症サポーター養成講座や防災研修などの開催を支援し、地域におけるセーフティネット構築の一環として、地域の福祉力向上をサポートした。 【地域住民等を対象とする研修会の開催】30件 ②複合的なニーズをワンストップで受け止め課題解決を図る。 ・社会的孤立状態にある人に外出のきっかけづくりや家族以外の他者との交流を促すためイベントを開催した。 【要援護者等の組織化支援】16件 ・なんでも相談会として、相談を待つだけでなく地域の集会所等に窓口を設け相談会を実施した。また、住民同士による助け合い活動を実施する団体の立ち上げを支援した。 【研究・開発した新たなサービス】4件						
【P】事業の内容												
(事前評価)	①CSWの「協議の場」及び地域活動の場への参画 ・新型コロナウイルス感染症予防や対策を実施し、地域住民と地域の支援者による地域の福祉課題の解決に向けた話し合いの場「協議の場」や地域活動の場(各地域団体が開催する会議や各地区で開催されるサロン等)へ、CSWが参画し、実際に相談のあった、属性を問わない個別・地域の課題や制度の狭間にあるニーズを発信し、地域活動のきっかけをつくることで、地域福祉の増進を図る。 ②いきいきネット相談支援センターの認知度向上 ・地域の支援者や地域住民自身が相談事を発信できるよう、チラシ配布等の周知活動やコロナ禍に応じたアウトリーチ方法を模索し、実践することで、いきいきネット相談支援センター及びCSWの認知度向上を図る。				(事後評価)	①令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大により、「協議の場」の中止や延期となった地域もあったが、開催した「協議の場」へCSWが参加し、校区の地域課題に応じた取り組みを実施することができた。 ②適宜、市ホームページの更新、CSWの活動紹介チラシを市役所や他関係機関に配布し、いきいきネット相談支援センターの認知度向上に努めた。						
【P】成果指標向上のための具体的な取組						【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績						
(事前評価)					単位	当該年度 の目標値	(事後評価) 【D】 実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	協議の場で検討された課題を解決するための活動実施校区数						校区	7	4	7		
【P】活動指標												
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	委託料	26,800,000				委託料	26,800,000					
	計		26,800,000			計		26,800,000				
	備考					備考						

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、サロン活動を始めとする地域活動が対策を講じながら実施された。地域の活動はコロナ禍以前のように戻らないが、増加傾向にあり、それに伴ってCSWの地域活動連携活動数が増加したため。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、地域連携活動件数が増加。住民を対象にした認知症サポーター養成講座や防災研修を開催支援、また社会的孤立者のように複雑化複合化したニーズに対応した支援を実施しており、地域の福祉力向上に寄与している。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	地域福祉総合相談員(CSW)が継続して地域と関わり、地域課題を把握し、課題解決のための支援を実施し、地域活動の充実を図る。 地域福祉総合相談員(CSW)の活動や役割を住民や関係機関へ広く周知することで、住民等とのネットワークを構築し、地域で困っている人や孤立している人の把握・早期発見を行い、適切な支援に繋げる。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進											
節	第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり											
重点施策	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり											
成果指標 (KPI)	3202	和泉市認知症高齢者等SOSおかえりネットワーク見守り登録者数								指標の単位	人	
	基準値 (R2)	1185				目標値 (R7)	1500			総合戦略 該当	-	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	652	742	883	946	1,085	1,185	1,464	1,563				達成状況
達成率							88.6%	100.0%				
備考												
担当課	高齢介護室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 SOSおかえりネットワーク事業				地方創生関連交付金事業該当				-				
					和泉創発プラン該当				-				
(事前評価)	【P】事業の目的 認知症高齢者等の方が事前登録しておくことで、万が一一方不明となった時にメール配信システムを活用し、できるだけ多くの方に情報提供を呼びかけ、地域ぐるみで早期発見につなげる。				(事後評価)	【令和4年度末の登録者数】 SOS登録者数:648名(前年比+64名) 見守り協力者数:1,563名(前年比+99名)							
(事前評価)	【P】事業の内容 登録者の携帯電話やスマートフォンに、行方不明になった方の特徴や場所など24時間365日メール配信する。生活の中で気になる人を見かけた場合は警察に連絡を入れてもらう。					【D】事業実績 【令和4年度のメール配信実績】 メール配信数:3件							
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①認知症サポーター養成講座で、「SOSおかえりネットワーク見守り事業」を紹介し、見守りの登録を促す。 ②認知症フォーラム等研修や講座、声かけ見守り訓練、ラインやホームページ等で本事業の周知啓発を行う。 ③新規の登録があった時は家族等、ケアマネジャーに見守り登録の説明を行う。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①認知症サポーター養成講座において本事業を紹介し、見守りの必要な方の登録を促した。 ・養成講座開催実績:42回(キッズサポーター養成講座含む)、参加者1,869名 ②認知症市民フォーラムを12月に実施。 声掛け見守り訓練は光明台南校区にて11月に実施。 和泉市公式LINEにて協力者の登録を呼び掛け、協力者増に繋がった。 ③新規登録の際、協力者登録について随時説明を行った。							
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値						
							R3	R4	R5	R6	R7		
	認知症サポーター養成講座の開催回数				回	20	28	42					
(事前評価)	内訳		金額(円)		内訳		金額(円)		(事後評価)	内訳		金額(円)	
	印刷製本費		40,000							印刷製本費		29,480	
	消耗品		160,000							消耗品		45,849	
	計				200,000					計		75,329	
	備考									備考			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	警察や地域包括支援センターから、行方不明等で保護された高齢者の家族等に対し登録の声掛けが行われている。家族の理解が深まり、事前登録者数も増加している。協力者数は、認知症サポーター養成講座での周知に加えて、和泉市公式LINEにて広く周知啓発を継続していることで増加している。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	R3年度に引き続きコロナ禍ではあったが、感染症対策を講じながら、認知症サポーター養成講座や認知症市民フォーラムを開催することができ、また和泉市公式LINEでの周知など新たな取り組みによって見守り登録者数(＝協力者)を増やすことができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	引き続き、認知症サポーター養成講座や、認知症市民フォーラム、地域包括支援センターが地域で行う様々なイベント等で本事業の周知をはかる。 また、認知症サポーター養成講座の周知先として、小中学校のPTA役員などを検討する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第4章 支えあい・協働の促進												
節		第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり												
重点施策		32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり												
成果指標 (KPI)	3203	全国学力・学習状況調査 生徒質問紙「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の肯定的回答の割合									指標の単位		%	
	基準値 (R2)	小学校	43.5			目標値 (R7)	小学校	60.0			総合戦略 該当	-		
		中学校	34.2				中学校	40.0						
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	小	54.7	51.7	47.3	46.9	54.7	43.5	43.9	43.5			達成 状況		
	中	35.7	33.7	27.9	34.9	39.5	34.2	32.3	31.7					
達成率	小							2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	中							0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
備考														
担当課		学校教育室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 いずみあいさつ運動事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的 PTA等と連携したあいさつ運動を実施することで、児童生徒・保護者・地域のつながりを深め、顔の見える関係をつくり、良好な地域社会の構築を図るとともに、元気で豊かな心を育む。				(事後評価)	【D】事業実績 ・毎月11日を「いずみあいさつ運動」の日として、市内全学校と地域が連携して、あいさつ運動を実施。 ・児童生徒の登校時の見守り活動におけるあいさつ運動では、スクールガードリーダーや地域の老人会、学校PTAの方等、年間延べ33,860人が参加した。(昨年度34,067人)					
(事前評価)	【P】事業の内容 毎月11日を1(ひと)と1(ひと)とのつながりを大事にする11日(いいひ)とし、特にこの日を市民全員で意識して「あいさつ運動」を広めるため、市内各学校で、地域と連携したあいさつ運動を実施する。										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①市内各学校に、あいさつ運動キャンペーン用の「のぼり旗」等を作成し、配付する。 ②毎月11日の「いずみあいさつ運動の日」には、青色パトロールカーで市内中学校区を巡回する。 ③各校におけるあいさつ運動の実施状況を集約し、取組みの改善にいかす。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 ①市内各校へ、あいさつ運動キャンペーン用の「のぼり旗」を5枚ずつ配付した。 ②毎月11日の「いずみあいさつ運動の日」に、複数台の青色パトロールカーで市内を巡回し、いずみあいさつ運動の周知に努めた。 ③各学校における学校支援に係る活動についての調査を行い、あいさつ運動の活動状況等を集約するとともに、地域教育協議会連絡会等において情報共有し、取組みの活性化を図った。					
(事前評価)	指標の名称					単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値			
【P】活動指標	「PTA等と連携したあいさつ運動」実施校数の割合				%	100	R3	R4	R5	R6	R7
							100	100			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	消耗品	103,000				消耗品	75,872				
	計		103,000			計		75,872			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	<p>令和3年度と比較すると、肯定的な回答の割合が、小学校は0.4ポイント、中学校は0.6ポイント下回る結果となった。</p> <p>令和4年度においては、新型コロナウイルス感染拡大が改善傾向となったが、依然として配慮を必要とする状況は継続しており、また、児童生徒の定性的な捉え方としても新型コロナウイルス拡大前の状態までには戻っていないことが反映されている。</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>あいさつ運動ののぼり旗を学校に配付し、あいさつ運動・見守り隊の活動を広く周知することができた。また、青色パトロールカーで市内を巡回することにより、市民に「いずみあいさつ運動の日」を広く周知することができた。</p> <p>その結果、人と人とのつながりが生まれ、子どもたちの地域への意識を高めることができている。今後もあいさつ運動を継続することにより、子どもたちが地域とのつながりを実感し、地域行事への参加率向上につなげる。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>学校・家庭・地域において、子どもたち自らの意思で、あいさつができるようになる事を目標に、今後も学校・家庭・地域が連携したあいさつ運動・見守り活動等を実施し、子どもたちの地域行事等への参加率向上に取り組む。</p> <p>また、子どもたちが、地域行事の企画運営等に参画できる機会を設けるなど、主体的に地域行事に関わることができる環境づくりに取り組む。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進											
節	第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり											
重点施策	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり											
成果指標 (KPI)	3204	青少年を非行から守る月間事業に参加している市民の数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	300				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	303	200	200	200	150	0	0	100				達成状況
達成率							0.0%	33.3%				
備考												
担当課	生涯学習推進室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 青少年を非行から守る市民大会開催事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	地域の働きかけによる青少年の非行防止を推進するため、非行防止に関する講演会を開催し、市民意識の高揚を図る。				(事後評価) 【D】 事業実績	○青少年を非行から守る市民大会 1. 開催日 令和4年7月9日(土) 14時～15時30分 2. 場所 コミュニティセンター多目的ホール 3. 内容 子どもがスマホ・ゲーム機を活用する際の保護者の責任や万が一子どもが加害者になった場合に保護者が取らなければならない対応等のネットコミュニケーションについての講演会 4. 参加者 100人					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	毎年、青少年の非行・被害防止強調月間(7月)開始日前後の土曜日又は日曜日に「青少年を非行から守る市民大会」を開催する。 【大会概要】 青少年の非行防止に向けた、 ・大会宣言の提唱 ・基調講演等										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①市民大会の講演について、教育・こども部と連携し情報交換することで、今求められている講演内容を設定する。 ②保護者のみならず、市内学校園の教職員にも情報提供を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	市有施設へのチラシ配架、社会教育団体への周知に加え、初めての取組みとして町会連合会へ各町会の掲示板への掲示依頼を行った。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	大会の開催周知を行っている施設及び団体数				団体	55	0	35			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	報償費	40,000				報償費	20,000				
	需用費	284,000				需用費	9,496				
	使用料	58,000				使用料	28,450				
	計		382,000			計		57,946			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、3年ぶりの開催を行ったが、コロナ禍以前の参加人数には届かなかった。要因としては、周知が足りなかったことや、内容が関心を引くものでなかったことなどが考えられる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	市民大会の一環として“ネットコミュニケーション”をテーマにした講演会を開催し、ネットの利活用について改めて考え、青少年の健全育成に対する一層の意識の高揚を図ることができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	内容の見直しや効果的な広報周知を行い、事業を継続する。

第4章 支えあい・協働の促進

第2節 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり

33 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章		第4章 支えあい・協働の促進											
節		第2節 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり											
重点施策		33 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり											
成果 指標 (KPI)	3301	手話等講座及びあいさポーター研修の参加者数									指標の単位		人
	基準値 (R2)	486				目標値 (R7)		2,500			総合戦略 該当		-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
					187	486	811	1,227				達成状況	
	達成率						16.1%	36.8%					
備考													
担当課		障がい福祉課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1	手話等講座実施事業	地方創生関連交付金事業該当	-					
			和泉創発プラン該当	-					
(事前評価)	【P】事業の目的	障がいの理解や手話・障がい特性に応じたコミュニケーション等に関する理解促進を図る。	(事後評価) 【D】事業実績	○市民対象手話講座 (1)手話講習会～手話で広がるコミュニケーション～ ①「手で話そう！」きこえないってどんなこと？(同一内容を4回開催) 聴覚障がいのこと、聴覚障がい者に対する配慮、手話が独自の言語であることについて理解の促進を図るとともに、挨拶等簡単な手話の紹介を行った。 第1回 9/23(金・祝) 参加者数:18名 第2回 10/13(木) 参加者数:12名 第3回 11/13(日) 参加者数:18名 第4回 12/2(金) 参加者数:14名 計62名 (2)手話講習会～手話で広がるコミュニケーション～ ②「手で話そう！」手話でコミュニケーション(同一内容を3回実施) (1)の受講修了者を対象に実施。第1回はR3年度の受講修了者が対象。手話によるコミュニケーションの練習を行った。 第1回 8/3(水) 参加者数:9名 第2回 1/18(水) 参加者数:15名 第3回 1/29(日) 参加者数:16名 計40名					
(事前評価)	【P】事業の内容	手話等に関する講座を実施する。		○市職員対象手話講座 聴覚障がいのこと、聴覚障がい者に対する配慮、手話が独自の言語であることについて理解の促進を図るとともに、ろう者が来庁した際に手話で挨拶や簡単な対応ができるよう、手話による会話練習を行った。 ステップ1 9/28(水)、9/30(金) 各2回 参加者数:31名 ステップ2 11/9(水)1回、11/11(金)2回 参加者数:19名 ステップ3 1/11(水)、1/13(金) 参加者数:29名 計79名 ○手話動画の配信 手話講座に参加できない人に対しても理解促進を図るため、動画の配信を行った。					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組	市民や職員等が参加しやすい手話等に関する講座を開催する。また、関係団体等と協力し、幅広く周知を行う。		(事後評価) 【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	市民対象手話講座は、当事者団体及び手話通訳者団体と協働し、実施。手話への理解を深め、継続的な手話学習につなげられるよう、市民対象手話講座を2段階構成に変更するとともに、講座の開催数を増やした(R3 基礎編3回→R4 基礎編4回・応用編3回)。講座について、広報や市HP等の媒体を通じて周知を行った。				
(事前評価)	指標の名称		単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
					R3	R4	R5	R6	R7
	手話等講座開催数		回	17	5	16			
(事前評価)	【P】活動指標								
【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	報償費	80,000				報償費	70,000		
	使用料及び賃借料	47,710				使用料及び賃借料	29,060		
	計		127,710			計		99,060	
	備考					備考			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	市民対象講座の開催数を増やすとともに、開催日を平日だけでなく、日曜・祝日にも広げたことにより、市民講習会の受講者数が増加(R3 31人→R4 102人)したと考えられる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	当事者と手話通訳者が講師となり、聴覚障がい者が日常生活等で実際に困る場面や必要な配慮などを伝えることで、障がい理解の促進につながった。また、グループに分かれて少人数制での手話学習を実施し、継続して手話の学習を希望する人も多くみられた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	市・当事者・通訳者で協議を行いながら、引き続き講座・動画の配信を継続していく。

取組事業	2 あいサポート運動事業				地方創生関連交付金事業該当					-	
					和泉創発プラン該当					-	
(事前評価)	【P】事業の目的 あいサポート運動を通じて、障がいに関する理解を促進し、誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現を目指す。				(事後評価)	あいサポート企業と協力しながら、市民・職員対象のあいサポーター研修及びあいサポートメッセンジャー研修を実施。あいサポーター235人、あいサポートメッセンジャー3人を養成した。 ＊あいサポートメッセンジャー養成講座：あいサポート研修を受講し、講師役となる人材を育成する講座 ＊KPIIには、あいサポーター研修受講者を計上 ○あいサポーター研修 市主催 9/29(木) 参加者数:35人 12/14(水)12/15(木)各2回 参加者数:106人 2/7(火) 参加者数:26人					
(事前評価)	【P】事業の内容 あいサポーター研修を実施する。					【D】事業実績 企業主催 4/12(火) 参加者数:3人 5/12(木) 参加者数:7人 6/11(土) 参加者数:10人 6/14(火) 参加者数:3人 8/31(水) 参加者数:10人 9/10(土) 参加者数:7人 11/29(火) 参加者数:12人 12/10(土) 参加者数:5人 3/11(土) 参加者数:10人 あいサポートメッセンジャー養成講座 4/21(木) 参加者数:3人(あいサポーター同時受講1名)					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 市民や職員等が参加しやすい「あいサポーター研修」を開催する。また、関係団体等と協力し、幅広く周知を行う。「あいサポート企業・団体」を増やし、あいサポート運動を広める。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 あいサポーター研修について、広報や市HP等の媒体を通じて周知を行った。また、商工会議所等に対し、あいサポート企業の周知を行った。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	あいサポーター研修開催数				回	10	11	16			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	使用料及び賃借料	46,480				使用料及び賃借料	0				
	計		46,480			計				0	
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	市主催及び企業主催によるあいサポーター研修を計16回実施し、受講者数が235人であった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	あいサポーター研修受講者からのアンケート結果において、「障がいのことがよく分かった」「困っている人がいたら声をかけるよう心掛けたい」などの感想があり、障がいに関する理解が促進できていると考える。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	今後も継続して、様々な場所・場面において研修会の実施や実施にかかる周知を行っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進											
節	第2節 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり											
重点施策	33 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり											
成果指標 (KPI)	3302	人権啓発講座等への年間参加者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	207				目標値 (R7)	1,920				総合戦略該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	1,648	1,724	1,314	1,912	1,252	207	428	569				達成状況
達成率							12.9%	21.1%				
備考												
担当課	人権・男女参画室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1	人権啓発講座事業	地方創生関連交付金事業該当					-			
			和泉創発プラン該当					-			
(事前評価)	【P】事業の目的	一人ひとりがかけがえのない平等な存在として尊重され、多様性を認め合う差別のない社会や、誰もが個性や能力を発揮できる社会の実現に向け、NPOや民間団体等と連携し、人権意識の高揚を図る。	(事後評価)	【D】事業実績	①「いのち・愛・人権」市民の集い 令和4年12/10(土) 「ヤサシイハナヲサカセマショウ〜ネット上の誹謗中傷防止に向けて〜」 講師：木村 響子氏(NPO法人 Remember HANA 代表) 会場：117名						
(事前評価)	【P】事業の内容	和泉市人権啓発推進協議会や和泉市人権協会等の民間団体等と連携・協働し、人権に関する講演会や映画上映会、校区別に人権研修会等を実施する。			②人権啓発映画上映会 令和4年11/27(日) 映画：「破戒」 定員600人 参加者304人						
					③校区人権研修会 令和4年6月～令和5年3月 小学校区単位での地域に根ざした人権研修会 21校区 ・実施 4校区 参加者281人 ・研修会の代わりに啓発ちらし等を配布 3校区 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 9校区 (総定員1,000人として活動指標を設定)						
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組	①広報活動 広報、市HP、庁内放送、いずみメール、SNS、地域の新聞を通じた広報活動を実施する。また、学校の校長会や市内の各種団体の会議などでちらしの配布や事業の説明をして広く周知させる。 ②企画内容の充実 現代社会が直面する人権課題について、情報収集を行い、参加しやすい開催日時を設定するなど、ひとりでも多くの市民に理解を深めてもらえるような企画運営にする。 ③校区研修の支援 各校区単位の人権研修において、テーマや講師の提案などを行い、より多くの人に参加してもらえるような広報の手法について支援する。	(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①広報活動 ・市民の集いと映画上映会については、広報、HP、いずみメール、ちらし、ポスターで呼びかけを行った。また、各種団体や近隣市との会議、他のイベント・講座などで積極的にちらしやポスターを配布した。 ②企画内容の充実 ・市民の集いについては、感染症対策を講じたうえ幅広い世代に向けて積極的に参加してもらえるよう関心度の高いテーマを企画し、実施した。 ・映画上映会については、感染症対策を講じたうえで今年度は、全国水平社創立100周年記念として製作され、部落差別に関する理解と関心を深めるために適した内容としてできるだけ多くの市民に観ていただけるように、また有料上映中の話題作として多数の参加者集客に繋げることができた。 ③校区研修の支援 校区人権研修については、感染症の影響により中止する校区もあったが、前年度に比べ実施校区が増となった。3校区については、地域役員や関係団体との協議により、啓発ちらしや啓発物品を校区内に配布した。(実施12校区 啓発ちらし等3校区 未実施6校区)						
(事前評価)	【P】活動指標	指標の名称		単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値					
						R3	R4	R5	R6	R7	
		定員に対する参加者の割合(市民の集い公演会)		%	65	60	117				
		定員に対する参加者の割合(人権啓発映画上映会)		%	60	74	304				
		定員に対する参加者の割合(校区研修)		%	100	2	4				
(事前評価)	【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
		報償費	622,000	委託料	337,000			報償費	241,630	委託料	217,470
		食糧費	4,000	使用料	112,530			食糧費	540	使用料	154,660
		印刷費	43,450	補助金	1,596,000			印刷費	56,100	補助金	913,234
		計		2,714,980				計		1,583,634	
		備考						備考			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	①市民の集いについては、新型コロナウイルス感染対策を配慮したうえで講演会を実施。R4年度においては、「和泉市インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例」が制定されたことにより、インターネットによる恩恵を享受しながら人権侵害のない社会を目指すためには、市民一人ひとりが、表現の自由に配慮しつつ、誹謗中傷等の被害者にも加害者にもならないための意識や知識を身につけ、インターネット社会に応じた人権尊重の仕組みづくりを進めなければならないことから、SNS上での誹謗中傷により家族を失った方を講師とし、誹謗中傷の被害者も加害者も減らすことを目標に様々な活動をされていることを講演いただき、参加者117人中95人からのアンケート回収結果から講演会に参加して人権問題についての関心や理解が大変深まった、おおむね深まったが83%であった。 ②映画上映会については、手指消毒液の設置や検温など新型コロナウイルス感染対策を配慮のうえ開催した。 ③人推協校区別研修会21校区(実施 12校区/研修会の代わりに啓発ちらし等を配布3校区 /症拡大防止のため中止6校区) 新型コロナウイルス感染症が収束を迎え、地域役員や関係団体との協議により、地域の実情に応じた課題や関心の高いものを情報収集し企画し実施。念のため、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止する校区もあったが、感染に注意しながらできる啓発方法を模索し、地域役員や関係団体との協議により、啓発ちらしを校区内に配布した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	市民の集いは、新型コロナウイルス感染症対策を配慮したうえで実施することができた。(アンケート回答95人中 大変満足34%、おおむね満足55%) また、ひゅーまんシネマでは、全国水平社創立100周年記念として製作され、部落差別に関する理解と関心を深めるために適したものを選択し、また有料上映中の話題作として多数の参加者集客に繋げることができた。(アンケート回答220人中 大変満足53%、おおむね満足34%) 校区研修会では新型コロナウイルス感染症が収束を迎え、地域役員や関係団体との協議により、地域の実情に応じた課題や関心の高いものを情報収集し企画し実施した。念のため、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止する校区もあったが、感染に注意しながらできる啓発方法を模索し、地域役員や関係団体との協議により、啓発ちらしを校区内に配布し、人権啓発活動を行うことができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	①地域の役員との協議・連携を密にして地域ごとのニーズに応じた研修の企画を充実させていく。また、ラインなどのSNSを利用したPRをして若い世代の参加を促進していく。 ②講演会や研修会については、アンケートで評価のよかった研修を他の校区にも情報提供し、企画の選択肢を増やし、国や府・関係団体と連携を深め、さまざまな課題について幅広い研修や啓発ができるようにしていく。他部署、地域の役員との連携を密にして事業の開催日は他の行事と重ならないようにし、長期休日の前後は避けるようにして集客につなげていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進										
節	第2節 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり										
重点施策	33 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり										
成果指標 (KPI)	3303	「モアイずみフォーラム」「男女共同参画週間事業」の定員に対する参加率(平均)								指標の単位	%
	基準値 (R2)					目標値 (R7)	100.0			総合戦略該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	106.0	101.0	78.0	67.5	79.5	-	54.0	68.3			達成状況
達成率							54.0%	68.3%			
備考											
担当課	人権・男女参画室										

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1	男女共同参画社会づくりフォーラム事業	地方創生関連交付金事業該当		-						
			和泉創発プラン該当		-						
(事前評価)	【P】事業の目的	性別にかかわらず、一人ひとりの人権が尊重され、あらゆる分野ですべての人が個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、男女共同参画に関するフォーラムを開催する。	(事後評価)	【D】事業実績	①男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 6/25(土) 映画「未来を花束にして」上映 267人/300人(参加/定員) アンケート回収率 72% (191人) 参加率 89%						
(事前評価)	【P】事業の内容	①男女共同参画社会基本法に対する理解を深めるため国が主唱する「男女共同参画週間」の事業として「ミニフォーラム」を実施する。 内容:映画「未来を花束にして」上映 定員:300人 対象:市民 ②本市における男女共同参画社会づくりのため、「モアイずみフォーラム」を実施する。 定員:200人(予定) 対象:市民			②モアイずみフォーラム 2/5(日) オンデマンド配信日:令和5年2月17日(金)3月～5日(日) 講演者:高津 玉枝さん 内容:「フェアトレードで広がる笑顔 おしゃれで社会貢献」 ＜会場＞定員:60人 参加人数:41人 参加率 68% アンケート回収率 78% (32人) ＜オンデマンド配信＞ 申込人数:23人 再生回数:67回 アンケート提出人数:7人 ※オンデマンドは実際の視聴人数が不明のため参加率・アンケート回収率は算出できない。						
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組	①企画の検討 ・男女共同参画推進市民実行委員会や男女共同参画センター登録団体との協働により、前回のフォーラムアンケート結果も踏まえ市民に興味、関心を持ってもらいやすいテーマ・企画を検討する。 ・令和2年8月より男女共同参画に対し知識、経験が豊富な専門の事業者に企画の一部を委託した。さらに男女共同参画社会に対する理解を深める企画内容とする。 ②広報活動 広報紙、モアイずみ通信、市HP、いずみメール、インターネット、SNSを通じて広報活動を行い、また、市内公共機関等へチラシを配架やポスターの設置をする。	(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①企画の検討 男女共同参画週間事業として男女共同参画センター登録団体と協働で女性の社会問題について考える内容として映画「未来を花束にして」の上映を実施し、モアイずみフォーラムについては和泉市男女共同参画推進市民実行委員会と協働で企画・運営を行い、会場開催とオンデマンド配信で実施。いずれの事業も男女共同参画に対し知識、経験が豊富な専門の事業者が企画・運営を委託し、男女共同参画社会に対する理解を促進した。 ②広報活動 広報紙及びモアイずみ通信への掲載、市HP、SNSを使った広報活動を行った。また、市内公共機関(北部・南部リージョンセンター、シティプラザ図書館、和泉市コミュニティセンター、人権文化センター等)へのチラシの配架や折込配布を実施した。また、桃山学院大学、コミュニティ紙や新聞社にもチラシ配架や紙面掲載依頼をした。						
(事前評価)	【P】活動指標	指標の名称		単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値					
		アンケート回収率		%	100	R3	R4	R5	R6	R7	
		ポスターの設置箇所数		箇所	12	78	75				
(事前評価)	【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
		報償費等	48,010					報償費	41,630		
		使用料及び賃借料	160,920					使用料及び賃借料	157,920		
		計		208,930				計		199,550	
		備考						備考			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	前年度と比較すると、成果指標は14.3%増の結果となった。緊急事態宣言が解除となり、新型コロナウイルス感染についても収束を迎え、平常の生活に戻りつつあることから参加者の増へ繋がったと考える。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>○成果指標の達成状況としては前年度より増加し、モアイずみフォーラムでは前年度と引き続き、会場・オンデマンド配信開催を実施した。参加方法として幅広いニーズに答えることができたこともあり、アンケート結果において内容は概ね好評との評価をいただいた。</p> <p>○発展途上国の女性に対する暴力や貧困、児童労働、大量生産・大量消費による環境破壊や健康被害などの問題は、日本で暮らす私達にとっても無関係ではなく、途上国の課題をビジネススキルで解決すべく、「作り手」も「売り手」も「買い手」も幸せになる流通の仕組みを構築し、社会起業家として活躍する女性講師にその経験を伺い、和泉市民一人ひとりが出来ることを考える機会を提供することから男女共同参画社会の実現について効果的に市民に啓発することができたと思われることから、テーマの設定としては有効であったと考える。</p> <p>＜アンケート結果＞</p> <p>①男女共同参画週間事業アンケート：（回答191人）とても良かった36%、良かった32%</p> <p>②モアイずみフォーラムアンケート：（回答32人）とても良かった66%、良かった13%</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>○アンケート結果を踏まえながら、令和5年度に向けて、引き続き男女共同参画に対し知識、経験が豊富な専門の事業者等に企画の一部を委託することにより、市民にとって魅力的で、男女共同参画社会に対する理解を深める内容を企画していく。</p> <p>○「いずみメール」や「和泉市公式LINE・Facebook」等のSNSを活用するほか、市の公共施設だけでなく民間事業者等にもちらし配架等を依頼したり、その他市以外のWEB上の広報サイトを活用するなど、今後の広報の強化を図る。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第4章 支えあい・協働の促進											
節	第2節 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり											
重点施策	33 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり											
成果指標 (KPI)	3304	和泉市審議会等への女性委員の参画率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	30.2				目標値 (R7)	40.0				総合戦略該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	32.8	32.1	29.5	29.8	29.2	30.2	31.9	32.3				達成状況
達成率							17.3%	21.4%				
備考												
担当課	人権・男女参画室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 女性委員参画推進事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】事業の目的	男女共同参画社会の実現に向けて、あらゆる分野における政策・方針決定について、女性の視点を反映することを目的に、市の審議会等における女性委員参画の向上を図る。				(事後評価) 【D】事業実績	令和4年度(4/1現在) ・審議会等への女性委員の参画率 32.3% 48機関 委員535人(うち女性委員 173人) ・事前協議件数47件					
(事前評価) 【P】事業の内容	各部署で所管する審議会等の委員を選考しようとする場合は、総務部長あてに審議会等委員の選考事前協議書の提出を受け、女性委員比率40%以上をめざし、事前協議を行う。										
(事前評価) 【P】成果指標向上のための具体的な取組	①女性委員の登用についての依頼文を全部署に定期的に通知し、職員の意識の向上を図る。 ②40%に満たない機関については、委員選定経過報告書の提出を求め、次回選定に向けた方策を講じ、女性委員の登用が可能な委員構成については、大阪府(ドーンセンター)の女性人材リストを活用して登用を促す。				(事後評価) 【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①女性委員の登用についての庁内周知 令和4年4月と10月に全庁に向け、女性委員の登用について通知を行った。 ②事前協議の強化 ・和泉市審議会等への女性委員登用促進要綱について、事前協議を6か月前に行うよう期限を設け、事前協議の際に女性登用率未達成の場合は経過報告書の作成を要請し、職員の意識向上を図った。グループウェアに女性登用の促進の趣旨を載せた依頼文の例を掲載した。					
(事前評価) 【P】活動指標	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
	事前協議実施率				%	100	R3	R4	R5	R6	R7
							100	100			
(事前評価) 【P】予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	計		0			計		0			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	<p>事前協議を実施することにより、市職員ひとり一人が男女共同参画行動計画における女性委員の登用の趣旨を十分に認識し、意識の向上につながったことが要因と考える。</p> <p>【審議会等の委員の状況(4月1日時点)】</p> <p>令和3年度 31.9%【50機関 委員549人(うち女性委員175人)】 令和4年度 32.3%【48機関 委員535人(うち女性委員173人)】</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>職員への女性参画の必要性についての周知や目標達成に向け各部署と事前協議を実施したものの、40%を達成することができなかったが、登用率の低い機関については取組強化を促す努力はした。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>○事前協議を6か月前から2か月前に変更し、特に女性委員の登用率40%を達成できない機関において、要因を事前協議の中で見極め、解消策を検討し、各部署と連携を図りながら適切なフォローアップを行う。 (具体策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府(ドーンセンター)の女性人材リスト活用し、女性委員の登用を促す ・庁内文書管理に女性登用の促進の趣旨を載せた依頼文の例を掲載する ・40%に満たない機関には委員選定経過報告書の提出を求め、次回選定に向けた方策を講じる <p>○引き続き、女性の参画の必要性についての意識向上に努めるとともに、登用率向上に向けた方策を研究し、全部署に向け発信していく。</p>

第5章 都市経営の促進

第1節 都市経営の促進

34 既存ストックの適正管理の促進

35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進											
節	第1節 都市経営の促進											
重点施策	34 既存ストックの適正管理の促進											
成果指標 (KPI)	3401	道路橋の延べ修繕補修橋梁数(令和3年度～令和7年度)									指標の単位	橋
	基準値 (R2)	2				目標値 (R7)	8				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						2	4	4				達成状況
達成率							50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
備考												
担当課	土木維持管理室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 道路橋長寿命化修繕事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	今後、老朽化する道路橋の増加に対応し、道路橋の長寿命化・修繕・架け替えにかかる費用の縮減を図りつつ、和泉市道路網の安全性・信頼性を確保する。				(事後評価) 【D】 事業実績	橋梁補修に関する工事発注なし					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	和泉市道路橋長寿命化修繕計画に基づき、道路橋の点検や補修等に取り組む。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	緊急交通路に架かる道路橋等は耐震化を含めた修繕補修を行い、一般道路に架かる道路橋等は修繕補修を行う。 令和4年度は、国の交付金を活用し、いぶき野南大橋の耐震補強工事、桑原大橋の補修工事を行う。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	当初の予定であったいぶき野南大橋については、令和3年度補正により実施しているため発注なし。また、桑原大橋については、現場条件により令和5年度で実施予定であるため発注なし。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
	補修橋梁数				橋	2	R3	R4	R5	R6	R7
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	工事費	150,000,000				工事費	0				
	計		150,000,000			計		0			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	個別施設計画に基づき、国の交付金または公共施設等適正管理推進事業債を活用したうえで、工事発注するが、令和3年度補正で要望することにより、当該交付金を確保できることから、前倒しできたため、令和4年度分としては減少となった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	令和3年度補正で要望することにより、当該交付金を確保できることから、前倒しできたため、効率的に工事を発注することができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	令和4年度以降の橋梁点検により、補修が必要な劣化判定が発生する可能性があることから、今後も国の交付金または公共施設等適正管理推進事業債を活用しながら整備を推進する。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進											
節	第1節 都市経営の促進											
重点施策	34 既存ストックの適正管理の促進											
成果指標 (KPI)	3402	道路の延べ舗装修繕補修区間数(令和3年度～令和7年度)									指標の単位	区間
	基準値 (R2)	2				目標値 (R7)	10				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						2	5	7				達成状況
達成率							50.0%	70.0%				
備考												
担当課	土木維持管理室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1	道路舗装修繕事業	地方創生関連交付金事業該当		-				
			和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	道路舗装の劣化は年々進行し、その路面状態により事故などの発生に直結することから、舗装管理のトータルコストを縮減し維持管理を効率的に行う。		(事後評価) 【D】 事業実績	【道路舗装工事路線】 ・和泉中央線(令和5年3月竣工) ・光明池春木線(令和5年3月竣工)					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	和泉市道路舗装修繕計画に基づき、緊急交通路24路線の舗装の補修等に取り組む。								
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	緊急交通路である和泉市道24路線について、令和4年度は、公共施設等適正管理推進事業債を活用し、和泉中央線および光明池春木線の工事発注を行う。		(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	公共施設等適正管理推進事業債活用工事 ・和泉中央線道路舗装工事 工事概要:表層打換え工(切削オーバーレイ) 約844㎡ ・光明池春木線道路舗装工事 工事概要:表層打換え工(切削オーバーレイ) 約2807㎡					
(事前評価)	指標の名称		単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
【P】 活動指標	補修区間数		区間	2	R3	R4	R5	R6	R7
					3	2			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	工事費	22,600,000				工事費	22,111,100		
	計		22,600,000			計		22,111,100	
	備考					備考			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	和泉市道路舗装修繕計画に基づき、国の交付金または公共施設等適正管理推進事業債を活用して、2箇所の工事を発注し、年度内に竣工することができた。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	工事発注した道路舗装については、費用を縮減しつつ、道路の状況に応じた舗装管理の工法で工事を実施するとともに、公共施設等適正管理推進事業債を活用して効率的に工事を実施することができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	○国の交付金または公共施設等適正管理推進事業債を活用しながら整備を推進する。 ○和泉市道の緊急交通路については、優先度の高い順に「2箇所(区間)／年あたり」の工事発注を行っていく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進											
節	第1節 都市経営の促進											
重点施策	34 既存ストックの適正管理の促進											
成果指標 (KPI)	3403	未利用地の売却率(令和3年度～令和7年度)									指標の単位	%
	基準値 (R2)	▲4.8				目標値 (R7)	100.0				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
						▲4.8	▲40.8	▲45.8				達成状況
達成率							0.0%	0.0%				
備考												
担当課	総務管財室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 未利用地解消事業				地方創生関連交付金事業該当		-				
					和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	【P】事業の目的 普通財産の行政財産としての活用及び貸付、処分を行うことで、未利用の財産を適切に使用・運用し、円滑な行政運営を推進する。				(事後評価)	○普通財産の処分(未利用地解消場所・面積) ・旧幸幼稚園跡地:2868.11㎡、113,000,000円 ・旧市営唐国住宅跡地:5819.85㎡、900,500,000円 ・旧南松尾幼稚園跡地:1845.61㎡(建物319.62㎡)、15,512,839円 ・旧あさひ保育園跡地:1810.01㎡、180,000,000円 ・旧伯太防災広場用地擁壁部分:129.20㎡、2,427,700円 ・旧第9分団消防器具庫跡地:14.85㎡、437,727円 ・旧法定外公共物14件:1601.93㎡、35,598,936円 計20件 14089.56㎡、1,251,977,202円 ○普通財産の新規貸付 令和4年度の新規貸付はないが、貸付地に係る固定資産台帳の整理により面積83.22㎡増加 ○普通財産の増加(売却予定地の引受等。ただし、引受後、年度内に処分したものを除く。) ・旧伯太防災広場跡地(伯太町一丁目215番3他5筆):9,930.28㎡増加 ・旧池田分署跡地(納花町325番3):330.57㎡増加					
(事前評価)	【P】事業の内容 普通財産について、行政財産としての活用を図り、活用できないものについては、公募又は、相手方からの申請に基づき、売買契約、貸付契約を締結する。					【D】事業実績					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 ①未利用地の解消のため、未利用の普通財産を入札等で積極的に処分する。 ②処分できない普通財産を貸付等できるよう調査研究する。					【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
【P】活動指標	売却件数				件	4	0	4			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	財産評価審査委員会委員報酬	320,000				財産評価審査委員会委員報酬	344,000				
	計		320,000			計		344,000			
	備考					備考	当初5回予定だったが、1回多く実施したことにより予算流用有				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析																													
(事後評価)	【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	<p>○KPI(未利用の普通財産における、未利用状態の解消割合(令和2年度比))は、次の算式で表される。</p> $KPI = 1 - \text{令和4年度普通財産未利用地} \div \text{令和2年度普通財産未利用地}$ $= 1 - (40634.00 / 27876.27) = -0.4576 \cdots \rightarrow -45.76\%$																												
			<p>※令和2年度のKPIは、</p> $1 - \text{令和2年度普通財産未利用地} \div \text{平成26年度普通財産未利用地}$ $= 1 - (27876.27 / 26613.39) = -0.04745 \cdots \rightarrow -4.75\%$ で算出 <p>※未利用地は、普通財産面積から、貸付している普通財産の面積を控除したもの。</p> <p>※普通財産の推移については、行政財産を移管されてから処分までの間は、一時的に増加することがある。</p>																												
			<table><tr><th>【普通財産の面積(m²)】</th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th>【参考】H26</th><th>R2</th><th>R4</th><th>対R2年度比較</th></tr><tr><td>①普通財産</td><td>32542.12</td><td>33,805.00</td><td>46,645.95</td><td>12,840.95</td></tr><tr><td>②貸付財産</td><td>5928.73</td><td>5,928.73</td><td>6,011.95</td><td>83.22</td></tr><tr><td>①-②未利用普通財産</td><td>26613.39</td><td>27,876.27</td><td>40,634.00</td><td>12,757.73</td></tr></table>				【普通財産の面積(m ²)】						【参考】H26	R2	R4	対R2年度比較	①普通財産	32542.12	33,805.00	46,645.95	12,840.95	②貸付財産	5928.73	5,928.73	6,011.95	83.22	①-②未利用普通財産	26613.39	27,876.27	40,634.00	12,757.73
【普通財産の面積(m ²)】																															
	【参考】H26	R2	R4	対R2年度比較																											
①普通財産	32542.12	33,805.00	46,645.95	12,840.95																											
②貸付財産	5928.73	5,928.73	6,011.95	83.22																											
①-②未利用普通財産	26613.39	27,876.27	40,634.00	12,757.73																											
	事業の評価	評価理由																													
(事後評価)	【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	<p>○令和4年度に売却することを目標としていた旧幸幼稚園跡地、旧唐国住宅跡地、旧南松尾幼稚園跡地、旧あさひ保育園跡地の全てを売却することができた。</p> <p>○旧あさひ保育園跡地については、富秋中学校区等まちづくり構想を鑑み、近年実施例がないプロポーザル方式で売却できた。</p> <p>○旧南松尾幼稚園跡地について、近年実施例がなかった建物付きで売却できた。</p> <p>○不法占有が課題になっていたが、旧伯太防災広場用地擁壁部分について、占有者へ売却できた。</p>																												
	事業の方向性	今後の事業展開																													
(事後評価)	【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>○引き続き、未利用財産(普通財産)の処分を積極的に推進していく。</p> <p>・単独利用が可能な物件については、関係課と協議のうえ、一般競争入札等にて処分を実施する。</p> <p>また、処分ができていない物件については、改めて市での利活用や価格等見直しを行っていく。</p> <p>・単独利用が困難な物件については、隣接土地所有者と協議を実施し、買受要望があれば、処分を実施していく。</p>																												
			<p>○未利用地利活用基本方針を策定して、未利用地の活用についてさらに推進していく。</p>																												

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進												
節	第1節 都市経営の促進												
重点施策	34 既存ストックの適正管理の促進												
成果指標 (KPI)	3404	市営住宅長寿命化計画に基づく、建替え戸数(令和3年度～令和7年度)									指標の単位		戸
	基準値 (R2)	0				目標値 (R7)	346 (170戸に集約)				総合戦略 該当		○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
						0	0	0					
	達成率						0.0%	0.0%					
	備考												
担当課	建築住宅室												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1市営住宅改修事業				地方創生関連交付金事業該当				－		
					和泉創発プラン該当				－		
(事前評価) 【P】 事業の 目的	住宅に困窮する低額所得の人に低廉な家賃で賃貸する市営住宅について、入居者が安全に、かつ安心して生活できる住環境を確保するための整備を行う。				(事後評価) 【D】 事業実績	老朽化や耐震性能に課題がある住宅を効率的かつ円滑に更新を行うため、令和4年3月に定めた「市営住宅の集約建替えに係る基本計画」等に基づき実施する市営住宅等の集約建替え事業について、民間事業者の創意工夫をより活用すべく、従来の仕様発注ではなく、性能発注方式により事業を発注することとし、その事業者募集に際し本市が要求する業務の範囲や実施条件、サービス水準等を示す要求水準書の作成に取り組んだ。					
(事前評価) 【P】 事業の 内容	富秋中学校校区等まちづくり構想及び市営住宅長寿命化計画に基づき、耐震基準を満たさない市営住宅の建替整備を進める。										
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	富秋中学校校区等まちづくり構想における市営住宅建替え事業を進めるため、事業対象区域内の土地境界確定及び事業者選定に向けた要求水準書、実施方針の作成に取り組む。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	市営住宅をはじめとする公共施設整備用地について、敷地の境界画定及び測量を実施した。また、市営住宅集約建替えに関し、検討や事業者選定に係る要求水準書、設計要領の作成に取り組んだ。					
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	富秋中学校校区等まちづくり構想における市営住宅建替え事業の進捗率				%	40	20	29			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	委託料	18,623,000				委託料	16,682,000				
	委託料	67,725,000				委託料	37,242,937				
	計		86,348,000			計		53,924,937			
	備考					備考					

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	③変化なし	事業手法の検討に時間を要したことや民間事業者の参画条件等を考慮した結果、当初「富秋中学校区等まちづくり構想」において示した令和7年度にて170戸程度の第一期市営住宅整備としていたスケジュールを変更し、令和9年度に230戸程度の第1期市営住宅整備としたことにより成果指標が向上していない。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	上記のとおりスケジュールを変更したものの、事業の実現に向け、事業者募集に際し本市が要求する業務の範囲や実施条件、サービス水準等を示す要求水準書の作成に取り組むなど、順調に進行している。
	事業の方向性	
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	令和5年度において、要求水準書等の作成を完了させ、事業者の募集を行い、令和6年度に事業者を選定し、事業契約の締結を行った上で、令和9年度に230戸程度の第一期市営住宅を、令和12年度に320戸程度の第二期市営住宅の整備を完了させる。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進											
節	第1節 都市経営の促進											
重点施策	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営											
成果指標 (KPI)	3501	経常収支比率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	96.2				目標値 (R7)	95.0				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	95.3	96.6	97.2	96.8	96.8	96.2	95.8	95.9				達成状況
達成率							33.3%	25.0%				
備考												
担当課	財政課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1	経常的経費抑制事業	地方創生関連交付金事業該当	-				
			和泉創発プラン該当	-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	将来にわたって健全な財政運営を維持するため、事業の選択と集中を図りながら経常的な経費の抑制や市税をはじめとする自主財源の確保、市が保有する資産の有効活用に努める。	(事後評価) 【D】 事業実績	【令和4年度決算の状況】 (千円)					
				令和4年度	令和3年度			
			歳入(A)	73,757,759	76,179,579			
			歳出(B)	73,259,622	75,426,109			
			収支(C) (A-B)	498,137	753,470			
			翌年度へ繰越すべき財源(D)	159,433	107,182			
			実質収支(E) (C-D)	338,704	646,288			
			【うち経常経費にかかる決算の状況】					
				令和4年度	令和3年度			
			歳入経常一般財源(F)	37,854,847	37,964,996			
		歳出経常経費充当一般財源(G)	36,313,569	36,369,505				
		経常収支比率(H) (G/F)	0.959	0.958				
		※(F)には、臨時財政対策債を含む。						
(事前評価) 【P】 事業の 内容	和泉創発プランに掲げる財政健全化の取組項目を着実に実施することにより、経常的経費の抑制に努める。							
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のた めの具 体的な取組	和泉創発プランに掲げる健全化取組項目のうち、令和4年度から開始予定となっている以下の項目について、着実に実施できるよう進行管理を行う。 ○サービスセンターの見直し ○エネファーム設置補助金の見直し	(事後評価) 【D】 成果指標 向上のた めの具 体的な取組 の実績	【見込】和泉創発プランの効果額 【実績】令和4年度決算の効果額 (百万円)					
			健全化取組項目	見 込 実 績				
			○サービスセンターの見直し	38 38				
			○エネファーム設置補助金の見直し	4 4				
			合 計	42 42				
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称	単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
				R3	R4	R5	R6	R7
	和泉創発プランに掲げる新規取組項目数	個	2	5	2			
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	計		0		計			
	備考				備考			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	【歳入】 増加要因として、個人市民税(＋約2.3億円)、法人市民税(＋約1.5億円)、固定資産税(＋約1.6億円)、普通交付税(＋約2億円)などの項目があったものの、地方税減収補てん特別交付金(▲約1.4億円)、臨時財政対策債(▲約10億円)などの減少要因があったことにより、経常一般財源は、対前年度で約1億円減少した。 【歳出】 増加要因として、物件費(＋約1億円)、補助費(＋約1億円)、繰出金(＋約1億円)などの項目があったものの、人件費(▲約1.4億円)、公債費(▲約2.7億円)などの減少要因があったことにより、経常一般財源は、対前年度で約0.6億円減少した。 上記のことから、経常収支比率が前年度と比較して0.1ポイントの増加となった。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	和泉創発プランに掲げる健全化取組項目について、令和4年度から開始予定となっていた2項目について、令和4年度中に達成できたため、「効果的だった」と評価した。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	令和4年度から開始予定の健全化取組項目について、すべて年度中に達成することができた。令和5年度以降も和泉創発プランに掲げる健全化取組項目に取り組み、引き続き経常的経費の抑制及び新たな財源の確保に努める。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進											
節	第1節 都市経営の促進											
重点施策	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営											
成果指標 (KPI)	3502	市税の徴収率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	98.00				目標値 (R7)	99.14				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	96.44	97.10	97.54	97.90	98.20	98.00	98.66	98.69				達成状況
達成率							57.9%	60.5%				
備考												
担当課	税務室、滞納債権整理回収課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 納付推進事業				地方創生関連交付金事業該当	-					
					和泉創発プラン該当	-					
(事前評価)	【P】事業の目的 市税収入を確保し、負担の公平性を確保するため、市税の納期限内納付を推進する。				(事後評価)	【徴収実績】 ・徴収率98.69%(対前年度比+0.03%) ・調定額24,783,959,792円・収納額24,458,124,009円 (現年課税分) ・調定額24,469,798,829円・収納額24,337,497,273円 ・徴収率99.46%(対前年度比▲0.11%) (滞納繰越分) ・調定額314,160,963円・収納額120,626,736円 ・徴収率38.40%(対前年度比▲14.34%) 【事業実績】 ・広報紙、ホームページにて口座振替への切替えやコンビニ納付、クレジットカード納付、スマホアプリ決済による納付の推奨を周知した。 ・固定資産税に係る新築家屋調査時に口座振替案内を配布した。 配布件数:450件					
(事前評価)	【P】事業の内容 納付環境の整備及び周知により、市税の納付漏れを防ぐ。 ・納付漏れが発生しづらい口座振替への切り替えを推進する。 ・いつでも納付できるコンビニ納付やクレジット納付を周知する。					【D】事業実績 【事業実績】 ・広報紙、ホームページにて口座振替への切替えやコンビニ納付、クレジットカード納付、スマホアプリ決済による納付の推奨を周知した。 ・固定資産税に係る新築家屋調査時に口座振替案内を配布した。 配布件数:450件					
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組 当初納税通知書に納付方法案内チラシを同封し、口座振替、コンビニ納付、クレジット納付の利用を勧奨する。 特にクレジット納付については、令和4年度に事業者の変更を予定しており、納付方法の拡充を併せて検討する。				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績 当初納税通知書に口座振替の案内(口座振替に未加入者対象)とクレジットカード納付・スマホアプリ決済による納付案内を同封した。 対象税目:固定資産税、市・府民税、軽自動車税(種別割) 口座振替案内送付件数: 54,638件 アプリ・クレジットカード納付案内送付件数: 105,576件 クレジット納付については、コンビニ納付の収納代行業者であるエヌ・ティ・ティ・データに変更し、納付方法についてはアプリ決済を導入した。					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	口座振替収納率				%	34	33.6	35.0			
	コンビニ収納率				%	9	8.7	8.7			
(事前評価)	内訳		金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳		金額(円)	内訳	金額(円)
	印刷製本費		1,281,000				印刷製本費		1,234,202		
	役務費		10,539,000				役務費		9,512,824		
	委託料		499,000				委託料		488,788		
	計			12,319,000			計			11,235,814	
	備考						備考				
【P】予算											

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>市税全体の徴収率については、前年度実績を0.03%上回る98.69%となり、昨年度に引き続き高水準を維持している。</p> <p>社会情勢を鑑みても堅調であることから、納付推進の取り組みが要因になっていると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度収納額 24,458,124,009円 ・令和4年度調定額 24,783,959,792円
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	事業の評価	3
	①十分効果的だった	<p>口座振替収納率については、令和2年度33.5%、令和3年度33.6%、令和4年度35.0%と増加傾向にあり、コンビニ収納率については、令和2年度8.8%、令和3年度8.7%、令和4年度8.7%と横這いである。クレジットカード収納率は、令和2年度1.28%、令和3年度1.32%、令和4年度0.84%と令和4年度は減少し、令和4年度から始まったスマホアプリ決済による収納率は4.1%となっている。</p> <p>支払い方法の多様化により納付の利便性に寄与した結果として、全体的な徴収率の向上に繋がっているものと考えられ、十分効果的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 口座振替請求額 5,153,877,412円 ・ 収納額 5,058,284,212円(現年度分のみ・府税含む) ・令和4年度 コンビニ収納額 2,441,286,685円(市府民税特別徴収含む) ・令和4年度 スマホアプリ決済収納額 595,850,511円(市府民税特別徴収含む) ・令和4年度 クレジット収納額 121,847,949円(市府民税特別徴収含む)
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	事業の方向性	今後の事業展開
	①継続	<p>適正な市税納付が期待できる口座振替、時間を気にせず最寄りの店舗で納付できるコンビニ納付、24時間、手元に現金がなくても納付できるクレジットカード納付に加え、令和4年度から開始したスマートフォンを利用したアプリ決済による納付も含めた納付方法の周知啓発を、今後も継続して実施していく。</p>

取組事業	2 納税催告事業				地方創生関連交付金事業該当					-				
					和泉創発プラン該当					-				
(事前評価)	【P】事業の目的				(事後評価)	【D】事業実績	【市税の徴収実績(令和4年度)】 ・徴収率 : 98.69%(対前年度+0.03%) ・収納額 : 24,458,124,009円(対前年度+662,940,999円) ・調定額 : 24,783,959,792円(対前年度+664,714,079円) 【過年度の徴収実績(令和4年度)】 ・徴収率 : 38.40%(対前年度-14.34%) ・収納額 : 120,626,736円(対前年度-127,856,840円) ・調定額 : 314,160,963円(対前年度-157,005,009円) 【事業実績】 ・滞納者に対して財産調査を実施した。(件数:3,582件) ・差押予告通知書等を送付し、納付相談や滞納処分を進めた。 ・差押、換価、執行停止処理を実施した。(差押件数:1,130件) (差押件数の内訳) 不動産:153件、動産:0件、債権:977件 ・市税現年(令和4年度)分の徴収率99.46%とし、過年度への滞納繰越額を抑えた。							
(事前評価)	【P】事業の内容						催告書等による通知により、滞納者の自主納付を促すとともに、財産処分による徴収を進める。 ・滞納額1万円以上の滞納者の財産調査を金融機関や生命保険会社に依頼する。 ・調査情報等を基に差押を前提とした納付交渉を進め、差押及び換価を行う。							
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組				(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①納付案内センター架電数 19,560件 約束件数 3,264件 収納件数 1,792件(54.9%) ②大阪府域地方税徴収機構への引継数 217件 引継分の徴収率47.60%(前年度60.51%)							
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値							
							R3	R4	R5	R6	R7			
	【P】活動指標				滞納市税の徴収率	%	34	53	38					
	納付案内センターの納付履行率				%	60	53	55						
	徴収機構引継分徴収率				%	65	61	48						
(事前評価)	内訳		金額(円)		(事後評価)	【D】決算	内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	役務費		2,505,000				役務費		762,350					
	委託料		8,528,000				委託料		8,527,200					
	負担金		772,000				負担金		474,425					
	計		11,805,000				計				9,763,975			
	備考						備考							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	④前年度より減少	過年度の徴収率は、前年度実績を大きく下回る38.40%となりました。前年度はコロナ特例猶予制度の影響を受けて徴収率が上昇。コロナ特例猶予分の収入を除外して試算すると37.17%であり、この実績と比較すると上回っていることとなる。早期回収のため、積極的な納付交渉や滞納処分を進めており、経験豊富な職員を中心に組織全体としての実務遂行能力が保持できたことによるものと評価しています。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	和泉市市税等納付案内センターと大阪府域地方税徴収機構と継続して連携を図った。納付案内センターは、主に納付期限を経過した現年分を中心に電話催促及び文書催告を実施した。 大阪府域地方税徴収機構は、過年度分として217件の引継を実施し、徴収率が47.60%となった。 全体として差押件数は、前年より40件上回る1,130件で高水準を維持。前年の市税の徴収率を上回る実績となり、効果的に事業を進めることができた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	市の根幹である市税収入を確保するとともに、納税者の公正・公平性を保ち円滑な納付へと繋げるため、納付催告、納付相談、滞納処分を継続して実施する。今後も和泉市市税等納付案内センターを活用した納付催告や財産調査、差押え等の滞納処分に取り組むとともに、大阪府域地方税徴収機構に移管する案件についてより効果的な選定を検討する。また、税務署OBである滞納整理指導員を中心に職員の徴収力の向上を図りながら市税徴収強化を継続実施していく。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進												
節	第1節 都市経営の促進												
重点施策	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行政財運営												
成果指標 (KPI)	3503	新たに資格を取得した延べ職員数										指標の単位	人
	基準値 (R2)	58					目標値 (R7)	100				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	0	20	33	38	42	58	71	93					達成状況
達成率							31.0%	83.3%					
備考													
担当課	人事課												

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 職員資格取得推進事業			地方創生関連交付金事業該当	-					
				和泉創発プラン該当	○					
(事前評価)	和泉創発プランの組織・人づくりへの取組の一環である「学び」の促進として、職員の自己啓発を促進し、人材育成を図ることを目的として、職員の自発的な資格取得を報償する。									
【P】事業の目的										
(事前評価)	職員が業務上必要となる資格を取得した場合に、資格の難易度に応じて報償を交付する。対象資格は、新公会計制度に対応した資格や、技術職員の専門技能習得に関する資格等といった職務遂行に有効な資格としている。 【対象資格】 ・日商簿記検定1級～3級・地方公会計検定1級～3級 ・建築基準適合判定資格者・建築設備士・建築士1級～2級・建築施工管理技士1級～2級・電気工事施工管理技士1級～2級・土木施工管理技士1級～2級・管工事施工管理技士1級～2級・造園施工管理技士1級～2級・個人情報保護士・自治体法務検定 プラチナクラス～シルバークラス・防災士・メンタルヘルスマネジメント検定(Ⅰ種～Ⅲ種)・マイクロソフト オフィス スペシャリスト Excelスペシャリスト・ITパスポート試験・手話技能検定1級～4級・TOEIC(600点以上)・英語検定1級～2級・給水装置工事主任技術者・コンクリート診断士・ファイナンシャルプランナー技能士検定1級～3級									
【P】事業の内容										
(事後評価)	【D】事業実績			【令和4年度職員資格取得一覧】 ・日商簿記 3級3名 ・地方公会計検定 3級1名 ・建築適合判定資格者 1名 ・ <u>防災士12名</u> ・ <u>メンタルヘルスマネジメント検定(Ⅱ種)1名</u> ・ <u>ITパスポート検定 3名</u> ・ <u>TOEIC(800点以上)1名</u> ※下線は令和3年度より追加した資格						
(事前評価)	①報償の対象資格の拡充を図る。 ②定期的に資格報償制度の案内を行うことで、自己啓発を促進し、資格取得を促す。			(事後評価)	グループウェアを通して、定期的に資格取得報償制度の周知、令和3年度より報償対象となった資格の周知を行った。					
【P】成果指標向上のための具体的な取組				【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績						
(事前評価)	指標の名称			単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値				
						R3	R4	R5	R6	R7
	報償支給件数			件	8	13	22			
【P】活動指標										
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	【D】決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
【P】予算	報償費	250,000				報償費	142,000			
	計		250,000			計		142,000		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	成果指標については前年度実績より向上した。(令和3年度13人、令和4年度22人) 新たな資格取得者22人中17人が令和3年度より報償対象となった資格を取得したことで、前年度成果指標を上回った。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	新たな資格取得者22人中17人が、令和3年度より報償対象となった資格を取得しており、職員への周知を定期的に行ったことは、成果指標の増加のための取組として効果的であった。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・グループウェアにより、報償制度の通知を定期的に各課へ通知することで、制度の周知及び職員の資格取得の意欲向上を図る。 ・試験にかかる負担額を考慮し、報償費の金額見直しを行い、職員の資格取得の意欲向上を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進											
節	第1節 都市経営の促進											
重点施策	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営											
成果指標 (KPI)	3504	各種証明書に係る電子申請等の利用率									指標の単位	%
	基準値 (R2)	5%				目標値 (R7)	15%				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	-	-	-	-	-	5%	11%	22%				達成状況
達成率							60.0%	100.0%				
備考												
担当課	政策企画室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 DX推進事業				地方創生関連交付金事業該当				-		
					和泉創発プラン該当				-		
(事前評価)	【P】事業の目的			(事後評価)	【D】事業実績	申請手続における市民の利便性向上のため、証明書等のオンライン請求ができる「電子申請システム」の対象サービスの拡充を行った。 ・令和4年度末における電子申請が可能な手続き数 69手続き 〔参考〕令和3年度末手続き数 13手続き					
(事前評価)	【P】事業の内容										
(事前評価)	【P】成果指標向上のための具体的な取組										
(事前評価)	①市民サービスの向上 窓口業務のオンライン化等 ②業務の効率化 デジタルデバイスの活用化			(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①市民サービスの向上 「電子申請システム」の活用について、IT活用推進担当からの投げかけを行い、関係課からの聞き取り、相談及び実装までを行った。 ②業務の効率化 デジタルデバイスの活用を進めるため、職員へのタブレット端末支給による業務環境の見直し(令和3～4年度の2か年計画)					
(事前評価)	指標の名称				単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】実績値				
							R3	R4	R5	R6	R7
	電子申請に係る市民周知				件	1	0	1			
	DX職員研修の実施回数				件	1	0	1			
(事前評価)	市民アンケートの実施				回	1	0	0			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	役務費	6,204,000	備品購入費	55,000,000		役務費	5,791,500	備品購入費	26,764,628		
	委託料	1,518,000				委託料	1,518,000				
	使用料及び賃借料	924,000				使用料及び賃借料	792,000				
	計		63,646,000			計		34,866,128			
	備考					備考					
				【D】決算							

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	②前年度より向上	<p>コンビニ交付の件数が大幅に増加したため、成果指標を達成したものとする。</p> <p>また、令和3年11月から住民票(写し)、戸籍謄本、戸籍抄本、戸籍の附票、身分証明書、独身証明書、課税(所得)証明書の7手続きで電子申請を開始しており、電子申請等の利用率向上につなげる。</p>
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	<p>コンビニ交付については、市民の利便性向上及び職員の事務効率化を図れる仕組みであることから、利用件数増加に伴い効果も上がっているものとする。</p>
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	<p>次年度以降は、市民ニーズの高い子育て・障がい福祉・学校分野を中心に、電子申請が可能な手続きの拡充を行い、引き続き、市民向けにホームページ等で周知を図る。</p>

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進											
節	第1節 都市経営の促進											
重点施策	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営											
成果指標 (KPI)	3505	個人情報の訂正・利用停止件数(請求に基づくもの)									指標の単位	件
	基準値 (R1)	0				目標値 (R7)	0				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	0	0	0	0	0	0	0	0				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	総務管財室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 個人情報保護事業		地方創生関連交付金事業該当		-				
			和泉創発プラン該当		-				
(事前評価)	市が保有する個人情報の開示、訂正及び利用の停止を請求する市民の権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めることにより、個人の権利利益の保護を図り、もって市民の基本的人権の擁護と信頼される市政を推進することを目的とする。		(事後評価) 【D】 事業実績	市民からの請求に基づく個人情報の訂正及び削除について 【訂正件数】0件 【削除件数】0件					
(事前評価)	和泉市個人情報保護条例等の規定に沿って個人情報の収集、管理及び利用を適正に行い、内容の正確性を確保するとともに、本人からの開示、訂正及び利用停止請求に対応する。								
(事前評価)	①実施機関において、適正に市民の個人情報が収集又は提供ができるよう個人情報保護に関する職員研修を実施する。 ②個人情報の適正な取扱いに関する注意喚起のため、通知文を発出することにより職員への周知を図る。		(事後評価) 【D】 成果指標 向上のた めの具 体的な取 組 の実績	①次のとおり、個人情報保護研修を実施した。 ○新規採用職員を対象とした個人情報保護研修 【開催日】令和4年4月6日（水） 【参加人数】36人 ②次のとおり、個人情報保護説明会を実施した。 ○個人情報保護責任者、個人情報保護内部監査員等を対象とした個人情報保護説明会 【開催日】令和4年9月28日（水） 【参加人数】個人情報保護責任者60人、個人情報保護内部監査員28人 ③次のとおり、個人情報保護研修を実施した。 ○全職員を対象とした動画及びパワーポイントによる個人情報保護研修 【発出日】令和4年12月5日（月） ④次のとおり、注意喚起の通知文を発出した。 ○職員の綱紀の保持等の通知 【発出日】令和4年12月16日（金） ⑤次のとおり、個人情報の保護に関する法律の改正に伴う研修を実施した。 ○全職員を対象とした個人情報保護研修 【開催日】令和5年1月10日（火）・11日（水）・12日（木） 【参加人数】623人					
(事前評価)	個人情報保護活動指標								
指標の名称		単位	当該年度の目標値	(事後評価) 【D】 実績値					
				R3	R4	R5	R6	R7	
個人情報の適正な取扱いに関する職員研修の実施及び注意喚起の通知文発出		回	3	4	5				
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	会場借上料	74,000				会場借上料	30,800		
	計		74,000			計		30,800	
	備考					備考			

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	○前年度から引き続き、訂正・削除件数がないことは、実施機関が保有する市民の自己に関する個人情報が適正に取り扱われていることを意味し、市民の基本的人権が擁護され、信頼される市政が推進されていることを示すものである。 ○これは、個人情報の保護に関する研修の実施により、職員の個人情報の取り扱いの意識が高まっていることが要因と思われる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	○本市においては、和泉市個人情報保護条例の施行後、一度も市民からの請求に基づく個人情報の訂正又は削除は行ったことがない。これは個人情報の保護に関する研修の実施により、職員の個人情報の取り扱いの意識が高まっていることが要因と思われる。このことから、本事業は極めて効果的であると評価する。 ○しかしながら、令和4年度は漏えい事案が7件報告されており、グループウェアを通じて情報共有されているが、漏えい防止に向けて引き続き注意喚起等を行う必要がある。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	○令和5年度から個人情報に関する法律が適用されることに伴い、個人情報の取扱いルールが変わることから、個人情報の適正な取扱いに向けて、職員研修や庁内通知、漏えい事案の共有等を継続的にを行い、職員の知識習得・意識向上に努める。 ○併せて、平成29年度に導入した個人情報保護に関する内部監査制度を継続することにより、より一層の個人情報の適正な取扱いが行われるよう組織として取り組む。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進											
節	第1節 都市経営の促進											
重点施策	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営											
成果指標 (KPI)	3506	窓口対応の安心感及び満足度									指標の単位	%
	基準値 (R2)	90.0				目標値 (R7)	91.0				総合戦略 該当	-
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	84.8	89.8	88.0	89.0	89.0	90.0	97.5	97.8				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	市民室											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1	窓口サービス向上事業	地方創生関連交付金事業該当				-			
			和泉創発プラン該当				-			
(事前評価)	【P】事業の目的 証明書の発行や住民異動の届出のため来庁した市民に対し、正確で迅速な対応を行うとともに、市民のライフスタイルに合わせた窓口サービスの充実を図る。		(事後評価)	【D】事業実績	①コンビニ交付件数 17,431件(R3)⇒30,400件(R4) 市設置自動交付機 304件(R3は3月のみ)⇒3,820件(R4) ＜参考＞ (マイナンバーカード交付枚数) 28,509枚(R3)⇒48,827枚(R4) (申請支援利用件数) ・本 庁 2,299件(R3)⇒3,054件(R4) ・出張所 1,098件(R3)⇒3,305件(R4) ②時間外住民票等発行サービス ・本 庁 日曜開庁件数 403件(R3)⇒428件(R4) ・出張所 日曜開庁件数 376件(R3)⇒473件(R4) ③マイナンバーカードによる住民票等の電子申請件数 75件(R3<11～3月>)⇒339件(R4)					
(事前評価)	①マイナンバーカードによる住民票等のコンビニ交付(市設置自動交付機含む。) ②時間外住民票等発行サービス ・本庁 第4日曜日 午前9時～正午 ・出張所 第2日曜日 午前9時～正午 ③マイナンバーカードによる住民票等の電子申請									
(事前評価)	【P】事業の内容		(事後評価)	【D】成果指標向上のための具体的な取組の実績	①窓口来庁者、電話による問い合わせ時及びHPにおいて、各種サービスについて周知啓発を実施 ②マイナンバーカードの平日時間外・休日交付 平日時間外(休日を除く毎週火・木曜日 17:30～19:00) 休日時間外(毎月第2土曜日・第4日曜日 9:00～12:00) ③出張所における窓口サービスについて意見交換をし、マイナンバーカードの普及啓発のためのポスター作りに決定。マイナンバーカードの普及啓発についての調査・提案を行い、ポスターを作成し掲示。12月末まで和泉中央駅シティプラザ掲示スペース(2箇所)と出張所内掲示スペースに掲示済み。 ④市内21郵便局に証明書郵送セット設置 請求件数 住民票2件 所得証明書10件 ⑤窓口手数料のキャッシュレス決済導入(R4.10月～) (キャッシュレス決済利用率) ・本 庁 7.3%(R4) ・出張所 6.9%(R4)					
(事前評価)	①コンビニ交付や電子申請に係る周知啓発 窓口に来庁した市民に、マイナンバーカードの申請支援のご案内を行い、その際に各種サービスに係る周知を行う。 ②マイナンバーカードの平日時間外・休日交付 ③出張所における桃山学院大学との連携事業にて窓口業務改善 ④市内郵便局への証明書郵送請求セット設置 ⑤窓口手数料にキャッシュレス決済導入									
(事前評価)	指標の名称			単位	当該年度の目標値	(事後評価)【D】実績値				
						R3	R4	R5	R6	R7
	【P】活動指標									
(事前評価)	マイナンバーカードによる住民票等のコンビニ交付の発行枚数			枚	20,000		30,400			
	時間外住民票等発行サービス利用件数			件	2,000		901			
	マイナンバーカードによる住民票等の電子申請の発行枚数			枚	240		340			
(事前評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	コンビニ交付事務委託料	2,723,000	キャッシュレス決済機器管理委託料	16,000		コンビニ交付事務委託料	3,556,800	キャッシュレス決済機器管理委託料		0
	証明書自動交付機管理委託・システム借上料	792,000	キャッシュレス決済手数料(窓口・電子申請)	73,000		証明書自動交付機管理委託・システム借上料	792,000	キャッシュレス決済手数料(窓口・電子申請)		34,591
	証明書交付(自動交付機)システム利用料	465,000				証明書交付(自動交付機)システム利用料	355,260			
	計		4,069,000			計		4,738,651		
	備考					備考				

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	平日時間外及び休日におけるマイナンバーカード交付サービスを充実させ、来庁者の分散化や平日窓口の混雑緩和を図った。 また、窓口アンケートにおいて、「丁寧で分かりやすかった」といった職員の窓口対応へのご意見を多くいただいており、安心感や満足度につながっていると考ええる。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	②効果的だった	昨年度と比較して大幅に増加したマイナンバーカード申請支援を円滑に行うことができた。 また、マイナンバーカードの交付率向上により、コンビニ交付件数や電子申請利用件数も伸びており、窓口等におけるサービスの周知にも効果があった。 結果として、窓口対応への評価が高く、効果的だったと考える。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	「和泉創発プラン」に基づき廃止した市内サービスセンターや和泉府中駅前証明発行コーナーの代替手段として、より一層のマイナンバーカードを活用した各種証明書の交付（コンビニ交付、電子申請）の周知を図り、マイナンバーカードの取得促進に取り組む。 また、窓口の基本となる対応について、引き続き丁寧で分かりやすい説明に努め、市民サービスの向上を図る。

第5次和泉市総合計画 事業評価シート

(令和4年度)

章	第5章 都市経営の促進											
節	第1節 都市経営の促進											
重点施策	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営											
成果指標 (KPI)	3507	いずみメール・和泉市LINE登録者数									指標の単位	人
	基準値 (R2)	25,521				目標値 (R7)	25,000				総合戦略 該当	○
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
					12,193	25,521	86,150	90,608				達成状況
達成率							100.0%	100.0%				
備考												
担当課	いずみアピール課											

成果指標達成に向けた取組事業

取組事業	1 市政情報発信事業					地方創生関連交付金事業該当		-				
						和泉創発プラン該当		-				
(事前評価) 【P】 事業の 目的	広報や市HP、いずみメール、SNS等、様々な情報媒体を効果的に活用し、市の魅力や市政情報の発信力強化に取り組むため、いずみメールの登録者・LINEの友だち数を増やす。				(事後評価) 【D】 事業実績	・広報紙等での周知によりLINE登録者数が増加した。						
(事前評価) 【P】 事業の 内容	いずみメールの登録者、LINEの友だちを増やすため、広報・市HP等様々な機会での周知する。											
(事前評価) 【P】 成果指標 向上のため の具体的な取組	①広報誌への掲載 市の重要な情報を即時に発信しているツールであることを繰り返し周知する。 ②デジタルサイネージへの掲載 ③各種団体等への周知活動 市民団体への周知活動を強化する。				(事後評価) 【D】 成果指標 向上のため の具体的な取組 の実績	・①②については実施し、③は未実施であるが、すでにR7目標を達成済。						
(事前評価) 【P】 活動指標	指標の名称				単位	当該年度の 目標値	(事後評価) 【D】 実績値					
							R3	R4	R5	R6	R7	
	各種団体への周知活動				回	3	0	0				
(事前評価) 【P】 予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	(事後評価) 【D】 決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)			
	計		0			計		0				
備考				備考								

	成果指標の達成状況	成果指標の達成状況の要因分析
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況と要因分析	①R7目標を達成	・コロナワクチン接種にかかるLINE予約の実施により、大幅にLINEの登録者数が増加した。
	事業の評価	評価理由
(事後評価) 【C】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の評価	①十分効果的だった	・コロナワクチン接種にかかるLINE予約の実施により、大幅にLINEの登録者数が増加し、市政情報の発信力が強化できた。
	事業の方向性	今後の事業展開
(事後評価) 【A】 成果指標の達成状況を踏まえた事業の方向性及び今後の事業展開	①継続	・市政情報の発信力強化をめざし、引き続き継続実施とする。 ・LINE登録者のブロック数を増加させないためにLINE登録者に対しての施策が必要。 ・成果指標向上のための具体的な取組「各種団体等への周知活動(市民団体への周知活動を強化する)」について、実績が「未実施」のため、町会・自治会、商工会議所、PTA、こども会などへの周知を実施する。